

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- ◎ **お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。**
- ◎ 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。
よく読んでお守りください。

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。

 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害につながるおそれがあります。

お車のために守っていただきたいこと。

 アドバイス	守らないと装備品や車両の破損につながるおそれがあります。
--	------------------------------

お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。

 知識	知っておくとお車の性能を十分にお使い頂けるとともに、いろいろな装備を上手に使うことができます。
	安全のためにしてはならない行為。 (イラスト内に表示されています)

- 参照して読んでいただきたいページなどを、❬マークで表示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備(ディーラーオプション)については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー(営業部員)におしつけください。

- 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
- 自然環境保護に配慮してください。
- 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

- 外観フロント .2
- 運転席まわり .5
- 警告灯一覧 .8

- 外観リヤ .3
- インストルメントパネル .6
- 表示灯一覧 .9

- 車室内 .4
- メーター .7

イラスト目次

P.2

- 日産 e-POWERの特徴 .12

- 安全にご利用いただくために .16

- 日産e-POWERと上手に付き合うため .21

日産 e-POWERとは

P.11

- 運転する前に .24

- お子さまの安全のために .52

- 計器類 .70

- メーターの明るさの調節 .111

- キー .114

- ハンドルの調節 .140

- 燃料補給口の開閉 .160

- シートベルト .32

- 盗難防止機能 .67

- 警告灯・表示灯 .77

- ドアの施錠と解錠 .121

- ミラーの調節 .141

- エアコンの操作 .163

- エアバッグ .37

- アドバンスドドライブアシストディスプレイ .82

安全なドライブのために

P.23

メーターの見かた

P.69

- シートの調節 .133

- 窓ガラスの開閉 .157

- オーディオ* .171

各部の操作

P.113

- 始動する .176

- 運転支援機能 .219

- 運転する .182

- カメラシステム .322

- ランプをつける、ワイパーを使う .201

運転のしかた

P.175

- 室内照明 .348

- 収納装備 .352

- その他の室内装備 .357

室内装備

P.347

- まずははじめに .376

- 緊急時の対処方法 .383

トラブルがおきたときは

P.375

- メンテナンスの前に .448

- 清掃・お手入れ .474

- 工具・ジャッキ .449

- サービスデータ .488

- 点検と整備 .456

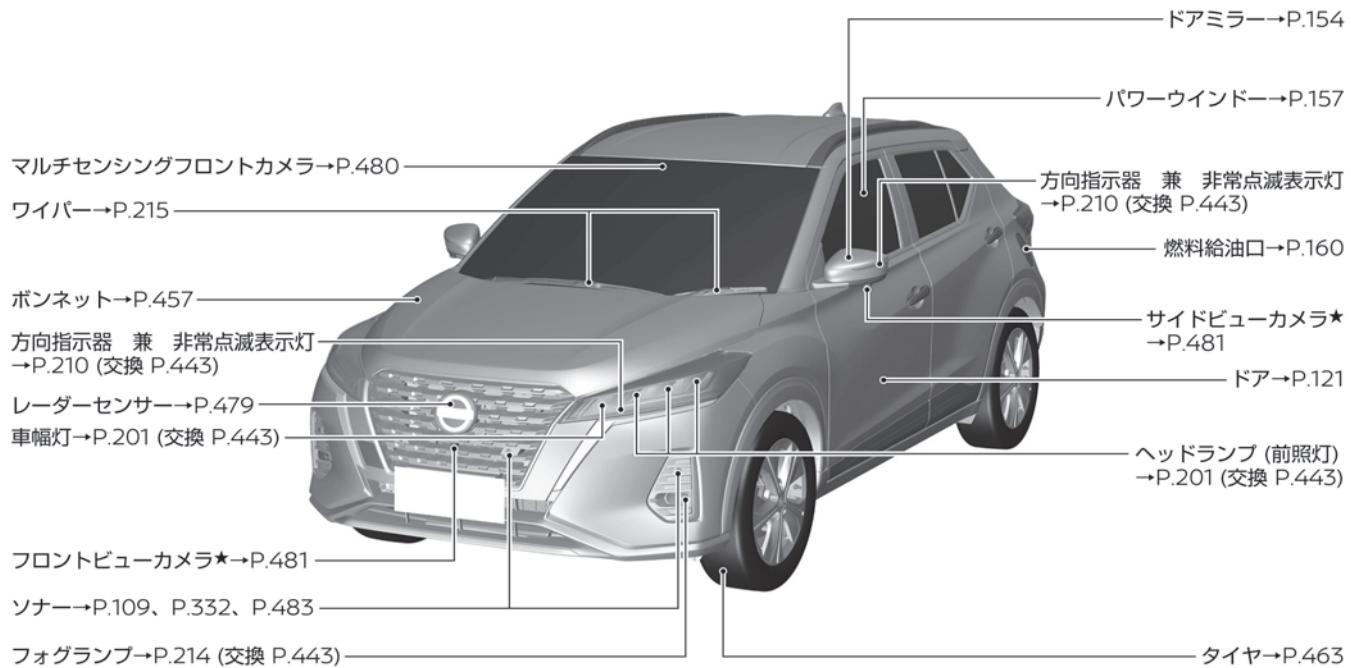
メンテナンス

P.447

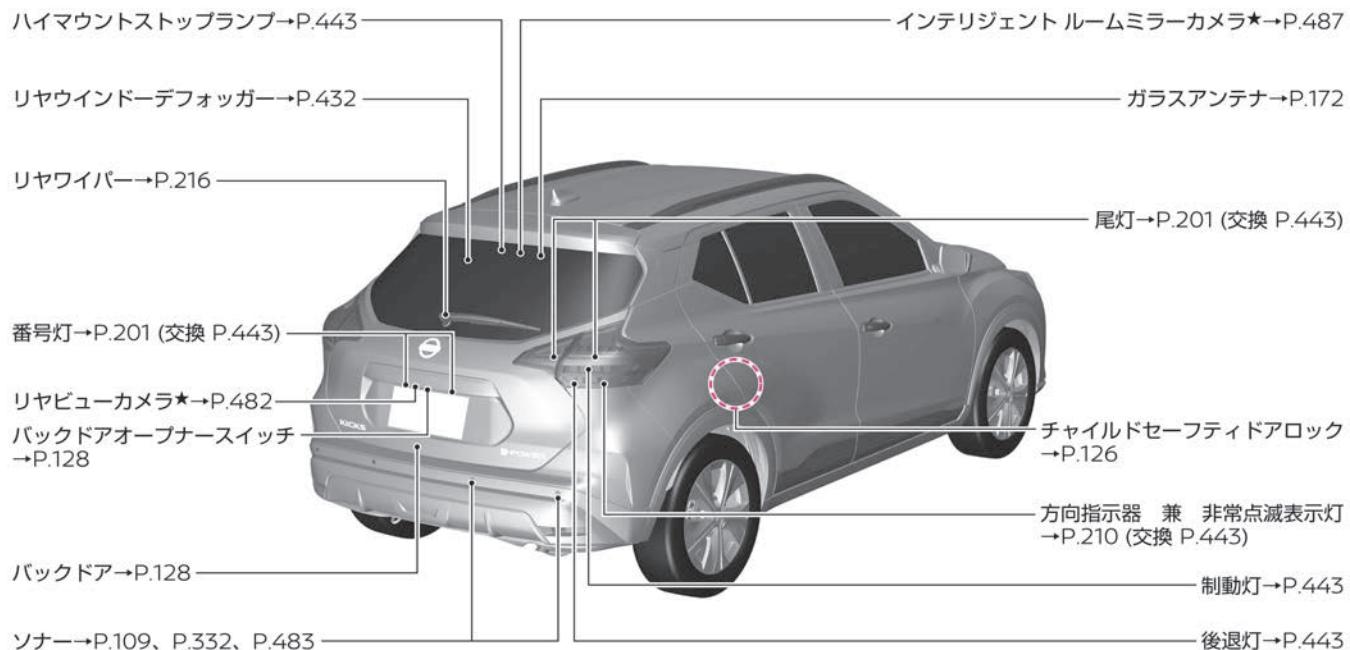
索引

P.497

外観フロント



外観リヤ



車室内

イラスト目次

サンバイザー→P.371

ルームミラー★→P.141
インテリジェントルームミラー★
→P.142

マップランプ→P.348

SOSコールスイッチ
→P.357

ロックノブ→P.124

パワーウィンドースイッチ
→P.157

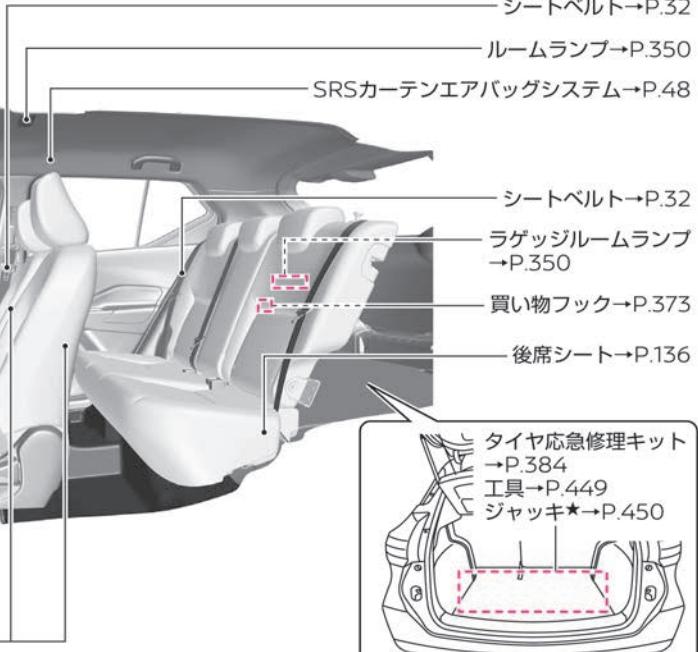
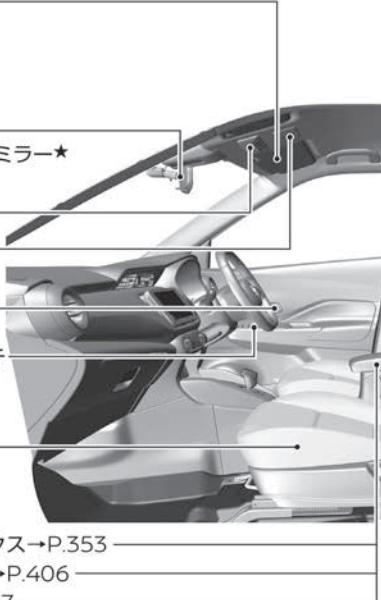
前席シート→P.133

センターコンソールボックス→P.353

後席シートベルト警告灯→P.406

USB電源ソケット→P.367

SRSサイドエアバッグシステム(前席)→P.46



運転席まわり

ワイパー・ウォッシャースイッチ→P.215

ステアリングスイッチ(左)――

－アドバンスドドライブアシスト

ディスプレイ→P.82

－オーディオ★→P.173

発炎筒→P.377

EVモードスイッチ

→P.222、P.224

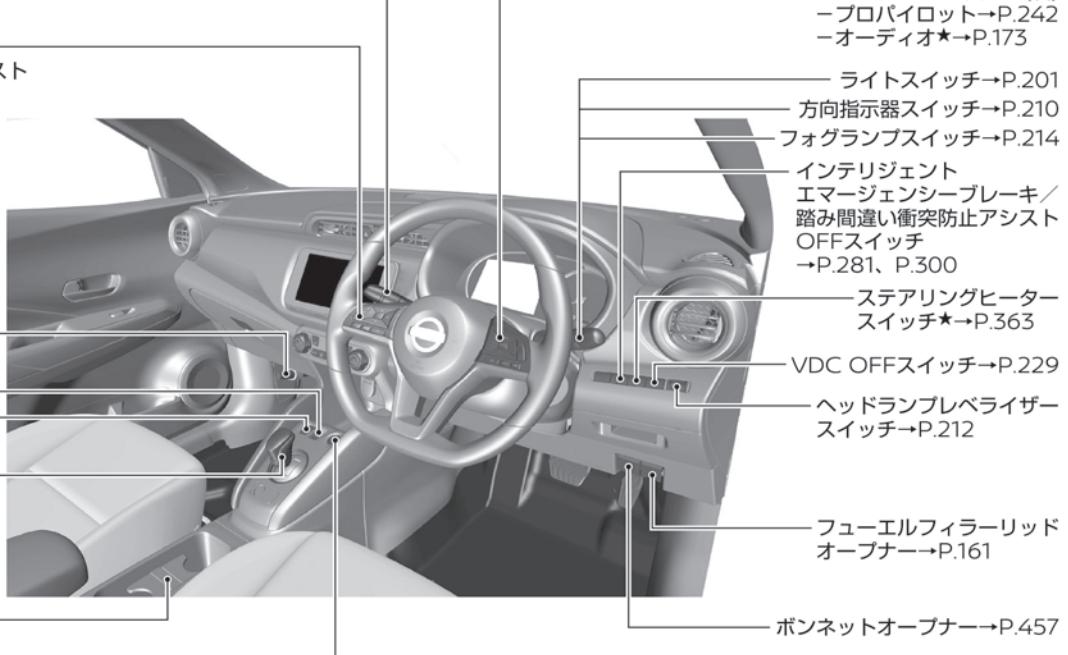
e-POWERモードスイッチ

→P.220

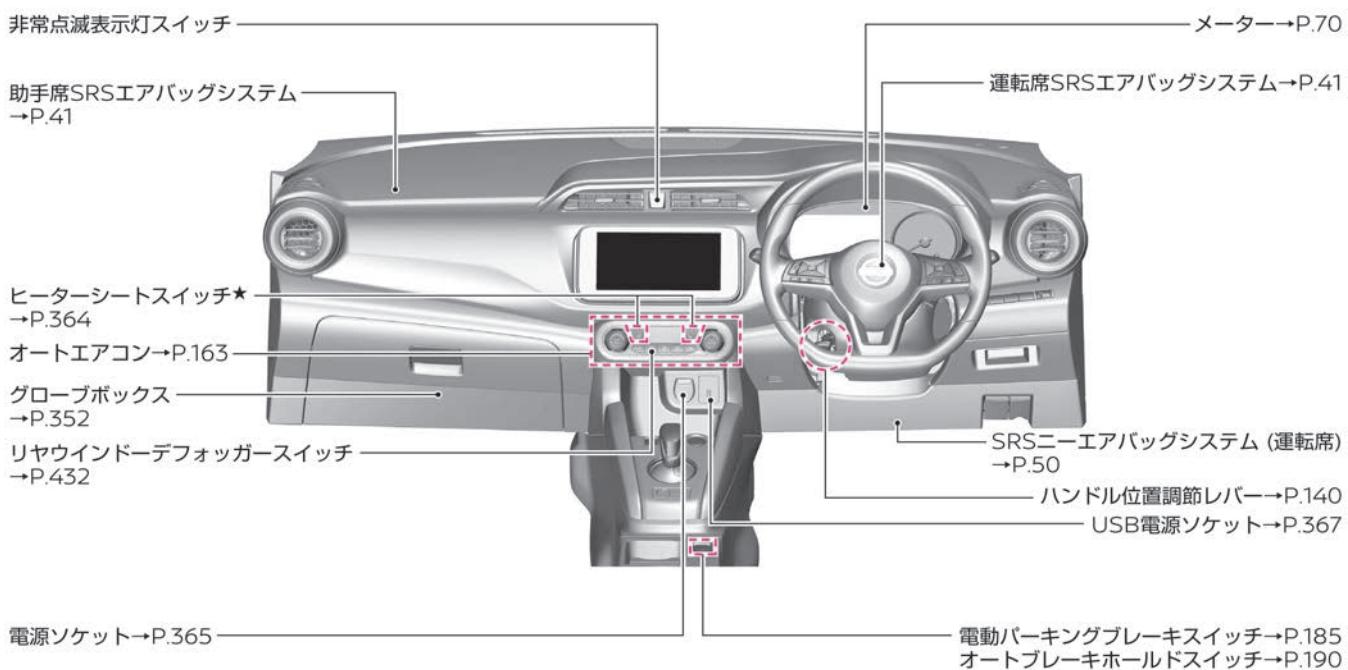
セレクトレバー→P.182

カップホルダー→P.354

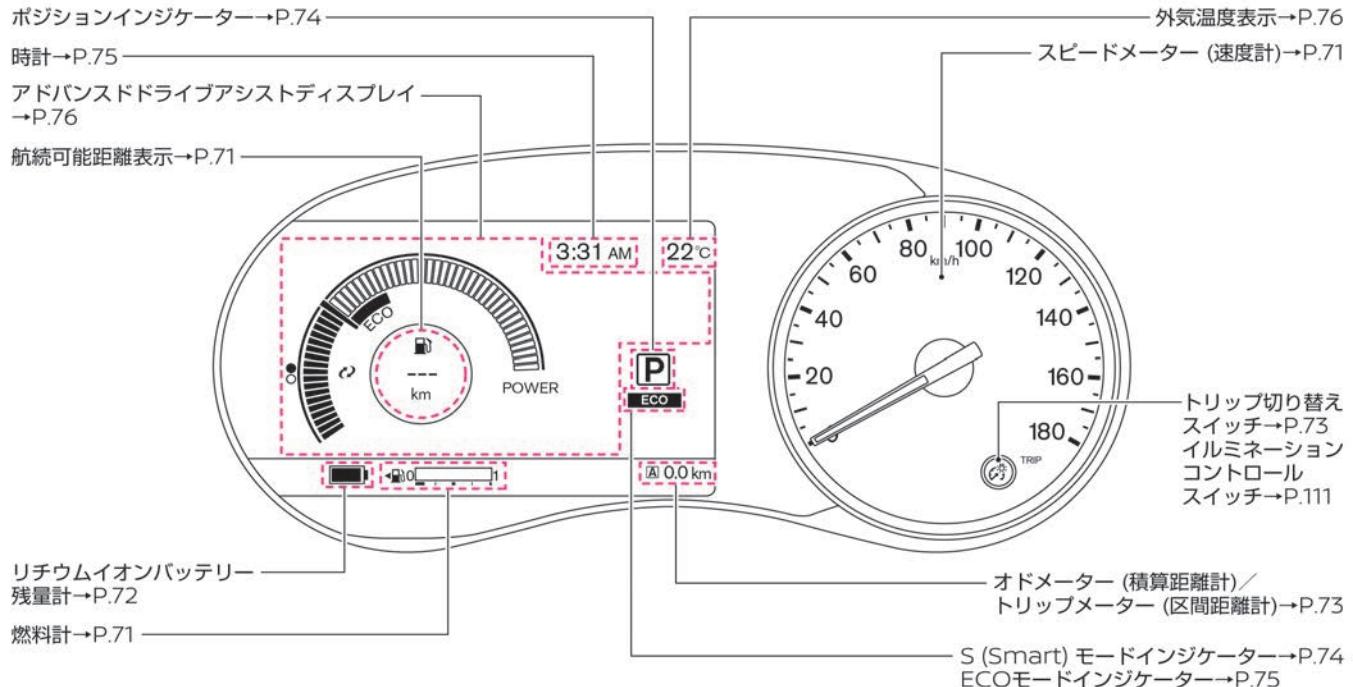
パワースイッチ→P.176



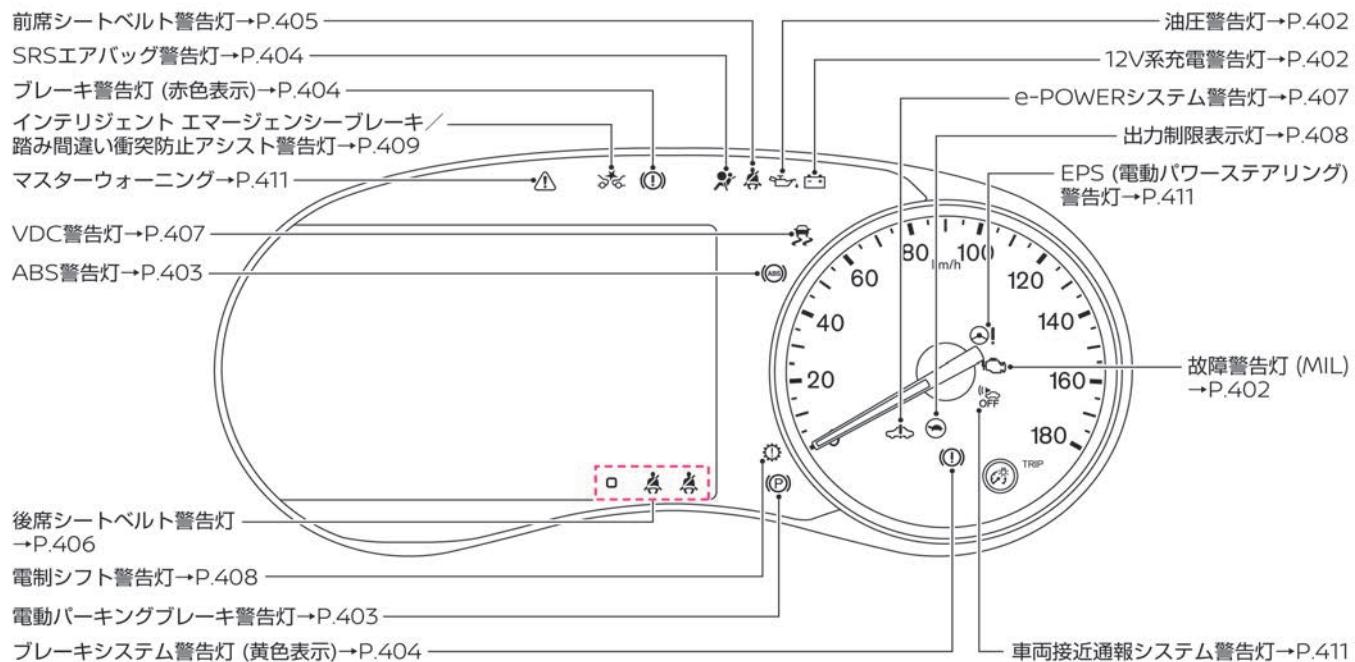
インストルメントパネル



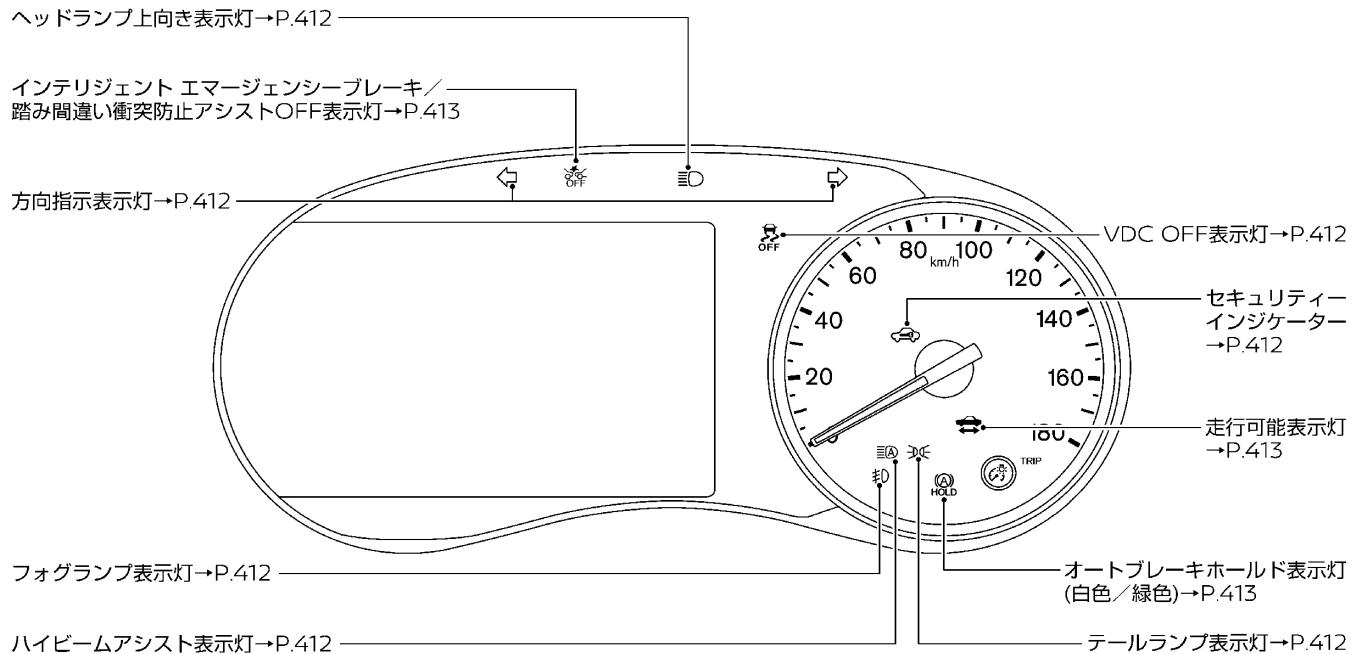
メーター



警告灯一覧



表示灯一覧



MEMO

イラスト目次

日産 e-POWERとは

日産 e-POWERの特徴

キックス e-POWERってどんな車？

P.12

安全にご利用いただくために

高電圧部品について

P.16

キックス e-POWERの取り扱いに関する注意事項

P.17

キックス e-POWERが事故にあったときの注意事項

P.19

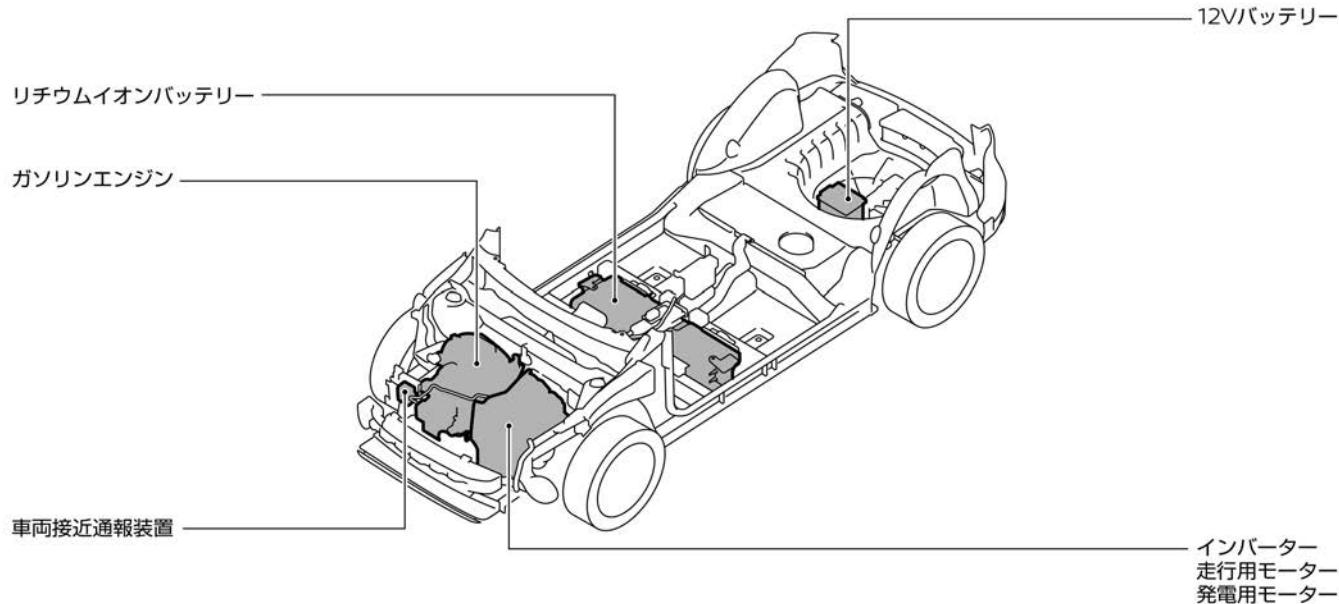
日産e-POWERと上手に付き合うために

燃費を良くするためのポイント

P.21

キックス e-POWERってどんな車？

キックス e-POWERはガソリンエンジンで発電用モーターを動かすことにより発電し、その電力をリチウムイオンバッテリーに蓄えたり直接走行用モーターに供給したりします。そしてそれらの電力で走行用モーターを駆動し走行する自動車です。



キックス e-POWERってどんな車？

走行用モーター

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力やエンジンと発電用モーターで発電された電力を使用して、エンジンの代わりにタイヤを動かす力を生み出します。

発電用モーター

ガソリンエンジンで動き発電します。

リチウムイオンバッテリー

発電用モーターで発電された電力や走行用モーターの回生電力を蓄え、走行時に走行用モーターに電力を供給します。

リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、エンジンが始動し自動的に充電を行うため、電気自動車のような外部からの充電は必要ありません。

ただし、車両を長時間放置すると少しずつ放電するため、少なくとも2~3か月に一度、約30分間は運転してください。（リチウムイオンバッテリーがダメージを受け、使用できなくなるおそれがあります。）

万一、リチウムイオンバッテリーがあがり、e-POWERシステムを始動できない場合は、日本販売会社にご連絡ください。

回生ブレーキ

ガソリンエンジン車のエンジンブレーキの代わりにモーターを使って減速することを回生ブレーキと呼びます。減速するときに発電するため、発電した電力でリチウムイオンバッテリーを充電することができ、エネルギーを無駄にせず燃費を良くすることができます。



知識

- 回生ブレーキは、長い下り坂でリチウムイオンバッテリーが満充電になった場合や低温時、滑りやすい路面ではブレーキの効きが弱くなることがあります。また、指定サイズ以外のタイヤを使用しているときは、回生ブレーキが正常に作動しなくなることがあります。

次ページに続く

キックス e-POWERってどんな車？

車両接近通報装置

本車両は走行時の音がとても静かで通行人が車両の接近に気づきにくいため、警報装置がついています。交差点などの徐行中に警報音が鳴ります。

☞ 車両接近通報装置 (P.235)

エンジンが作動するとき

e-POWERシステムでは下記のようなときにエンジンが作動する場合があります。

- リチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき（発電のため）
- アクセルペダルを強く踏み込んだとき（発電のため）
- ブレーキペダルを踏み込んだとき（ブレーキブースター用負圧生成のため）
- 長い下り坂を走行しているとき（減速度を生成するため）
- 暖房をONにしたとき（熱源となるエンジン水温を上げるため）
- エンジンが冷えているとき（暖機のため）
- e-POWERシステムが始動している状態でボンネットを開けたとき（整備時の事故を防止するため）
- チャージモード中（発電のため）
☞ チャージモードの使いかた (P.222)
- フロントガラスのデフロスタースイッチをONにしたとき

キックス e-POWERってどんな車？

e-POWERシステム特有の音や振動

e-POWERシステム始動後は、次のような特有の音や振動が発生する場合がありますが異常ではありません。

- エンジルームからのモーター音
 - エンジンの始動・停止による音や振動
 - アクセルペダルから足を離したときやブレーキを踏んだときの作動音やモーター音
 - 急加速時のエンジン音
 - コンソール下部付近、前席下からのファン作動音
 - 歩行者に車両の接近を知らせるための音
- ☞ [車両接近通報装置 \(P.235\)](#)



知識

- 従来のガソリンエンジン車と比較して、アイドリング時のエンジン回転数は高めに設定されています。これはアイドリング中でもリチウムイオンバッテリーを充電するためで、異常ではありません。

安全にご利用いただくために 高電圧部品について

e-POWERシステムには以下の高電圧部品が使われています。主な高電圧部品にはラベルが貼りつけてあるので、ラベルの記載事項に従ってください。

インバーター

- e-POWERシステムに関するさまざまな機能を制御しています。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。

発電用モーター

- 発電するためのモーターです。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。

走行用モーター

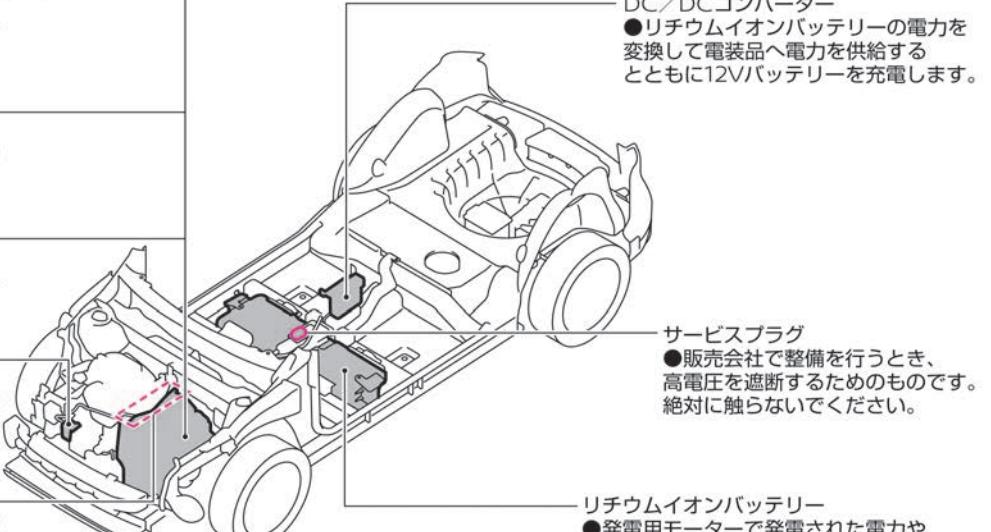
- 走行するためのモーターです。
走行直後は高温になることがあるので注意してください。

エアコンコンプレッサー

- 車室内の空調装置です。
空調装置が作動時は高温になることがあるので注意してください。

高電圧ケーブル(オレンジ色)

- オレンジ色のケーブルは、高電圧が流れています。
触れたり、ケーブルの付け根にあるコネクターを取り外したりしないでください。



DC/DCコンバーター

- リチウムイオンバッテリーの電力を変換して電装品へ電力を供給するとともに12Vバッテリーを充電します。

サービスプラグ

- 販売会社で整備を行うとき、高電圧を遮断するためのものです。
絶対に触らないでください。

リチウムイオンバッテリー

- 発電用モーターで発電された電力や、走行用モーターの回生電力を蓄え、走行時に走行用モーターに電力を供給します。

キックス e-POWERの取り扱いに関する注意事項

e-POWERシステムを適切に取り扱うため、次のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

● 高電圧部位には触れない。

最大で約350Vの直流高電圧が使用されているため、高電圧ケーブルやコネクター、高電圧部品（走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなど）には触れないでください。感電すると生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。車両のエンジンルーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

● リチウムイオンバッテリーに水をかけない。

車室内、ラゲッジルームにふたのないバケツや水槽など、水がこぼれるおそれがあるものは置かないでください。リチウムイオンバッテリーに水がかかると故障の原因になります。

⚠ 注意

● 高温に注意する。

走行直後はエンジンルーム内が高温になっている可能性があります。エンジンルーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

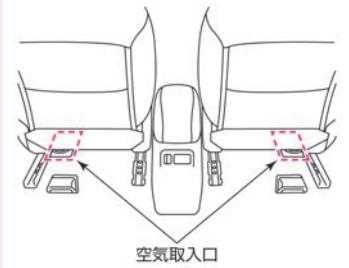
● 冷却用空気取入口をふさがない。

前席シート下にリチウムイオンバッテリーを冷却するための空気取入口があります。性能低下や車両故障につながるため、荷物や衣類などで取入口をふさがないでください。また、液体や砂など、異物が入らないように注意してください。万一、リチウムイオンバッテリー周辺に多量の液体をこぼしてしまった場合は、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

次ページに続く

キックス e-POWERの取り扱いに関する注意事項

⚠ 注意



- 前席シート下には重量物を載せない。

前席シート下にはリチウムイオンバッテリーが配置されているため、重量物を載せたり踏みつけたりして強い負荷をかけないよう注意してください。

キックス e-POWERが事故にあったときの注意事項

事故が発生したときは、次のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 高電圧部品および高電圧ケーブルが露出しているときは絶対に触れない。
高電圧部品および高電圧ケーブルの位置は、 [高電圧部品について \(P.16\)](#)を確認してください。
- リチウムイオンバッテリーから液漏れが見られる場合は、すみやかに日産販売会社に連絡する。
火災が発生するおそれがあります。
- 車室内や車外に液体が漏れているときは絶対に触れない。
万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、水道水などのきれいな水で洗い流し、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷がないか点検する。
床下に損傷が見られる場合は、絶対に触れずすみやかに日産販売会社にご連絡ください。
- リチウムイオンバッテリーや高電圧部品から火災が発生したときは、出来るだけ早く車両から離れる。
火災を消火するときは、必ず電気火災用の消火器（ABC、BCまたはCタイプ）を使用してください。消火栓などから大量の放水が可能な場合のみ、水での消火も可能ですが、不適切な消火作業は危険なため、絶対に行わないでください。
- 事故などで車両が破損し、安全であることを確認できない場合は、車両から離れて日産販売会社に連絡する。
日産販売会社に連絡するときは、（ガソリンエンジン車ではなく）e-POWERシステムである旨をご連絡ください。
- 板金・塗装による修理が必要な場合は、必ず日産販売会社に連絡する。

次ページに続く

キックス e-POWERが事故にあったときの注意事項

⚠ 警告

車体が大きく破損・変形しているとき、破損の状態によっては漏電や感電のおそれがあります。高電圧部位（リチウムイオンバッテリーなど）およびこれらを接続する配線（オレンジ色）には絶対に触らないでください。

- 事故などでランプが破損したまま走行しない。
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- けん引が必要なときは、前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。けん引時に前輪が接地していると、走行用モーターが発電し、車両を破損するおそれがあります。
 [けん引について \(P.378\)](#)

知識

- 衝突時やe-POWERシステムに異常があると、高電圧システムがOFFになり走行可能表示灯  が消灯する場合があります。これはケガや事故につながる危険を最小限に抑えるもので、異常ではありません。

燃費を良くするためのポイント

燃費は、道路状況、天候や気温、乗員数などに大きく左右されます。

次のようなことに気をつけ電力の消費を抑えると、燃費が良くなります。

お出かけ前に

電力の消費が少ないルートを選択する。

- 登り坂の走行は電力の消費が多くなります。登り坂の少ないルートを選択すると電力の消費を抑えられます。

不要な荷物は積んだままにしない。

- 荷物を減らし、車両重量を軽くすることで、電力の消費を抑えられます。

適切なタイヤ空気圧にする。

- タイヤ空気圧が低下していると、より多くの電力を消費します。

☞ タイヤの点検項目 (P.463)

運転するときは

なめらかに発進、加速する。

- 急発進、急加速をすると、より多くの電力を消費し、燃費が悪くなります。

- パワーメーター (☞ P.83) で電力の消費状況を確認しながら加速することで、電力の消費を抑えた加速ができます。

車間距離に余裕を持ち、必要以上の減速を極力避ける。

- 必要以上の減速を避けることで、再加速するための電力の消費を抑制できます。



知識

- 燃費が大幅に悪化する場合は、次のようなことが原因として考えられます。

- 走行するルートの地形に登り坂が多い
- 高速道路など、高速で走行を続けている
- 頻繁に急発進、急加速、急ブレーキをしている

日産e-POWERと上手に付き合うために 燃費を良くするためのポイント

■ 高速道路などで速度を出しすぎない。

- 速度の出しすぎは、電力を無駄に消費します。

■ エアコンの設定温度を控えめにし、必要がなければこまめにOFFにする。

- エアコンによる余分な電力の消費を抑えられます。
- 暖房使用時、設定温度を24°C以下に下げるとき燃費が良くなります。
- ECOモードの方がNORMALモード、S (Smart) モードより、エンジン作動頻度を抑えられ燃費が良くなります。

■ 寒いときは、エアコンの代わりにヒーターシート★やステアリングヒーター★を使用する。

- エアコンを使わずにヒーターシートやステアリングヒーターを活用することで、エンジン作動頻度を抑えられ燃費が良くなります。

⇒ ヒーターシート★ (P.364)

⇒ ステアリングヒーター★ (P.363)

■ デフロスターは必要以上に使用しない。

- 窓のくもりが取れたら、他の吹き出し口に切り替えることで、エンジン作動頻度を抑えられ燃費が良くなります。

■ ECOモード、S (Smart) モードで走行する。

- ECOモードやS (Smart) モードを使用しているときは、アクセルペダルを緩めたときの回生ブレーキによる減速力が強くなり、減速時のエネルギーをより多く回収できます。
- NORMALモード→S (Smart) モード→ECOモードの順に燃費が良くなります。
(ECOモードがもっとも燃費重視のモードとなります。)

⇒ e-POWER Drive (P.219)

安全なドライブのために

運転する前に

運転前の準備	P.24
運転するときに注意すること	P.26
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項	P.30

シートベルト

シートベルトについて	P.32
3点式シートベルト	P.34
シートベルトの注意事項	P.35

エアバッグ

SRSエアバッグ	P.37
SRSエアバッグシステム（前席）	P.41
SRSサイドエアバッグシステム（前席）	P.46
SRSカーテンエアバッグシステム	P.48
SRS二エアバッグシステム（運転席）	P.50

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること	P.52
チャイルドシート	P.55

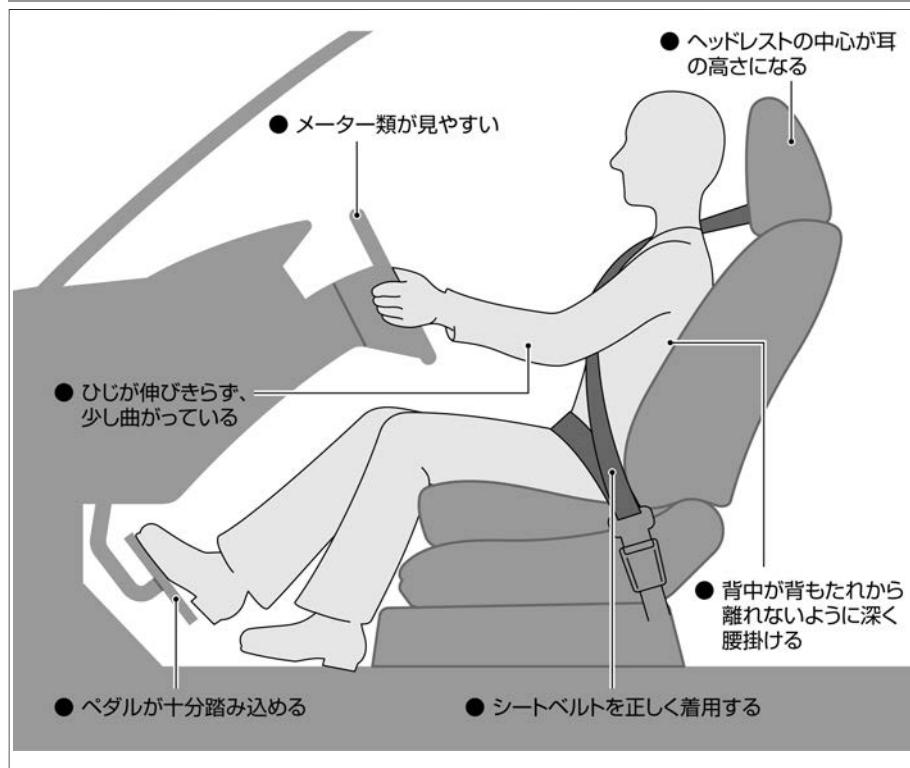
盗難防止機能

イモビライザー（盗難防止装置）	P.67
-----------------	------

運転する前に 運転前の準備

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル（☞P.140）、シート（☞P.133）、ミラー（☞P.141）を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について



⚠️ 警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトの着用

- 必ず走行前にシートベルトを正しく着用してください。
☞ [シートベルト \(P.32\)](#)
- 小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご使用ください。
☞ [チャイルドシート \(P.55\)](#)

ミラーの調節

- シートおよびハンドルの調節が完了したら、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ドアミラーおよびルームミラー★を調節してください。
☞ [ドアミラー \(P.154\)](#)
☞ [ルームミラー★ \(P.141\)](#)

インテリジェント ルームミラー付車

インテリジェント ルームミラー付車は、インテリジェント ルームミラーがOFFの状態（ルームミラーモード）で、確実に後方確認ができる位置に調節してください。

- ☞ [インテリジェント ルームミラー★ \(P.142\)](#)

運転する前に

運転するときに注意すること



警告

排気ガスには十分注意する

- 排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。
- 以下の状況では、e-POWERシステムを長時間作動したままにしない。
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。
 - 雪が積もった場所に駐停車するとき
 - 降雪時に駐停車するとき
 - 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐停車するとき
 - 仮眠や長時間の駐車をするとき
 - 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき
 - 他車の排気口が近くにあるとき
- 走行する前に、バックドアが確実に閉まっていることを確認する。
走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。
- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受ける。
排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意を

運転する前に

運転するときに注意すること



警告

- 診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けないでください。12Vバッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしない。

荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

- 灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、必ずふたを閉める。
紙くずなど燃えやすいものは入れないでください。出火するおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- 排気音が大きくなったときは、日産販売会社で点検を受ける。

排気管が腐食したり路面干渉などで損傷したりしているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入し、火災につながるおそれがあります。

- 事故などでランプが破損したまま走行しない。

内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

e-POWERシステムを作動したまま仮眠をしない

- 万一、シフトポジションが **P** 以外だと、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあ

次ページに続く

運転する前に

運転するときに注意すること

⚠ 警告

ります。また、無意識にセレクトレバーを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

アクセサリーをウインドーに取り付けない

● ウインドーにアクセサリーを取り付けない。

視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造しない

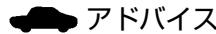
● 市販の不適合品のマフラー取り付けや、日産純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しない。

正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

● ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかつたり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

運転する前に 運転するときに注意すること



改造しない

- 12Vバッテリーの端子に電気用品やアース線などを直接つながないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- 日産自動車が国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客様のご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

シルバールーフレールについて

- 走行中に積載物が落下すると、重大な事故につながるおそれがありますので、しっかりと固定してください。固定方法などはキャリアに付属の取扱説明書に従ってください。
- 次のことをお守りください。
 - キャリアに積載できる最大重量は50kgです。
 - 樹脂カバーに物を載せたり引っ掛けたりしない。
 - キャリア取付部以外の樹脂カバーは取り外さない。
 - キャリアを取り付けるときは、日産販売会社に相談する。

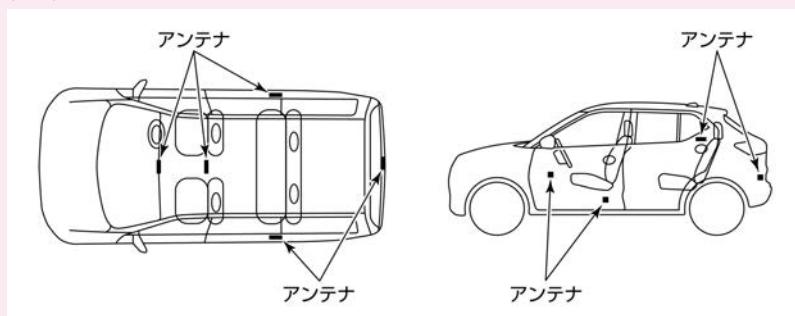
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のことにご注意ください。

⚠ 警告

インテリジェントキーについて

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、e-POWERシステム始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

SOSコールについて

- SOSコールは無線通信機能を利用していているため、心臓ペースメーカーやその他医療用

心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項



警告

電気機器を使用する場合は、当該の各医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響について必ず確認する。

⇒ [先進事故自動通報システム \(P.357\)](#)

シートベルト シートベルトについて

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

ELR（緊急固定）付シートベルトについて

- 身体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトがロックし身体を固定します。

プリテンショナーシートベルトについて

- 正面衝突などで車両前方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取り、乗員の拘束性能を高めます。
- 衝撃の強さなどによっては、SRSエアバッグシステム（前席）と同時に作動する場合と、プリテンショナーのみ作動する場合があります。
- SRSエアバッグ (P.37)
- 運転席および助手席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。車両前方から強い衝撃を受けたとき、肩からシートベルトを巻き上げると同時に腰側からも巻き上げ、乗員の拘束性能を高めます。



注意

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気スターを使用してプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

警告

- メーター内のSRSエアバッグ警告灯 が点灯しているときは走行しない。パワースイッチをONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

注意

- 廃車にすることやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。



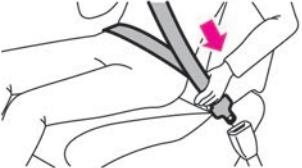
アドバイス

- ブリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- ブリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

シートベルト

3点式シートベルト

シートベルトの着用のしかた

1	<p>正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。 ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。</p>	
2	<p>ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。</p>	 <p>タング バックル</p>
3	<p>アンカー位置の高さを調節します。（前席シートのみ） ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。手を離したあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。</p>	 <p>ノブ アンカー</p>
4	<p>外すときは、バックルのボタン（赤色部）を押し、タングを持ってゆっくり戻します。</p>	 <p>ボタン（赤色部）</p>

警告

- ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。
万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 後席シート中央席のシートベルトを使用するときは、バックルに「CENT-TER」と表示されているものを使用する。

シートベルトが正しく着用できず、万一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

シートベルト

シートベルトの注意事項

⚠ 警告

● 走行する前に全員がシートベルトを着用する。

着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

● シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。

シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

- 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。

- 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。

- ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。

- 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。

- 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。

- クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

● シートの背もたれを倒したまま走行しない。

シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

● バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。

シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

● 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。

ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認

次ページに続く

シートベルト

シートベルトの注意事項

 警告

してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。
 チャイルドシート (P.55)
- 事故などで衝撃を受けたり傷がついたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。
一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。

 注意

- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。
ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮しないことがあります。シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

エアバッグ

SRSエアバッグ

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに膨らみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの種類

- ① SRSエアバッグシステム (前席)
- ② SRSサイドエアバッグシステム (前席)
- ③ SRSカーテンエアバッグシステム
- ④ SRSニーエアバッグシステム (運転席)



アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

知識

- SRSエアバッグは高温のガスにより高速でふくらむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグがふくらむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。
- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

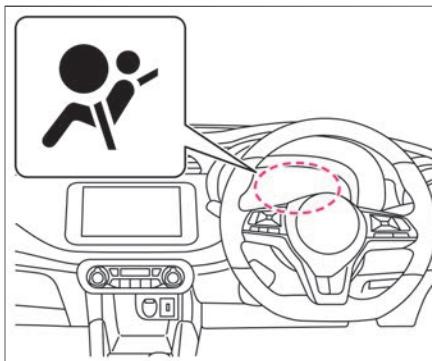
SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、パワースイッチがONのときに作動可能です。

パワースイッチをONにしたあと、約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRSエアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならないときは、作動しないことがあります。

SRSエアバッグが作動するような衝撃を感じると、非常点滅表示灯が自動的に点滅します。非常点滅表示灯スイッチを押すと消灯しますが、二次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。また、衝撃の大きさによっては、点滅しないことがあります。



⚠️ 警告

- SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。

- パワースイッチをONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
- SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき
SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

📖 知識

- 助手席SRSエアバッグ、助手席側のSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは、乗員がいなくても作動します。

SRSエアバッグの注意事項

⚠ 警告

● 正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。

SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

● 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートができるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

☞ チャイルドシート (P.55)



● 必ず次のことを守る。

SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

– SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、

次ページに続く

⚠ 警告

SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。

SRSエアバッグ（前席）の格納場所は（☞P.41）をお読みください。

SRSサイドエアバッグ（前席）の格納場所は（☞P.46）をお読みください。

SRSカーテンエアバッグの格納場所は（☞P.48）をお読みください。

SRS二ーエアバッグ（運転席）の格納場所は（☞P.50）をお読みください。

- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使用してSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどを取り付けたり、サスペンションを改造したりするときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

● **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグにさわらない。**

高温になるため、やけどをするおそれがあります。

● **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**

皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じことがあります。

エアバッグ

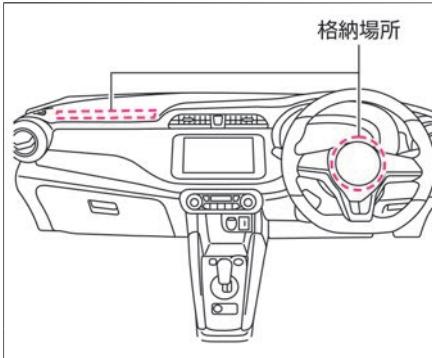
SRSエアバッグシステム（前席）

車両前方から強い衝撃を受けたときに、SRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。



SRSエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
 - 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき
- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）
- 高速で縁石などに衝突したとき
 - 深い穴や溝に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつけたとき

アドバイス

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れことがあります。

知識

- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしほむので、視界の妨げになることはありません。
- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（P.357）が作動します。

次ページに続く

SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

SRSエアバッグシステム（前席）の注意事項

警告

- 運転席のSRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内掛けでのハンドル操作はしない。
ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



- 不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼らない。
SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

次ページに続く

⚠ 警告

- フロントガラスにアクセサリーなどを付けない。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 助手席の**SRSエアバッグ**格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。
SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。
- チャイルドシートは後席シートに取り付ける。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。
- チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。

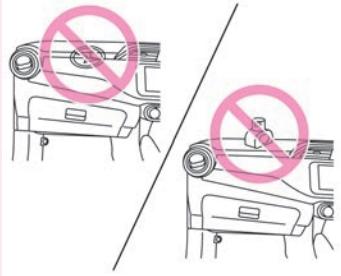
警告

固定方法および取り扱いからは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



- SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置かない。

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグシステム（前席）

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSサイドエアバッグは、運転席、助手席ともにシート背もたれの側面（外側）に格納されています。



警告

- SRSサイドエアバッグの格納部に近づかない。
ドアにもたれるなど、前席シートの背もたれの側面（外側）に近づかないでください。特に子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 前席シートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。
- シートカバーは、前席シート背もたれを覆わないものを使用する。
SRSサイドエアバッグが正しく作動しないおそれがあります。

注意

- ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。
SRSエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSサイドエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき



知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（P.357）が作動します。

SRSサイドエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSサイドエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

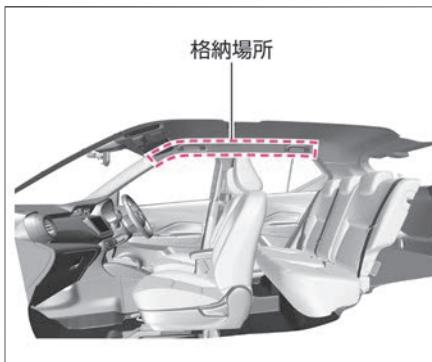
- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSカーテンエアバッグシステム

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSカーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。



警告

- SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けない。
SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。
SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき



知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム(→P.357)が作動します。

SRSカーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

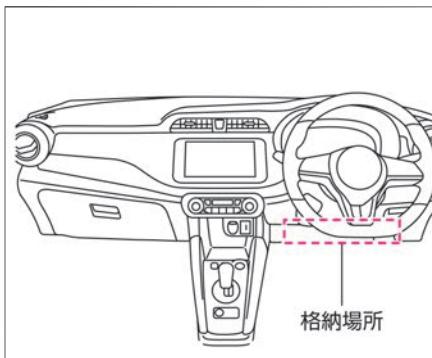
- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRS二ーエアバッグシステム（運転席）

車両前方から強い衝撃を受けたときに、SRS二ーエアバッグが瞬時にふくらみ、運転者の下肢部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRS二ーエアバッグは、ハンドル下のインストルメントパネル部に格納されています。



警告

- SRS二ーエアバッグの格納部に近づかない。
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS二ーエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼らない。また、アクセサリーなどを取り付けない。
SRS二ーエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

SRS二ーエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
- 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき

次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）

- 高速で縁石などに衝突したとき
- 深い穴や溝に落ち込んだとき
- ジャンプして地面にぶつけたとき

知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（☞P.357）が作動します。

SRSニーエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

SRSニーエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

お子さまを乗せるときに注意すること

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。



警告

お子さまにもシートベルトを着用する

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。

お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⇒ シートベルトの着用のしかた (P.34)

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。

⇒ チャイルドシート (P.55)

チャイルドシートは後席シートに取り付ける

- チャイルドシートは後席シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。

固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートができるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

お子さまを乗せるときに注意すること

警告



- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。
車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席シートに乗せる

- **お子さまを助手席に乗せるのは避ける。**
お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドーなどは大人が操作する

- ドアやウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。
開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティドアロック（☞P.126）やパワーウィンドーロックスイッチ（☞P.157）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

次ページに続く

お子さまを乗せるときに注意すること



警告

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。

急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。

炎天下では車室内が高温になり、生命にかかるおそれがあり危険です。

- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために チャイルドシート

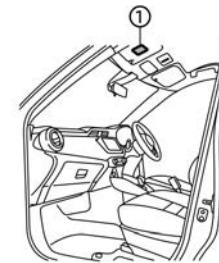
お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

■ チャイルドシートについて

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格にあわせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44またはR129の基準に適合したi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXアンカレッジを標準装備しています。

⚠ 警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートができるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



① エアバッグ警告ラベル



お子さまの安全のために チャイルドシート

知識

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44またはR129はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44またはR129の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。



知識

チャイルドシートのカテゴリー (universalは汎用品の認可であることを表します。)

対象となるお子さまの身長／体重範囲
i-Size universal ISOFIX
40cm - 70cm / ≤24kg



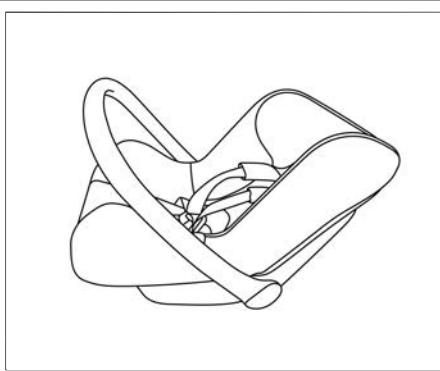
UN-Regulation No.129/04

法規番号

当該装置認可番号
当該装置を認可した国番号

■ 乳児用チャイルドシート

UN R44 基準のグループ0、0⁺に相当します。



■ チャイルドシート

UN R44 基準のグループ0⁺、I に相当します。



■ ジュニアチャイルドシート

UN R44 基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。



■ チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けることができます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使用してチャイルドシートを固定します。

☞ シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた (P.64)

■ i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシート

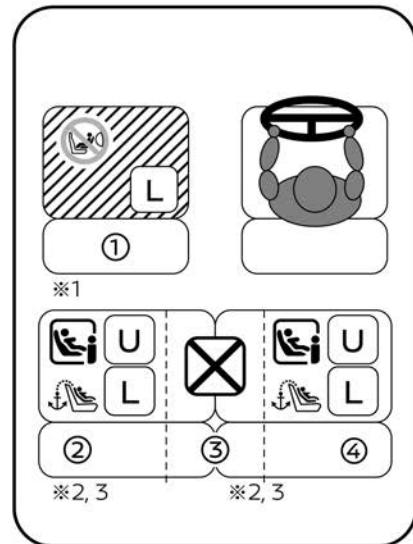
後席シートに付属しているi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXアンカレッジ（固定装置）で固定します。

☞ i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた (P.65)

■ 使用できるチャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。

選択の目安



凡例

マーク	説明
	車両のシートベルトで固定するタイプのチャイルドシートに適している
	i-SizeおよびISO FIXチャイルドシートに適している
	トップテザーアンカレッジを装備している座席
	前向きのチャイルドシートのみに適している
	後ろ向きのチャイルドシート取り付け禁止
	チャイルドシートの取り付けに適していない
	添付リストに記載されたチャイルドシートに適している

※1: チャイルドシートを装着する際は、背もたれを最も前傾させたロック位置に調節してください

※2: 前席シートを最後端位置から120mm(12ノッチ)車両前方へスライドさせてください

※3: 前の席の背もたれを最も前傾させたロック位置から3ノッチ後傾したロック位置に調節してください

次ページに続く

幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報

シート位置番号	①	②	③	④
汎用ベルト式に適する着席位置（有/無）	無	有	無	有
i-Size着席位置（有/無）	-	有	無	有
横向き固定具に適する着席位置（L1/L2）	-	L2	-	L1
適する最大の後ろ向き固定具（R1/R2/R2X/R3）	-	R3	-	R3
適する最大の前向き固定具（F2/F2X/F3）	-	F3	-	F3
適する最大のブースタ固定具（B2/B3）	-	B3	-	B3

知識
<ul style="list-style-type: none">● ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44またはR129の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

お子さまの安全のために チャイルドシート

■ ISO FIX対応チャイルドシートのサイズ等級と固定具の関係について

サイズ等級は、チャイルドシートに表示される分類記号です。サイズ等級と固定具の関係は次の一覧表をご覧ください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	説明
0 (10kgまで)	F	L1	左向き位置用チャイルドシート (キャリコット※)
	G	L2	右向き位置用チャイルドシート (キャリコット※)
	E	R1	後ろ向き乳児用チャイルドシート
0+ (13kgまで)	E	R1	後ろ向き乳児用チャイルドシート
	D	R2	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
	C	R3	大型後ろ向き幼児用チャイルドシート
I (9~18kg)	D	R2	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
	C	R3	大型後ろ向き幼児用チャイルドシート
	B	F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
	B1	F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (F2とは別形状)
	A	F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
II (15~25kg)	-	-	-
III (22~36kg)	-	-	-

※：キャリコットとは、お子さまを寝かせた状態で横向きに取り付けることができる乳児用チャイルドシートの一つです。詳しくは、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

お子さまの安全のために
チャイルドシート

■ i-Sizeチャイルドシートについて

身長の目安	月齢の目安	説明
～83cm	～15か月	後ろ向き
76cm～	-	前向き

お子さまの安全のために チャイルドシート

■ 推奨チャイルドシート

日産自動車が推奨するチャイルドシートです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

質量グループ	固定具	推奨チャイルドシート	取り付け向き	取り付けシート位置			
				① 助手席	② 後席左	③ 後席中央	④ 後席右
0+	ISO FIX	ISO FIX対応ベビーシート (シートベルト、ISO FIXどちらでも固定できます)	後ろ向き	-	○	-	○
	シートベルト			-	○	-	○
0+	シートベルト	チャイルドセーフティシート	後ろ向き	-	○	-	○
	シートベルト			○	○	-	○
I	シートベルト	ISO FIX対応チャイルドセーフティシート (シートベルト、ISO FIXどちらでも固定できます)	前向き	-	○	-	○
	ISO FIX			-	○	-	○
I	シートベルト		前向き	-	○	-	○
	シートベルト			○	○	-	○
II、III	シートベルト	ジュニアセーフティシート	前向き	○※	○※	-	○※

※：ヘッドレストを取り外してください。

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

1

ヘッドレストを外し（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置きます。

● ヘッドレストの調節のしかた (P.135)

シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



2

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。

チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認します。



警告

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

お子さまの安全のために チャイルドシート

i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

1

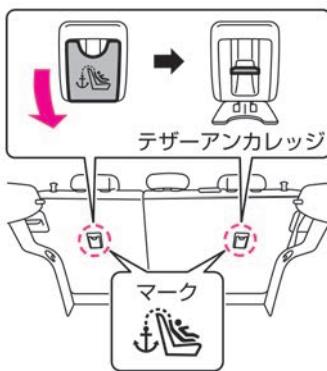
i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXロアアンカレッジは、後席シート左右背もたれのマーク下側にあります。
ヘッドレストを外して（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってロアアンカレッジに固定します。

☞ ヘッドレストの調節のしかた (P.135)



2

テザーアンカレッジは、後席シート背もたれ裏側にあります。
使用するときはカバーを開きます。
テザーアンカレッジにフックを固定し、テザーベルトを締めます。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、後席シートのヘッドレストを取り外す。
(ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合)
- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。
- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカレッジ部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。
チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のために チャイルドシート

安全なドライブのために



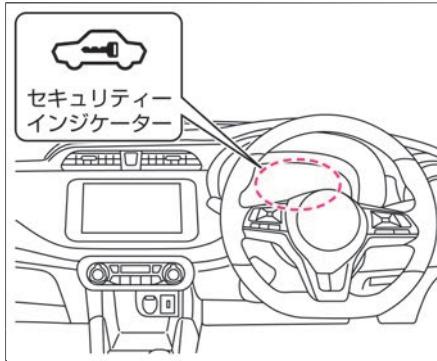
知識

- i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXアンカレッジ（固定装置）は、ロアアンカレッジとテザーアンカレッジの2種類があります。
ロアアンカレッジは背もたれと座面のすき間にあり、テザーアンカレッジは背もたれ裏側にあります。
- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

■ イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外での始動を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、セキュリティーアンジケーター（☞P.412）が点滅します。



アドバイス

- パワースイッチをONにしたときにセキュリティーアンジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。



知識

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。

MEMO

安全なドライブのために

メーターの見かた

計器類

各部名称	P.70
メーター	P.71

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置	P.77
警告灯	P.78
表示灯の表示位置	P.80
表示灯	P.81

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

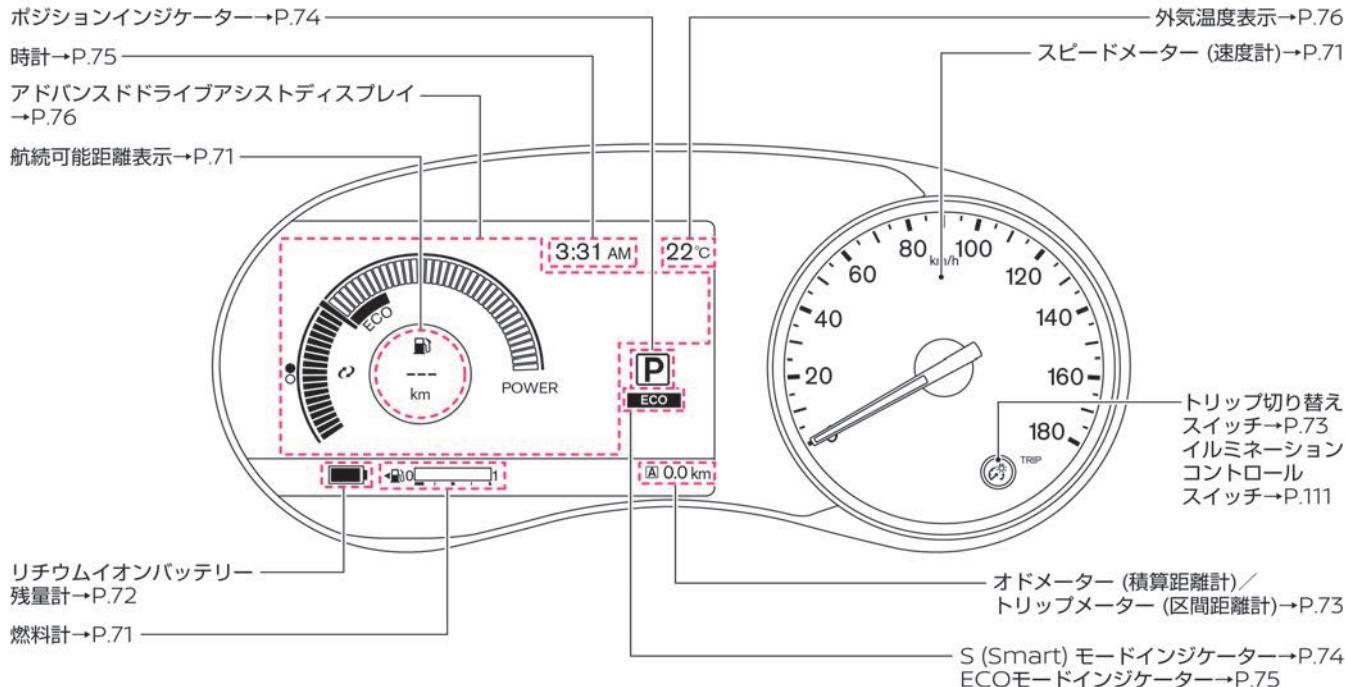
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは	P.82
車両情報画面	P.83
各種設定画面	P.93
走行支援機能画面	P.105
その他の表示機能	P.109

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール	P.111
----------------	-------

各部名称

パワースイッチをONにすると、計器類が表示されます。
それぞれの計器の説明は、参照先のページをお読みください。



メーター

メーターには、スピードメーター（速度計）、リチウムイオンバッテリー残量計、ポジションインジケーターなどがあります。パワースイッチをON にすると表示します。

■ スピードメーター（速度計）

走行速度を表示します。

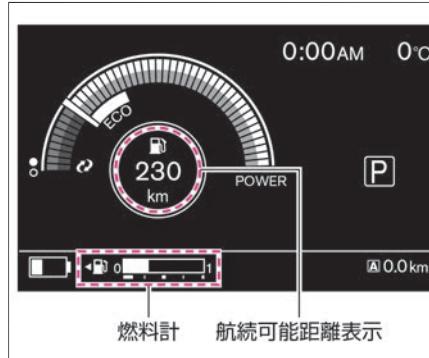
■ 燃料計／航続可能距離表示

燃料計

- 燃料の残量を表示します。
- 燃料タンクの容量は約41l です。

航続可能距離表示

- 現在の燃料残量と平均燃費から、走行可能な距離を表示します。
- ドライブモードやエアコンのON・OFFを切り替えると、その車両状態に応じた航続可能距離が表示されます。
- 燃料残量警告（☞P.417）が表示された後も燃料を補給しないと「---」と表示します。

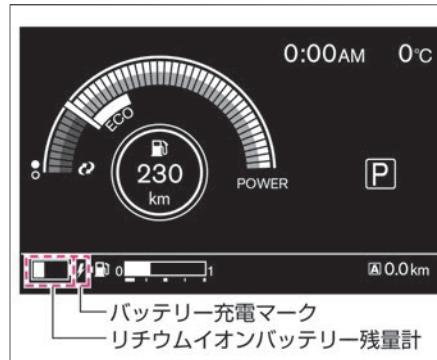


知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示がパワーメーター（☞P.83）画面以外の場合は、燃料計の右側に航続可能距離が表示されます。
- ➤の矢印は燃料補給口が車両左側にあることを示しています。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示されない場合があります。燃料が少なくなってきたら、早めの給油を心がけてください。
- 10 l 以下の給油では、航続可能距離が更新されないことがあります。

リチウムイオンバッテリー残量計

- 現在のリチウムイオンバッテリーの残量をゲージで表示します。
- リチウムイオンバッテリーを充電しているときは、バッテリー充電マークが表示されます。
- リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、黄色く点灯します。



知識

- リチウムイオンバッテリーの温度によって、リチウムイオンバッテリー残量が増減することがあります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイにエネルギーモニターを表示させると、ディスプレイの左下に表示されているリチウムイオンバッテリー残量計は非表示となります。

■ オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

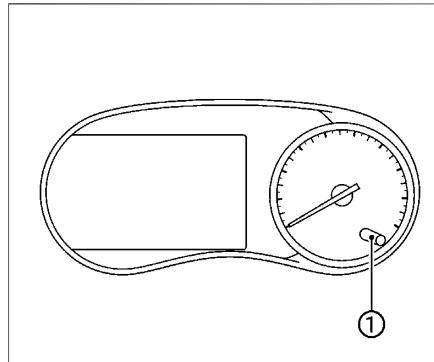
- トリップ切り替えスイッチ①を押すごとに、オドメーター⇒トリップメーター[A]⇒トリップメーター[B]⇒オドメーターの順に切り替わります。

オドメーター（積算距離計）

- 総走行距離をkmで表示します。

トリップメーター（区間距離計）

- リセットしてからの走行距離をkmで表示します。[A]と[B]でそれぞれ使い分けることができます。
- リセットするときは0にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチ①を1秒以上押します。

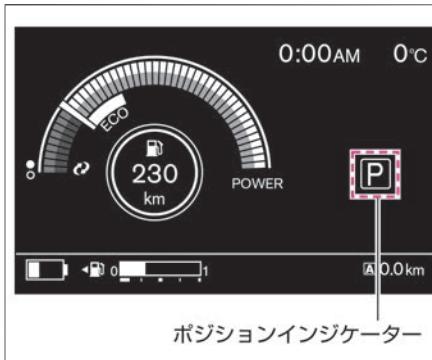


知識

- 12Vバッテリーを外したときは、トリップメーターの[A]と[B]の記憶が消去され戻ります。
- メーター内の後席シートベルト警告灯が点灯しているときはオドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）は表示されません。

■ ポジションインジケーター

- シフトポジションを表示します。



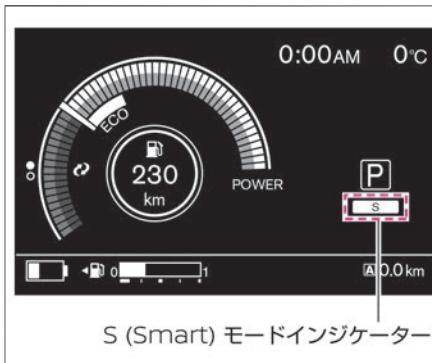
アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けないでください。ポジションがずれたまま走行を続けると、故障の原因となります。なお、適正な位置からずれていると、ポジションインジケーターが点滅します。

■ S (Smart) モードインジケーター

- ドライブモードをS (Smart) モードにすると点灯します。

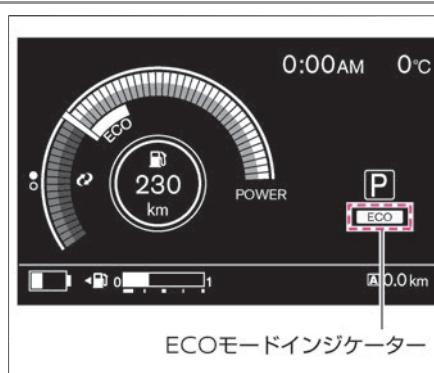
→ e-POWER Drive (P.219)



■ ECOモードインジケーター

- ドライブモードをECOモードにすると点灯します。

☞ e-POWER Drive (P.219)



■ 時計

- 時刻を表示します。 (☞ P.70)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ☰」⇒「時計」⇒「時計調整」を選択すると、時計の調整が行えます。

設定の詳細については、時計をお読みください。

☞ 画面の切り替えかた (P.82)

☞ 時計 (P.100)

知識

- 時計は、12Vバッテリーを外すと記憶が消去されます。12Vバッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。
- 時刻の表示は、12時間表示または24時間表示を選択できます。

外気温度表示

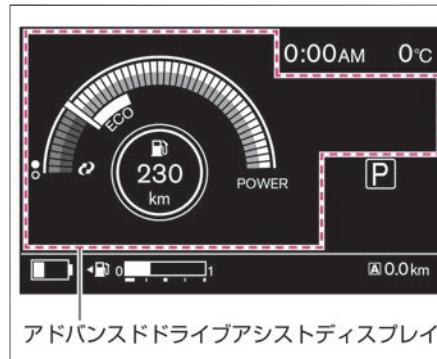
- 外気温を表示します。 (☞P.70)

知識

- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。
 - e-POWERグループ 
 - エコグループ 
 - インフォメーショングループ 
 - 警告 
 - 設定 
 - 走行支援機能画面
 - ソナー機能
 - エコドライブレポート画面



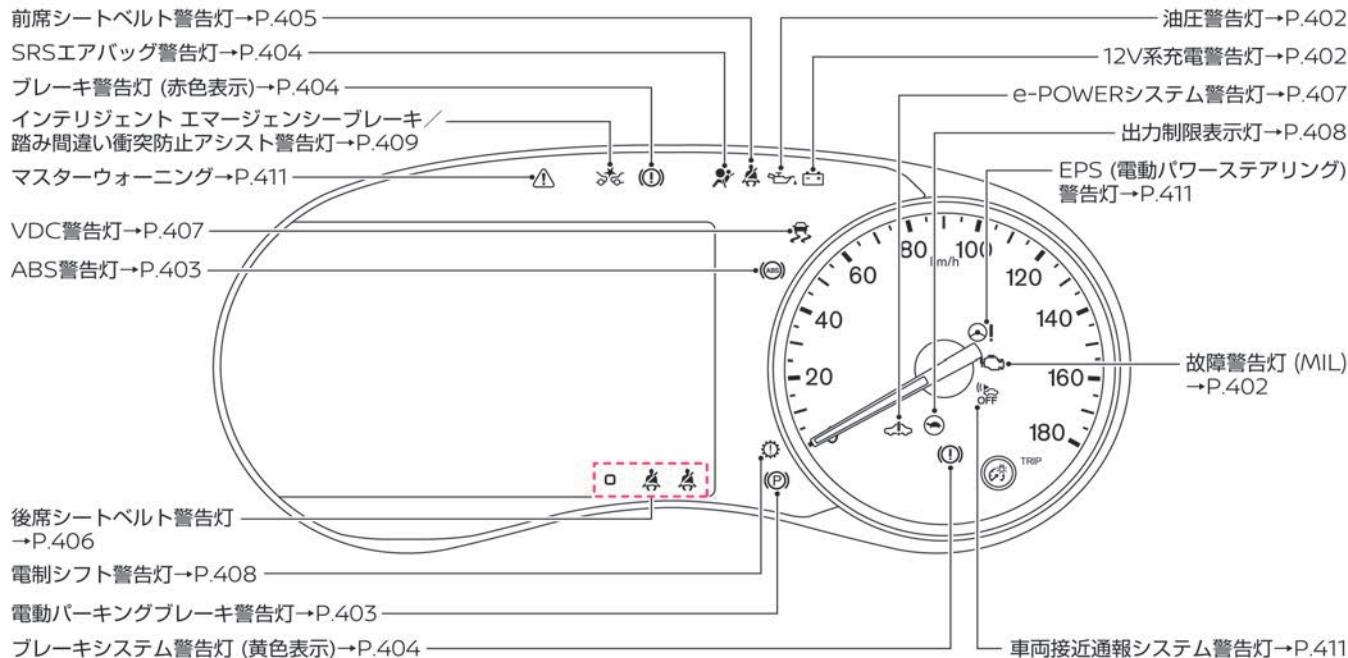
アドバンスドドライブアシストディスプレイについては、(☞P.82)をお読みください。

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置

次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。

通常は警告すべき事象がおこったときに、該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



警告灯

メーターの見かた

警告灯	名称	警告灯	名称
	油圧警告灯 (☞P.402)		故障警告灯 (MIL) (☞P.402)
	12V系充電警告灯 (☞P.402)		ABS警告灯 (☞P.403)
	電動パーキングブレーキ警告灯 (☞P.403)		ブレーキ警告灯 (赤色表示) (☞P.404)
	ブレーキシステム警告灯 (黄色表示) (☞P.404)		SRSエアバッグ警告灯 (☞P.404)
	前席シートベルト警告灯 (☞P.405)		後席シートベルト警告灯 (☞P.406)
	VDC警告灯 (☞P.407)		e-POWERシステム警告灯 (☞P.407)
	出力制限表示灯 (☞P.408)		電制シフト警告灯 (☞P.408)

警告灯

警告灯	名称	警告灯	名称
	インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い 衝突防止アシスト警告灯 (☞P.409)		EPS (電動パワーステアリング) 警告灯(☞P.411)
	車両接近通報システム警告灯 (☞P.411)		マスター ウオーニング (☞P.411)

表示灯の表示位置

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。
通常は事象がおこったときに、該当の表示灯のみ点灯または点滅します。

ヘッドライト上向き表示灯→P.412

インテリジェント エマージェンシーブレーキ／
踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯→P.413

方向指示表示灯→P.412

VDC OFF表示灯→P.412

セキュリティ
インジケーター
→P.412

走行可能表示灯
→P.413

フォグランプ表示灯→P.412

オートブレーキホールド表示灯
(白色／緑色)→P.413

ハイビームアシスト表示灯→P.412

テールランプ表示灯→P.412

表示灯

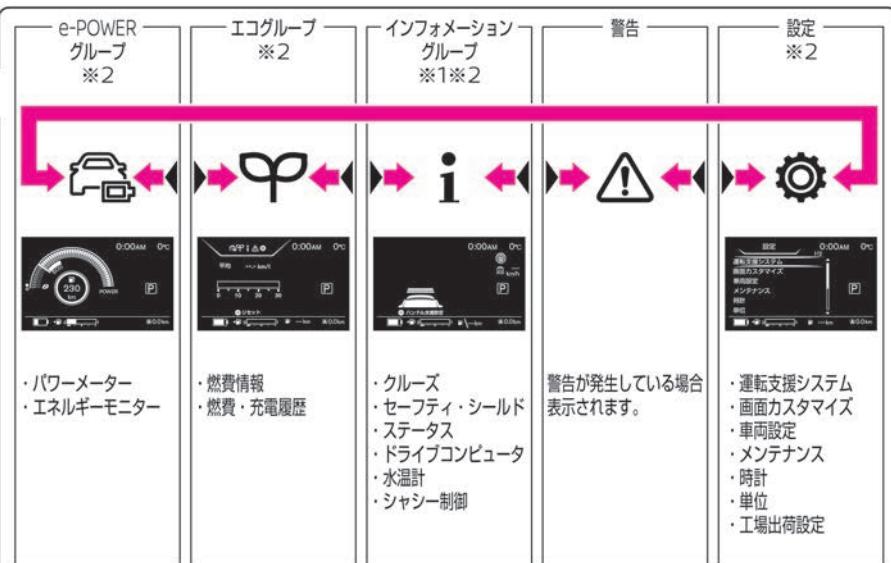
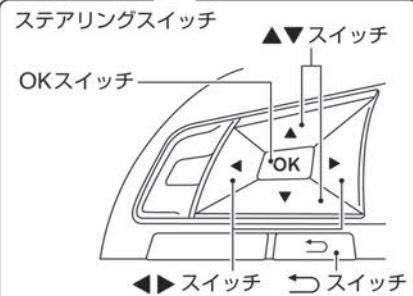
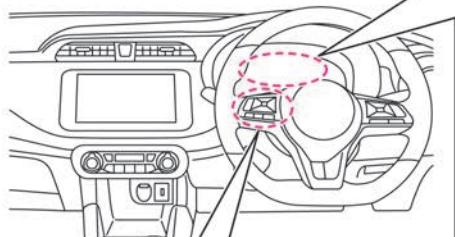
表示灯	名称	表示灯	名称
	方向指示表示灯 (☞ P.412)		ヘッドライト上向き表示灯 (☞ P.412)
	テールランプ表示灯 (☞ P.412)		フォグランプ表示灯 (☞ P.412)
	ハイビームアシスト表示灯 (☞ P.412)		VDC OFF表示灯 (☞ P.412)
	セキュリティーアンジケーター (☞ P.412)		オートブレーキホールド表示灯 (白色) (☞ P.413)
	オートブレーキホールド表示灯 (緑色) (☞ P.413)		走行可能表示灯 (☞ P.413)
	インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯 (☞ P.413)		

アドバンスドドライブアシストディスプレイとは

アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。パワースイッチがONのとき、ハンドル左側にある◀▶スイッチを押すと、e-POWERグループ  (P.83)、エコグループ  (P.87)、インフォメーショングループ  (P.89)、警告  (P.92)、設定  (P.93) の順で表示項目が切り替わります。

画面の切り替えかた

車種により表示できる項目が異なります。



※1 「表示項目選択」で選択したインフォメーショングループ項目を表示します。

※2 ▲▼を押すと項目を選択します。
OKを押すと項目を決定します。

様々な車両情報を表示したり、各種設定をしたりすることができます。

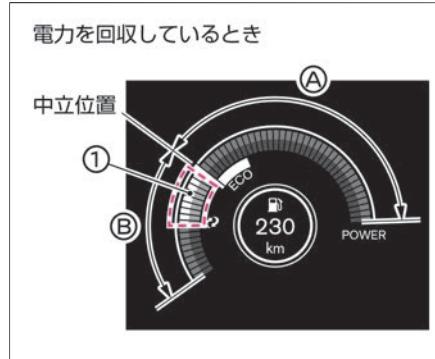
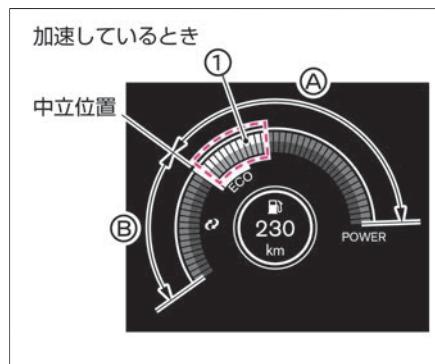
e-POWERグループ

■ パワーメーター

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの $\blacktriangleleft\,\triangleright$ スイッチで、e-POWERグループ \square を選択し、 $\blacktriangle\,\blacktriangledown$ スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは(→P.82)をお読みください。

走行中の出力(加速力)と回生量(電力の回収量)を表示します。

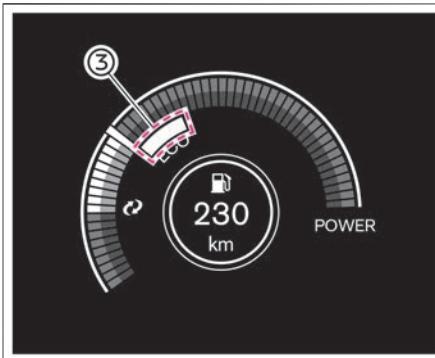
- 一定の速度で走行しているときや加速しているときは、ゲージ①が中立位置より右側Ⓐに表示されます。
- 急加速など、より多くの電力を消費しているときほど、ゲージ①が右側Ⓐに増えています。
- 電力を回収しているときは、ゲージ①が中立位置から左側Ⓑに増えます。ゲージ①が左側Ⓑに増えると、多くの電力を回収していることを表します。



次ページに続く

ECOゾーン

- ゲージ③はECOゾーンです。
- ECOゾーンの範囲を目安に運転すると、電力を抑えられ、エコドライブにつながります。
- ECOゾーンは車速に応じて範囲が変化します。
- ECOゾーンはECOモードとは関係ありません。



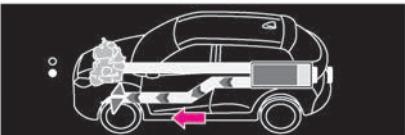
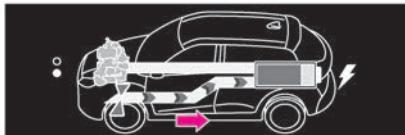
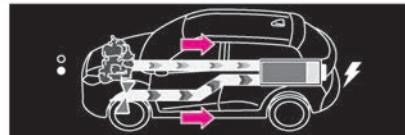
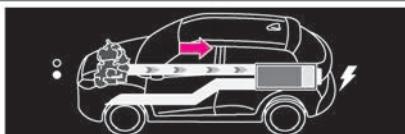
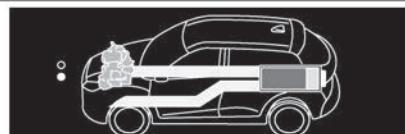
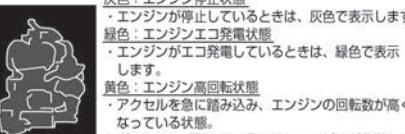
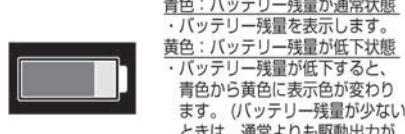
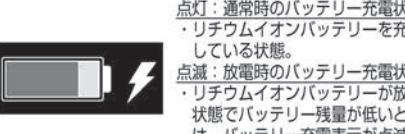
■ エネルギーモニター

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの  スイッチで、e-POWERグループを選択し、 スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (☞P.82) をお読みください。

- エンジン、リチウムイオンバッテリーおよびタイヤ間のエネルギーの流れを表示します。
- 画面は実際の表示とは異なる場合があります。

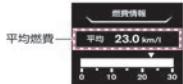
知識

- エンジンからの矢印は、エンジンで発電したエネルギーが流れている状態を示すものです。
- e-POWERシステムでは、発電しなくてもエンジンが作動することがあります。発電していないときは矢印は表示されません。

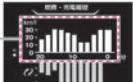
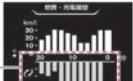
エネルギーモニター		
エンジン表示色	バッテリー表示色	バッテリー充電表示
 <ul style="list-style-type: none"> リチウムイオンバッテリーに蓄えられたエネルギーを使って走行している状態 	 <ul style="list-style-type: none"> 回生ブレーキを使ってリチウムイオンバッテリーを充電している状態 	 <ul style="list-style-type: none"> エンジンと回生ブレーキ、両方のエネルギーで充電している状態
 <ul style="list-style-type: none"> エンジンで発電したエネルギーで、走行と充電の両方をしている状態 エンジンで発電したエネルギーとリチウムイオンバッテリーに蓄えられたエネルギー、両方を使って走行している状態 エンジンで発電したエネルギーを使って走行している状態 	 <ul style="list-style-type: none"> エンジンで発電したエネルギーで、リチウムイオンバッテリーを充電している状態 	 <ul style="list-style-type: none"> エネルギーの流れがない状態
 <p>灰色：エンジン停止状態 ・エンジンが停止しているときは、灰色で表示します。 緑色：エンジンエコ発電状態 ・エンジンがエコ発電しているときは、緑色で表示します。 黄色：エンジン高回転状態 ・アクセルを急に踏み込み、エンジンの回転数が高くなっている状態。 ・ボンネットが開いているため、エンジンが作動している状態。</p>	 <p>青色：バッテリー残量が通常状態 ・バッテリー残量を表示します。 黄色：バッテリー残量が低下状態 ・バッテリー残量が低下すると、青色から黄色に表示色が変わります。（バッテリー残量が少ないときは、通常よりも駆動出力が低下することがあります。）</p>	 <p>点滅：通常時のバッテリー充電状態 ・リチウムイオンバッテリーを充電している状態。 点滅：放電時のバッテリー充電状態 ・リチウムイオンバッテリーが放電状態でバッテリー残量が低いときは、バッテリー充電表示が点滅します。</p>

エコグループ

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの  スイッチで、エコグループ  を選択し、 スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (☞P.82) 、設定例は (☞P.102) 、(☞P.103) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	燃費情報	<ul style="list-style-type: none"> リセットしてからの平均燃費を表示します。平均燃費をリセットするときは、この画面を表示中に、ステアリングスイッチの [OK] スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度ステアリングスイッチの [OK] スイッチを押すとリセットされます。画面の切り替えかたについては (☞P.82) をお読みください。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均燃費は、12Vバッテリー交換後やリセット後は、約500m走行するまでは「---」と表示します。 平均燃費は約30秒ごとに更新されます。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> バー表示が大きくなるように運転するとエコドライブにつながります。

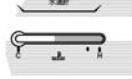
次ページに続く

画面表示	項目	概要	詳細説明
		<ul style="list-style-type: none"> 2分ごとの平均燃費を、最大20分前まで棒グラフで表示します。 右端に現在の瞬間燃費を表示します。 	知識 <ul style="list-style-type: none"> アドバンスドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「エコ情報設定」⇒「燃費履歴リセット」を選択し、ステアリングスイッチの[OK]スイッチを押すと燃費・充電履歴をリセットできます。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 画面の切り替えかた (P.82) ☞ 画面カスタマイズ (P.96)
	燃費・充電履歴	<ul style="list-style-type: none"> 回生ブレーキによってリチウムイオンバッテリーに充電された2分ごとの平均充電電力量を、最大20分前まで棒グラフで表示します。 	知識 <ul style="list-style-type: none"> エンジンで発電した電力量は含まれません。 アドバンスドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「エコ情報設定」⇒「燃費履歴リセット」を選択し、ステアリングスイッチの[OK]スイッチを押すと燃費・充電履歴をリセットできます。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 画面の切り替えかた (P.82) ☞ 画面カスタマイズ (P.96)

■ インフォメーショングループ i (表示項目)

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの で、インフォメーショングループループ を選択し、 を押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (☞P.82) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	クルーズ	<ul style="list-style-type: none"> 走行支援システムの作動状態を表示します。 ステアリングスイッチのプロパイロットスイッチを押すとクルーズ画面に切り替わります。 この画面を表示中に、ステアリングスイッチのスイッチを押すと、プロパイロットのメニュー画面を表示し、ハンドル支援のON・OFFを設定できます。詳しくは運転支援システム(☞P.93)の中の該当項目をお読みください。 	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ プロパイロット (P.239) ☞ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.278) ☞ LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (P.311)
	セーフティ・シールド	<ul style="list-style-type: none"> 走行支援システムのON・OFF状態を表示します。 この画面を表示中に、ステアリングスイッチのスイッチを押すと、走行支援システムのメニュー画面を表示し、各システムのON・OFFを設定できます。詳しくは運転支援システム(☞P.93)の中の該当項目をお読みください。 	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> ☞ LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (P.311) ☞ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.278)
0 km/h	ステータス	<ul style="list-style-type: none"> 走行速度を表示します。 	—

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ドライブコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライブコンピュータを表示します。 リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの[OK]スイッチを押します。その後「リセット」メニューからリセットする項目を選択し、再度ステアリングスイッチの[OK]スイッチを押すとリセットされます。（☞P.82）をお読みください。 	 知識 <ul style="list-style-type: none"> ● ドライブコンピュータの項目 <ul style="list-style-type: none"> - 平均燃費 - 平均車速 - 走行距離 - 走行時間
	水温計	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン冷却水の温度を表示します。 	 警告 <ul style="list-style-type: none"> ● オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。 そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。 詳しくは、オーバーヒートしたとき（☞P.433）をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

車両情報画面

画面表示	項目	概要	詳細説明
	シャシー制御	<ul style="list-style-type: none">● 走行中、次のシステムの作動状態を表示します。<ul style="list-style-type: none">- インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）- オートブレーキホールド- ヒルスタートアシスト● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの OK スイッチを押すと、シャシー制御のメニュー画面が表示されます。シャシー制御のメニュー画面でインテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）の ON・OFFを設定できます。（☞ P.93）をお読みください	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none">● 詳しくは、各システムの説明をお読みください。<ul style="list-style-type: none">- ☞ インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）について (P.231)- ☞ オートブレーキホールド (P.190)- ☞ ヒルスタートアシスト (P.233)

メーターの見かた

次ページに続く

■ 警告 ▲

警告について

- 異常を検知するとマスターオーナリングが点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示します。
警告を一時的に消すときは、OKスイッチを押します。
- 警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

確認のしかた

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの◀▶スイッチで、警告▲を選択すると、異常を検知している警告が確認できます。

警告メッセージの表示画面については、(☞P.414)をお読みください。
ステアリングスイッチの使いかたは(☞P.82)をお読みください。

各種設定画面

運転支援システムのON・OFF設定をはじめ、時計の調整やアラームの設定などができます。
ステアリングスイッチの使いかたは (☞P.82) をお読みください。

■ 設定 ☺ (各種設定画面)

各種設定画面では、次の機能の設定ができます。

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ☺ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 [OK] スイッチで決定することができます。
走行中は操作できません。

☞ 設定例1 (画面カスタマイズ) (P.102)

☞ 設定例2 (オイル/オイルフィルター) (P.103)

■ 運転支援システム

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ☺ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 [OK] スイッチで決定することができます。
走行中は操作できません。

項目1	項目2	項目3	機能
ハンドル支援			<ul style="list-style-type: none"> ● ハンドル支援のON・OFFを設定します。 ☞ <u>プロパイロット (P.239)</u>
側方支援	LDW（車線逸脱警報）		<ul style="list-style-type: none"> ● LDW（車線逸脱警報）のON・OFFを設定します。 ☞ <u>LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) (P.311)</u>
	LDP（車線逸脱防止支援）		<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) のON・OFFを設定します。 ☞ <u>LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) (P.311)</u>
エマージェンシーブレーキ	フロント		<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを設定します。 ☞ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.278)</u> ☞ <u>踏み間違い衝突防止アシスト (P.289)</u>

アドバンスドドライブアシストディスプレイ
各種設定画面

メーターの見かた

項目1	項目2	項目3	機能
駐車支援	ソナー	フロントソナー	<ul style="list-style-type: none"> ● フロントソナーのON・OFFを設定します。 ⇒ ソナー機能 (P.109)
		リアソナー	<ul style="list-style-type: none"> ● リアソナーのON・OFFを設定します。 ⇒ ソナー機能 (P.109)
		ソナー画面切替	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害物に近づいたときの、割り込み表示ON・OFFを設定します。 ⇒ ソナー機能 (P.109)
		ボリューム	<ul style="list-style-type: none"> ● ボリューム（警報音（ブザー））の大きさを、大、中、小から選択します。 ⇒ ソナー機能 (P.109)
		センサー感度	<ul style="list-style-type: none"> ● ソナー感度を、遠距離、中距離、近距離から選択します。障害物までの最長距離が110%（遠距離）100%（中距離）90%（近距離）で変更できます。中距離を選択したときの障害物までの最長距離は（⇒ P.332）をご参照ください。 ⇒ ソナー機能 (P.109)
		移動物検知★	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動物 検知のON・OFFを設定します。 ⇒ 移動物 検知機能について (P.330)
ふらつき警報			<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント DA（ふらつき警報）のON・OFFを設定します。 ⇒ インテリジェント DA（ふらつき警報） (P.319)

アドバンスドドライブアシストディスプレイ
各種設定画面

項目1	項目2	項目3	機能
走行時間	---分／---分		<ul style="list-style-type: none"> ● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。 ▲▼スイッチで分が切り替わり、[OK]スイッチを押すと決定します。 <ul style="list-style-type: none"> — 最大360分まで設定できます。 — 設定時間は30分単位で切り替わります。 (↩ スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。)
	リセット		「はい」を選択すると、走行した時間をリセットできます。
凍結注意			<ul style="list-style-type: none"> ● 外気温が3°C以下になったときに表示する凍結注意表示のON・OFFを設定します。
シャシー制御		コーナリングスタビリティアシスト	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）機能のON・OFFを設定します。  インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）について (P.231)

次ページに続く

■画面カスタマイズ

ステアリングスイッチの  スイッチで設定  を選び、 スイッチを押して選択します。 スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
表示項目選択		<ul style="list-style-type: none"> インフォメーショングループ  (表示項目) で表示させたい項目を選択することができます。ステアリングスイッチの  スイッチで項目を切り替えて、表示させたい項目で スイッチを押します。 <p> インフォメーショングループ (表示項目) (P.89)</p>
エコ情報設定	エコドライブレポート	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブレポートのON・OFFを設定します。OFFにすると、エコドライブレポートが表示されなくなります。 <p> エコドライブレポートについて (P.110)</p>
	燃費履歴リセット	<ul style="list-style-type: none"> ステアリングスイッチの スイッチを押すと、燃費履歴をリセットできます。 <p>燃費・充電履歴 ( P.88)</p>
クルーズ画面切替		<ul style="list-style-type: none"> クルーズ画面切替のON・OFFを設定します。ONにすると、プロパイロットのシステムをONにしたとき、画面がクルーズ画面に切り替わります。 <p> プロパイロット (P.239)</p>

各種設定画面

項目1	項目2	機能
メータ演出	スイープ演出	<ul style="list-style-type: none"> ● スイープ演出のON・OFFを設定します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  知識 </div> <p>スイープ演出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● e-POWERシステムを始動すると、スピードメーターの指針が一度最大値付近を指し、戻ります。
	ディスプレイ演出	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイ演出のON・OFFを設定します。OFFにすると、e-POWERシステム始動時のアニメーションが表示されなくなります。

次ページに続く

各種設定画面

■ 車両設定

ステアリングスイッチの  スイッチで設定  を選び、  スイッチを押して選択します。  スイッチで決定することができます。
走行中は操作できません。

項目1	項目2	項目3	機能
ライト/照明	ウェルカムヘッドライト	ウェルカム&フェアウエル	● ウェルカムライト機能、フェアウエル機能がONになります。 ウェルカムライト機能(フェアウエル機能付) ( P.211)
		ウェルカム	● ウェルカムライト機能がONになります。 ウェルカムライト機能(フェアウエル機能付) ( P.211)
		フェアウエル	● フェアウエル機能がONになります。 ウェルカムライト機能(フェアウエル機能付) ( P.211)
		OFF	● ウェルカムライト機能、フェアウエル機能がOFFになります。 ウェルカムライト機能(フェアウエル機能付) ( P.211)
	自動室内灯		● キー連動室内照明システム機能のON・OFFを設定します。  マップランプの使いかた (P.348)  ルームランプの使いかた／ラゲッジルームランプについて (P.350)
	オートライト感度調整		● インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の点灯タイミングを、より早い、早い、標準、遅いから選択します。  AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた (P.203)
方向指示器	コンフォートフラッシャー		● コンフォートフラッシャー機能のON・OFFを設定します。  方向指示器の使いかた (P.210)
ロック	I-keyエントリー		● ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを設定します。  ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた (P.121)

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

各種設定画面

項目1	項目2	項目3	機能
ワイパー	車速連動		<ul style="list-style-type: none"> ● 車速連動機能のON・OFFを設定します。 ☞ フロントワイパーの使いかた (P.215)
	リバース連動		<ul style="list-style-type: none"> ● リバース連動機能のON・OFFを設定します。 ☞ リヤワイパーの使いかた (P.216)
ドアミラー	自動開閉OFF		<ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック連動自動格納機能がOFFになります。 ☞ ドアロック連動自動格納機能について (P.156)
	イグニッションON連動		<ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック連動自動格納機能がONになります。パワースイッチをONにしたときにドアミラーが開く設定になります。 ☞ ドアロック連動自動格納機能について (P.156)
	ドアアンロック連動		<ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック連動自動格納機能がONになります。リモコンまたは、ドアハンドルのスイッチで解錠すると、ドアミラーが開く設定になります。また、パワースイッチをONにしたときもドアミラーが開きます。 ☞ ドアロック連動自動格納機能について (P.156)

メーターの見かた

■メンテナンス

ステアリングスイッチの  スイッチで設定  を選び、 スイッチを押して選択します。 スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目	機能
オイル/オイルフィルター	<ul style="list-style-type: none"> [メンテナンス]では、次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を超えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。(定期交換部品等の交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。)
タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> スイッチで距離が切り替わり、スイッチを押すと決定します。（スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。） 500km～30,000kmまでの範囲内で距離を設定できます。 設定距離は500km単位で切り替わります。（長押しすると1,000km単位で切り替わります。） リセットを選択してスイッチを押すと走行した距離をリセットできます。
ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> 機能を停止することができます。 <ul style="list-style-type: none"> 停止する場合は、距離表示を「---」に合わせスイッチを押し決定します。

■時計

ステアリングスイッチの  スイッチで設定  を選び、 スイッチを押して選択します。 スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目	機能
時計調整	<p>時計を調整します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スイッチを押すと「時」調整画面に切り替わります。 ② スイッチを押して「時」を調整します。 ③ スイッチを押すと「分」調整画面に切り替わります。 ④ スイッチを押して「分」を調整します。 ⑤ スイッチを押すと時刻が設定されます。 <p>(スイッチを押すと前の調整画面に戻ります。)</p>

アドバンスドドライブアシストディスプレイ 各種設定画面

項目	機能
12H/24H	● OK スイッチを押すと12時間表示、24時間表示を切り替えます。

■ 単位

ステアリングスイッチの  スイッチで設定  を選び、 スイッチを押して選択します。**OK**スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目	機能
距離／燃費	● 距離と燃費の表示単位を km, km/l または km, l/100km に切り替えます。
温度	● 温度の単位を °C または °F に切り替えます。

■ 工場出荷設定

ステアリングスイッチの  スイッチで設定  を選び、 スイッチを押して選択します。**OK**スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

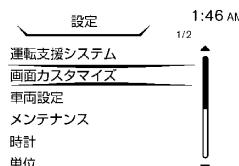
機能
工場出荷時の設定にリセットすることができます。
● 「はい」を選択すると、各種設定が初期化されます。

設定例1（画面カスタマイズ）

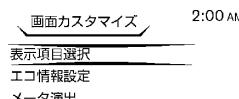
- 1 ステアリングスイッチの **◀▶** スイッチを数回押し、[設定]画面を表示します。



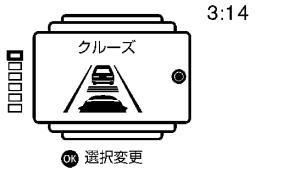
- 2 ステアリングスイッチの **▲▼** スイッチで、[画面カスタマイズ]を選択し、**OK**スイッチを押して決定します。



- 3 ステアリングスイッチの **▲▼** スイッチで、[表示項目選択]を選択し、**OK**スイッチを押して決定します。



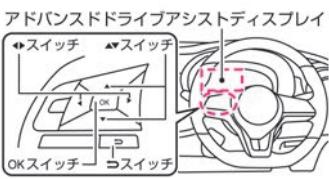
- 4 表示させたい項目を、ステアリングスイッチの **▲▼** スイッチで選択し、**OK**スイッチを押して選択すると表示できるようになります。



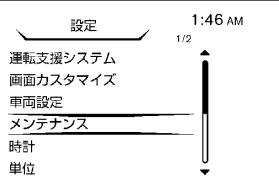
アドバンスドドライブアシストディスプレイ 各種設定画面

設定例2（オイル/オイルフィルター）

- 1 ステアリングスイッチの スイッチを数回押し、[設定]画面を表示します。



- 2 ステアリングスイッチの スイッチで、[メンテナンス]を選択し、OKスイッチを押して決定します。



- 3 ステアリングスイッチの スイッチで、[オイル/オイルフィルター]を選択し、OKスイッチを押して決定します。



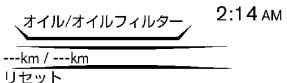
知識

- 手順4でリセットを選択してステアリングスイッチのOKスイッチを押すと走行した距離をリセットできます。（“---km /---km”の左側の表示）

各種設定画面

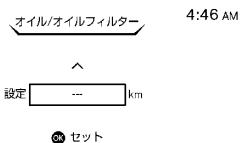
4

[オイル/オイルフィルター] 画面でステアリングスイッチの **OK** スイッチを押して、次回メンテナンスを行う距離の設定画面に進みます。（“---km/---km”の右側の表示）
※ “---km/---km” の左側は、設定以降走行した距離を表示します。



5

次回メンテナンスを行う距離を設定できます。(手順4 “---km/---km” 右側の表示)
ステアリングスイッチの **▲▼** スイッチで、距離を切り替え、**OK** スイッチを押して決定します。
設定距離は500km単位で切り替わります。
(長押しすると1,000km単位で切り替わります。)
※機能を停止する場合は、距離表示を「---」にあわせ **OK** スイッチを押し決定します。

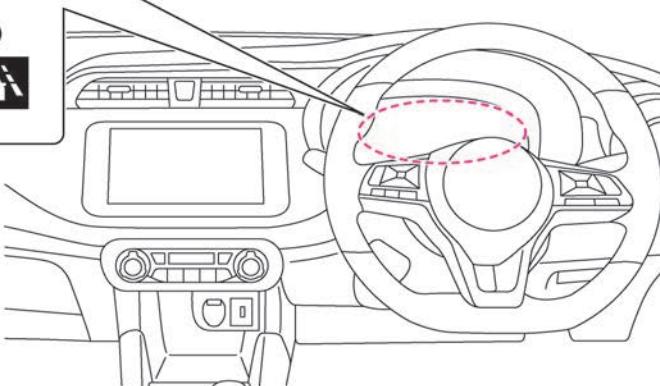


アドバンスドドライブアシストディスプレイ
走行支援機能画面

メーターの見かた



- ・プロパイロット表示
- ・インテリジェント エマージェンシーブレーキ表示
- ・LDW (車線逸脱警報) 表示
- ・インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 表示



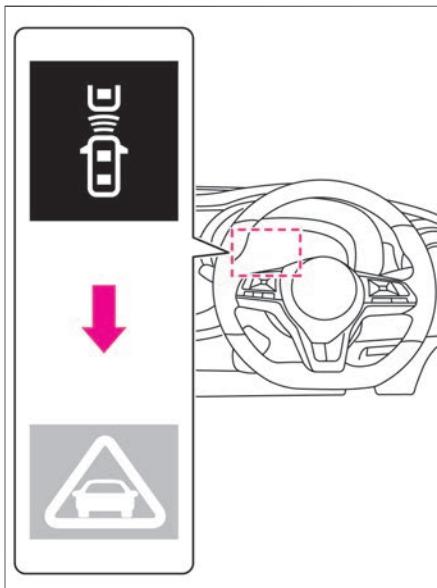
※1 LDW (車線逸脱警報)、インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 作動時は①が表示されます。

次ページに続く

インテリジェント エマージェンシーブレーキ表示

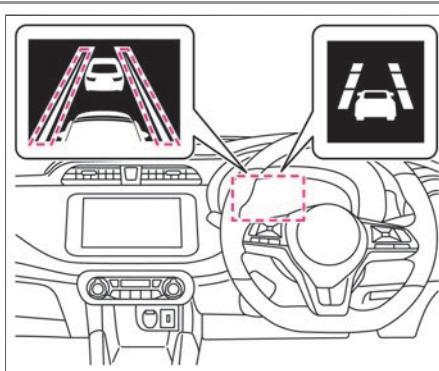
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音（ブザー）とともにメーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）がオレンジ色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音（ブザー）とともに軽いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときは、衝突の直前に強いブレーキがかかります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキについての（☞P.278）をお読みください。



■ LDW（車線逸脱警報）表示

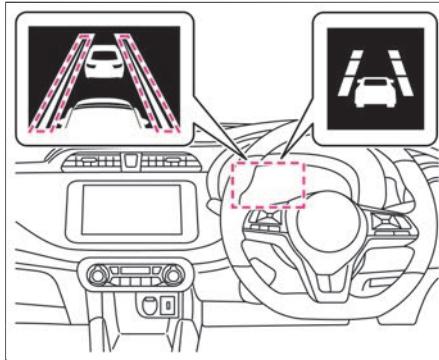
- 車両が右側もしくは、左側のレーンマークに近づいたと判断すると、オレンジ色に点滅します。
- LDW（車線逸脱警報）については、
(☞P.311)をお読みください。



■ インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) 表示

- 車両が右側もしくは、左側のレーンマークに近づいたと判断すると、オレンジ色に点滅します。
- インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) に異常があると、オレンジ色に点灯します。

インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) については、
(☞P.311)をお読みください。

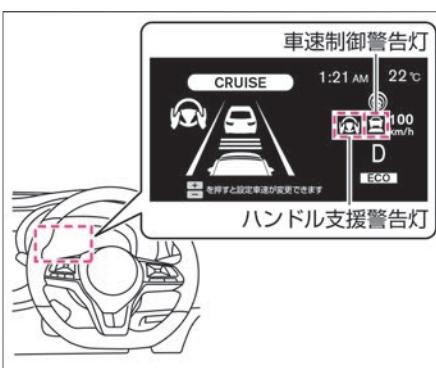


アドバイス

- 表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。e-POWERシステム再始動後もオレンジ色に点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

プロパイロット表示

- プロパイロットスイッチ  をONにする
と表示します。
- プロパイロットの作動状態を表示しま
す。
- プロパイロットに異常があると、ハンド
ル支援警告灯および車速制御警告灯がオ
レンジ色に点灯します。
プロパイロットについては、(☞P.239)
をお読みください。



アドバイス

- 警告灯がオレンジ色に点灯したとき
は、安全な場所に停車し、一度e-
POWERシステムを停止してから再始
動してください。
e-POWERシステム再始動後もオレン
ジ色に点灯し続けるときは、シス
テムの異常が考えられます。通常走行
には支障はありませんが、日産販売
会社で点検を受けてください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ その他の表示機能

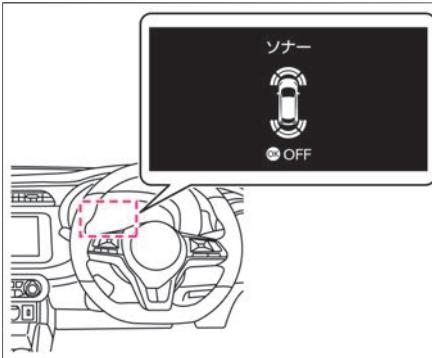
車両と障害物との距離感を、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示することができます。

ソナー機能

- 車両が障害物に近づくと、メーター内ディスプレイのソナー表示色が緑→黄→赤の順に切り替わり、警報音（ブザー）が鳴ります。

表示色	警報音（ブザー）
緑	ピッ、ピッ、ピッ…
黄	ピピピピピ…
赤	ピー

- 次の場合にソナー機能が作動します。
 - シフトポジションを **R** にしたとき
 - シフトポジションが **D** または **B** で障害物を検知したとき（10km/h 以下）
 - ソナー表示中にステアリングスイッチの **OK** スイッチまたは **♪** スイッチを押すと、一時的にソナー機能を停止できます。
- ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
 - シフトポジションを **R** 以外にしてから再度 **R** にしたとき
 - 12km/h以上で走行したとき
- ソナーについては、（☞P.483）をお読みください。



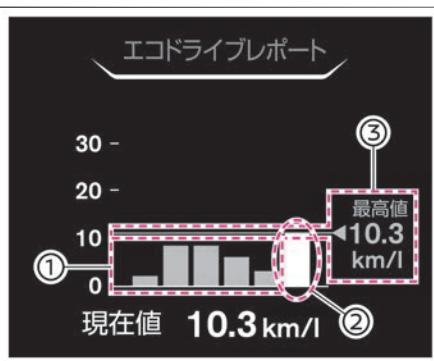
知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ☰」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」⇒「ソナー」を選択すると、ソナー機能の各種設定が行えます。設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
 - ☞画面の切り替えかた (P.82)
 - ☞運転支援システム (P.93)
- ソナー表示の見かたについては、（☞P.332）をお読みください。
- ソナーが障害物を検知すると、ソナー画面が割り込み表示します。割り込み表示はOFFにすることができます。
 - ☞運転支援システム (P.93)

■ エコドライブレポートについて

パワースイッチをOFFにするとエコドライブレポート画面を表示します。
エコドライブレポートは、約10分以上走行したときに表示します。

- ① **履歴**
過去5回分の平均燃費を表示します。
- ② **現在値**
今回の平均燃費を表示します。
- ③ **最高値**
過去のベスト燃費を表示します。



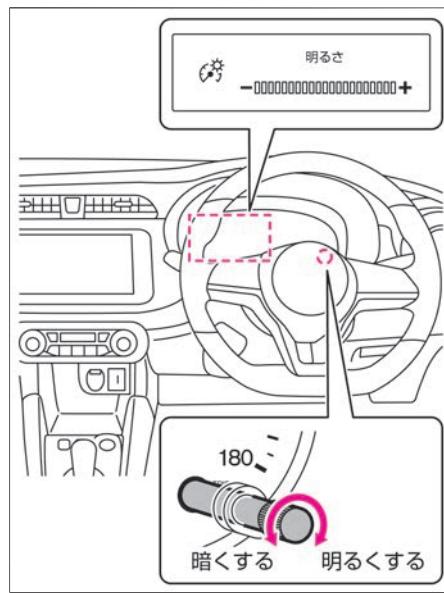
知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「画面カスタマイズ」⇒「エコ情報設定」⇒「エコドライブレポート」を選択すると、「エコドライブレポート」の表示・非表示を切り替えることができます。
設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。
 - ➡ 画面の切り替えかた (P.82)
 - ➡ 画面カスタマイズ (P.96)

メーターの明るさの調節のしかた

パワースイッチがONのとき、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを左右に回して調整します。
- 右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。
- 明るさのレベル表示は、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されます。



知識

- 明るさのレベルが最大または最小に達すると、音が鳴ります。
- 12Vバッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

MEMO

メーターの見かた

各部の操作

キー

キー（インテリジェントキー）	P.114
キー（インテリジェントキー）に関する注意事項	P.117

ドアの施錠と解錠

ドア	P.121
バックドア	P.128

シートの調節

前席シート	P.133
後席シート	P.136

ハンドルの調節

ハンドル	P.140
------	-------

ミラーの調節

ルームミラー★	P.141
インテリジェント ルームミラー★	P.142
ドアミラー	P.154

窓ガラスの開閉

パワーウィンドー	P.157
----------	-------

燃料補給口の開閉

燃料補給口	P.160
-------	-------

エアコンの操作

オートエアコン	P.163
吹き出し口	P.166
エアコンを使うときに注意すること	P.167

オーディオ★

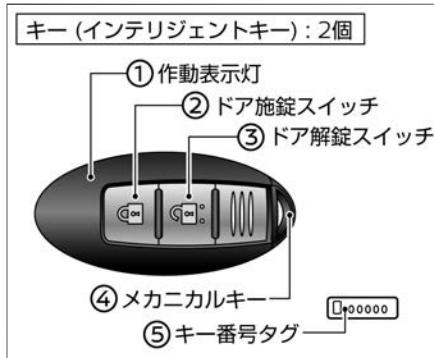
オーディオの使いかた	P.171
ステアリングスイッチ	P.173

キー（インテリジェントキー）

キーを携帯するだけでドアの施錠・解錠およびe-POWERシステムの始動操作ができます。
ドアの施錠・解錠のしかたは（ P.121）、始動操作は（ P.176）をお読みください。

各部名称と機能

- ① 作動表示灯
②または③のスイッチを押すと点滅します。
- ② ドア施錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアが施錠されます。
- ③ ドア解錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアが解錠されます。
- ④ 内蔵キー（メカニカルキー）
キーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
 [内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた \(P.393\)](#)
- ⑤ キー番号タグ
キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。



知識

- キーは2個ついています。
- キーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- 作動表示灯が点滅しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。
-  [キー（インテリジェントキー）の電池交換 \(P.471\)](#)
- キーの電池が切れても、ドアの施錠・解錠やe-POWERシステムの始動を行うことができます。
-  [ドアが開かないときは \(P.393\)](#)
-  [キー（インテリジェントキー）で始動できないときは \(P.395\)](#)

キー

キー（インテリジェントキー）

■ キー（インテリジェントキー）に関する機能について

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
アンサーバック機能のブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。(施錠時約10秒、解錠時約30秒)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「ウェルカムヘッドライト」を選択すると、ウェルカムライト機能(フェアウェル機能付)の設定を変更することができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

☞ [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)

☞ [画面カスタマイズ \(P.96\)](#)

キー連動室内照明システム

- ドアを解錠すると、室内照明（ラゲッジルームランプを除く）が約15秒間点灯します。
詳しくは、室内灯（☞ P.348）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内灯」を選択すると、キー連動室内照明システム機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

☞ [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)

☞ [画面カスタマイズ \(P.96\)](#)

次ページに続く

オートロック機能

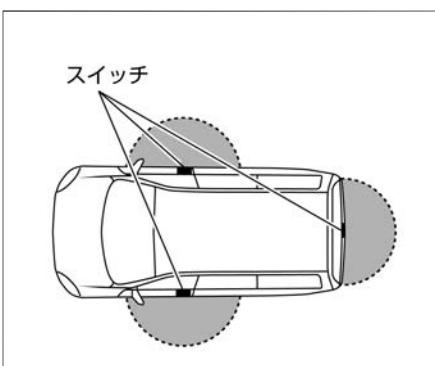
- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったときは、盗難防止のため全ドアが施錠されます。
(施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。)

ドアの施錠・解錠の作動範囲

作動範囲は各ドアハンドルのスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は各ドアハンドルのスイッチを中心に球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

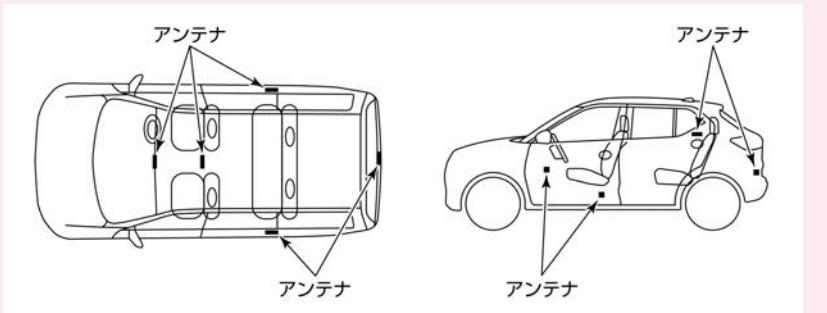
キーが作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアハンドルのスイッチを押して施錠・解錠できます。

- ドアハンドルのスイッチを押してドアを施錠したあとは、ドアが確実に施錠されていることを確認してください。
- ドアハンドルのスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずパワースイッチをOFFにして施錠してください。



警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に着装部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、e-POWERシステム始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。
万ースイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

次ページに続く

 アドバイス

- キーは運転者が必ず携帯してください。
- キーは、必ず内蔵キー（メカニカルキー）を内蔵した状態で携帯してください。
- キーはドアポケットに入れないとください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、ドアハンドルのスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。
 - 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
 - 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
 - キーが金属製の物に接したり、覆われたりしているとき
 - 近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
 - キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
 - コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
 - 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
 - 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）
 - 日本国内のみで使用する



アドバイス

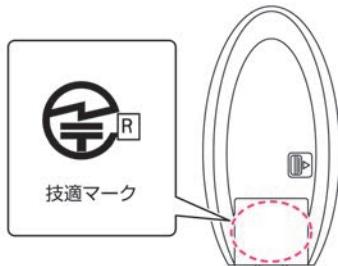
- キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。
☞ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.471)
- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - 長時間高温になる場所に置かない
 - 分解しない
 - 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えるたりしない
 - 水にぬらさない
 - 超音波洗浄器などにかけない
 - 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけるない
 - テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない
- キーの認証技適マークはキーの裏面で確認できます。

次ページに続く

キー

キー（インテリジェントキー）に関する注意事項

アドバイス

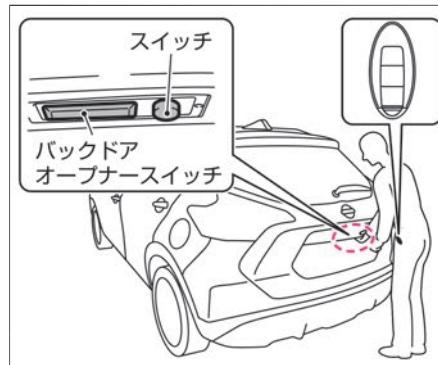
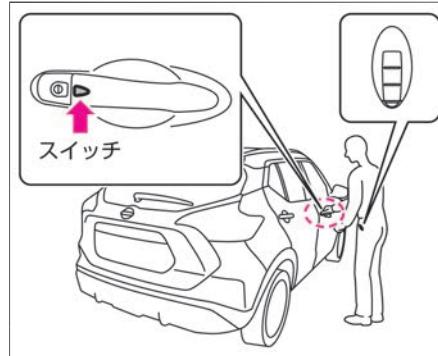


ドアハンドルのスイッチやキー（インテリジェントキー）のスイッチで施錠・解錠します。
施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。

ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた

- キーを携帯し、運転席、助手席ドアまたはバックドアにあるスイッチを押すと全ドアが施錠・解錠します。
- キーが各スイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。
- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



アドバイス

- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれるため、施錠できないことがあります。

知識

- アドバンスドドライバアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ロック」⇒「i-keyエントリー」を選択すると、ドアハンドルスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。

③画面の切り替えかた (P.82)
③画面カスタマイズ (P.96)

- 次のような場合は、作動しません。
 - パワースイッチがONのとき
 - ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
 - キーが施錠・解錠の作動範囲内にないとき
 - キーの電池が切れているとき

オートロック機能

次ページに続く

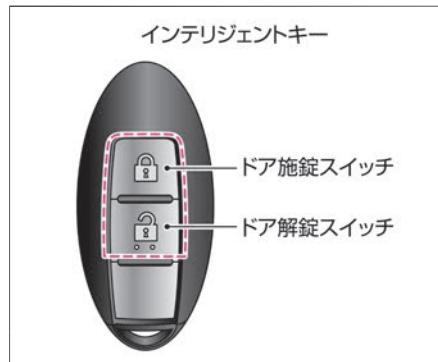
 知識

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドアハンドルのスイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

キーのスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 全ドアを施錠するときは、ドア施錠スイッチ  を押します。
- 全ドアを解錠するときは、ドア解錠スイッチ  を押します。
- 作動範囲は、車両から約1mです。
- 施錠・解錠をしたときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



知識

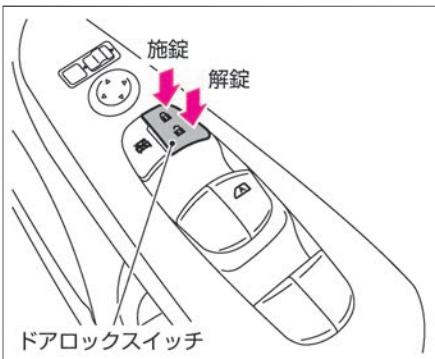
- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
 [キー（インテリジェントキー）の電池交換 \(P.471\)](#)
- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。
 [内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた \(P.393\)](#)
- 次のような場合は、キーのスイッチを押しても作動しません。
 - パワースイッチがONのとき
 - ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
(解錠のみできます)
 - 車から離れすぎているとき
 - キーの電池が切れているとき

オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドア解錠スイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

■ ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、ドアロックスイッチを施錠側  に押します。
- 解錠するときは、ドアロックスイッチを解錠側  に押します。

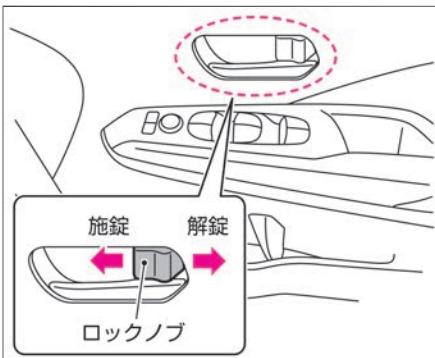


知識

- ドアロックスイッチを押すと、全ドアが施錠または解錠します。

■ ロックノブでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを施錠側に押し込みます。
- 解錠するときは、解錠するドアのロックノブを解錠側に引ききます。



知識

- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

■ キーを使用しない施錠のしかた

前席ドア

- ロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

後席ドア

- ロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。



知識

- キーが車室内にあるときは、運転席ロックノブまたはドアロックスイッチで施錠できません。

キー封じ込み防止機能

- キーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。ドアを閉めたときや施錠しようとしたときに、キーが車室内に残っているとブザーでお知らせたり、全ドアを自動的に解錠したりします。

チャイルドセーフティドアロック

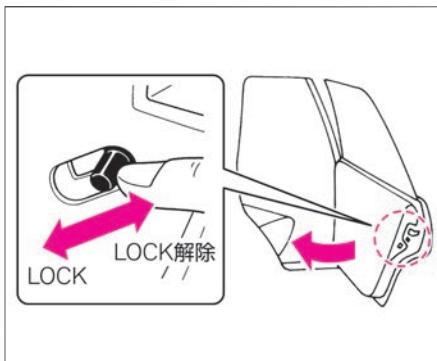
後席シートに乗せたお子さまなどが、誤って後席のドアを開けないようにロックできます。

ロックするには

- 後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

ドアを開けるには

- 解錠しているとき、車外からドアハンドルを引きます。



知識

- 車室内から開けるときは、ドアロックノブが解錠していることを確認し、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

ドアに関する注意事項

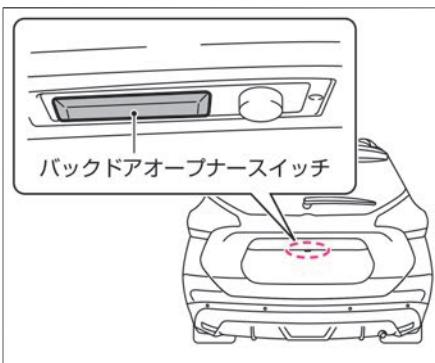


警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉める。
走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ バックドアの開けかた

- 解錠されているときは、バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。
- 施錠されているときは、キー（インテリジェントキー）を携帯してバックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。（全ドアも同時に解錠します。）

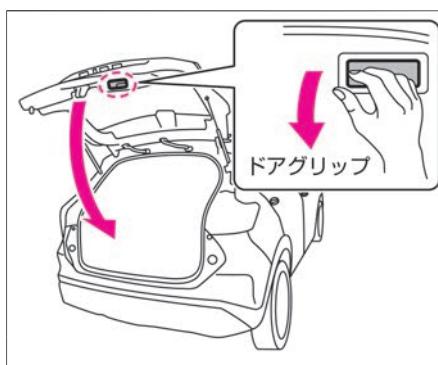


アドバイス

- バックドアオープナースイッチを押したまま、キーのスイッチでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。
- 手を添えないと全開にならない場合は、ガスステーの保持力が低下しているおそれがあります。お近くの日産販売会社にて、早めの点検を受けてください。

■ バックドアの閉めかた

- ドアグリップを持ってバックドアを降ろし、確実にロックするまで押しつけます。



アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



次ページに続く

バックドアに関する注意事項



警告

- バックドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にバックドアを確実に閉める。
走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。
急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 走行前にバックドアが確実に閉まっていることを確認する。
バックドアを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

ドアの施錠と解錠 バックドア

⚠ 注意

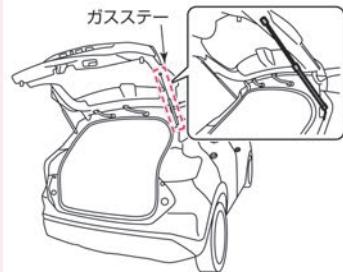
- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。必ず外から押して閉めてください。
- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。
重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、必ず全開にする。
途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。
風にあおられ、急に閉まることがあります。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

バックドアガスステーについて

- バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。
 - ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
 - ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない
- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。
手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

次ページに続く

⚠ 注意



シートの調節のしかた

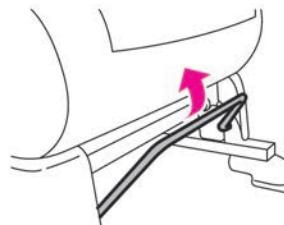


- 背もたれの角度調節 (リクライニング)
● レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。



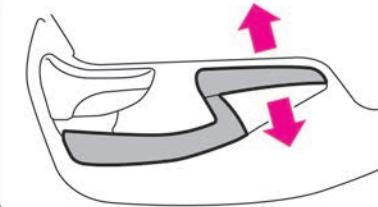
■ 前後位置の調節 (スライド)

- レバーを引いたまま、調節したい方向にシートを動かします。



■ 上下位置の調節 (運転席／リフター)

- 引き上げると高くなります。
- 押し下げると低くなります。



警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、
背もたれを支えながら調節する。

⚠ 注意

顔や身体にあたり、思わぬケガをするおそれがあります。

- シートの下に手を入れるときは注意する。

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。



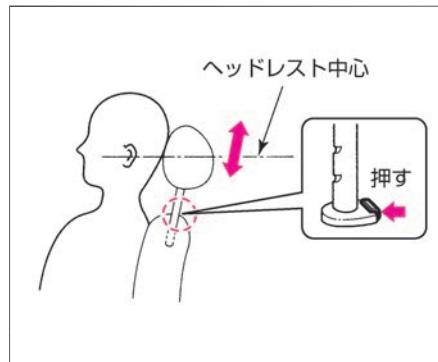
アドバイス

- 助手席にお子さまや小柄な方を乗せたり、クッションなどを使用すると、シートベルトリマインダーが正常に作動しなくなるおそれがあります。
前席シートベルトリマインダー
(⇒ P.405)

■ ヘッドレストの調節のしかた

ヘッドレストの中心が、耳の高さになる位置に調節します。

- 高くするときは、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外したまま走行しない。
万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

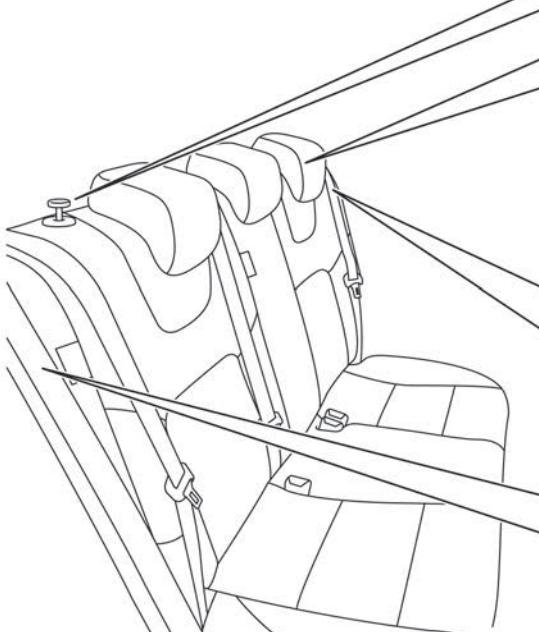
⚠ 注意

- 取り外しボタンが飛び出た状態の位置で使用しない。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

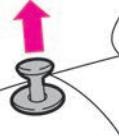
- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

シートの調節のしかた



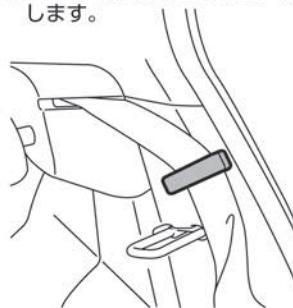
■ 背もたれの倒しかた

- ノブを引きながら、背もたれを前方に倒します。



■ クリップ

- シートを折りたたむときに使用します。



警告

- シートは必ず走行前に調節する。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。挟まれてケガをするおそれがあります。

知識

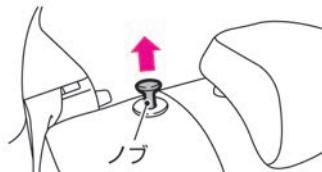
- 約15km/h以上で走行中、後席の乗員がシートベルトを着用していないとき、または着用しているシートベルトを外すと、後席シートベルトリマインダー（☞P.406）が作動します。

シートの折りたたみかた

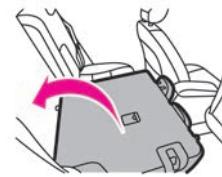
- 1 シートベルトが外れていることを確認してからシートベルトをクリップで留めます。



- 2 折りたたみたい方のノブを引きながら、背もたれを前に倒します。



- 3 元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。
※背もたれを元に戻したとき、ノブの赤い部分が見える場合は、シートが正しくロックされていません。



警告

- シートは必ず固定する位置で使用する。

注意

- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれで挟み込んでいないことを確認する。挟み込まれていると、シートベルトが正しく着用できません。



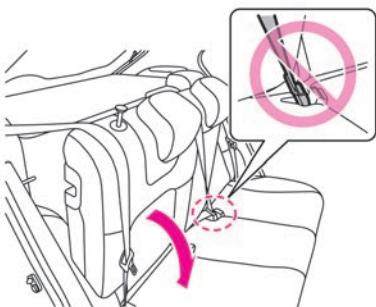
アドバイス

- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたむと、物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。シートを倒すときは十分に注意してください。

次ページに続く

 アドバイス

- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意してください。
- 前席シートに当たりシートが折りたためないときは、ヘッドレストを格納するか、前席シートの前後位置を調節してください。
- 後席シート中央のシートベルトを差し込んだまま運転席側シートの背もたれを倒さないでください。後席シート中央のシートベルトが破損するおそれがあります。



■ ヘッドレストの使いかた

- ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。
 - 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
 - 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。

⚠ 注意

- ヘッドレストは、ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認する。
格納状態では機能が十分に発揮できません。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

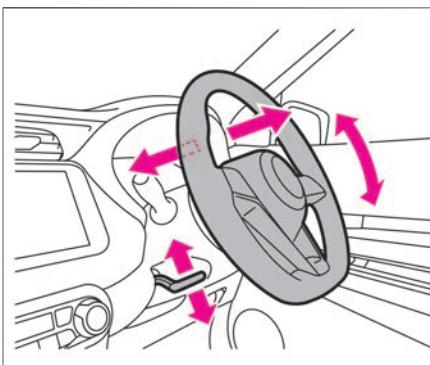
- 脱着のしかたは、前席シートと同じです。
 [ヘッドレストの調節のしかた \(P.135\)](#)

ハンドルの調節 ハンドル

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節してください。

■ ハンドル位置の調節のしかた

- ハンドル左下のレバーを押し下げ、ハンドルを前後・上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。

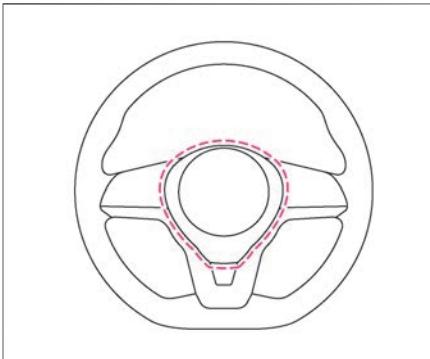


警告

- ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ホーンの鳴らしかた

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。



ミラーの調節 ルームミラー★

ルームミラーは、後方が十分確認できるように、正しい運転姿勢で座ってから調節してください。

ルームミラーの調節のしかた

- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。
- 夜間など後続車のヘッドライトがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。
- 昼間など通常走行時は、防眩切り替えレバーを元の位置に戻してお使いください。



警告

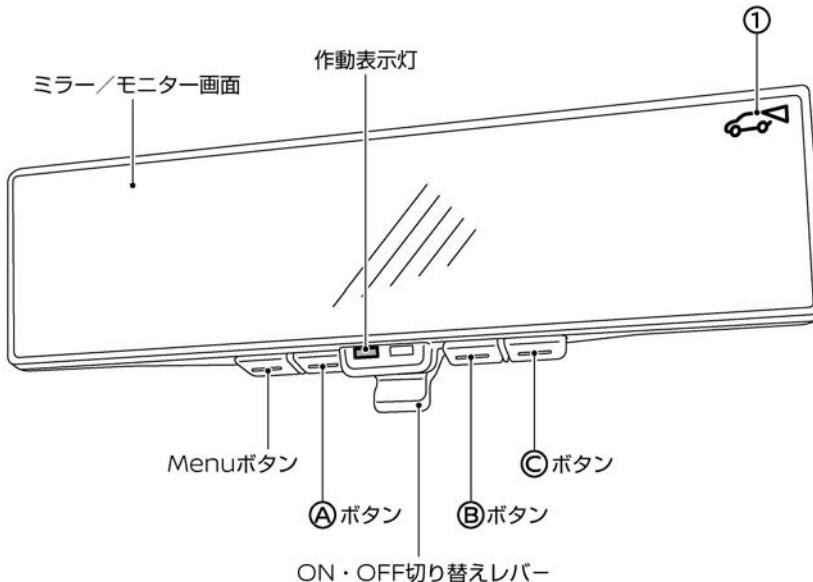
- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行う。
走行中にミラーを調節したり、不必要に防眩へ切り替えたりしていると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

インテリジェント ルームミラー★

乗員、ヘッドレスト、積載物などでさえぎられがちなルームミラーの後方視界をクリアに保ちます。車室内の状況に関わらず、車両後方にあるカメラの画像をルームミラーに映し出します。ON/OFF切り替えレバーでミラー状態とモニター表示状態を切り替えることができます。

インテリジェント ルームミラーモードのとき、インテリジェント アラウンドビューモニターを表示させることができます。

インテリジェント ルームミラーの使いかた



注意

- 走行前に、ルームミラーの調節を必ず行う。
ルームミラーモード（ミラー状態）にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、インテリジェント ルームミラーモード（モニター表示状態）にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。
- インテリジェント ルームミラーモードのときに作動表示灯が消灯したら、すみやかにルームミラーモードに切り替える。
再度インテリジェント ルームミラーモードにしても点灯しない場合、システムの異常が考えられます。日産販売会社にご相談ください。

知識

ルームミラーモード

- ミラーとして使用します。

インテリジェント ルームミラーモード

- モニターとして使用します。

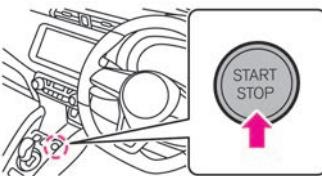


知識

(インテリジェント ルームミラー
モードのときは作動表示灯が点灯
し、①が表示されます。)

次ページに続く

1 パワースイッチをONにします。



2 インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引きます。
(作動表示灯が点灯)



3 インテリジェント ルームミラーモードに切り替わり、モニターに車両後方の画像が表示されます。
インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、モニター画面がOFFになり、ルームミラーモードとして使用できます。

知識

- 周囲の明るさにより見づらかったり、まぶしく感じたときはインテリジェント ルームミラーモードをOFFにし、ルームミラーモードでご使用ください。
- パワースイッチがONのときにⒶボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面が表示されます。
☞ インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★(P.322)

■ インテリジェント ルームミラーの画像調節

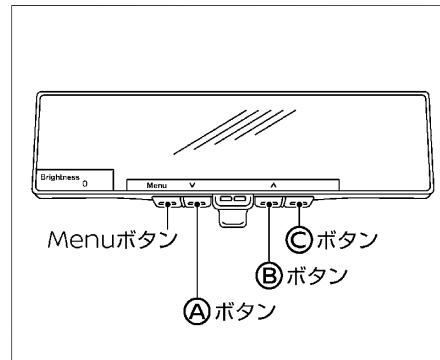
インテリジェント ルームミラーモードで、インテリジェント アラウンドビューモニター画面を表示していないときにモニター画像の各種調節ができます。

Menuボタンを押すと調節できる項目が表示されます。Ⓐ・Ⓑボタンで選択し、Ⓒボタンで調節する項目を決定します。

■ Brightness (明るさ)

モニター画像の明るさを調節します。

- Ⓐボタンを押すと、画面が暗くなります。
- Ⓑボタンを押すと、画面が明るくなります。
- 調節幅：-8（暗い）～+8（明るい）

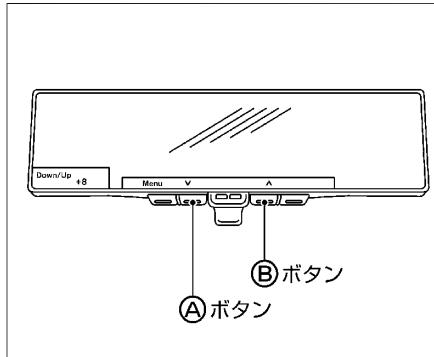


次ページに続く

■ Down/Up (下／上)

モニター画像の上下位置を調節します。

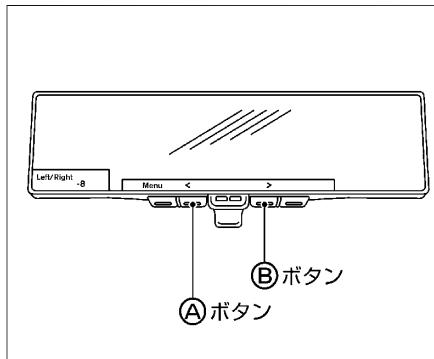
- ①ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- ②ボタンを押すと、画像が上に移動します。
- 調節幅 : -8 (下方向) ~+8 (上方向)



■ Left/Right (左／右)

モニター画像の左右位置を調節します。

- ①ボタンを押すと、画像が左に移動します。
- ②ボタンを押すと、画像が右に移動します。
- 調節幅 : -8 (左) ~+8 (右)



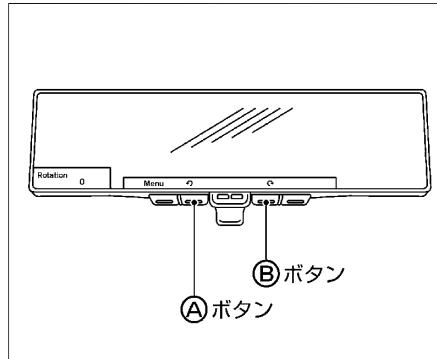
ミラーの調節

インテリジェント ルームミラー★

■ Rotation (回転)

モニター画像位置の回転調節をします。

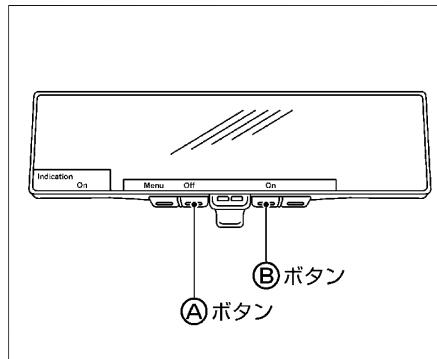
- ①ボタンを押すと、画像が左に回転します。
- ②ボタンを押すと、画像が右に回転します。
- 調節幅：-8（左回り）～+8（右回り）



■ Indication (インジケーター)

モニター文字表示の表示・非表示を設定します。

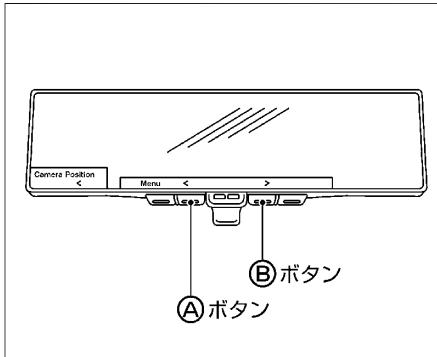
- ①ボタンを押すと、モニター文字表示が非表示になります。
- ②ボタンを押すと、モニター文字表示が表示されます。



■ Camera Position (カメラ表示位置)

インテリジェント アラウンドビューモニター画面の表示位置を切り替えます。

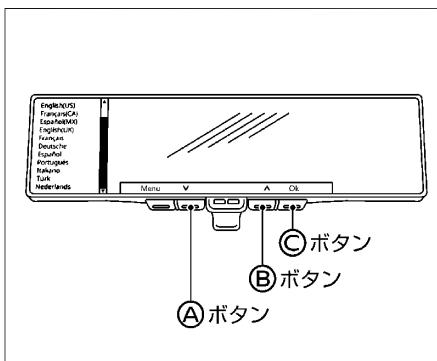
- ①ボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面がミラーの左側表示になります。
- ②ボタンを押すと、インテリジェント アラウンドビューモニター画面がミラーの右側表示になります。



■ Language (言語)

表示させる言語を切り替えます。

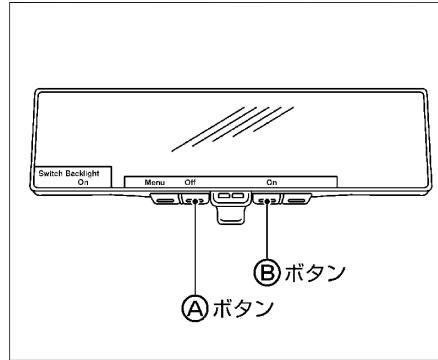
- ①・②ボタンで選択し、③ボタンで決定します。



■ Switch Backlight (スイッチ照明)

スイッチの照明のON・OFFを設定します。

- ①ボタンを押すと、スイッチの照明がOFFになります。
- ②ボタンを押すと、スイッチの照明がONになります。



■ License (ライセンス)

ライセンス情報が表示されます。

次ページに続く

インテリジェント ルームミラー使用時の注意事項



警告

- あらかじめ死角範囲を確認する。
インテリジェント ルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしない。
異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し日産販売会社にご相談ください。
- 走行中に操作しない。
走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけない。
破損や車両火災の原因となります。



注意

- モニターを凝視しない。
 - 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 太陽や後方車両のヘッドライトなどの強い光源がカメラに入ると、インテリジェント ルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。



アドバイス

- e-POWERシステムが停止している間にインテリジェント ルームミラーを長時間使用すると12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- 無線機のアンテナをインテリジェント ルームミラー近くに取り付けないでください。無線機の電波により、インテリジェント ルームミラーの映像に乱れが出ることがあります。
- ボタンを強く押しすぎたり、レバーを強く操作したりすると故障の原因となります。また、ミラー本体が落下するおそれがあります。
- ミラーを上下20度、左右30度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。
- ミラー本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 車両後方についているカメラやカメラカバーに無理な力をかけないでください。カメラが外れたり、故障するおそれがあります。
- 外部光による影響でモニターが見えにくいときは、ルームミラーモード（ミラー状態）にして使用してください。
- LED光源を使用した照明の一部が映った場合、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 外部環境の乱反射により、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 素早い動きにはモニター表示が追従できない場合がありますが、故障ではありません。
- ルームミラーとは後方の見えかたが異なります。インテリジェント ルームミラーの機能を過信せず、直接後方を確認するなど、責任のある運転を心がけてください。
- モニターの明るさを明るく調節し過ぎると、運転中に目が疲れことがあります。明るさを適切に調節してください。

次ページに続く



アドバイス

- 雨天時はリヤワイパーを併用してください。リヤワイパーを併用してもカメラ映像が不鮮明の場合、リヤワイパーゴムの劣化を確認してください。
- リヤワイパー使用中は、カメラ前をリヤワイパーが通過した際に、画面がちらつくよう見える場合がありますが、故障ではありません。
- カメラ映像が不鮮明な場合は、インテリジェント ルームミラーカメラ前面のバックドアガラスを清掃してください。清掃してもカメラ映像が不鮮明な場合は、ガラス面に油膜が付いているおそれがあります。油膜取りを使用して清掃してください。
☞ 外観リヤ (P.3)
☞ インテリジェント ルームミラーのお手入れ★ (P.487)
- バックドアガラスがくもった場合は、リヤウインドーデフオッガーを使用し、バックドアガラスのくもりを取ってください。くもりが完全に取れるまでルームミラーモードで使用してください。
☞ リヤガラスのくもりの取りかた (P.432)
- インテリジェント ルームミラーのモニターが熱を帯び、高温になることがあります
が、故障ではありません。
- 遠いものや暗いときは色が認識しにくいことがありますが、故障ではありません。
- インテリジェント ルームミラーのお手入れについては（☞ P.487）をお読みください。
- 体調などによりインテリジェント ルームミラーモードの映像に焦点が合うまでに時間をする場合があります。
- インテリジェント ルームミラーの前方を塞がないでください。モニターの明るさ調整やカメラ映像の切り替えができないことがあります。
- インテリジェント ルームミラーモードのとき、インテリジェント ルームミラーが高温になると明るさが低下したり、映像が表示されない場合があります。

インテリジェント ルームミラー★



アドバイス

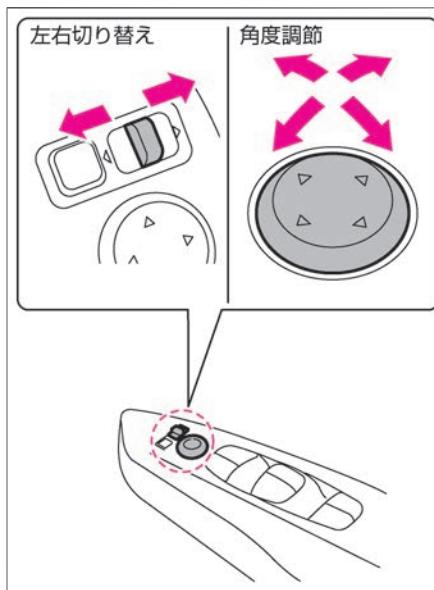
- インテリジェント ルームミラー モードのとき、インテリジェント ルームミラーが低温になるとカメラ映像が遅れることができます。

ミラーの調節 ドアミラー

パワースイッチがONまたはOFFでACC状態のときに操作できます。
ACC状態については、オートACC機能（P.181）をお読みください。

ドアミラーの角度調節のしかた

- 左右切り替えスイッチを、調節したいミラーの方に動かします。
- 角度調節スイッチを前後左右に押して、鏡面角度を調節します。



警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

ドアミラーの格納のしかた

- スイッチを押すと、左右のミラーが格納します。
- スイッチをもう一度押すと、元の位置に戻ります。



注意

- ミラーが動いているときは手を触れない。
手を挟んだり、ミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しない。
後方確認ができないため危険です。



アドバイス

- 手動でミラーを開閉しないでください。手動で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手動で開閉してしまったときは、走行前にスイッチで開閉操作を行ってください。

知識

- スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉するとパワースイッチをONにしたとき、格納スイッチの位置によりミラーが動き出すことがあります。

次ページに続く

■ ドアロック連動自動格納機能について

ドアの施錠に連動させ、ミラーを格納することができます。ドアミラー格納スイッチが押し込まれていない状態で使います。

- リモコンまたは、ドアハンドルのスイッチで施錠すると、左右のミラーが格納されます。
- パワースイッチをONにすると、左右のミラーが開きます。
(アドバンスドドライブアシストディスプレイで、リモコンまたはドアハンドルのスイッチで解錠すると、左右のミラーが聞く設定に変更できます。)

知識

- ドアミラー格納スイッチが押し込まれているときは、ドアロック連動自動格納機能は作動しません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「車両設定」⇒「ドアミラー」を選択すると、ドアロック連動自動格納機能の設定を変更することができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

-  画面の切り替えかた (P.82)
-  車両設定 (P.98)

■ ドアミラーヒーター★の使いかた

- パワースイッチがONのとき、リヤウインドーデフォッガースイッチ ( P.432) を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し、霜やくもりが取れます。

窓ガラスの開閉

パワーウィンドー

パワースイッチがONのとき操作できます。

パワーウィンドーの開けかた、閉めかた

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチおよび後席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。

開けるには

- スイッチを軽く押すと、押している間だけ開きます。

閉めるには

- スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

自動開閉するには

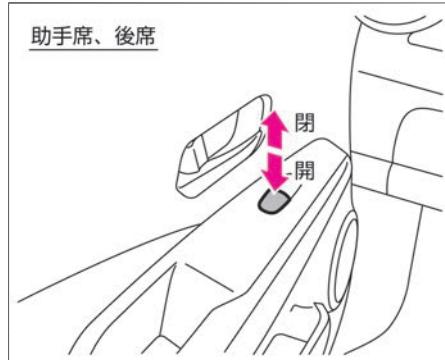
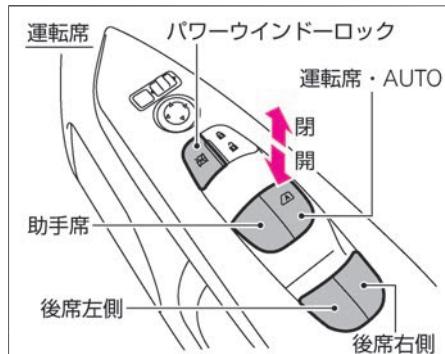
運転席の窓ガラスはワンタッチで自動開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

開閉操作をロックするには

お子さまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

- パワーウィンドーロックスイッチを押し込むと、運転席以外の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すとロックが解除されます。



警告

- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。

- 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまにはパワーウィンドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウィンドーロックスイッチを押し込んでください。
- 窓ガラスを開閉するときはお子様に声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。
- 車から離れるときはパワースイッチをOFFにし、キーとお子さまを



警告

車室内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

キーOFF後作動機構

- 運転席の窓ガラスは、パワースイッチをOFFにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアまたは助手席ドアを開けると、窓ガラスの開閉はできなくなります。

■ 挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスをワンタッチで閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まるとき、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。



注意

- 指などを挟まないように注意する。
窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感じできない領域があります。



知識

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

■ 正常に作動しないとき

運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

- e-POWERシステムを始動します。
- スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
- スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
- 正常に作動することを確認し、正常に作動しないときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。



アドバイス

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

燃料補給口

燃料補給口は助手席側の車両後方にあります。

燃料の補給

- 燃料タンクの容量は、約41ℓです。

エンジン型式	指定燃料
HR12DE	無鉛レギュラーガソリン



アドバイス

- 指定以外の燃料は補給しないでください。



知識

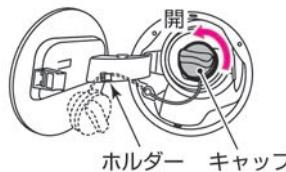
- 燃料が少なくなるとアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されます。
警告メッセージ (☞ P.417)

燃料補給のしかた

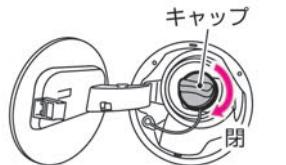
- 1** 運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。



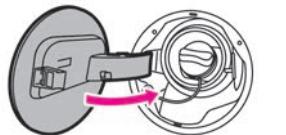
- 2** キャップを左にゆっくり回して開けます。
補給時、キャップのひもはリッド裏側のホルダーに引っ掛けます。



- 3** 閉めるときは、キャップを“カチッ”と、音がするまで右に回して閉めます。



- 4** リッドを閉めます。



!**警告**

- キャップは確実に閉める。
閉まってないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しない。

燃料補給時の注意事項



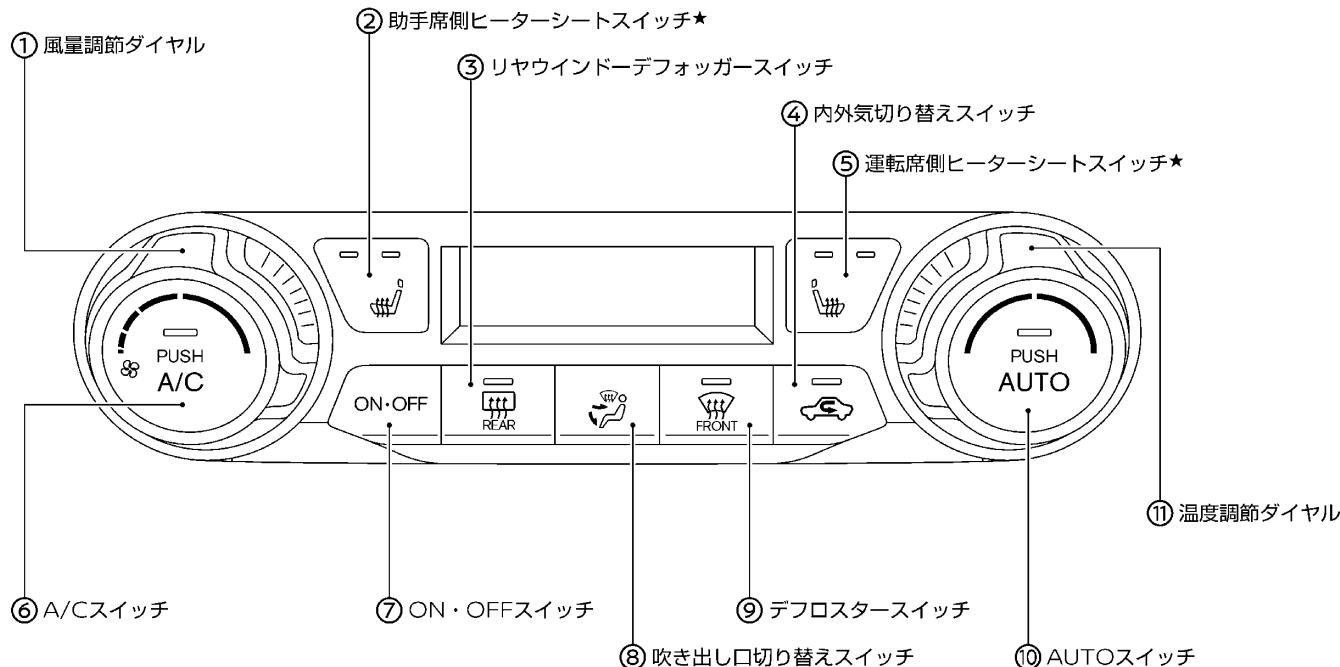
警告

- 燃料補給時は、次のことを必ず守る。
 - e-POWERシステムを停止する
 - 車のドアや窓を閉める
 - タバコなどの火気を近づけない
 - 気化した燃料を吸わない
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去する。
放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行う。
作業中に車室内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外す。
急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。
給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしない。
継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守る。

エアコンの操作 オートエアコン

冷房、暖房の切り替え、吹き出し口、風量の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。また、内気循環／外気導入自動調節モードに設定することで、内気循環／外気導入を自動調節します。

各スイッチの名称と機能



エアコンの操作

オートエアコン

- ① **風量調節ダイヤル**
ダイヤルを回して風量を切り替えます。
- ② **助手席ヒーターシートスイッチ★ (☞P.364)**
スイッチを押すごとに、Hi→Lo→OFF→Hiの順に切り替わります。
- ③ **リヤウインドーデフォッガースイッチ (☞P.432)**
バックドアガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動して、霜やくもりが取れます。
- ④ **内外気切り替えスイッチ**
スイッチを押すごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。（内気循環のとき、スイッチの表示灯が点灯します。）
- ⑤ **運転席ヒーターシートスイッチ★ (☞P.364)**
スイッチを押すごとに、Hi→Lo→OFF→Hiの順に切り替わります。
- ⑥ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能のON・OFFを切り替えます。
- ⑦ **ON・OFFスイッチ**
オートエアコンのON・OFFを切り替えます。
- ⑧ **吹き出し口切り替えスイッチ (☞P.166)**
吹き出し口を切り替えます。
- ⑨ **デフロスタースイッチ (☞P.431)**
フロントガラスのくもりが取れます。
- ⑩ **AUTOスイッチ**
自動制御に切り替えます。冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。
- ⑪ **温度調節ダイヤル**
ダイヤルを回して設定温度を切り替えます。（18.0°C～32.0°C）

知識

- 温度調節ダイヤルを回して設定温度を32.0°Cに切り替えると、エンジンを制御して車室内が早く暖まるように暖房を優先するモードに切り替わります。

オートでの使いかた

- | | | |
|---|---|--|
| 1 | AUTOスイッチを押します。
(スイッチの表示灯が点灯) | |
| 2 | 温度調節ダイヤルを回して、設定温度を調節します。
右回し：設定温度を上げる
左回し：設定温度を下げる | |
| 3 | A/Cスイッチの表示灯が消灯しているときは、
A/Cスイッチを押します。 (スイッチの表示灯が点灯)
A/Cスイッチ点灯時：冷房・除湿機能ON | |
| 4 | 内外気切り替えスイッチを約2秒間押し続けます。
スイッチの表示灯が2回点滅すると自動制御モードに切り替わります。 | |

知識

- オートで使用中に風量の調節または吹き出し口の切り替えを行うとAUTOスイッチの表示灯は消灯しますが、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。また、内気循環／外気導入が自動制御モード中に内外気切り替えスイッチを押すと、マニュアルモードに切り替わります。（スイッチの表示灯が点灯の場合は内気循環、消灯の場合は外気導入の状態になります。）

エアコンの操作 吹き出し口

吹き出し口切り替えスイッチまたはデフロスター スイッチを押すごとに吹き出し口が切り替わります。

各部の操作



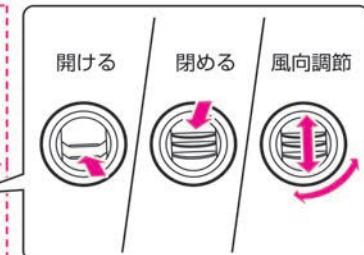
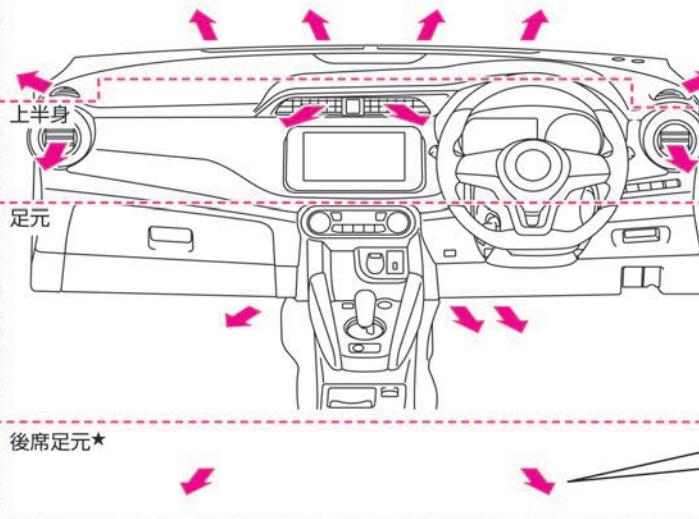
吹き出し口の位置

窓のくもり取り

上半身

足元

後席足元★



後席吹き出し口の位置



エアコンを使うときに注意すること

■ エアコンに関する注意事項

⚠ 警告

- 内気循環で長時間使用しない。
窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険なため、一時的にご使用ください。

⚠ 注意

- 吹き出し風を長時間連続して身体にあてない。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間あたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- デフロスタースイッチをONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

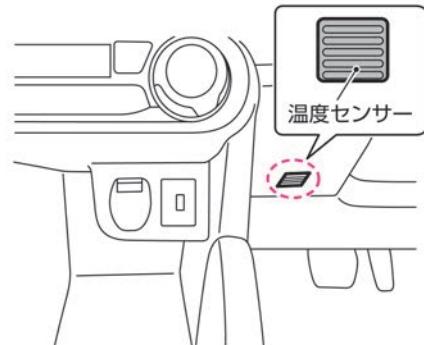
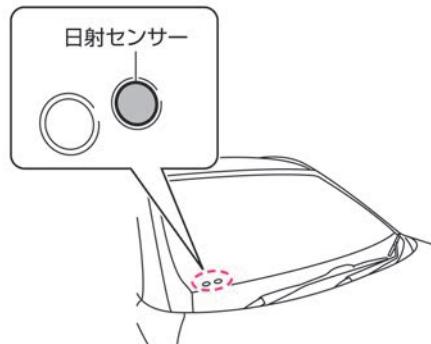
アドバイス

- オートエアコンの自動温度調節は、日射センサーと温度センサーで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

次ページに続く

エアコンを使うときに注意すること

車 アドバイス



エアコンを使うときに注意すること



アドバイス

- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、クリーンフィルターは定期的に交換してください。
交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと
- クリーンフィルターが交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコン装置のオイル循環を切らさないために、ときどきA/CスイッチをONにしてください。なお、外気温が0°C近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ずHFC134a (R134a) を入れてください。
- 地球温暖化防止のためエアコンガスを大気放出しないでください。
- この車両では、エアコンのシステムに特殊なオイルを使用しています。エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。



知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがあります、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が0°C近くまで下がると、A/Cスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エアコンが“ON”的とき、またはOFFにした直後に、“カチカチ”、“シュー”、“コツン”などの音が聞こえることがあります、異常ではありません。

次ページに続く

エアコンを使うときに注意すること



知識

- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- エアコンの運転中または運転後などに車両の下に水が垂れることができます。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

エアコンのにおいについて

- エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じことがあります。
- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

■ 安全運転のために

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお聞きください。



警告

- 走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。
前方不注意となるおそれがあります。
- 音量を大きくしない。
大きすぎると車外の状況が分からなくなため、思わぬ事故の原因となります。

■ ラジオの受信について

- ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。

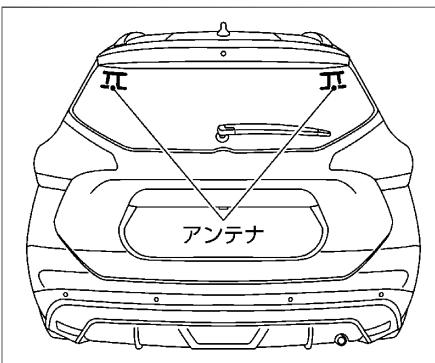


知識

- オーディオを聞いていて、車室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

アンテナについて

- アンテナ線は、バックドアガラスの内側にあります。



アドバイス

- バックドアガラスにミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- バックドアガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線および熱線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線および熱線にそつて軽くふいてください。
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ステアリングスイッチ

日産オリジナルナビゲーションシステムを操作することができます。

① 音量スイッチ (+/-)

音量を調節できます。

+ : 音量を上げる

- : 音量を下げる

押したままにすると連続して音量の増減ができます。

② 選曲／選局スイッチ

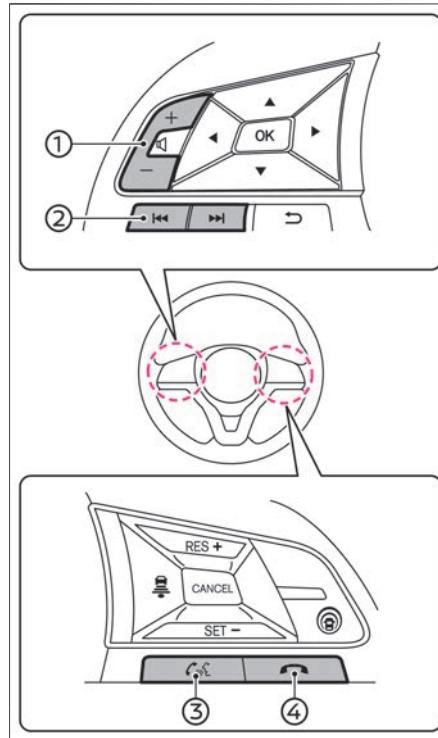
曲や放送局などの切り替えができます。

③ 通話開始スイッチ

着信中に押すと電話を受けます。

④ 通話終了スイッチ

通話中に押すと電話を切ります。



知識

- 取り扱いについては、日産オリジナルナビゲーションシステム用取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。
- 日産純正品以外のナビゲーションシステムでは作動の保証はいたしません。

MEMO

運転のしかた

始動する

パワースイッチ	P.176
オートACC機能	P.181

運転する

セレクトレバー	P.182
電動パーキングブレーキ	P.185
オートブレーキホールド	P.190
発進	P.195
停車・駐車	P.199

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ	P.201
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.212
フォグランプスイッチ	P.214
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.215

運転支援機能

e-POWER Drive	P.219
チャージモード	P.222
マナーモード	P.224
ABS（アンチロックブレーキシステム）	P.226
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）	P.227

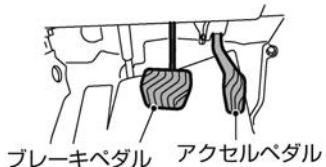
シャシー制御	P.231
ヒルスタートアシスト	P.233
車両接近通報装置	P.235
走行支援システム	P.237
プロパイロット	P.239
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.278
踏み間違い衝突防止アシスト	P.289
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LK (車線逸脱防止支援システム)	P.311
インテリジェント DA (ふらつき警報)	P.319

カメラシステム

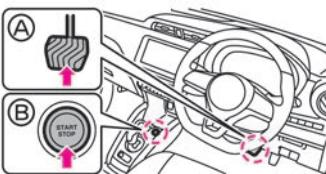
インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★	P.322
インテリジェント アラウンドビューモニター★に関する 注意事項	P.337

e-POWERシステムの始動のしかた

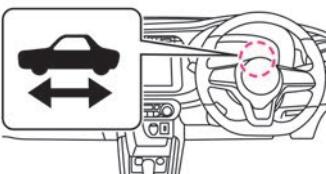
- 1** アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（P.24）がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。



- 2** ブレーキペダルⒶをしっかりと踏み込みながら、パワースイッチⒷを1回押します。



- 3** メーター内の走行可能表示灯 ➡️ が点灯し、走行できるようになります。



⚠️ 警告

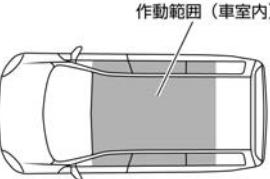
- e-POWERシステムを始動する前にペダルの位置を確認する。ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- 換気の悪い場所では、暖機運転をしたりe-POWERシステムを長時間作動したままにしない。排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- e-POWERシステムを始動するときは、必ず運転席に座る。運転席以外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

始動する パワースイッチ

知識

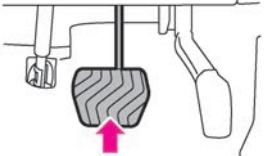
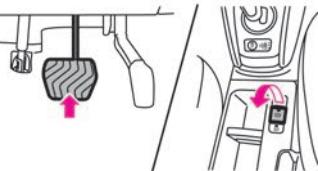
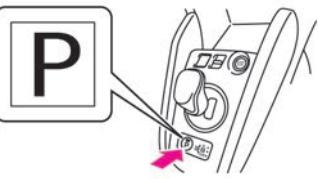
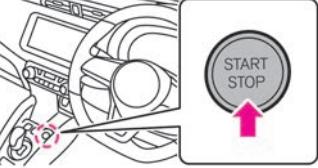
- 車両状態によってはパワースイッチを押したあと、走行可能表示灯  が点滅から点灯に変わるまでにエンジンが作動することがあります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が低下している状態ではパワースイッチを押したあと、走行可能表示灯  が点滅から点灯に変わるまでに数分かかることがあります。その間は、エネルギーモニターやバッテリー充電マークなどは表示されません。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますですが異常ではありません。
- システム始動前のペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、走行可能表示灯  が点灯しませんので、ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。

知識

- キーが作動範囲（車室内）にあるときに、e-POWERシステムを始動することができます。
- 

作動範囲（車室内）
- e-POWERシステムが始動できない場合には、一旦パワースイッチをOFFにして、5秒以上待ってから再始動してください。

e-POWERシステムの停止のしかた

- | | | |
|---|--|---|
| 1 | ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。 |  |
| 2 | ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
☞ 電動パーキングブレーキのかけかた (P.185) |  |
| 3 | セレクトレバーの下側にある④スイッチを押し、シフトポジションを P に切り替えます。
☞ セレクトレバーの操作 (P.182) |  |
| 4 | パワースイッチを押します。走行可能表示灯 が消灯していることを確認したら、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。 |  |

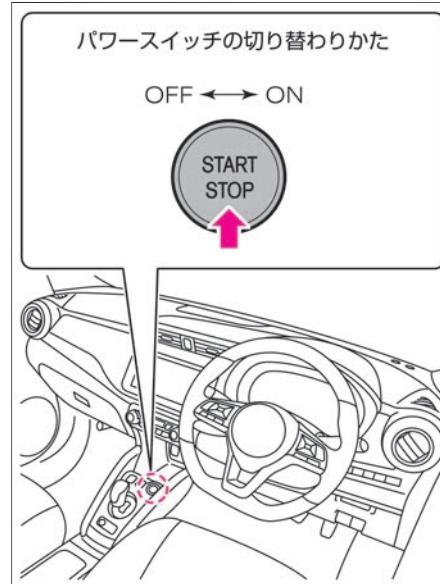
始動する パワースイッチ

パワースイッチでのモードの切り替えかた

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、次のようにモードが切り替わります。

モード	働き
OFF	<ul style="list-style-type: none">ドアミラーなどが使える位置(ACC状態のとき)e-POWERシステムを停止する位置
ON	<ul style="list-style-type: none">すべての電装品が使える位置

- キー(インテリジェントキー)を携帯しているときに、次の作動をします。
 - ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、モードが切り替わります。
 - ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すと、e-POWERシステムが始動します。
 - e-POWERシステムが始動中にパワースイッチを押すと、e-POWERシステムが停止します。



アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、電装品はe-POWERシステムを始動した状態でご使用ください。やむをえず使用するときは、長時間使用したり、同時に複数の電装品を使用しないでください。
- 次の条件がそろった状態で約10分経過すると自動的にパワースイッチがOFFになります。
 - パワースイッチがONのとき
 - 停車しているとき
 - 非常点滅表示灯および方向指示器が作動していないとき

知識

- パワースイッチがOFFの位置でも、ACC状態のときはドアミラーなどの電装品を使うことができます。ACC状態については、オートACC機能(☞P.181)をお読みください。

e-POWERシステムの非常停止のしかた

緊急時など、走行中に強制的にe-POWERシステムを停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- パワースイッチをすばやく3回押す。
- パワースイッチを2秒以上押し続ける。



警告

- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。
非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

始動する オートACC機能

パワースイッチがOFFのときでも、特定の条件で、ドアミラーなどの電装品が使える状態（ACC状態）に自動で切り替わる機能です。e-POWERシステムの停止後や、パワースイッチをONにする前でも、ドアミラーなどが使用できます。

オートACC機能について

- 次の場合、自動でACC状態に切り替わります。
 - リモコン（インテリジェントキー）機能でドアを解錠したとき
 - e-POWERシステムを停止したとき

ACC状態を停止するには

- 次の場合、ACC状態が完全に停止します。
 - ACC状態のまま約13分間経過したとき
 - e-POWERシステム停止後、リモコン（インテリジェントキー）機能で施錠してから3分間経過したとき



アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、電装品はe-POWERシステムを始動した状態でご使用ください。やむをえず使用するときは、長時間使用したり、同時に複数の電装品を使用しないでください。



知識

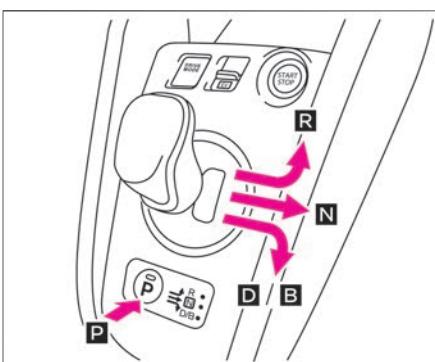
- ドアロック連動自動格納機能によってドアミラーが格納されている場合は、ACC状態でドアミラー格納スイッチを押しても作動しません。
 [ドアロック連動自動格納機能について \(P.156\)](#)
- ディーラーオプションのナビゲーションシステム★を取り付けた場合は、パワースイッチをOFFにするとオーディオおよびナビゲーションシステムもOFFになります。

セレクトレバー

メーター内の走行可能表示灯  が点灯しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。セレクトレバーを操作したあとは、目的のシフトポジションに切り替わっていることを必ず確認してください。

セレクトレバーの操作

P	セレクトレバーの下側にある②スイッチを押します。
R	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って車両前方へスライドさせます。
N	ブレーキペダルを踏みながら、右にスライドさせ、しばらく保持します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って右手前にスライドさせます。
B	D のときに右手前にスライドさせると B に切り替わります。もう一度スライドさせると D に戻ります。（NORMALモードのみ  e-POWER Drive (P.219)）



注意

- セレクトレバーには物を掛けない。
車両が突然発進するなど、事故の原因になるおそれがあります。



アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けないでください。故障の原因になります。



ポジションインジケーター (P.74)

知識

- セレクトレバーは、操作後に手を離すと中央に戻ります。
- セレクトレバーが中央に無いときは、②スイッチを押しても **P**に切り替えられません。
- シフトポジションを **R**に切り替えるとブザーが鳴ります。
- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションは **N**に切り替わります。
 - 前進中にシフトポジションを **R**に切り替える
 - 後退中にシフトポジションを **D**に切り替える

運転する セレクトレバー

知識

- S (Smart) モード、ECOモード時にシフトポジションを **B** に切り替える操作を行っても「ピピッ」と警告音が鳴りシフトポジションは **B** に切り替わりません。
- NORMALモードでシフトポジションが **B** のときに、S (Smart) モードまたはECOモードへ切り替えるとシフトポジションは **D** になります。その後もう一度、NORMALモードに切り替えるとシフトポジションは **B** になります。ただしパワースイッチをOFF、またはシフトポジションを **P**・**N**・**R** にしてからNORMALモードに切り替えた場合は、シフトポジションは **D** になります。
 e-POWER Drive (P.219)
- この車両にはオートP機能 (P.184) がありますが、電制シフトが故障した場合は、シフトポジションが **D** 以外でパワースイッチをOFFにしようとしても、ブザーが鳴り、パワースイッチをOFFに切り替えられません。パワースイッチをOFFにできないときは、次の操作を行ってください。
 - ①停車してパーキングブレーキをかけます。
 - ②ブレーキペダルを踏み込みながら

知識

- らパワースイッチを押して、パワースイッチをONに切り替えます。
- ③セレクトレバーの下側にある④スイッチを押して **P** に切り替えます。
 - ④パワースイッチを押して、OFFに切り替えます。
 - パワースイッチがONでも走行可能表示灯  が点灯していないときは、 **D**・**B**・**R** には切り替えられません。
 - 以下の条件が重なったとき、シフトポジションが自動で **P** に切り替わる場合があります。
 - S (Smart) モードまたはECOモードで停車しているとき
 - 運転席シートベルトを外したとき
 - 運転席ドアを開けたとき

各シフトポジションの機能

シフトポジション	働き
P	駐車およびe-POWERシステムを始動するとき
R	後退するとき
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行するとき
B	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なとき

知識

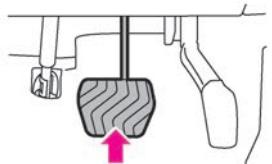
- シフトポジションをPに切り替えずにパワースイッチをOFFにすると、自動的にシフトポジションがPに切り替わります。（オートP機能）

運転する 電動パーキングブレーキ

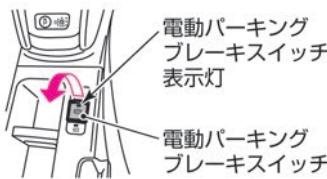
停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。電動パーキングブレーキスイッチで操作します。

電動パーキングブレーキのかけかた

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。



- 2 電動パーキングブレーキスイッチを引き上げます。
スイッチを引き上げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が点灯し、メーター内の電動パーキングブレーキ警告灯 (P) が、約2秒後に点灯します。



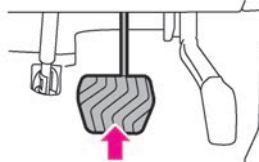
知識

- オートブレーキホールドが作動しているときにシフトポジションを P にすると、パーキングブレーキがかかります。その他の条件については、オートブレーキホールド (P.190) をお読みください。

電動パーキングブレーキの解除のしかた

1

ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。



2

電動パーキングブレーキスイッチを押し下げます。
スイッチを押し下げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯が消灯し、電動パーキングブレーキが解除されるとメーター内の電動パーキングブレーキ警告灯（赤色）(P)が消灯します。



⚠️ 警告

- 電動パーキングブレーキを作動させたまま走行しない。
ブレーキに不具合が生じ、事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- 電動パーキングブレーキは、パワー・スイッチがONのときのみ解除できます。

運転する 電動パーキングブレーキ

■ 自動解除のしかた

電動パーキングブレーキスイッチを操作しなくても、パーキングブレーキを解除することができます。

渋滞や上り坂での発進に便利です。

- 電動パーキングブレーキがかかっている状態でシフトポジションを **D** または **R** にし、アクセルペダルをゆっくり踏んでください。
パーキングブレーキが解除され、電動パーキングブレーキ警告灯  が消灯します。
- パーキングブレーキの自動解除は、以下の条件を満たしている必要があります。
 - 運転席シートベルトを着用している
 - e-POWERシステムが始動している
 - シフトポジションが **P**、**N** 以外のとき

次ページに続く

電動パーキングブレーキに関する注意事項

⚠ 警告

- 車両を離れるときは、電動パーキングブレーキをかけたあと、シフトポジションを **P** 位置に切り替える。
- 電動パーキングブレーキをかけたり、解除したりの操作を短時間に繰り返さない。システムの過熱を防ぐために電動パーキングブレーキが作動しなくなる場合があります。約1分間経過してから再度操作してください。

アドバイス

- 電動パーキングブレーキが12Vバッテリーあがりや故障などで解除できなくなったときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。
- 寒冷時に駐車するときは、電動パーキングブレーキをかけずにシフトポジションを **P** 位置に入れ、電動パーキングブレーキを解除したまま車輪の前後に適切な輪留めをしてください。寒冷時に電動パーキングブレーキをかけると、パーキングブレーキが凍結し、解除できなくなるおそれがあります。

知識

- 電動パーキングブレーキをかけたり解除したりすると、車両の後方部から作動音が聞こえることがあります、これは異常ではありません。
- 走行中、非常事態で電動パーキングブレーキをかける必要が生じたときは、電動パーキングブレーキスイッチを引き上げ続けてください。ブザーが鳴り、電動パーキングブレーキがかかります。スイッチから手を離すと、電動パーキングブレーキは解除されます。

運転する 電動パーキングブレーキ

知識

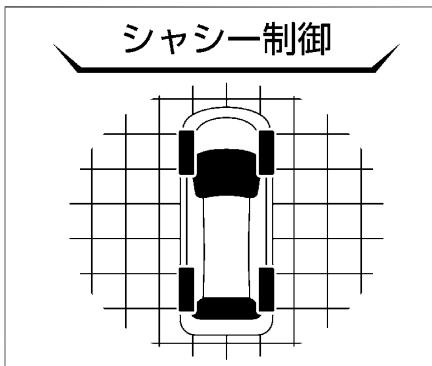
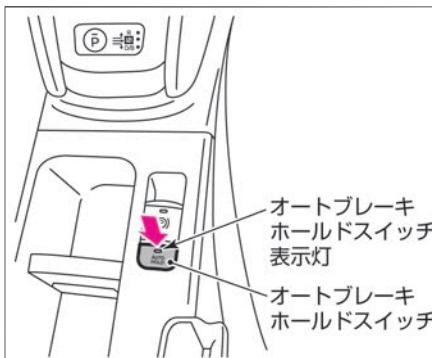
- パワースイッチがOFFまたはACC状態のときに、電動パーキングブレーキスイッチを引くと、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯がしばらく点灯状態になることがあります。
ACC状態については、オートACC機能（☞P.181）をお読みください。

オートブレーキホールド

オートブレーキホールド機能は、信号待ちなどで停車中にブレーキ力を保持する機能です。

■ オートブレーキホールド機能について

- オートブレーキホールド機能は、運転者のブレーキ操作によって停車した際に、ブレーキ力を保持する機能です。ブレーキ力が保持されているときにアクセルペダルを踏むと、ブレーキが解除され、発進することができます。
- アドバンスドドライバアシストディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、オートブレーキホールドの作動を画面で確認することができます。詳しくは、(☞P.91)をお読みください。



■ オートブレーキホールド機能の作動について

オートブレーキホールド機能をONにする

- パワースイッチをONにし、オートブレーキホールドスイッチを押すと、オートブレーキホールドスイッチのスイッチ表示灯が点灯します。
- オートブレーキホールド機能は、次の条件が満たされたときのみ、メーター内のオートブレーキホールド表示灯（白色）が点灯し、待機状態になります。 (☞P.413)
 - 運転席シートベルトを着用している
 - 電動パーキングブレーキが解除されている
 - シフトポジションがP位置以外にある

オートブレーキホールド機能をOFFにする

オートブレーキホールド機能がONのとき、オートブレーキホールドスイッチを押すと、スイッチの表示灯が消灯しオートブレーキホールド機能がOFFになります。
ブレーキ力が保持されている状態で、オートブレーキホールドをOFFにするときは、ブレーキペダルを踏みながらオートブレーキホールドスイッチを押します。

△ 注意

- オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されているときに、オートブレーキホールド機能をOFFにするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
ブレーキが解除され車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車両が停止してもブレーキ保持が開始されないときは、オートブレーキホールド表示灯（緑色）が点灯するまでブレーキペダルを踏み込む。

知識

- パワースイッチをONにしたときは、オートブレーキホールド機能はOFFになっています。

■ オートブレーキホールド機能の使いかた

■ ブレーキ力を保持させる

オートブレーキホールド機能が待機状態（メーター内のオートブレーキホールド表示灯  が白色に点灯）のとき、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させると、オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されます。

ブレーキ力が保持されているときは、メーター内のオートブレーキホールド表示灯  が緑色に点灯します。 (☞ P.413)

■ 発進する

シフトポジションが **P** または **N** 位置以外にあり、ブレーキ力が保持されている状態でアクセルペダルを踏むと、保持されているブレーキ力が解除されて発進します。

ブレーキ力の保持が解除されると、メーター内のオートブレーキホールド表示灯  が白色に点灯し、待機状態に戻ります。

知識

- 坂道では、オートブレーキホールドが作動開始するまでブレーキペダルを強く踏み込む必要があります。

運転する

オートブレーキホールド

オートブレーキホールド機能使用時の注意事項

⚠ 警告

- 急な坂道や滑りやすい路面で使用しない。
オートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。
- オートブレーキホールド機能が作動していても停止状態を維持できないときは、ブレーキを使用して車両を停車させる。
ブレーキ力保持状態のときに外的要因で車両が動くと、警告音が鳴り、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。
警告メッセージ (☞ P.416)
- 次の場合はオートブレーキホールド機能をOFFにする。
 - 洗車機を使用するとき
 - 車両にけん引されるとき
- 次の場合はシフトポジションをP位置にしてパーキングブレーキが確実にかかっているか確認する。
 - 駐車するとき
 - 人が乗降するとき
 - 荷物の積み下ろしをするとき
 車両が不意に動き出し重大な傷害や事故を起こすおそれがあります。
- メーター内のVDC警告灯 (☞ P.407)、ブレーキシステム警告灯（黄色表示） (☞ (☞ P.404)、電動パーキングブレーキ警告灯 (☞ (☞ P.403)、またはメーター内のマスターオーナーニング (☞ (☞ P.411) が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「シャシー制御表示」の警告メッセージ (☞ P.417) が表示されたときは、オートブレーキホールド機能は作動しません。
- ブレーキ力を保持しているときは、車両の停車状態を維持するため、作動音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

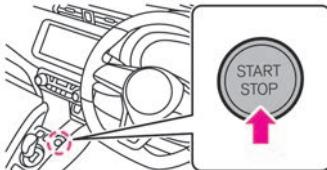
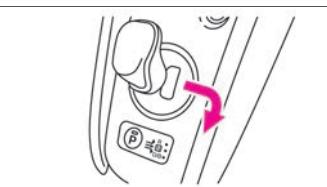
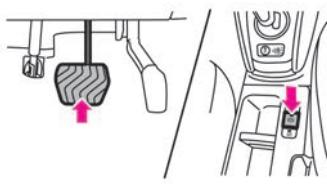
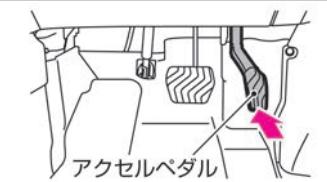
 アドバイス

- 次の場合は、システムに異常が発生しているおそれがあります。ただちに日産販売会社で点検を受けてください。
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されたとき
 - オートブレーキホールドスイッチを押してもスイッチの表示灯が点灯しないとき

 知識

- オートブレーキホールド機能がONでブレーキ力が保持されているときに、次の状態になるとパーキングブレーキがかかり、ブレーキ力が解除されます。
 - オートブレーキホールド機能によるブレーキ力の保持が3分以上継続されたとき
 - 運転席シートベルトを外したとき
 - パワースイッチをOFFにしたとき
 - オートブレーキホールド機能に不具合が生じたとき
 - シフトポジションをP位置にしたとき
 - 電動パーキングブレーキスイッチを引き上げたとき

発進のしかた

1	<p>ブレーキペダルを踏んだまま、パワースイッチを押して、e-POWERシステムを始動します。</p> <p>➡ e-POWERシステムの始動のしかた (P.176)</p>	
2	<p>ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを右手前にスライドさせ、シフトポジションを D に切り替えます。</p> <p>➡ セレクトレバーの操作 (P.182)</p>	
3	<p>ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、パーキングブレーキを解除します。</p> <p>➡ 電動パーキングブレーキの解除のしかた (P.186)</p>	
4	<p>ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。</p>	

警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 停車中、シフトポジションが **P**、**N**以外に入っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。クリープ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 電動パーキングブレーキをかけ、運転席シートベルトを着用せずにアクセルペダルを踏むと、電動パーキングブレーキが解除されず、電動パーキングブレーキが故障するおそれがあります。

知識

- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト (➡ P.233) が作動します。
- 緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動しない場合があります

次ページに続く

 知識

が、自動的に車両の後退を抑制する機能が働き、一定の車速以上では後退しないように制御します。

■ 走行のしかた

- シフトポジションを **D** に入れたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
- 下り坂では、回生ブレーキを併用して走行します。シフトポジションは **D** より **B**、ドライブモードがNORMALよりS (Smart) モード、ECOモード (P.219) のほうが、回生ブレーキの効きが強くなります。速度が出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。
- 回生ブレーキは、長い下り坂でリチウムイオンバッテリーが満充電になった場合や低温時、滑りやすい路面ではブレーキの効きが弱くなることがあります。
- クリープ現象について
ドライブモードがS (Smart) モード、ECOモードでアクセルペダルを戻して減速した際は、クリープ現象は発生しません。ブレーキペダルを一度踏み込んでから離すとクリープ現象が発生します。

⚠ 警告

- 下り坂ではフットブレーキと回生ブレーキを併用する。
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり危険です。坂の勾配に応じて回生ブレーキを併用してください。
- 走行中はシフトポジションを **N** に入れない。
回生ブレーキが作動しないため、事故につながるおそれがあります。
- 回生ブレーキの効きが弱くなった場合はブレーキペダルを踏んで減速する。
- 坂道で駐停車するときは、ブレーキを踏んで車両を停止させる。
ブレーキを踏まずにアクセルペダル操作のみで車両を停止させ続けると、走行用モーターが過熱するおそれがあります。停車時にはアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。



アドバイス

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 上り坂でシフトポジションを **D** または **B** のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で **R** のまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障につながるおそれがあります。
- 冠水路など深い水たまりは無理に走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



知識

が無効となります。（ブザーが鳴り、操作前のシフトポジションが維持されます。）

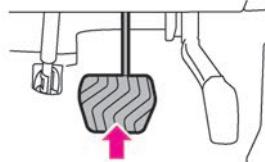


知識

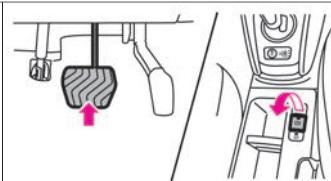
- リチウムイオンバッテリーが満充電になった場合は、回生で発電した電力を、発電用モーターでエンジンを作動させてすることで消費させます。その際にエンジン音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- 走行中にセレクトレバーの下側にある④スイッチを押した場合は、操作

■ 停車・駐車のしかた

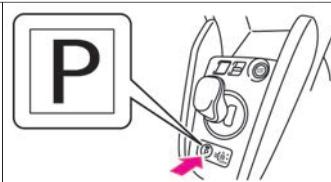
- 1** 停車するときは、シフトポジションは**D**または**B**のままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。



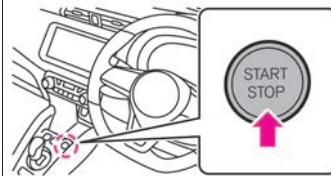
- 2** そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。



- 3** セレクトレバーの下側にある④スイッチを押し、シフトポジションを**P**に切り替えます。



- 4** パワースイッチを1回押すと、e-POWERシステムが停止します。



⚠ 警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。

操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。

- 停車中の空ぶかしはしない。

万一、シフトポジションが**P**、**N**以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、シフトポジションの位置を目で確認してください。

- 換気の悪い場所では、e-POWERシステムを作動したまにしない。

排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおもあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

 警告

- 車から離れるときは、必ずシフトポジションを **P** にして、e-POWERシステムを停止する。
e-POWERシステムが作動したままでは、シフトポジションが **P**、**N** 以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 注意

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐停車しない。
排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意する。



アドバイス

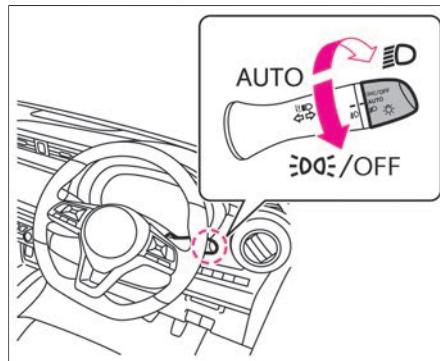
- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

■ ライトスイッチの使いかた

スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
OFF / OFF (OFF / OFF の位置に回しても手を離すと自動で AUTO の位置に戻ります。)	停車時に OFF / OFF の位置に回すと、車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。 停車時に OFF / OFF の位置に回して1.5秒以上保持すると、全ランプが消灯します。 走行を開始すると、周囲の明るさに応じてランプが自動点灯・消灯します。
AUTO	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯します。
AUTO	ヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているときはメーター内のテールランプ表示灯  が点灯します。



アドバイス

- e-POWERシステム停止時に長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

知識

- 通常時はAUTOの位置で使用してください。

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したままパワースイッチをOFFにし、リモコンまたはドアハンドルのスイッチで施錠すると12Vバッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。
- 次回、次の操作を行うとランプが再点灯します。
 - パワースイッチをONにする
 - ライトスイッチを操作する

/OFFの使いかた

- ライトスイッチは  /OFFの位置に回しても手を離すと自動でAUTOの位置に戻ります。
- ランプの点灯状態は次のとおりです。

ライトスイッチを /OFFの位置に回したとき

- 停車時にライトスイッチを  /OFFの位置に回すと、車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。
- 停車時にライトスイッチを  /OFFの位置に回しても、走行すると周囲の明るさに応じてヘッドライトが自動点灯します。
- 走行中にライトスイッチを  /OFFの位置に回すと、周囲が明るいときは車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。周囲が暗いときはライトスイッチを  /OFFの位置に回しても、点灯しているヘッドライトを消灯できません。（停車時のみ消灯可能です。）

ライトスイッチを /OFFの位置に回して1.5秒以上保持したとき

- 停車時にライトスイッチを  /OFFの位置に回して1.5秒以上保持すると、全ランプが消灯します。
- 停車時にライトスイッチを  /OFFの位置に回して1.5秒以上保持しても、走行すると周囲が暗いときはヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
- 走行中にライトスイッチを  /OFFの位置に回して1.5秒以上保持しても、点灯しているランプを消灯できません。

知識

- 次の操作をすると、AUTO（自動点灯・消灯）に戻ります。
 - 再度ライトスイッチを  /OFFの位置に回す
 -  の位置にしてからAUTOの位置にする

AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた

- パワースイッチがOFFのときは消灯します。
- パワースイッチがONのときは次のように作動します。

周囲が明るいとき

- 停車中、走行中ともにヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯します。

周囲が暗いとき

- 停車中、走行中ともにヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯します。

アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



■ フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能

- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。

知識

- アドバンスドドライバーアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「オートライト感度調整」を選択すると、インテリジェントオートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の感度調整ができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。

次ページに続く

ランプをつける、ワイパーを使う
ライトスイッチ



知識

- ⌚ 画面の切り替えかた (P.82)
- ⌚ 車両設定 (P.98)

- インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）をOFFにしたい場合は、日産販売会社へご相談ください。

の使いかた

- ライトスイッチを  の位置に合わせるとヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）

ヘッドライトの消灯方法

- ライトスイッチを  /OFFの位置に回すと、ヘッドライトが消灯します。

すべてのランプの消灯方法

- ライトスイッチを  /OFFの位置に回して1.5秒以上保持すると、全ランプが消灯します。

知識

- 自動点灯したヘッドライトは走行中に消灯できない仕様となっています。

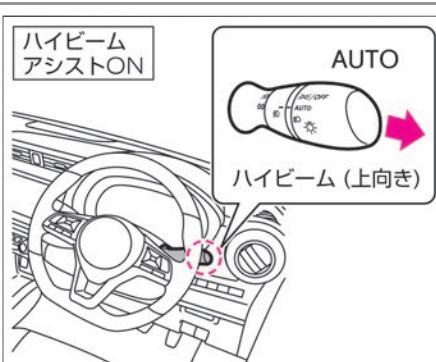
ハイビームアシスト

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、ハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）が切り替わります。

約25km/h以上で走行中、ヘッドライトが点灯しているときに切り替えを行い、約15km/h以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

ハイビームアシストをONにする方法

- ライトスイッチがAUTOの位置でレバーを車両前方に押すと、ハイビームアシストがONになります。（メーター内のハイビームアシスト表示灯  が点灯）



ハイビームアシストをOFFにする方法

次のいずれかの操作をすると、ハイビームアシストがOFFになります。

- ハイビームのとき
 - ライトスイッチをAUTOの位置以外にする…①

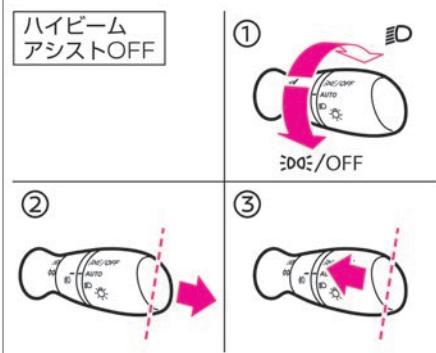
— ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）…②

— ライトスイッチを車両後方に引く（ロービームに切り替わります）…③

- ロービームのとき

— ライトスイッチをAUTOの位置以外にする…①

— ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）…②



警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。
 - 悪天候のとき（雨、霧、雪、強風など）
 - 周囲にヘッドライトや尾灯に似た光源があるとき
 - 対向車または先行車が無灯火のとき
 - 対向車のヘッドライトが汚れているたり、光軸がずれているとき
 - 明るさの急激な変化が連続しているとき
 - 段差や起伏のある道路を走行しているとき
 - カーブが多い道路を走行しているとき
 - ミラーや標識など反射の強いものがあるとき

ランプをつける、ワイパーを使う ライトスイッチ

⚠ 警告

- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- 対向車のヘッドライトが破損または汚れているとき
- パンクやけん引などで車両が傾いているとき

🚗 アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーター内にハイビームアシスト表示灯  が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

ハイビームアシスト表示灯
 P.412)

📖 知識

- 対向車または先行車が二輪車
 - 道路状況（カーブやこう配、路面状況など）
 - 乗車している人数や荷物の量
- ハイビームアシストがONでロービームのとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。（ハイビームアシストはONを維持）
 - ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

📖 知識

- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の向きや動き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している

次ページに続く

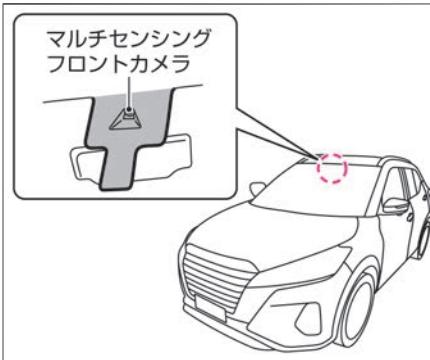
■マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を感知するためのカメラがあります。

ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

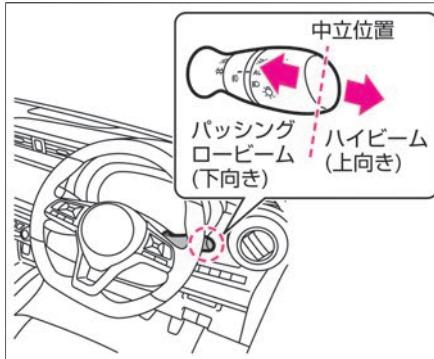
- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリーやステッカーなどを取り付けないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。

☞ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.480)



■ ハイビーム（上向き）への切り替えかた

- ヘッドライトが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
- ハイビームに切り替えているときは、メーター内のヘッドライト上向き表示灯  が点灯します。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。
- ライトスイッチがAUTOの位置でライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームアシスト（☞P.206）がONになります。



アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。



知識

- ヘッドライト、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。異常ではありません。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

次ページに続く

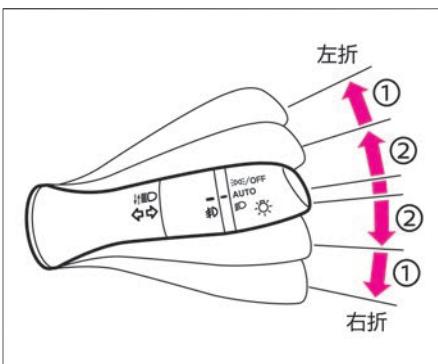
方向指示器の使いかた

パワースイッチがONのとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かし軽く押さえます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。

コンフォートフラッシャー機能について

スイッチを②の位置まで上または下に押されたあと、すぐに手を離したときは3回点滅し消灯します。



アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなった場合は、日産販売会社で点検を受けてください。



知識

- アドバンスドドライバアシストディスプレイで「設定 」⇒「車両設定」⇒「方向指示器」⇒「コンフォートフラッシャー」を選択すると、コンフォートフラッシャー機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

☞ [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)

☞ [車両設定 \(P.98\)](#)

■ その他の機能について

- 夜間など周囲が暗い場所で車から降りるときに、以下の操作を行うと、ヘッドライトが周囲を照らします。
 - パワースイッチがON以外のとき、ライトスイッチを手前に1回引くと、ヘッドライトが約30秒間点灯したあと、消灯します。
 - 点灯中、ライトスイッチを手前に引いたびに点灯時間が約30秒間延長され、最大約2分間まで延長することができます。

■ ウエルカムライト機能（フェアウェル機能付）

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。(施錠時約10秒、解錠時約30秒)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「ウェルカムヘッドライト」を選択すると、ウェルカムライト機能(フェアウェル機能付)の設定を変更することができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

☞ 画面の切り替えかた (P.82)

☞ 車両設定 (P.98)

ランプをつける、ワイパーを使う

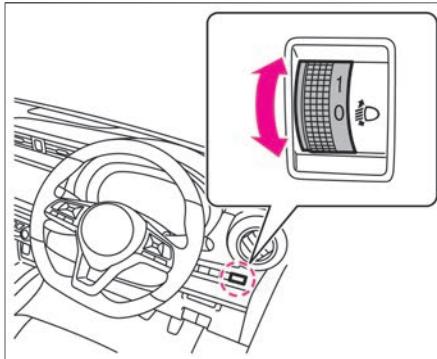
ヘッドランプレベライザースイッチ

ヘッドランプの照らす方向（光軸）を調節します。乗員の人数や荷物の重さなどに応じ、調節してください。

ヘッドランプレベライザースイッチの使いかた

ヘッドランプが下向きのとき、ダイヤルを回して調節します。

- 通常は、ダイヤルが0の位置で使います。
- ダイヤルを大きな数字の方へ回すほど、照らす方向は下向きになります。



アドバイス

- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドランプが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラー や対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調節してください。

ヘッドランプレベライザースイッチ

■ ダイヤル位置の目安

次の表を目安に、乗員の人数や荷物の量に応じてダイヤル位置を選択してください。

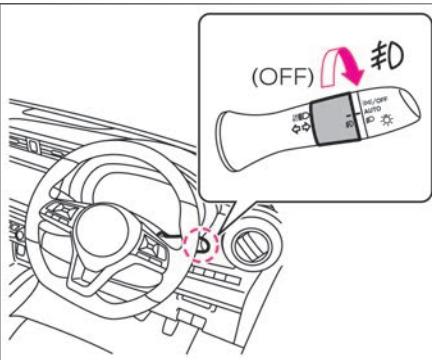
スイッチ位置	前席シート乗員数	後席シート乗員数	ラゲッジルームの積載重量
0	1または2	0	積載なし
1	2	3	積載なし
2	2	3	約20kg
3	1	0	約242kg

ランプをつける、ワイパーを使う フォグランプスイッチ

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、ヘッドライトや尾灯の補助として使用します。

■ フォグランプの使いかた

- ヘッドライトまたは車幅灯が点灯しているとき使用できます。
- スイッチを回して  を - の位置に合わせて使用します。
- フォグランプが点灯しているときは、
フォグランプ表示灯  が点灯します。



知識

- 濃霧時にヘッドライトを消灯して走行したい場合は、次の操作を行なうと車幅灯とフォグランプの点灯で走行することができます。
 - フォグランプが点灯しているときに、ライトスイッチをAUTOから  /OFFの位置に回す、または  から  /OFFの位置に回す

ランプをつける、ワイパーを使う ワイパー・ウォッシャースイッチ

パワースイッチがONのとき使用できます。

■ フロントワイパーの使いかた

スイッチを動かすと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
	レバーを上げている間作動します。 手を離すとOFFに戻ります。
OFF	停止します。
--	間けつで作動します。 スイッチを回し、ワイパーの間けつ時間を調節します。
-	低速で連続して作動します。
- -	高速で連続して作動します。



知識

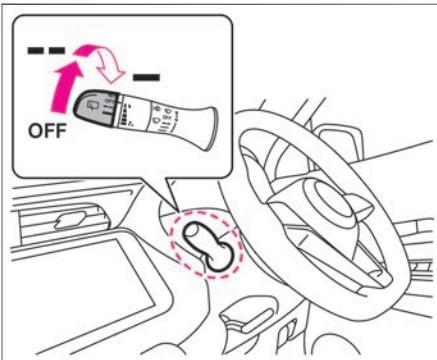
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）は、ライトスイッチがAUTOの位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくランプが点灯します。
 ↗ [AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた \(P.203\)](#)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」 ⇒ 「車両設定」 ⇒ 「ワイパー」 ⇒ 「車速連動」を選択すると、車速連動機能のON・OFFを切り替えることができます。
 設定の詳細については、車両設定をお読みください。
 ↗ [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)
 ↗ [車両設定 \(P.98\)](#)

ワイパー・ウォッシャースイッチ

リヤワイパーの使いかた

スイッチを回すと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
OFF	停止します。
--	間けつで作動します。
-	低速で連続して作動します。



知識

リバース連動機能

- フロントワイパー作動中にシフトポジションをRに入れると、リヤワイパーが間けつで作動します。
- アドバンスドドライバアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「リバース連動」を選択すると、リバース連動機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

☞ [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)

☞ [車両設定 \(P.98\)](#)

ランプをつける、ワイパーを使う
ワイパー・ウォッシャースイッチ

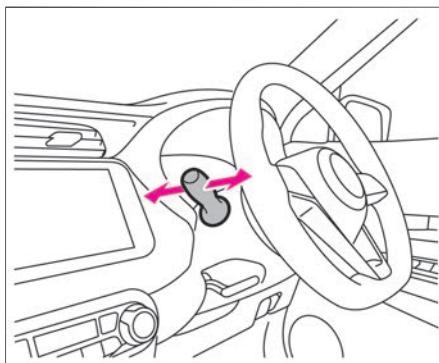
■ ウォッシャーの使いかた

フロントウォッシャー

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

リヤウォッシャー

- スイッチを車両前方に押すと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを押している間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。



次ページに続く

ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項



警告

- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釀割合にする。
寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分程度）待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

e-POWER Drive

e-POWERシステムは3つのドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

各モードの働き

モード		特徴
e-POWER Drive※	S (Smart)	<p>EVらしさと燃費を両立させたモード</p> <ul style="list-style-type: none"> モーター特性を際立たせてアクセルペダル操作に瞬時に応じる高レスポンスを実現 アクセルペダルOFF時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収 アクセルペダル操作のみで楽に速度調整が可能
	ECO	<p>燃費重視のモード</p> <ul style="list-style-type: none"> 無駄なエネルギー消費を抑えるための穏やかな加速性能 アクセルペダルOFF時の回生ブレーキを強めて、多くのエネルギーを回収 アクセルペダル操作のみで楽に速度調整が可能
NORMAL		<p>ガソリンエンジン車とほぼ同等の走りを楽しめるモード</p> <ul style="list-style-type: none"> モーター駆動特有のレスポンスよくスムースな加速 ガソリンエンジン車に近い感覚でのアクセルペダルOFFでの減速

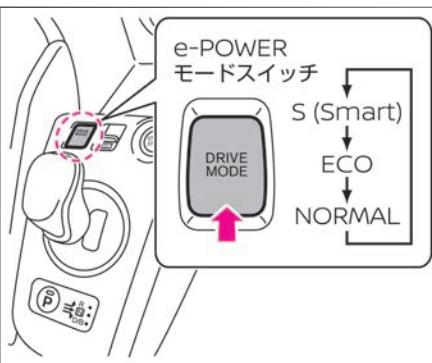
※：普段の運転ではECOモード、軽快な加速とECOを両立したいときはS (Smart) モードをおすすめします。

アドバイス
 アドバイス <ul style="list-style-type: none"> S (Smart) モードおよびECOモードでは、アクセルペダルOFFによる減速で停車する場合がありますが、ブレーキ力を保持して停車させ続ける機能はないため、停車時はブレーキペダルを必ず踏み込んでください。
知識
 知識 <ul style="list-style-type: none"> S (Smart) モード、ECOモードのときは、回生ブレーキ (P.13) の効率を上げるために、走行中にアクセルペダルを離すとNORMALモードのときよりも、強めのエンジンブレーキをかけているように減速度合いが強くなります。 S (Smart) モード、ECOモードのときは、ブレーキを踏まずに減速した場合でも減速度合いに応じて制動灯が点灯します。

次ページに続く

モードの切り替えかた

- パワースイッチがONのとき、e-POWERモードスイッチを押すごとに次の順でモードが切り替わります。
S (Smart) → ECO → NORMAL → S (Smart)
- S (Smart) モードのときはS (Smart)モードインジケーター  が点灯します。
 S (Smart) モードインジケーター (P.74)
- ECOモードのときはECOモードインジケーター  が点灯します。
 ECOモードインジケーター (P.75)

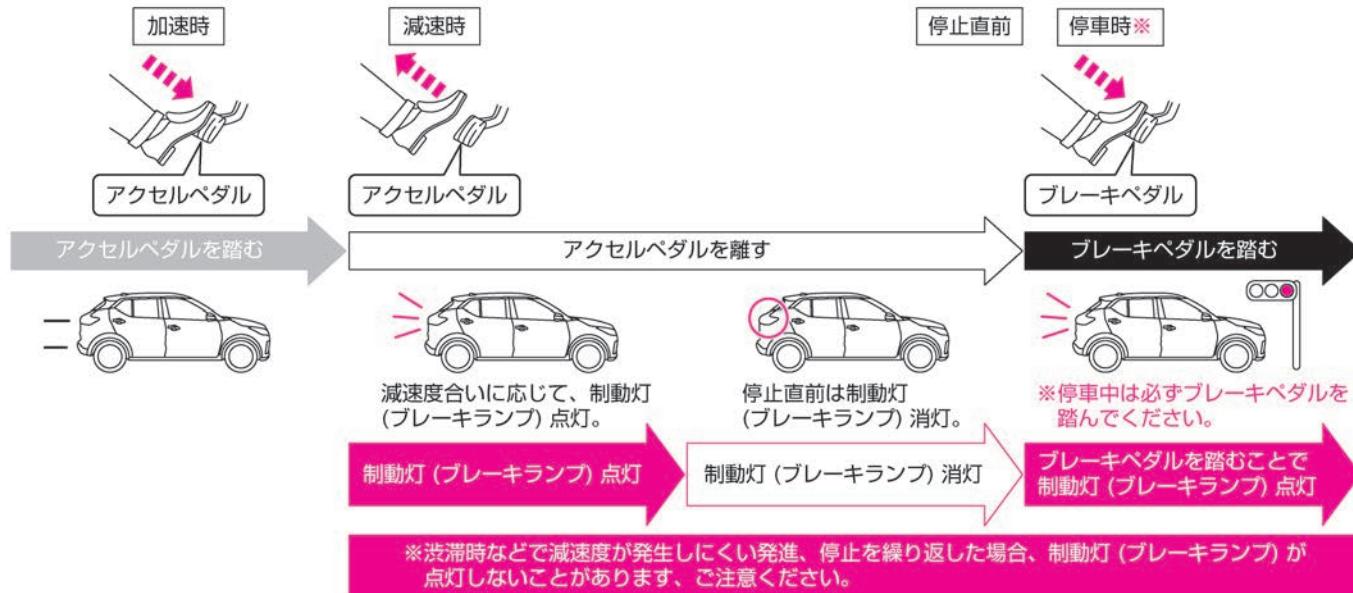


知識

- S (Smart) モードやECOモードのときはシフトポジションを  に切り替えることはできません。
- S (Smart) モード、ECOモード選択中にシステム異常が発生した場合、モードインジケーター点滅とともに、自動的にNORMALモードへ切り替わる場合があります。
- システム異常が発生している状態で、NORMALモードからS (Smart) モードに切り替えた場合、S (Smart) モードインジケーター  が点滅後消灯し、NORMAL状態が維持されます。
- モードの設定は、パワースイッチをOFFにしても、再度設定変更するまで、その状態が維持されます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイが航続可能距離表示以外でも、ドライブモードを切り替えると、その車両状態に応じた航続可能距離が表示されます。
 画面の切り替えかた (P.82)

■ s (Smart) モード、ECOモード時の制動灯（ブレーキランプ）について

アクセルペダルを離した際、発生する減速度合いに応じて制動灯（ブレーキランプ）を点灯させて、停止直前～停車中に消灯します。停車中はブレーキペダルを踏むことで、制動灯（ブレーキランプ）が点灯します。安全のために必ずブレーキペダルを踏んでください。

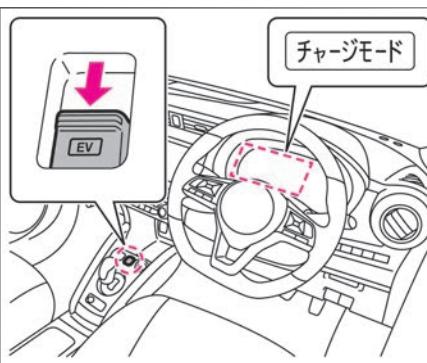


チャージモード

EVモードスイッチを引き続けると強制的にエンジンを始動し、リチウムイオンバッテリーの充電を行います。マナーモードによる走行距離を長くしたいとき、あらかじめリチウムイオンバッテリーを充電するモードです。

■ チャージモードの使いかた

- 走行可能表示灯  が点灯しているとき、EVモードスイッチを引き続けるたびにチャージモードON・OFFが切り替わります。
- チャージモードは、ドライブモードがS (Smart) モード、ECOモードのときに使用できます。
- マナーモード中にEVモードスイッチを引き続けると、チャージモードに切り替わります。
- ONにするとアドバンスドドライブアシストディスプレイにチャージモードインジケーターが点灯します。



アドバイス

- システムに異常が発生したときは、自動的にチャージモードが解除されます。



知識

- チャージモードを使用すると、エンジンで発電するため燃費が悪化します。
- チャージモードでは、リチウムイオンバッテリー残量が満充電近くまで充電されます。またチャージモード作動中でも、エンジンが始動しないこともあります。
- システムの状態によっては、充電時間が長くなることがあります。
- チャージモード中でも、急加速、上り坂など走行負荷が高いときは、充電ができない場合があります。
- チャージモード中でも、リチウムイオンバッテリーを保護するために一時的に発電を停止することがあります。
- 外気温が低いときは、チャージモードを使用できないことがあります。
- 外気温が低いときは、充電時間が長くなることがあります。

 知識

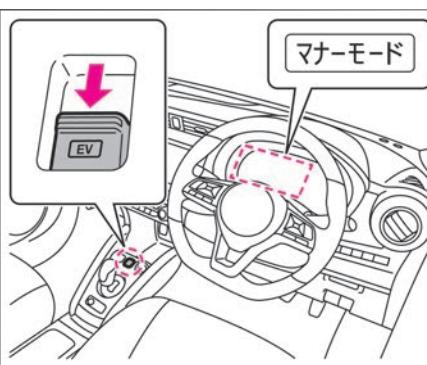
- 駐停車中にチャージモードを使用しエンジンが始動した場合、アイドリングストップに関する条例違反により罰則の対象となるおそれがあります。アイドリングストップの詳しい条例については、関係する自治体に確認してください。
- 走行可能表示灯  が点灯しているときにボンネットを開けると、チャージモードを使用できない、またはチャージモードを解除します。
- シフトポジションが **P** のときにアクセルを操作すると、チャージモードを解除します。

マナーモード

EVモードスイッチを引くと、エンジンの始動を極力抑えて走行することができます。リチウムイオンバッテリーの電力だけで走行するので、早朝や深夜の住宅街など、静かに走行したいときに使用するモードです。

マナーモードの使いかた

- 走行可能表示灯  が点灯しているとき、EVモードスイッチを引いたびにマナーモードON・OFFが切り替わります。
- マナーモードは、ドライブモードがS (Smart) モード、ECOモードのときに使用できます。
- チャージモード中にEVモードスイッチを引くと、マナーモードに切り替わります。
- ONにするとアドバンスドドライブアシストディスプレイにマナーモードインジケーターが点灯します。
- チャージモードをONにしてリチウムイオンバッテリー残量を増やしておくと、バッテリー電力だけで走行できる距離が長くなります。
- 外気温が低いときはエンジンが始動することがありますが、エンジンが始動する前にマナーモードをONにすると、エンジンの始動が抑えられてバッテリー電力だけの走行が可能です。



アドバイス

- システムに異常が発生したときは、自動的にマナーモードが解除されます。



知識

- ブレーキ操作を行うと、システムの判断により一時的にエンジンを始動します。なおマナーモードは解除されません。
- マナーモード作動中にドライブモードをNORMALモードに切り替えると、マナーモードは解除されます。
- シフトポジションがPのときにアクセルを操作すると、エンジンが始動しマナーモードが解除されます。
- 長い下り坂での回生ブレーキによりリチウムイオンバッテリー残量の上限まで充電されると、リチウムイオンバッテリー保護のためマナーモードが解除されます。
- 急加速や上り坂などでアクセルを強く踏み込んだ場合、エンジンを始動し、マナーモードが解除されます。
- 走行可能表示灯  が点灯しているときにボンネットを開けると、強制

 知識

的にエンジンが始動しマナーモードを使用できない、またはマナーモードが解除されます。

- フロントガラスのデフロスタースイッチ (☞P.431) を押すと、暖機のためにエンジンが始動しマナーモードを使用できない、またはマナーモードが解除されます。
- システムが強制充電を必要と判断した場合、マナーモードを解除しエンジンを始動します。
- システムが暖機が必要と判断した場合、エンジンを始動し、マナーモードが解除されます。
- 外気温が低いときは、マナーモードを使用できないことがあります。
- リチウムイオンバッテリー残量が少ないときはマナーモードを使用できない、またはマナーモードが解除されます。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABSについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- パワースイッチをONにしたときや、e-POWERシステムを始動後最初の発進時に、エンジンルームから音が聞こえることがあります、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。

⚠️ 警告

- カーブの手前では十分に減速する。ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。
- でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、特に速度を控え、車間距離を十分にとる。ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控え、車間距離を十分にとって運転してください。
- タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

VDC（ビーカルダイナミクスコントロール）

VDCは、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCの機能について

- VDCのシステムには次の機能があります。

- VDC機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。
- トランクションコントロール機能(TCS)：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、走行用モーターの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
- ブレーキLSD機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
- ABS機能：ABS (P.226)



警告

- 滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。
この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。
- 次の場合、メーター内のVDC警告灯 が点灯し正常に作動しないことがありますので注意する。
 - サスペンション、タイヤ、ブレーキ、ステアリング関係部品などを純正品以外に交換したり、改造したとき
 - サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。



知識

- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

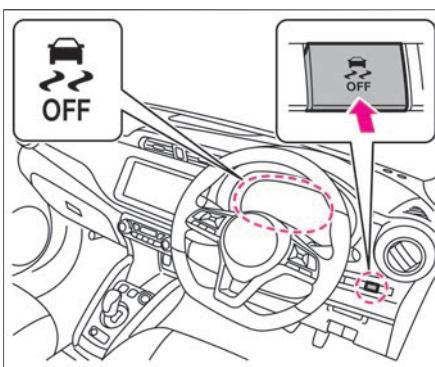
VDCの作動について

- VDCの作動と警告灯
 - VDCが作動しているときは、メーター内のVDC警告灯  が点滅します。
 - トラクションコントロール機能(TCS)のみが作動しているときもVDC警告灯  が点滅します。VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
- 次の場合、VDC警告灯  が点灯することがあります。一度パワースイッチをOFFにし、再度e-POWERシステムを始動するとVDC警告灯は消灯します。
 - 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき
 - 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき

VDCの停止のしかた

VDCの作動を停止（OFF）するにはVDC OFFスイッチを押します。

- VDC OFFスイッチを押すと、VDCが停止し、VDC OFF表示灯  が点灯します。
- 再度、VDCを使用（ON）するときは、もう一度VDC OFFスイッチを押します。VDC OFF表示灯  が消灯し、VDCがONになります。



アドバイス

- VDCが作動しているときは、ぬかるみや雪道から脱出するときに、スリップ状態を検知するため、アクセルペダルを踏み込んでタイヤの回転数が上がらないことがあります。タイヤの回転数を上げたいときはVDC OFFスイッチを押してVDCを停止してください。
- VDC OFFスイッチを押すと、VDCのすべての機能と次の機能が停止します。（ABSおよびブレーキLSD機能を除く）
 - インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）(☞P.231)
 - プロパイロット (☞P.239)
 - インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）(☞P.311)
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキ (☞P.278)
 - 踏み間違い衝突防止アシスト (☞P.289)

次ページに続く

 知識

- パワースイッチをONにするたびに、VDCはONになります。
- VDCが作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- パワースイッチをONにしたときや、e-POWERシステム始動後最初の発進時に、エンジンルーム内から音が聞こえることがあります、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

シャシー制御

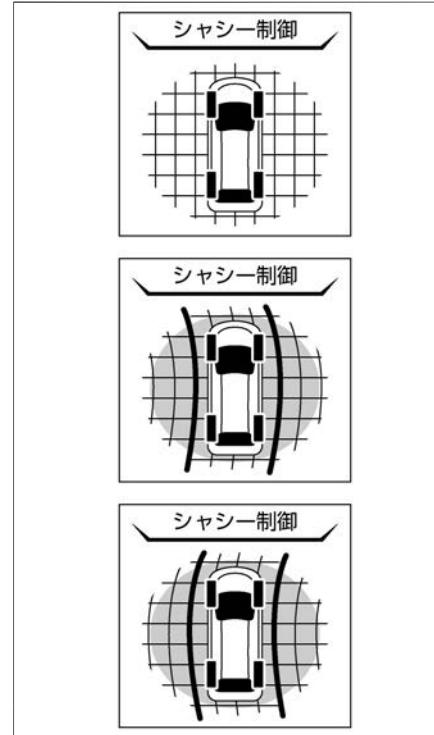
シャシー制御には、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）があります。

■ インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）について

運転者のハンドル、アクセル、ブレーキ操作を検知し、それらの情報から各輪のブレーキを制御して、車両の挙動をなめらかにすると同時に、応答性を高めるなどして安定感のあるコーナリングを実現します。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）の作動を画面で確認することができます。画面はハンドル操作に合わせた表示を行います。

詳しくは、 画面の切り替えかた (P.82) をお読みください。



警告

- インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）の機能を過信しない。

インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）は、すべての走行環境において効果があるわけではないため、機能を過信せず安全運転を心がけてください。



アドバイス

- アドバンスドドライブアシストディスプレイに「シャシー制御システム 故障取扱説明書を見てください」と警告が表示されたときは、故障により機能が正しく作動しないことがあります。警告が表示されたときは、日産販売会社で点検を受けてください。

警告メッセージ ( P.417)

 知識

- ハンドル操作(方向)に合わせていずれかの画面が表示されます。
- インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）をOFFにしていても、急ハンドル時などには作動する場合があります。
- VDCをOFFにすると、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）もOFFになります。
(VDCをOFFにしたときは、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）が完全に停止します。)
- システムが作動すると、ブレーキペダルに振動を感じたり、音が聞こえたりする場合がありますが、システムの作動音で異常ではありません。また、減速感を感じることがありますか、異常ではありません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「シャシー制御」⇒「コーナリングスタビリティアシスト」を選択すると、インテリジェント トレースコントロール（コーナリ

 知識

ング安定性向上システム）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

 [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)
 [運転支援システム \(P.93\)](#)

ヒルスタートアシスト

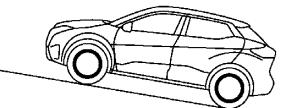
ヒルスタートアシストは、上り坂での発進を補助するシステムです。

ヒルスタートアシストについて

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。
- シフトポジションが **P**、**N**以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、ヒルスタートアシストの作動を画面で確認することができます。

詳しくは、 画面の切り替えかた (P.82)をお読みください。

シャシー制御



警告

- ヒルスタートアシストの機能を過信しない。
凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転に心がけてください。
緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動せず後退する場合があります。その際はブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキをかけてください。
- 坂道での駐停車にヒルスタートアシストを使用しない。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 停車するときは、ブレーキペダルを踏み続ける。
この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にシフトポジションを **P**に入れ、パーキングブレーキをかけてください。

次ページに続く

 アドバイス

- セレクトレバーを操作した直後は、ブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。シフトポジションを **P** から **D** または **N** から **D** に操作した直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。

 知識

- メーター内のVDC警告灯  (P.407) が点灯したときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生することがありますが、異常ではありません。

車両接近通報装置

車両接近通報装置は、低速走行中に車両が接近していることを音で歩行者に知らせるシステムです。

車両接近通報装置について

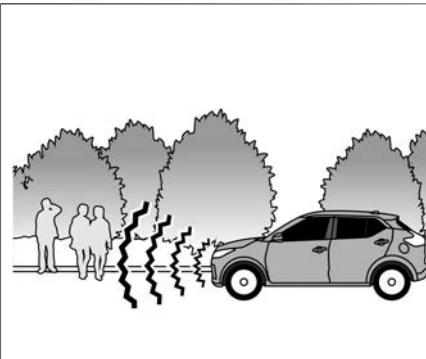
車両接近通報装置は、メーター内の走行可能表示灯  が点灯しているとき、次の場合に作動します。

- 発進時、車速が30km/h以下のとき
- 減速時、車速が25km/h以下になったとき
- シフトポジションが  のとき

車両接近通報装置の故障について

- システムに異常があると、メーター内の車両接近通報システム警告灯が点灯します。

車両接近通報システム警告灯
( P.411)



警告

- 車両接近通報装置の音が聞こえないときは、日産販売会社で点検する。車両接近通報装置の音が聞こえないときは、安全で静かな場所に停車し、音が聞こえるか確認してください。ブレーキペダルを確実に踏みながら、シフトポジションを  にし、窓を開けて音が聞こえるか確認します。車両前方から音が聞こえないときは、日産販売会社で点検を受けてください。



知識

- 次の条件がそろうとパワースイッチをOFFにし忘れたことを防止するため、車両接近通報装置が作動します。
 - シフトポジションが  のとき
 - 走行可能表示灯  が点灯しているとき
 - 運転席シートベルトが非装着のとき
 - 運転席ドア、助手席ドアまたは後席ドアが開いているとき
- 車両接近通報装置の音を大きくした

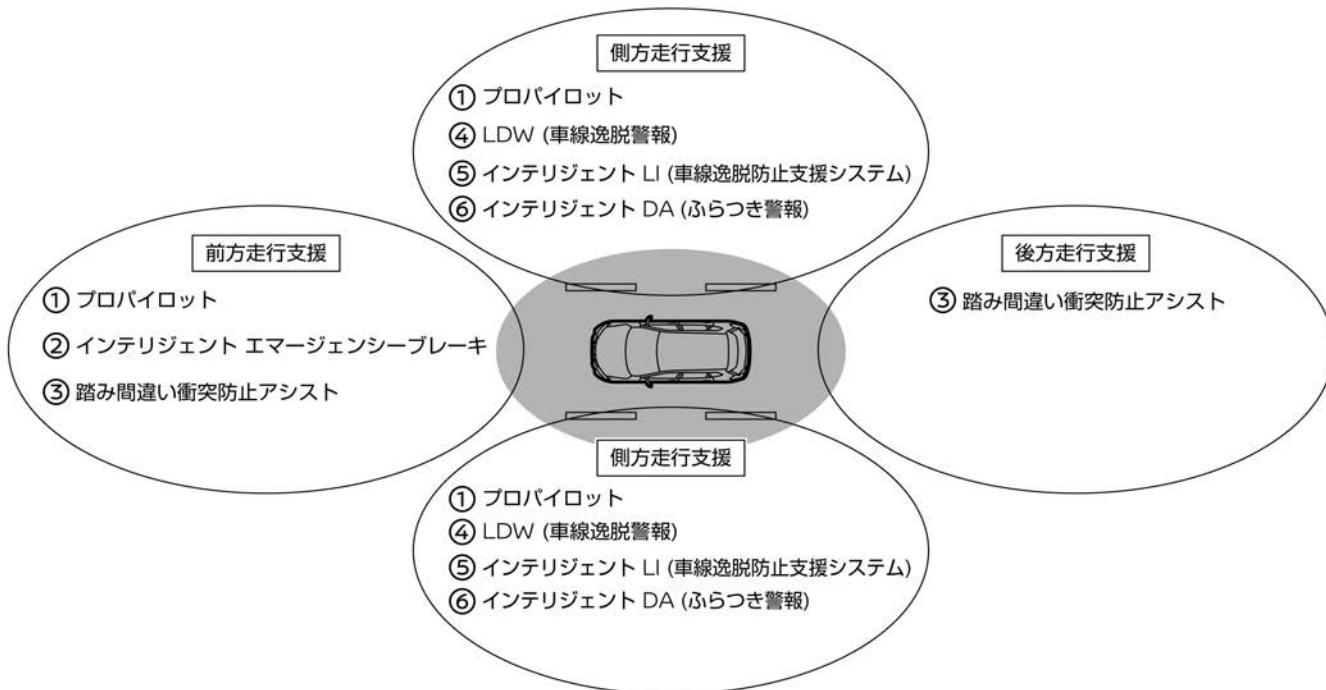
次ページに続く



知識

い場合は、日産販売会社へご相談ください。音を小さくすることはできません。

■ 走行支援システムについて



次ページに続く

① プロパイロット

走行中、前方車両との車間距離を制御し、前方車両停車時は停車してその状態を保持します。また、走行車線内を走行するようにハンドルを制御することで運転操作の負担を減らします。 (☞ P.239)

② インテリジェント エマージェンシーブレーキ

前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。 (☞ P.278)

③ 踏み間違い衝突防止アシスト

進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者(前進時のみ)などがいる場所で、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違えやブレーキ操作が遅れたとき、音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。 (☞ P.289)

④ LDW(車線逸脱警報)

運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。 (☞ P.311)

⑤ インテリジェント LI(車線逸脱防止支援システム)

運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。 (☞ P.311)

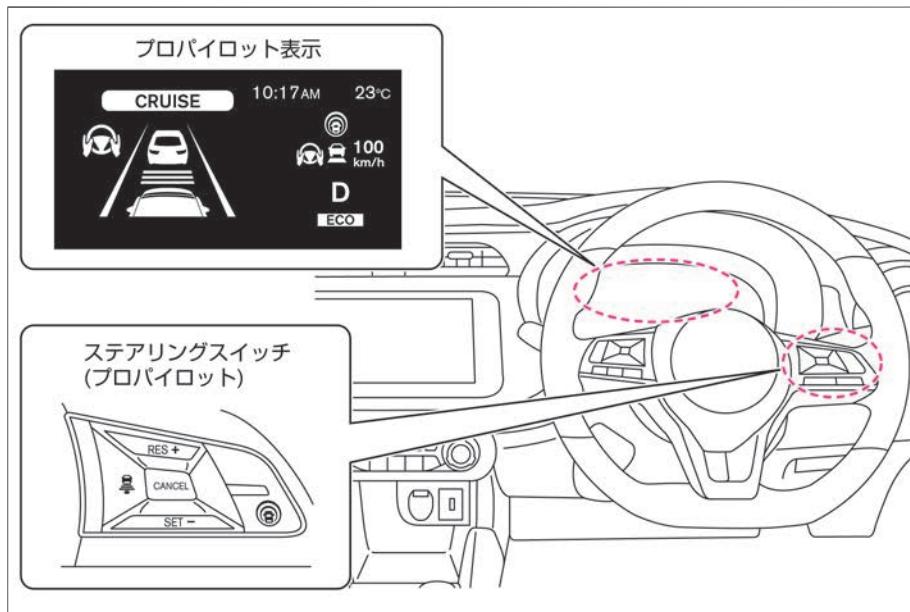
⑥ インテリジェント DA (ふらつき警報)

ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、音と表示により運転者に休憩を促します。 (☞ P.319)

プロパイロット

プロパイロットは、運転者が設定した車速を上限に先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- 高速道路や自動車専用道路で使用する。
プロパイロットは、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がける。
自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行するとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマークに近づくことがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。
- レーンマークとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。
- 手放し運転を行うことはできない。

⚠ 警告

運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

● 停止中の車両には反応しない。

料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては減速しません。十分注意してください。

■ プロパイロットについて

- プロパイロットのシステムには次の機能があります。

インテリジェント クルーズコントロール

- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速(約30km/h以上)を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
- 先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、インテリジェント クルーズコントロールは停止した状態を保持します。
- 先行車が発進したときは、ステアリングスイッチのRES+スイッチを押すか、アクセルペダルを踏むと停止状態を解除し、再びインテリジェント クルーズコントロールによる追従走行を開始します。
- 先行車を検出していない場合は運転者がセットした車速で定速走行します。（約30km/h以下では前方に車両がない場合使用できません。）
☞ [インテリジェント クルーズコントロールの作動 \(P.246\)](#)

ハンドル支援

- 車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。（約50km/h以下では前方に車両がない場合に作動できます。）
☞ [ハンドル支援の作動 \(P.259\)](#)

知識

- アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができる定速制御機能については、☞ [定速制御機能について \(P.272\)](#)をお読みください。

ステアリングスイッチ（プロパイロット）

① プロパイロットスイッチ

-プロパイロットのON・OFFができます。

② SET-スイッチ

-SET-スイッチを押したときの車速でプロパイロットを開始できます。

-設定速度を下げるることができます。

③ RES+スイッチ

-プロパイロットを解除後、解除前の設定速度で再び開始することができます。

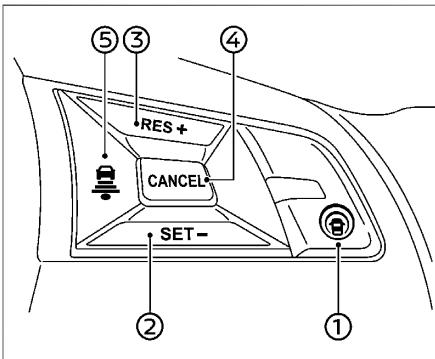
-設定速度を上げることができます。

④ CANCELスイッチ

-プロパイロットの解除ができます。

⑤ 車間設定スイッチ

-車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

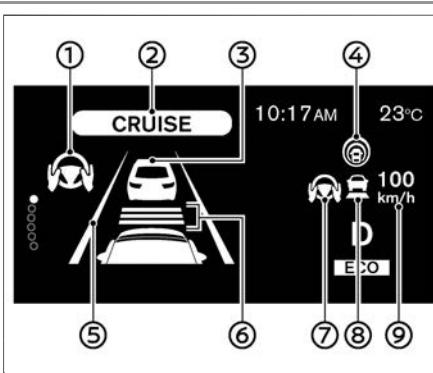


知識

- プロパイロットをONにすると、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）も同時にONになります。詳しくは、[LDW（車線逸脱警報）](#)／[インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）\(P.311\)](#)をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- ① ハンドル支援作動表示
 - ハンドル支援中は緑色に点灯
- ② プロパイロット作動表示
 - プロパイロット作動中は青色に点灯
- ③ 先行車検出表示
 - 先行車検出有り：表示
 - 先行車検出無し：非表示
- ④ プロパイロット作動灯
 - プロパイロットON：白色に点灯
 - プロパイロット作動開始：青色に点灯
- ⑤ 車線検出表示
 - 車線検出有り：緑色に点灯
 - 車線検出無し：灰色に点灯
- ⑥ 車間設定表示
 - 車間距離の設定状況を表示
- ⑦ ハンドル支援作動灯／警告灯
 - ハンドル支援中は緑色に点灯
- ⑧ 車速制御作動灯／警告灯
 - 定車間制御中：緑色に点灯
 - 定速制御中：緑色（線画）に点灯
- ⑨ 設定車速表示
 - 設定車速を表示

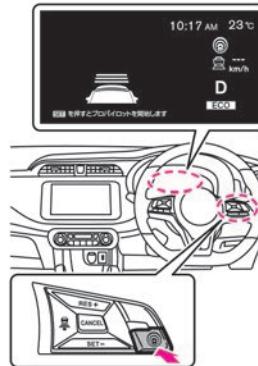


1

プロパイロットスイッチ  を押します。

・プロパイロットがONになります。

・アドバンスドドライブアシストディスプレイにプロパイロットの状態が表示されます。



2

設定したい速度まで加速または減速します。

知識

- プロパイロットには次の機能があります。
 - ➡ インテリジェント クルーズコントロールの作動 (P.246)
 - ➡ ハンドル支援の作動 (P.259)
- プロパイロットスイッチ  を約1.5秒押し続けると、定速制御機能に切り替わります。
 - ➡ 定速制御機能について (P.272)
- 車間設定は、e-POWERシステムを停止しても再度設定を変更するまでの状態が維持されます。
- e-POWERシステムを停止するとプロパイロットはOFFになります。

運転支援機能 プロパイロット

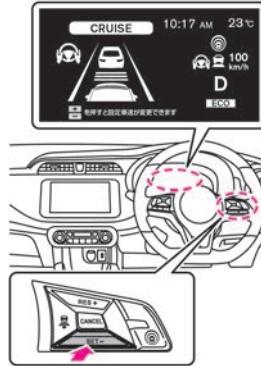
3

SET-スイッチを押します。

・スイッチを押したときの速度が設定速度になり、プロパイロットの制御が開始します。

(車速30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定速度は約30km/hになります。)

プロパイロット作動灯、プロパイロット作動表示が青色で点灯します。



知識

- 次の場合は、プロパイロットの制御を開始することができません。（設定車速表示が約2秒間点滅します。）



- － 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアが開いているとき
- － 運転席シートベルトを着用していないとき
- － 車速が約30km/hを下回っていて、先行車両を検出していないとき
- － シフトポジションが **D** または **B** 以外のとき
- － 電動パーキングブレーキが作動しているとき
- － ブレーキを踏んでいるとき
- － VDCをOFFにしたとき
- － VDC/TCSが作動したとき
- － タイヤが空転したとき

インテリジェント クルーズコントロールの作動

先行車を検出しているとき

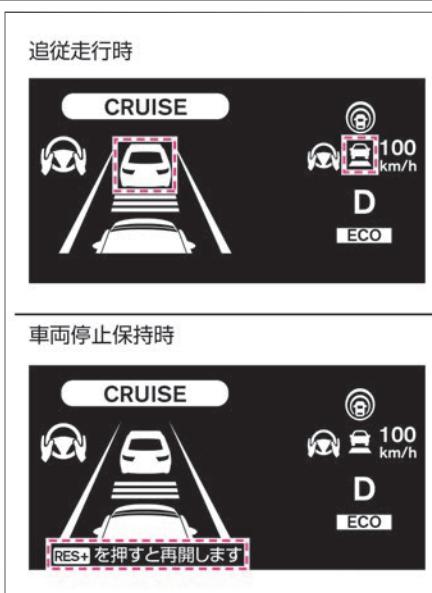
- 運転者がセットした車速(約30km/h以上)を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車検出表示が点灯し、車速制御作動灯が定車間表示（緑）で点灯します。

先行車が停止したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、インテリジェント クルーズコントロールは停止した状態を保持します。（停止した状態を保持しているときは、「RES+を押すと再開します」と表示されます）

先行車が発進したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで停止状態を保持しているときに先行車が発進したときは、RES+スイッチを押すか、アクセルペダルを踏むと停止状態は解除され、再びインテリジェント クルーズコントロールによる追従走行を開始します。



⚠ 注意

- インテリジェント クルーズコントロールで自車が停止したとき、停止した状態を保持するまでは周囲に注意してください。

知識

- 車間設定スイッチ により、車間を設定することができます。
 車間距離設定の変更のしかた
(P.251)
- インテリジェント クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動した場合は、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。
- 車両停止保持状態のときに、RES+スイッチを押すと、約3秒間は発進待機状態になります。（車両停止保持状態が解除されます）
- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止した後、約3分を経過すると、解除音とともに電

運転支援機能 プロパイロット



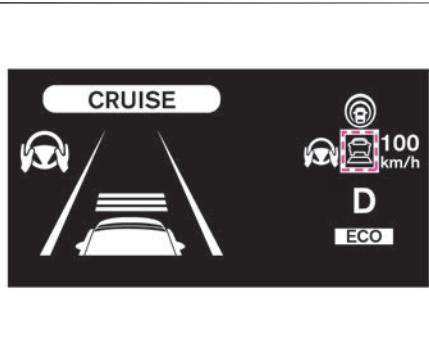
知識

動パーキングブレーキが作動し、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

次ページに続く

先行車を検出していないとき

- 運転者が設定した速度で、定速走行します。先行車検出表示が消灯し、車速制御作動灯が定速表示（線画）で点灯します。

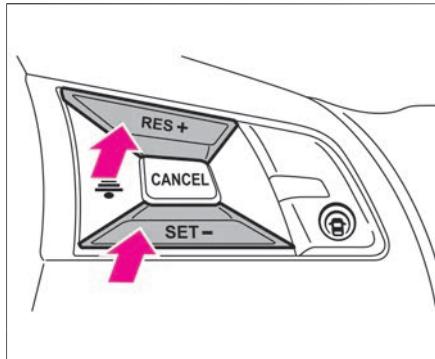


知識

- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 先行車を検出していない場合、車速が約25km/h以下になると、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

■ 設定車速の変更のしかた

- 設定車速が5km/hきざみで変更できます。
- 設定車速を上げたいときは、RES+スイッチを押します。
 - 設定車速を下げたいときは、SET-スイッチを押します。



知識

- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、RES+スイッチを押して、設定車速を上げても加速しません。このとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速はアドバンスドドライブアシストディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

次ページに続く

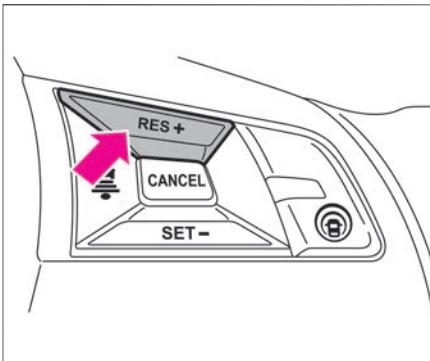
■ 一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

- アクセルペダルを踏むと、加速します。
- アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
- 解除前の設定速度で再びセットしたいときは、RES+スイッチを押します。



知識

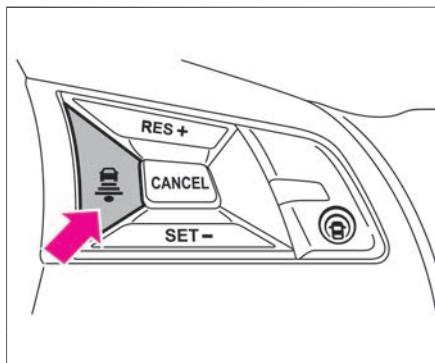
- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェント クルーズコントロールによるブレーキ制御も接近警報も行いません。
- 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。
- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、SET-スイッチで設定速度を下げた場合などで設定速度より実際の速度の方が高くなったときは、設定速度表示が点滅します。



■ 車間距離設定の変更のしかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。インテリジェント クルーズコントロール制御中またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

- 車間設定スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



知識

- 車間距離は車速に応じて変わり、速度が高いほど長くなります。

車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

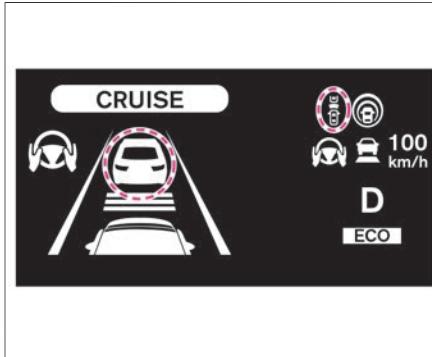
- 車間設定は、e-POWERシステムを停止しても再度設定を変更するまでの状態が維持されます。

割り込み検知

- 自車に近い位置に他車が割り込んできたときは、"ローン"という音とともに先行車検出表示が点滅し、運転者にお知らせします。

接近警報

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーとアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。
- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴り、アドバンスドドライブアシストディスプレイの先行車検出表示および接近警報表示が点滅します。



知識

- 接近警報が頻繁に作動するような状況では、インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。
 - 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
 - 先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
 - 他車が至近距離に割り込んできたとき
- 料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては接近警報は作動しません。

追い越し時加速機能

- 設定車速が70km/h以上でインテリジェント クルーズコントロール制御中、先行車が設定車速以下のとき、方向指示器を右折側に操作すると、車両が加速し先行車を追い越す準備を始めます。
- 運転者がステアリングを操作し、追い越すために車線を変更したときに先行車を検出した場合は、運転者がセットした車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車を検出しなかった場合は運転者がセットした車速で定速走行します。



知識

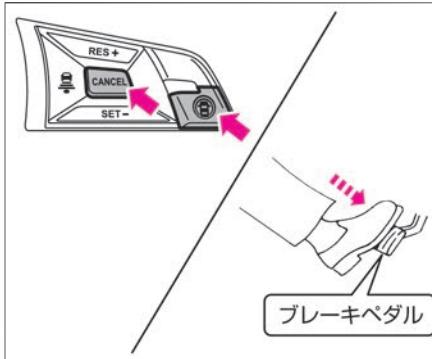
- 方向指示器を右折側に操作し、車両が加速しているときに先行車との距離が近づきすぎると加速は停止し、設定してある車間距離に戻ります。
- 次の場合は追い越し時加速機能が解除されます。
 - ブレーキを踏んだとき
 - CANCELスイッチを押したとき

次ページに続く

■ インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた

次のいずれかの操作でインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- プロパイロットスイッチ \textcircled{B} を押す
- ブレーキペダルを踏む
(インテリジェント クルーズコントロールにより、自車が停止状態を保持しているときを除く)



警告

- 車から離れるときは、必ずプロパイロットスイッチ \textcircled{B} を押して、プロパイロットをOFFにし、シフトポジションをPに入れ、e-POWERシステムを停止する。

■ インテリジェント クルーズコントロールの自動解除

- 次の場合は、解除音とともにインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。
 - 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
 - 運転席のシートベルトを解除したとき
 - 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
 - インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止後、約3分が経過したとき
 - シフトポジションを **D** または **B** 以外にしたとき
 - 電動パーキングブレーキをかけたとき
 - VDCをOFFにしたとき
 - VDC/TCSが作動したとき
 - タイヤが空転したとき
 - 周辺の電波源の影響を受けているとき
- 次の場合は「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と表示され、作動が停止します。
 - レーダーセンサー部が汚れ、先行車の検出が困難になったとき
システムを再び作動させる場合は、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止してレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから再始動し、再びシステムをONにしてください。
 - 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき（例：長い橋、雪原、長い壁の横など）
システムを再び作動させる場合は、上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。



アドバイス

- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止状態を保持中に運転席ドアを開けたとき、電動パーキングブレーキが正常に作動しなかった場合は「停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください」と警告メッセージが表示されます。



知識

- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止状態を保持しているとき、次の条件により、インテリジェント クルーズコントロールが解除されると電動パーキングブレーキが作動します。
 - 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
 - 運転席のシートベルトを解除したとき
 - インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止後、約3分が経過したとき
 - シフトポジションを **D** または **B** 以外にしたとき
 - VDCをOFFにしたとき

次ページに続く

知識

- インテリジェント クルーズコントロールに異常があるとき
- CANCELスイッチを押したとき
- プロパイロットスイッチを押したとき

■ インテリジェント クルーズコントロールの故障について

- システムに異常があると、警告音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイ内に車速制御警告灯（オレンジ）、およびハンドル支援警告灯（オレンジ）が点灯し、警告が表示され、システムが停止します。

車速制御警告灯 (☞P.243)

ハンドル支援警告灯 (☞P.243)



アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

次ページに続く

■ プロパイロット（インテリジェント クルーズコントロール）警告メッセージ

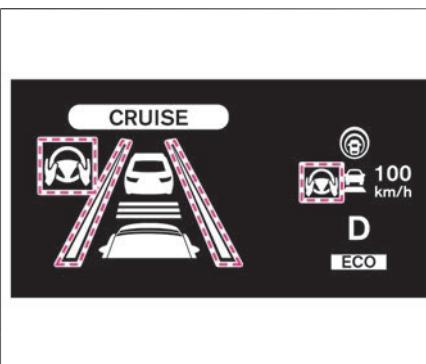
警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。 メーター内の表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 作動範囲外のため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● VDC/TCSが作動したとき ● タイヤの空転を検出したとき ● VDCをOFFにしたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● VDC/TCSが作動する、またはタイヤが空転するような状況ではインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。 ● VDCがOFFの場合はインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 パーキングブレーキが 作動しているため 使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パーキングブレーキが作動したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パーキングブレーキが作動しているときはインテリジェント クルーズコントロールは使用することができます。
 シートベルトが 解除されているため 使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転席のシートベルトを解除したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転席のシートベルトが解除されている場合はインテリジェント クルーズコントロールは使用することができます。
 警告  システム故障 取扱説明書を見てください	<ul style="list-style-type: none"> ● システム故障 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント クルーズコントロールにより車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 速やかにブレーキを踏んでください。

■ ハンドル支援の作動

車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。

- ハンドル支援は、次の条件を満たすとき作動することができます。
 - インテリジェント クルーズコントロールの制御が開始しているとき
 - 両側のレーンマーカーを検出しているとき
レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のこと を示します。
 - 先行車を検出しているとき（車速が 約50km/hを下回っている場合のみ）
 - 運転者がハンドルを持っているとき
 - 車線の中央を走行しているとき
 - 方向指示器が作動していないとき
 - ワイパーが高速で作動していないとき
- ハンドル支援が作動すると、ブザーが鳴るとともにハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が緑色になります。



ハンドル支援のON・OFFのしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「ハンドル支援」を選択すると、ハンドル支援のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

☞ 画面の切り替えかた (P.82)

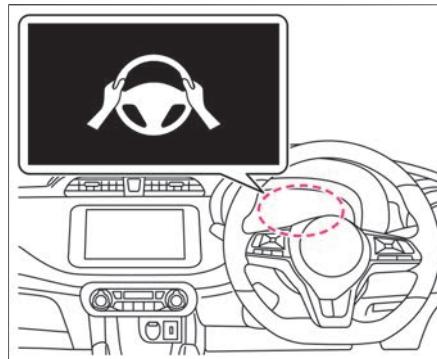
☞ 運転支援システム (P.93)

知識

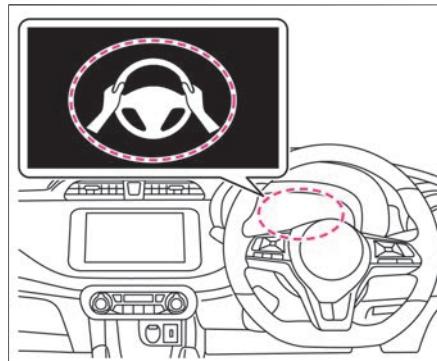
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの車両情報画面がクルーズ画面のときは、ステアリングにある  スイッチを押すとハンドル支援の設定画面が表示されます。
- ハンドル支援のON・OFF設定はe-POWERシステムを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

手放し警告について

- 運転者がハンドルを持っていない、または操作していない場合、アドバンスドライバーアシストディスプレイに手放し警告が表示されます。



- 手放し警告が表示がされているにもかかわらず、運転者のハンドル操作が検出されない場合は、警告音とともに手放し警告が点滅し、ハンドル支援機能は一時待機状態となります。



⚠️ 警告

- 手放し運転を行うことはできません。
運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

🚗 アドバイス

- ハンドルに手を軽く添えて運転をしている場合など、ハンドル操作を検出できず、手放し警告が表示されることがあります。

📖 知識

- 手放し警告によりハンドル支援が一時待機状態となった後、再び運転者がハンドル操作すると手放し警告は消灯し、ハンドル支援機能が復帰します。

■ ハンドル支援の一時待機について

運転操作による一時待機

- 方向指示器を作動させたときは、ハンドル支援機能が一時待機状態になります。（再び作動条件を満たすと作動を再開します）
- ハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が灰色になります。
プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（☞P.264）

システムによる一時待機

- 次の場合は、ブザーとともに警告メッセージが表示され、ハンドル支援機能が一時待機状態になります。（再び作動条件を満たすと作動を再開します）
 - 両側の車線を検出しなくなったとき
 - 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき
- ハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が灰色になります。
プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（☞P.264）

■ ハンドル支援の自動解除

- 次の場合は、警告メッセージが表示され、ハンドル支援機能が解除されます。
 - ワイパーを高速で作動させたとき
 - 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど）
- ハンドル支援によるステアリング制御は、運転者のハンドル操作によりいつでも修正することができます。

プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（☞P.264）

知識

- ハンドル支援によるステアリング制御は、運転者のハンドル操作によりいつでも修正することができます。

■ ハンドル支援機能の故障について

- システムに異常があると、警告音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに車速制御警告灯（オレンジ）、およびハンドル支援警告灯（オレンジ）が点灯し、警告が表示され、システムが停止します。

車速制御警告灯 (→P.243)

ハンドル支援警告灯 (→P.243)



アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

次ページに続く

■ プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。 メーター内の表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 ハンドル支援は一時的に作動できません	<ul style="list-style-type: none"> 両側の車線を検出しなくなったとき 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき 	<ul style="list-style-type: none"> 作動条件を再度満たすとハンドル支援機能は再開されます。
	<ul style="list-style-type: none"> ハンドルを持っていない、またはハンドル操作がないとき 	<ul style="list-style-type: none"> 速やかにハンドルを持って操作してください。運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、ハンドル支援機能が復帰します。
レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	<ul style="list-style-type: none"> 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマークが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマークなど） 	<ul style="list-style-type: none"> 再びハンドル支援機能を使用したいときは、レーンマークがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを解除し、再度セットしてください。
 悪天候のため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ワイパーを高速で作動させたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ワイパーの高速作動を解除して再度セットしてください。
 カメラが認識できないため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき 前方から強い光を受けたとき 	<ul style="list-style-type: none"> 状況が改善すると、プロパイロットを使用することができます。 警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止してカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 カメラが高温のため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内の温度が下がるとプロパイロットを使用することができます。

次ページに続く

プロパイロットに関する注意事項

⚠ 警告

- プロパイロットは脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。
先行車との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転に心がけてください。
- プロパイロットの性能には限界があります。次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、プロパイロットを使用しないでください。
 - 急カーブや曲がりくねった道
プロパイロットは直線路や緩やかなカーブ路での使用を想定して設計しているため、車線中央付近を維持できなくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 急勾配の坂道
停止状態を保持できず、車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 急な下り坂
設定車速を超してしまうおそれがあります。また先行車がいる場合は、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。
 - 凍結路や積雪路などの滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況
ブレーキ作動が遅れて車間距離が短くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 道路構造物（壁、ガードレール、ポール、縁石など）と、レンスマーカーが極端に近い道
道路構造物に接近し思わぬ事故につながるおそれがあります。

 警告

- 次のような状況では先行車との車間距離が正確に検出できない、またはレーンマークが検出できない場合があり、適切に制御できず、思わぬ事故につながるおそれがありますのでプロパイロットを使用しないでください。
 - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
 - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
 - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - 工事などによる車線規制や仮設のレーンマークがあるとき
 - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行するとき
 - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 次のような状況ではプロパイロットは正しく機能しません。プロパイロットを使用しないでください。
 - タイヤの空気圧が適正ではないとき

次ページに続く

 **警告**

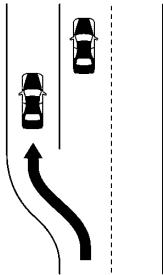
- 摩耗しているタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
 - カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
 - 極端に重い荷物を積んでいるとき
 - けん引しているとき
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

 知識

- プロパイロットを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラス、レーダーセンサーおよびその周辺のお手入れを行ってください。
-  マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.480)
-  レーダーセンサーの取り扱い (P.479)

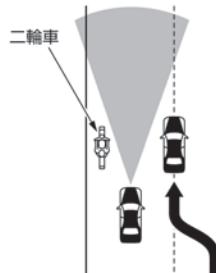
インテリジェント クルーズコントロールについて

- 高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でインテリジェント クルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 近距離ではレーダーセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、車間距離が適切に保てない場合があります。

次ページに続く

 知識


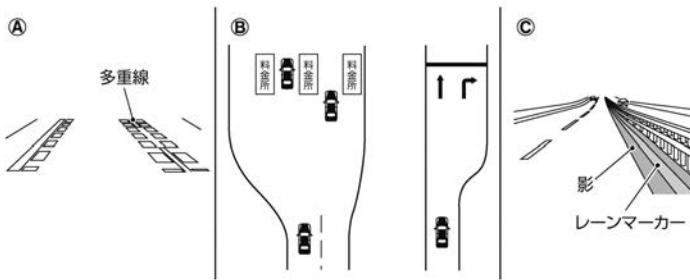
- レーダーセンサーの汚れを判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはレーダーセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、適切な作動ができなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、レーダーセンサーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。なお、汚れを判定した場合は、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や自車の状況（ハンドル操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に先行車を検出できなくなったり、隣の車線の車両や周辺のものを検出して制御したり、警報が作動する場合があります。また、一時的に先行車を検出できず、先行車に近づく場合があります。

ハンドル支援機能について

- 次のような状況ではレーンマーカーを正しく検出できず、適切なハンドル制御が行えない場合があります。
 - レーンマーカーが消えかかっている、汚れているなど不明瞭なとき
 - レーンマーカーが路面の色と似ており見えにくいとき

 知識

- レーンマーカーが多重に描かれているときⒶ
- 消されたレーンマーカーが、まだ薄く残っているとき
- 料金所や交差点手前などでレーンマーカーがない、またはレーンマーカーが大きく変化しているときⒷ
- 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
- 停止禁止部分または立ち入り禁止部分がある道を走行しているとき
- 濡れている、または水たまりがある路面を走行しているとき
- 工事などで車線内に複数のレーンマーカーがある道を走行しているとき
- 道路構造物、街路樹、建物などの影が差している路面を走行しているときⒸ
- 合流、分岐路を走行しているとき



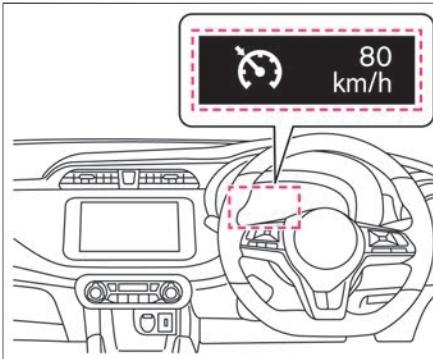
次ページに続く

■ 定速制御機能について

定速制御機能を使用すると、シフトポジションが**D**または**B**のとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。（ハンドル支援や車間制御は行いません。）約40km/h以上で任意の速度にセットできます。

■ 定速制御機能表示

- プロパイロットスイッチ^(a)をONにすると点灯し、システムの作動状態を色で表示します。セットすると設定した速度を表示します。
 - 白色：プロパイロットスイッチ^(a)を1.5秒以上押し、システムがONになると表示します。
 - 緑色：車速を設定すると表示します。
 - オレンジ色（警告灯）：システムが故障すると表示します。



⚠ 警告

- 定速制御機能を使用するときは、十分な車間距離をとる。
定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次の状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使用しない。
 - 交通量の多い道や急カーブのある道
 - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - 急な下り坂

■ アドバイス

- 定速制御機能表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止し、再始動してから再度定速制御機能をセットして



アドバイス

ください。e-POWERシステムを再始動後もセットできない、または定速制御機能表示がオレンジ色に点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

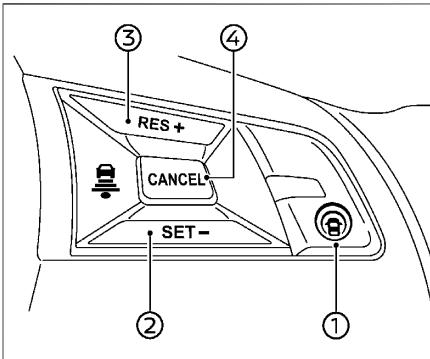


知識

- 定速制御機能使用時は、ハンドル支援を行いません。

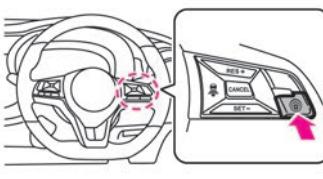
■ステアリングスイッチ（定速制御機能）

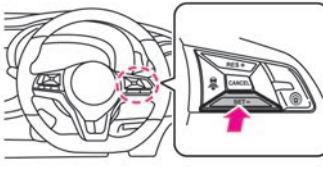
- ① **プロパイロットスイッチ④**
—一定速制御機能のON・OFFができます。
- ② **SET-スイッチ**
—スイッチを押したときの車速で定速制御機能をセットできます。
—設定車速を下げる事ができます。
- ③ **RES+スイッチ**
—一定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
—設定速度を上げることができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
—一定速制御機能の解除ができます。



定速走行のしかた

- 1 ハンドルにあるプロパイロットスイッチ[◎]を1.5秒以上押して定速制御機能をON（待機状態）にします。
アドバンスドドライブアシストディスプレイに定速制御機能表示が点灯します。


- 2 設定したい速度まで加速または減速します。
- 3 SET-スイッチを押します。
SET-スイッチを押したときの車速で定速走行を開始します。



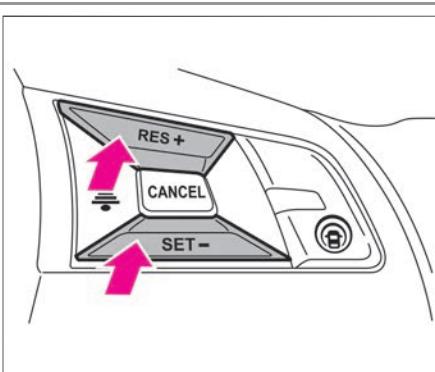
知識

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

■ 設定車速の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中にRES+スイッチを押し続けると加速します。設定したい速度で手を離します。



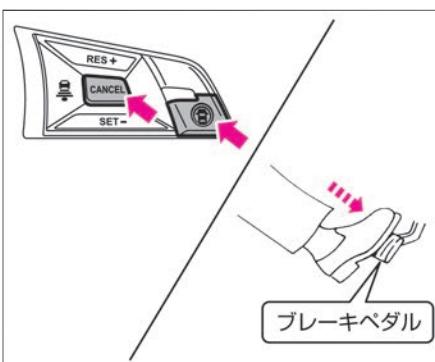
速度を下げる

- 定速走行中にSET-スイッチを押し続けると減速します。設定したい速度で手を離します。

■ 定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- プロパイロットスイッチ⑩を押す
- ブレーキペダルを踏む



アドバイス

- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。解除前の設定車速で再びセットしたいときは、RES+スイッチを押します。
(車速が約40km/h以上のとき戻せます。)
- 次の場合は、“ピー”という音とともに制御が解除されます。
 - 速度が約30km/h以下になったとき



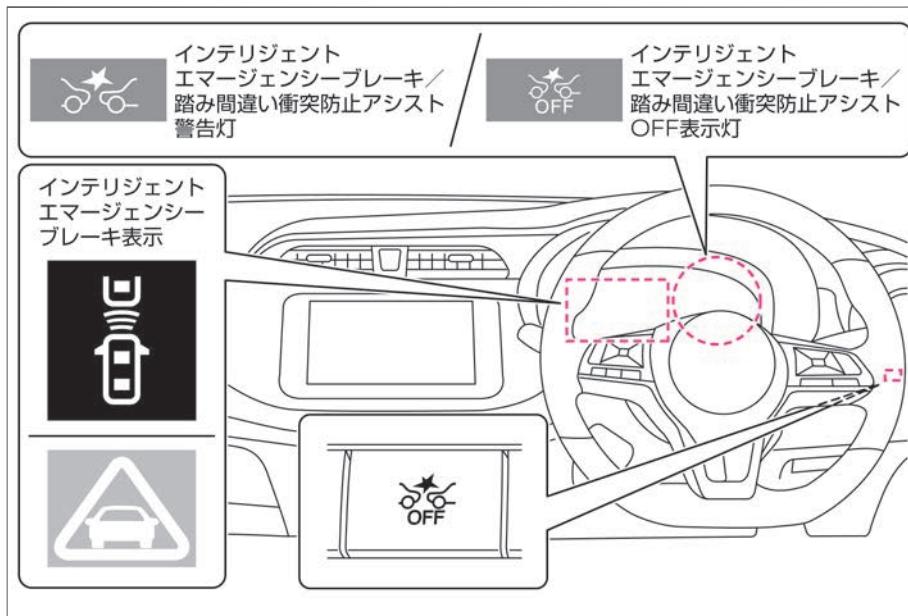
アドバイス

- 設定速度より約13km/h以上速度が低下したとき
- VDC/TCSが作動したとき
- タイヤが空転したとき
- シフトポジションを **D** または **B** 以外にしたとき
- システムに異常があるとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ

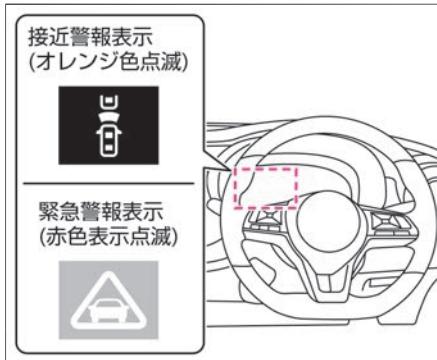


警告 (Warning)

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

■ インテリジェント エマージェンシーブレーキについて

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラおよび車両前部のレーダーセンサーにより前方の車両や歩行者を検知します。
- 車速約10~80km/hの範囲で作動します。
(車速約60km/h以上では、歩行者に対しては作動しません。)
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）がオレンジ色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音（ブザー）とともに強いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。



知識

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
 - 前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- システムによるブレーキ作動中にブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすること

 知識

がありますが異常ではありません。
また、踏力を加えることで、ブレーキ力を増すことができます。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」および「クルーズ」に切り替えると、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。

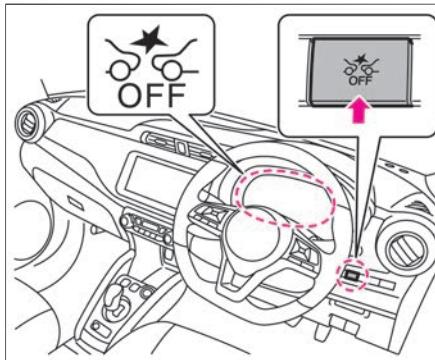
詳しくは、 画面の切り替えかた
(P.82)をお読みください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

■ インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた

スイッチでのON・OFFの設定

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト OFFスイッチを押すごとにON・OFFを切り替えることができます。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。（インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯）



メーターでのON・OFFの設定

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「エマージェンシーブレーキ」⇒「フロント」を選択すると、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
 - ☞ [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)
 - ☞ [運転支援システム \(P.93\)](#)
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。（インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯）

知識

- e-POWERシステムを再始動するとONになります。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト（☞ P.289）もOFFになります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項



知識

- 次のような障害物は検知しません。
 - 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - 対向車両
 - 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - 幕かはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - 前方を横切って通過する車両
 - 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などの付着やワイパーの拭き残しがあるとき
 - カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
 - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき

 知識

- カーブを走行しているとき
 - 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
 - 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
 - 始動してから約15秒間
 - カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーべード)
 - カメラの向きがずれているとき
 - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
- 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。

次ページに続く

 知識

- 歩行者の移動速度が速いとき
 - 対向して接近する歩行者
 - 歩行者の姿勢や手足の状態（手を上げているときなど）により歩行していると特定できないとき
 - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
 - 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両(二輪車など)
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
 - ショッピングカートやベビーカーなどを押しているとき
- 以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
- 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
- 滑りやすい路面を走行しているとき

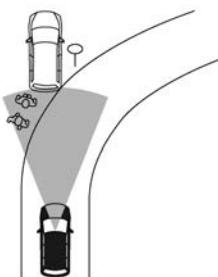
 知識

- 勾配のある路面を走行しているとき
- 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
- 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
- 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 車両が傾いているとき(後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき)
- 路面または壁面の影や模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示や濡れた路面に映り込んだ模様、わだちなどや光の反射を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、カーブミラー、電柱や電線、看板）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。
- 右左折中の前の車両にシステムが作動を継続する場合があります。
- 前の車両に接近し追い越すとき、システムが作動する場合があります。
- 道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、ワインディング道、車線規制や工事中など）によっては、一時的に自車正面の対向車にシステムが作動する場合があります。
- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。

次ページに続く

 知識

- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



- 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行路にある物（近接する樹木など）

■ インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯  が点灯し、作動が停止します。
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - VDCをOFFにしたとき
 - 周辺の電波源の影響を受けているとき
停止したときの状態が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。
- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯  およびインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - フロントガラスの汚れなどにより、カメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき
 - 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
(室内の温度が下がると、作動を復帰します。)
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯  が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
警告灯 (☞P.409)
警告メッセージ (☞P.418)
- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯  が点灯するとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、システムが自動的に停止します。
 - 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき

次ページに続く

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

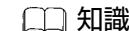
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、e-POWERシステムを再始動してください。

- 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき
(例：長い橋、雪原、長い壁の横など)
上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(☞P.480)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (☞P.409)



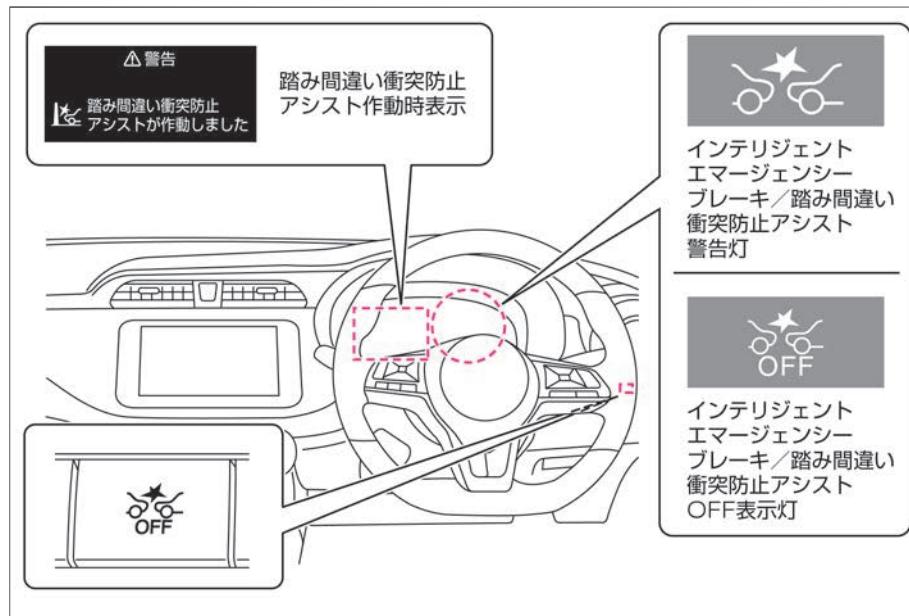
知識

- VDCをOFFにしたときは、メーターの表示と警報音（ブザー）のみ作動します。
- 夜間、ライトを付けずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 [☆☆] が点滅する場合があります。

踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストは、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがいる場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。さらにe-POWERシステムやブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



警告 (Warning)

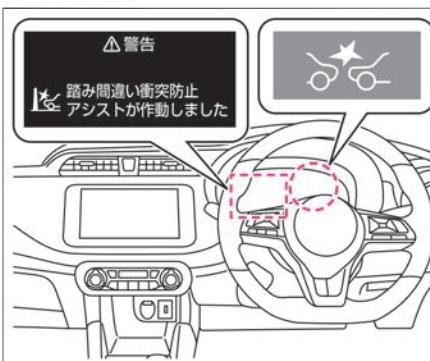
- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストについて

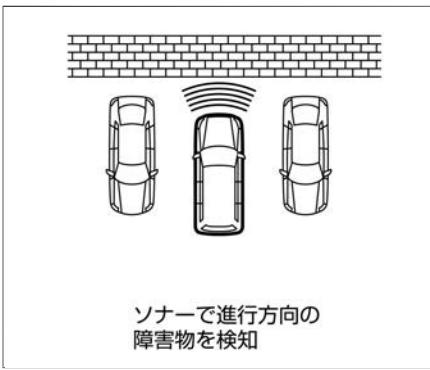
前進時

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。



後退時

- リヤバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。
- 踏み間違い衝突防止アシストには、2つの機能があります。次ページ以降をお読みください。



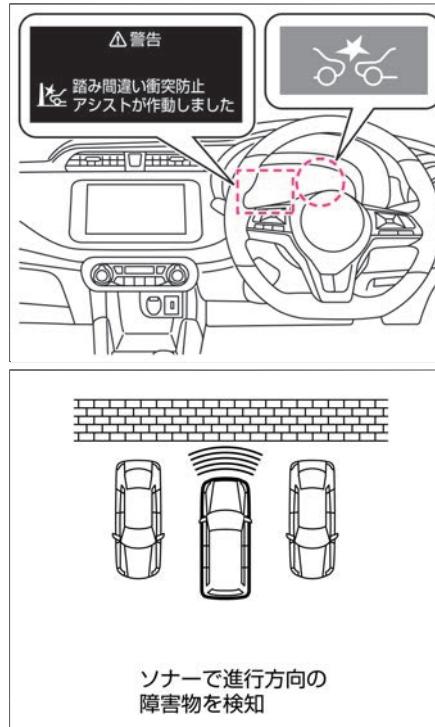
踏み間違い衝突防止アシスト

低速加速抑制機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/hの範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/hの範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音（ブザー）と警告灯の点滅、およびアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に警告します。

警告灯 (☞P.409)

警告メッセージ (☞P.418)



警告

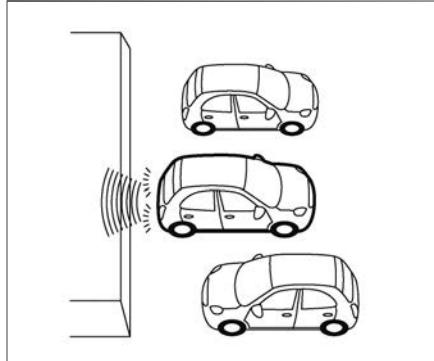
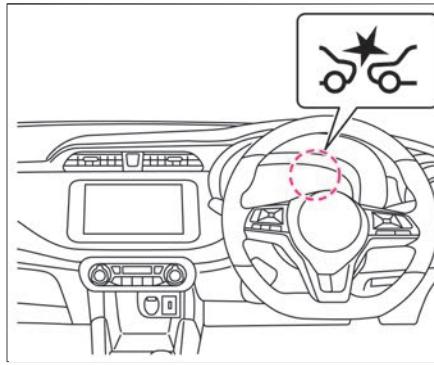
- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わず事故につながるおそれがあります。

踏み間違い衝突防止アシスト

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、または後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、e-POWERシステムの出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約2～15km/h の範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音（ブザー）と警告灯の点滅によって運転者に警告します。

警告灯 (● P.409)


 知識

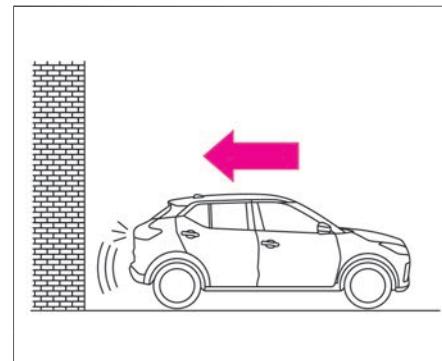
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

■ 低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうになったとき

万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）と警告灯が点滅し、ブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。



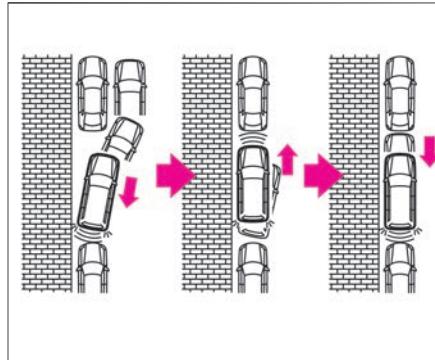
アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

次ページに続く

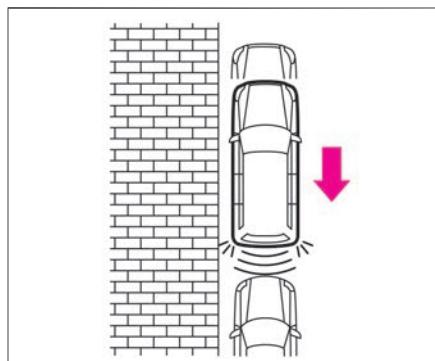
踏み間違い衝突防止アシスト

縦列駐車をするとき

シフトポジションを **D** から **R**、または **R** から **D** に切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。

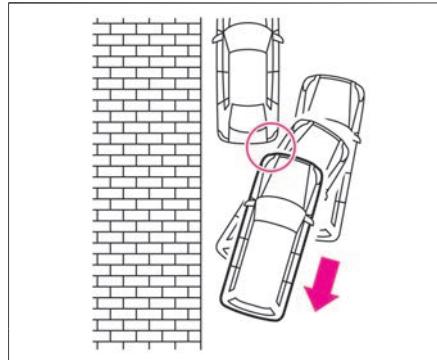


- ブレーキ制御が作動したあと、シフトポジションを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をした場合は、ブレーキ制御は作動しません。
- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れことがあります。

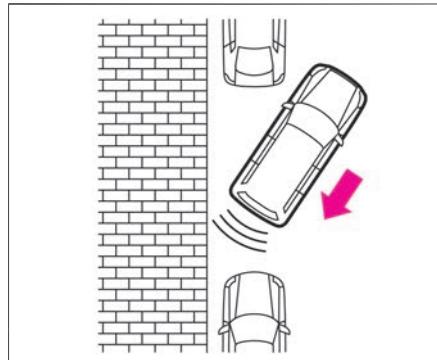


踏み間違い衝突防止アシスト

- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対して作動しません。



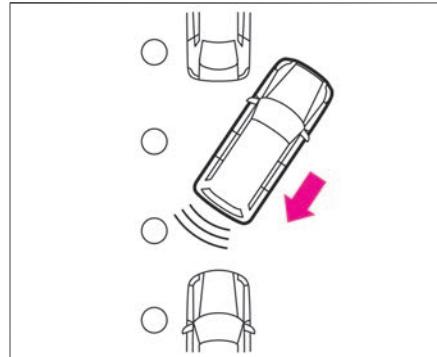
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



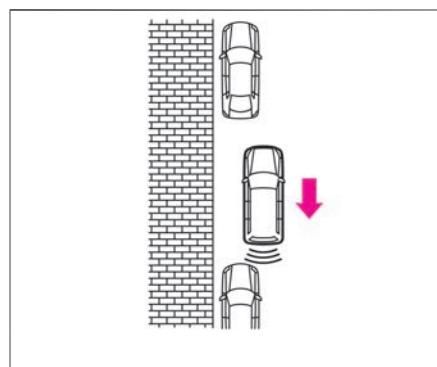
次ページに続く

踏み間違い衝突防止アシスト

- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。



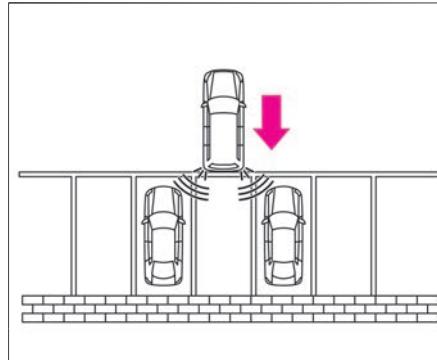
- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れことがあります。



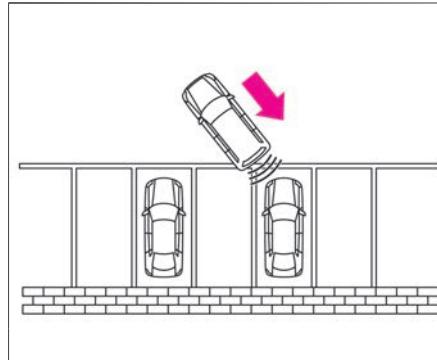
踏み間違い衝突防止アシスト

並列駐車をするとき

- 狹いスペースに進入するときに作動することがあります。



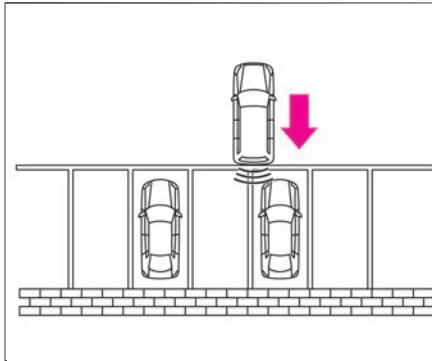
- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。



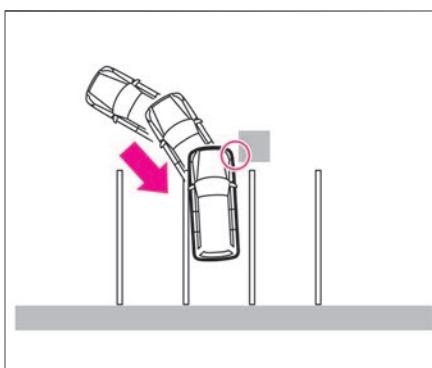
次ページに続く

踏み間違い衝突防止アシスト

- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れことがあります。

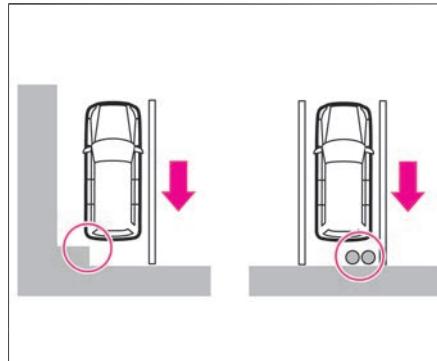


- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



踏み間違い衝突防止アシスト

- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



次ページに続く

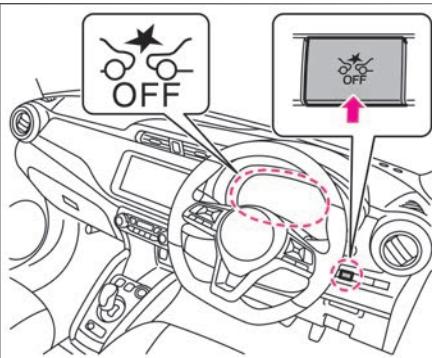
踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた

スイッチでのON・OFFの設定

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト OFFスイッチを押すごとにON・OFFを切り替えることができます。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。（インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯）

メーターでのON・OFFの設定

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「エマージェンシーブレーキ」⇒「フロント」を選択すると、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
 - ⇨ 画面の切り替えかた (P.82)
 - ⇨ 運転支援システム (P.93)
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。（インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯が点灯）



知識

- e-POWERシステムを再始動するとONになります。
- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定と連動しています。

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項



警告

- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。
 - けん引するとき
 - トレーラーなどに積載するとき
 - 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
 - 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)
- ソナーは次のような障害物は検知しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - バンパーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
- ソナーは次のような場合は障害物を検知しないことや作動が遅れことがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 周囲に超音波を発するものがあるとき
- ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。
 - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき

次ページに続く

⚠ 警告

- 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- ソナーは次のような場合は検知することがあります。
- 周囲に草が生い茂っているとき
 - 車両側面の近くに壁があるとき
 - 路面上に段差や突起物があるとき
 - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
 - 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
 - 背が高く上部が張り出しているものがあるとき
- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。
- 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - 対向車両
 - 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
- バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - 幕がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - 前方を横切って通過する車両
 - 斜めもしくは前向きに止まっている車両

踏み間違い衝突防止アシスト

⚠ 警告

- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
 - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起ったとき
 - カーブを走行しているとき
 - 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
 - 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
 - 始動してから約15秒間
 - カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパー・ブレード)
 - カメラの向きがずれているとき

次ページに続く

 警告

- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
 - 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両(二輪車など)
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合

踏み間違い衝突防止アシスト

⚠ 警告

– 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏む。
低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

⚠ 注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。
車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れことがあります。

次ページに続く

 アドバイス

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
 - 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - ハンドルを大きく切って旋回しているとき
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
 - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - 車両が傾いているとき(後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき)
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。（前方の車両、歩行者を除く）

踏み間違い衝突防止アシスト



知識

低速加速抑制機能について

- ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速制御機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
 - 車速が約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約25km/h以上）
 - ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - シフトポジションが **D**、**B**、**R** 以外のとき
 - トラクションコントロール機能（TCS）が作動しているとき
 - タイヤが空転しているとき
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車

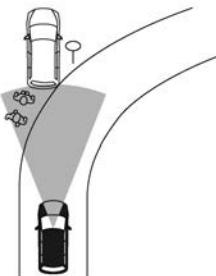
次ページに続く

踏み間違い衝突防止アシスト

知識

両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。

- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。
 - 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



- 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- 駐車場内にある物（梁など）

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 次の場合は作動しません。
 - 車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき

 知識

– シフトポジションが **D**、**B**、**R** 以外のとき

- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。

次ページに続く

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯  が点灯し、作動が停止します。
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - VDCをOFFにしたとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯  が点滅し、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。
詳しくは、[④ インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき \(P.287\)](#)をお読みください。
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯  が点灯するとともに、アドバンスドドライバーアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
警告灯 ([④ P.409](#))
警告メッセージ ([④ P.418](#))



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、[\(④ P.483\)](#)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 ([④ P.409](#))

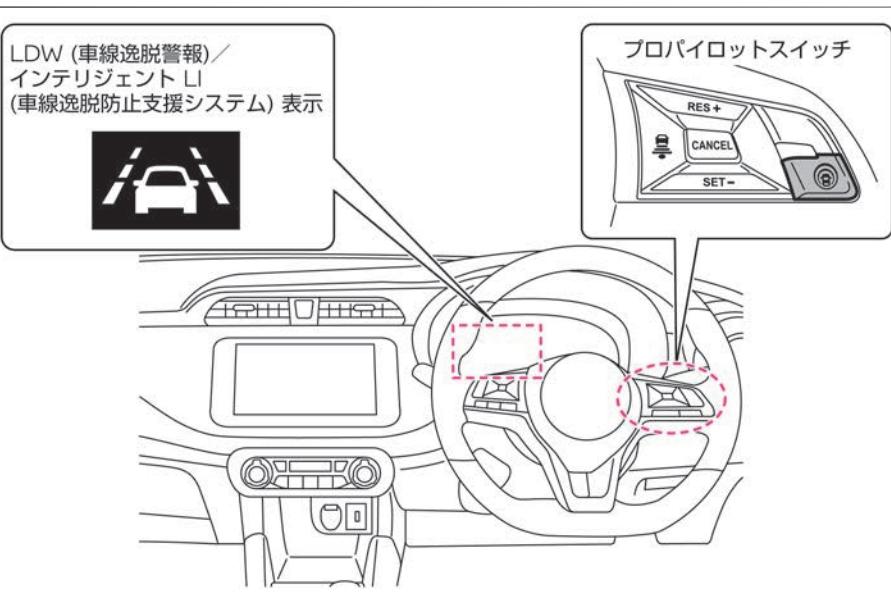
運転支援機能

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

LDW（車線逸脱警報）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

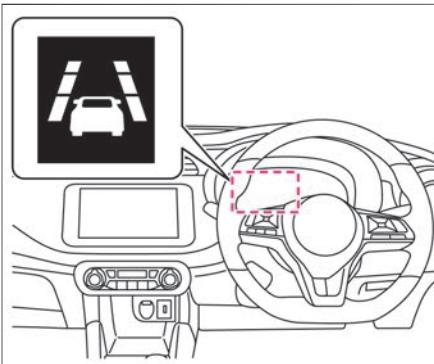
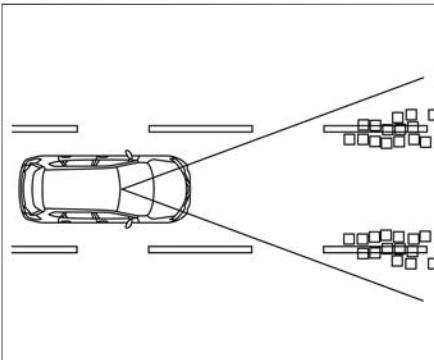
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

- カメラには限界があるため、機能を過信しない。

道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

LDW（車線逸脱警報）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ハンドルの振動とともにメーター内のLDW（車線逸脱警報）表示がオレンジ色に点滅します。
レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことです。



知識

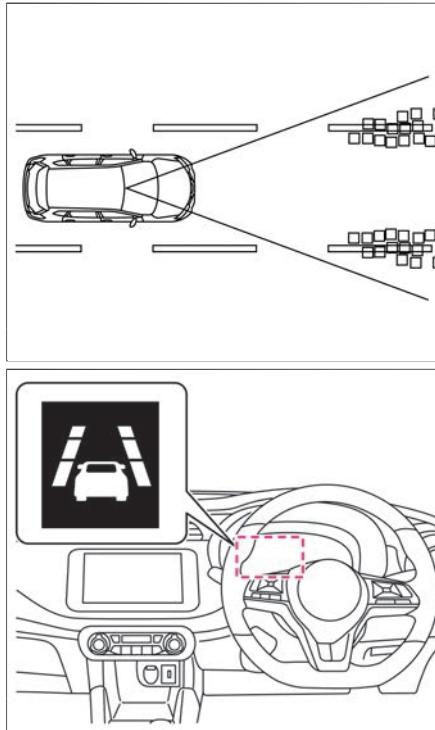
- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。（方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません。）
- アドバンスドドライバアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の作動状態をアドバンスドドライバアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、運転支援システムをお読みください。

☞ 画面の切り替えかた (P.82)

☞ 運転支援システム (P.93)

■ インテリジェント LK（車線逸脱防止支援システム）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速が約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ハンドルの振動とともにメーター内のインテリジェント LK（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、車両を車線内に戻す方向に制御力を短時間発生させて車両を車線内に戻す操作を促します。
- レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。



知識

- 車両の移動する方向に方向指示器を使用している場合は、警報もブレーキ制御も行いません。（方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません。）
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、インテリジェント LK（車線逸脱防止支援システム）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは運転支援システムをお読みください。
- ☞ [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)
 ☞ [運転支援システム \(P.93\)](#)

ON・OFFのしかた

LDW（車線逸脱警報）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「側方支援」⇒「LDW（車線逸脱警報）」を選択すると、LDW（車線逸脱警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

☞ 画面の切り替えかた (P.82)

☞ 運転支援システム (P.93)

知識

- 設定は、e-POWERシステムを再始動しても維持されます。
- e-POWERシステムを停止するとインテリジェント LK（車線逸脱防止支援システム）はOFFになります。

インテリジェント LK（車線逸脱防止支援システム）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「側方支援」⇒「LDP（車線逸脱防止支援）」をONにしているとき、プロパイロットスイッチを押すとシステムがONになります。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

☞ 画面の切り替えかた (P.82)

☞ 運転支援システム (P.93)

■ LDW(車線逸脱警報)／インテリジェント LI(車線逸脱防止支援システム)に関する注意

⚠ 警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) を使用しないでください。
 - 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
 - 純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーク）がある道路を走行するとき
 - 急なカーブのある道路を走行するとき
 - 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
 - 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります。）
 - 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
 - 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき

⚠ 警告

- 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- 汚れなどでヘッドライトの明るさが不十分なときやヘッドライトの光軸調整が適切に行われていないとき
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

**アドバイス**

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

■ 作動が停止するとき

LDW（車線逸脱警報）

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、メーター内のLDW（車線逸脱警報）表示が点滅し、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、作動を復帰します。）
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。

警告 (☞P.418)

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(☞P.480)をお読みください。
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
e-POWERシステム再始動後も警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- ☞ LDW（車線逸脱警報）表示 (P.107)

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

- 次の場合は、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。
 - ABSまたはVDC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき
 - VDCをOFFにしたとき

システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度プロパティロットスイッチ[Ⓐ]をOFFにし、再度インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）をONにしてください。

- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。システムを再び作動させる場合は、室内的温度が下がってから再びシステムをONにしてください。
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点灯し、作動が停止します。



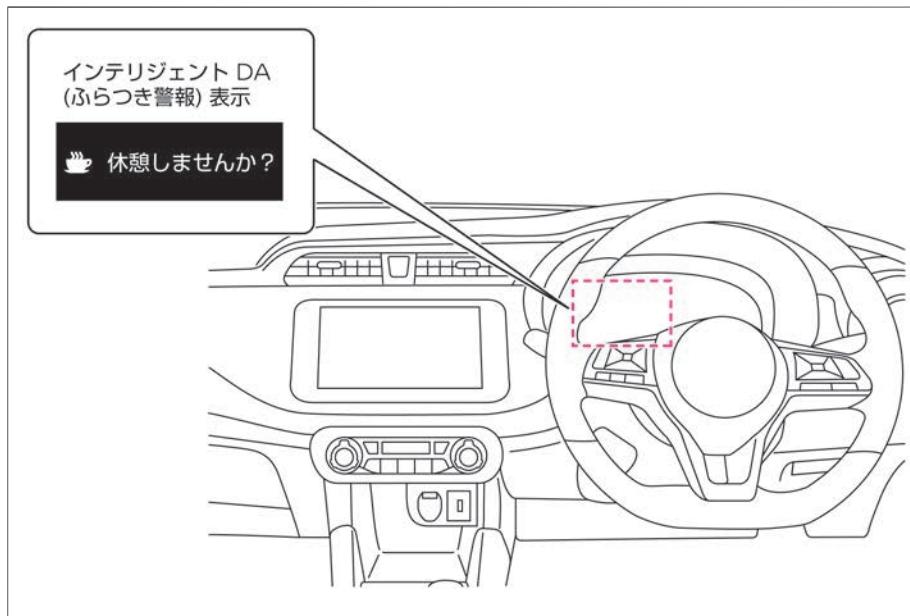
アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（☞P.480）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停止し一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。e-POWERシステム再始動後も警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント DA (ふらつき警報)

インテリジェント DA (ふらつき警報) は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、アドバンストドライバアシストディスプレイの表示と音により運転者に休憩を促します。

システムに関連する表示



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

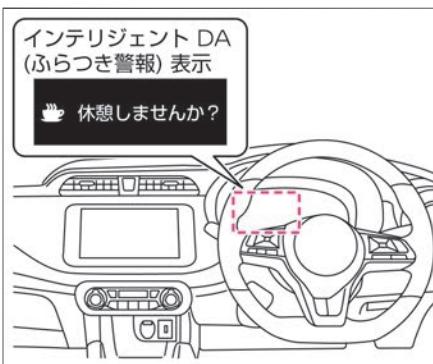
このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故に至る危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。

次ページに続く

■ インテリジェント DA (ふらつき警報) について

- 車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「休憩しませんか？」と警告メッセージを表示します。

警告メッセージ (☞P.419)



■ インテリジェント DA (ふらつき警報) の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ☰」⇒「運転支援システム」⇒「ふらつき警報」を選択すると、インテリジェント DA (ふらつき警報) 機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

☞ 画面の切り替えかた (P.82)

☞ 運転支援システム (P.93)

知識

- 設定は、e-POWERシステムを再始動しても維持されます。
- プロパイロット作動中は、インテリジェント DA (ふらつき警報) のシステムはOFFになります。

☞ プロパイロット (P.239)

■ インテリジェント DA (ふらつき警報) の作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動が停止します。

警告メッセージ (☞P.419)



アドバイス

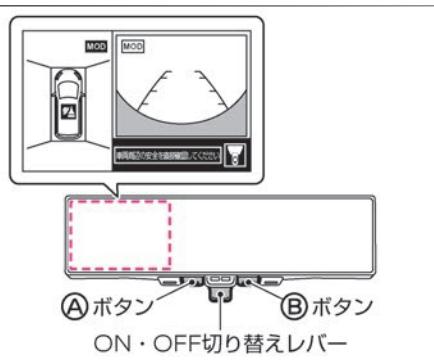
- 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。
通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物検知機能付）★

インテリジェント アラウンドビューモニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

■ インテリジェント アラウンドビューモニターについて

- インテリジェント アラウンドビューモニターはインテリジェント ルームミラーに表示されます。
- パワースイッチがONのときに、インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引き、Ⓐボタンを押すか、シフトポジションを[R]にすると表示します。



⚠ 警告

- インテリジェント アラウンドビューモニターの機能を過信しない。インテリジェント アラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。
- 実際の距離感を間違えないように注意する。インテリジェント アラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

知識

- インテリジェント ルームミラーの設定で、インテリジェント アラウンドビューモニター画面位置を切り替えることができます。



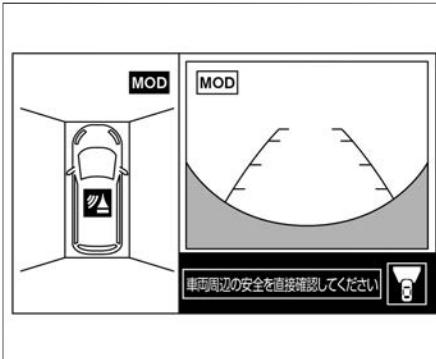
知識

☞ Camera Position (カメラ表示位置) (P.148)

次ページに続く

■ インテリジェント アラウンドビューモニターの使いかた

- インテリジェント ルームミラーがインテリジェント ルームミラー モードの時に使用できます。（❸P.142）
- シフトポジションを **R** にするとインテリジェント アラウンドビューモニターが ON になり、トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）を表示します。シフトポジションを **R** から他の位置にすると、インテリジェント アラウンドビューモニターが OFF になります。
- シフトポジションが **D** または **B** のときに、ソナーが障害物を検知したときはインテリジェント アラウンドビューモニターが ON になり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。障害物の検知がなくなると、インテリジェント アラウンドビューモニターは OFF になります。
- インテリジェント ルームミラーのⒶボタンを押すとインテリジェント アラウンドビューモニターが ON になり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。
- インテリジェント ルームミラーの ON・OFF 切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、インテリジェント アラウンドビューモニターが OFF になります。



⚠ 警告

- ドアミラーを格納した状態で使用しない。
適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

知識

- インテリジェント ルームミラーのⒷボタン（インテリジェント アラウンドビューモニターが右側に表示されているときはⒶボタン）を押すと、画面を切り替えることができます。
 - セレクトレバーが **R** のとき
トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）
→サイドブラインドビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）
→リヤビュー（全画面）
→インテリジェント アラウンドビューモニター OFF
 - セレクトレバーが **R** 以外のとき
トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）
→サイドブラインドビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）

 知識

→インテリジェント アラウンド
ビューモニターOFF

- 右側画面にフロントビューが表示されているときにシフトポジションを **R** にすると、リヤビューに切り替わります。シフトポジションを **R** から他の位置にすると、再度、フロントビューに切り替わります。
- **3分タイマー機能**
 - ④ボタンを押してから約3分後にインテリジェント アラウンドビューモニター表示が消える機能です。シフトポジションが **R** 以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中に④ボタン（インテリジェント アラウンドビューモニターが右側に表示されているときは④ボタン）を押したり、ソナーまたは移動物検知機能が作動したりするとタイマーがリセットされます。）

次ページに続く

画面の見かた

①左側画面

- トップビューまたはサイドブレインドビューを表示します。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

- 移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。

- : 移動物 検知機能が作動します
- : 移動物 検知機能が作動しません

③右側画面

- シフトポジションが **R** のときはリヤビューを、**R**以外のときはフロントビューを表示します。

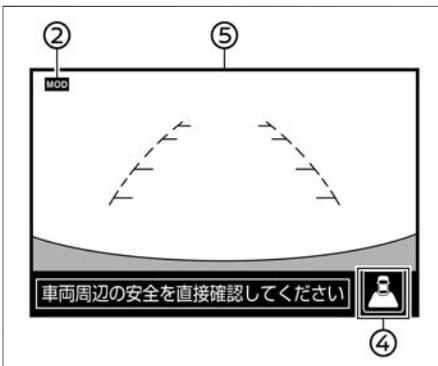
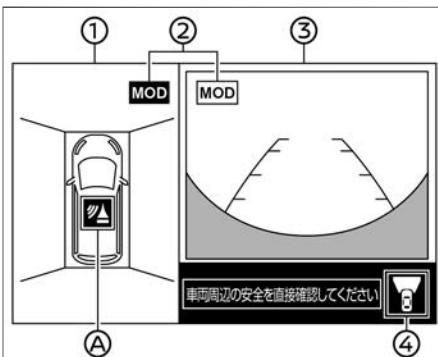
④方向指示アイコン

- 右側画面の映している方向を表します。

- : リヤビュー表示
- : フロントビュー表示

⑤全画面表示リヤビュー画面

- リヤビューを画面幅いっぱいに表示します。



知識

- パワースイッチをONにしてから初めてインテリジェント アラウンドビュー モニターを表示したときに、アイコンⒶの色と点滅（約3秒間）で、ソナーの作動状況を表します。
 - 赤色に点滅：ソナーON
 - 灰色に点滅：ソナーOFF（ソナーをOFFにした直後も点滅します。）
- 表示しているビューで映している範囲でのみ移動物 検知機能が作動します。例えば、リヤビューで移動物 検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

画面表示の種類について

■ フロントビュー／リヤビュー

- 車両の前方／後方の映像をインテリジェント アラウンドビューモニター右側画面に表示します。

距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を表示します。

- ①赤色：約0.5m
- ②黄色：約1m
- ③緑色：約2m
- ④緑色：約3m

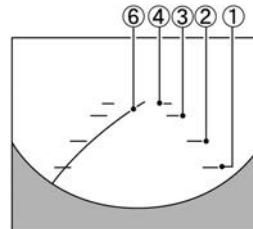
⑤車幅目安ライン

- 車幅の目安を表示します。

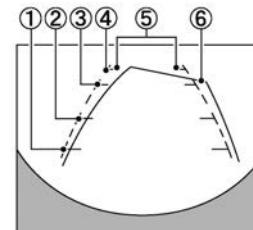
⑥予想進路線

- 運転操作時に予想進路を表示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。
- フロントビューは、車速が10km/hを超えると表示されなくなります。

<フロントビュー>



<リヤビュー>



警告

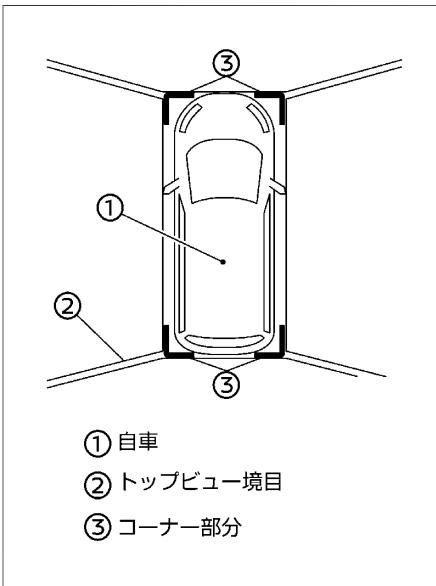
- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

アドバイス

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るとのと同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

■ トップビュー

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をインテリジェント アラウンドビュー モニター左側画面に表示します。
- 車両アイコン①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。カメラでは撮影できない領域トップビュー境目②は、黒色で表示されます。
- パワースイッチをONにし、初めてトップビューを表示すると、トップビュー境目②と撮影されないコーナー部分③は、約4秒間黄色で強調表示されます。ソナーがOFFのとき、撮影されないコーナー部分③は赤色で表示されます。



⚠️ 警告

- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせて処理した疑似的な映像のため、トップビューは、障害物を実際より遠く映します。
- 置いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。
- カメラの高さよりも上有る障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることができます。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。それは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

■ サイドブラインドビュー

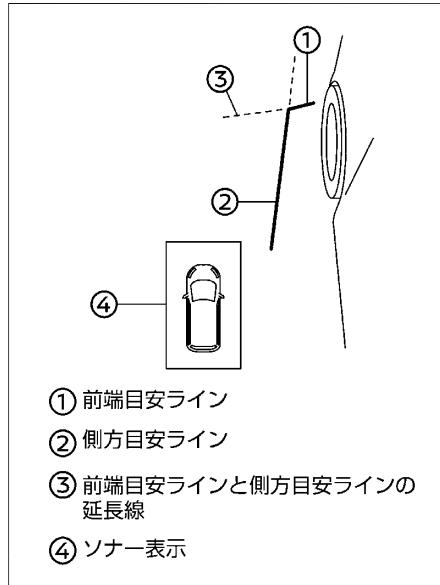
- 車両の左側前輪付近から前方を、インテリジェント アラウンドビュー モニター 左側画面に表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

目安ライン

- モニターには車幅と車両の前輪を示す目安ラインが表示されます。
 - ①前端目安ラインは、車両前部の位置の目安を示します。
 - ②側方目安ラインは、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
 - ③前端目安ラインと側方目安ラインの延長線は、緑色の破線で表示します。

ソナー表示

- ④ソナー表示は、ソナーが障害物を検知すると、表示されます。



アドバイス

- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。

■ 移動物 検知機能について

- 車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。
- 車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。
- トップビューに **MOD** 表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。
- 移動物 検知機能は以下の条件のとき、 **MOD** が表示されている画面で作動します。
 - シフトポジションが **P** または **N** で停車しているときに、トップビュー側で作動します。
 - シフトポジションが **D** で車速約8km/h以下のときに、フロントビューで作動します。
 - シフトポジションが **R** で車速約8km/h以下のときに、リヤビューで表示します。

⚠ 注意

- 車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

📖 知識

- ソナーブザーが鳴っている場合は移動物 検知機能ブザーは鳴りません。
- サイドブレインドビューには移動物 検知機能がないため、 **MOD** アイコンを表示しません。

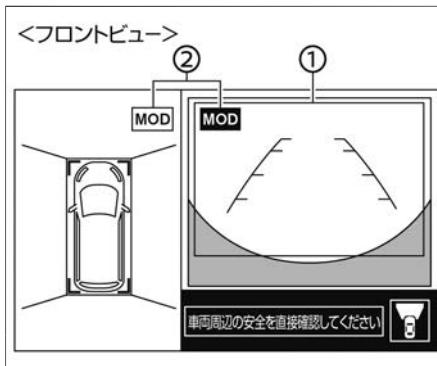
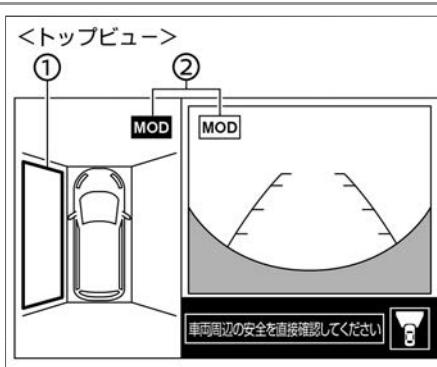
画面の見かた

①移動物 検知表示

- 移動物 検知機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

- 移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。
 - ：移動物 検知機能が作動します
 - ：移動物 検知機能が作動しません

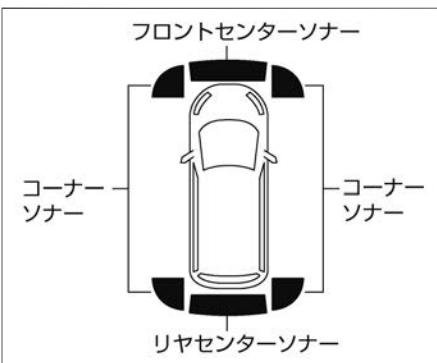


知識

- 以下の場合には移動物 検知機能は作動しません。
 - 車速やシフトポジションが移動物 検知機能の作動条件から外れている場合
 - トップビューによる移動物 検知機能作動中にいずれかのドアが開いている場合
 - リヤビューによる移動物 検知機能作動中でバックドアが開いている場合
- トップビューによる移動物 検知機能作動中で電動格納式ミラーが作動していると、誤検知する場合があります。

ソナー機能について

- インテリジェント ルームミラーがインテリジェント ルームミラーモードのとき、インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）を表示させて、走行中にソナーが静止した障害物を検知した場合は、ソナー表示とブザーでお知らせします。
- ソナー表示はトップビューまたはサイド ブラインドビュー画面に表示されます。
- 障害物を検知してから、ソナー表示とブザーが鳴るまでには多少時間がかかります。



注意

- バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 純正品以外の部品を取り付けたときには、正常に作動できない場合があります。
- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - ソナーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。

⚠ 注意

- 地面から高い位置に存在する障害物
- スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。
 - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
 - 周囲に草が生い茂っているとき
 - 車両側面の近くに壁があるとき
 - 路面上に段差や突起物があるとき
 - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 車両感応センサーやホーン、他車注意のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが附近に存在するとき
 - 炎天下や寒冷時

⚠ 注意

- 表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸に形状を成している場合）
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があってもソナーが検知しないことがあります。
(氷が解ければ、正常に復帰します)
- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

 **知識**

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、
 P.483) をお読みください。

■コーナーソナー

障害物までの距離（目安）	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■フロントセンターソナー

障害物までの距離（目安）	100～70cm	70～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	遅い	早い	点灯
ブザー音	無し	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■リヤセンターソナー

障害物までの距離（目安）	150～70cm	70～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■ ソナー表示色

- ソナー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

■ ブザー音

- 障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合には連続音になります。
- 障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- フロントソナーが検知したときは低音、バックソナーが検知したときは高音でお知らせします。
- コーナーソナーが検知したときは障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音は消え、ソナー表示のみとなります。

■ ソナー機能OFF

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」⇒「ソナー」を選択すると、各ソナー機能のON・OFFを設定できます。

■ ソナーによるカメラ画面の自動表示機能

- シフトポジションが  かつ車速約10km/h以下でカメラが表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知した場合はインテリジェント アラウンドビューモニター画面を自動で表示します。
- 障害物がなくなると、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニターはOFFになります。

次ページに続く

■ ソナーシステムの作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスド ドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
ソナーシステム異常警告 (☞P.419)

⚠ 警告

- カメラはフロントグリル中央部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けないでください。字光式ナンバープレートを装着すると、リヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。
- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。

次ページに続く

 アドバイス

- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなることがあります。カメラを清掃してください。
- フロントビューサイドビューカメラの取り扱い★ (P.481)
リヤビューカメラの取り扱い★ (P.482)
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて含ませた布でふき取ったあと、乾いた布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。

 知識

- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広くなっています。
- シフトポジションが **R** 以外のとき、Ⓐボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターを表示させたあと、ソナーまたは移動物検知機能が作動しない状態で約3分間操作を行わないと、インテリジェント アラウンドビューモニター表示が消えます。（3分タイマー機能）
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。インテリジェント アラウンドビューモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなることがあります、異常ではありません。

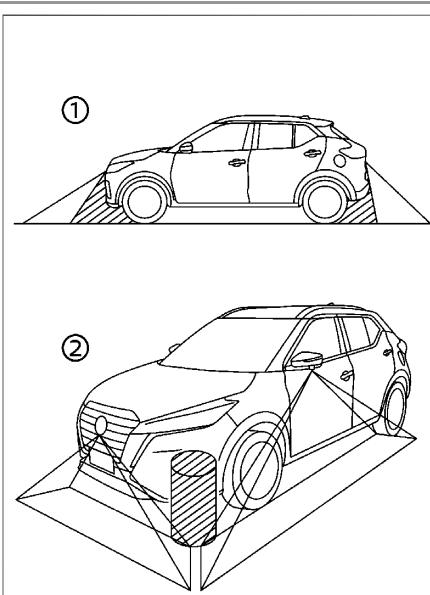
 知識

- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなることがあります、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出ることがあります、異常ではありません。
- インテリジェント アラウンドビューモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なつて見えることがあります。
- 暗い所や夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがあります、異常ではありません。
- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
 - 立体物が倒れこんで見える
 - 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
 - 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
 - 各カメラ画像の明るさが違う

次ページに続く

映し出す範囲

- 特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビューまたはリヤビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。

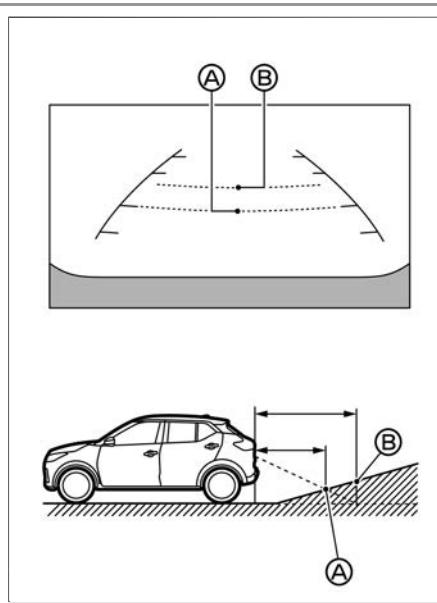


映像と実際の路面との誤差

- フロントビューとリヤビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

急な上り坂が後方にあるとき

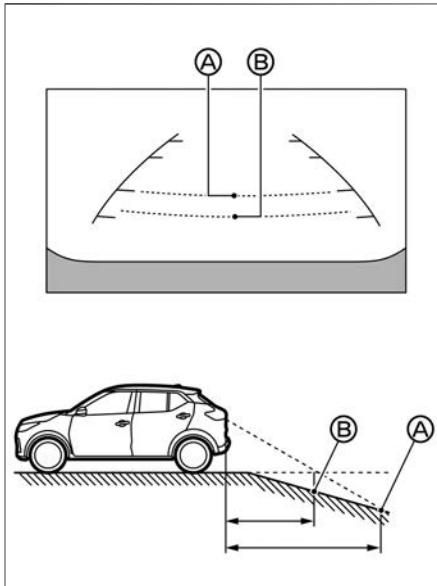
- 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されているても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。



次ページに続く

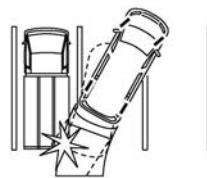
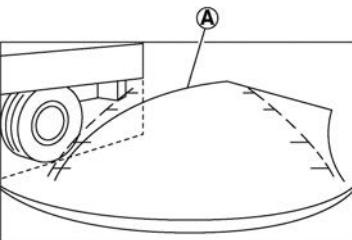
急な下り坂が後方にあるとき

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。

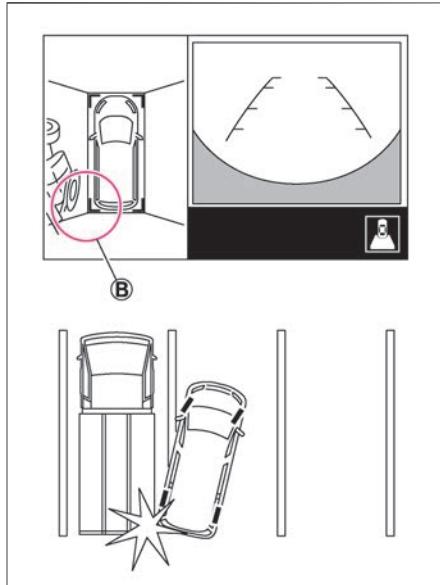


立体物が近くにあるとき

- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
- 例1: 予想進路線Ⓐは表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。

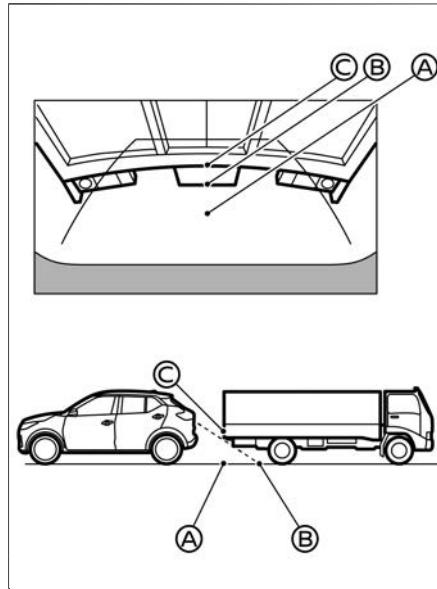


- 例2:表示されているトップビュー⑧では、自車とトラックの車体間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。



立体物に接近するとき

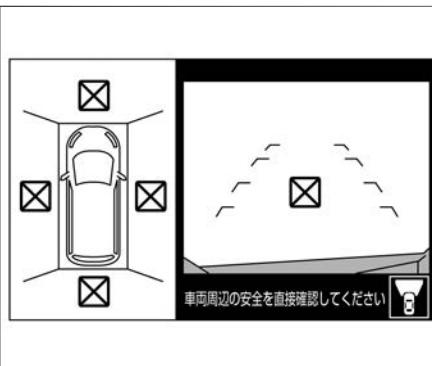
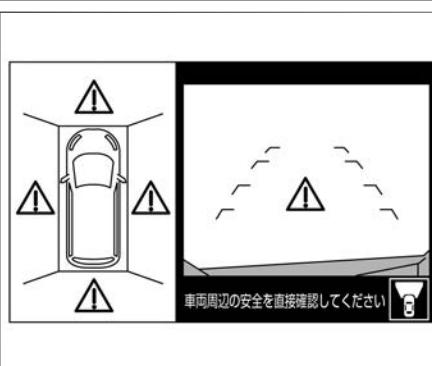
- ◎の位置はⒶの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はⒶの位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、Ⓐの位置まで下がるとぶつかることがあります。



画面のエラー表示について

△ アイコンが画面内に表示された場合は、インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

☒ アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。



室内装備

室内照明

マップランプ／ルームランプ／ラゲッジルームランプ P.348

収納装備

グローブボックス P.352

センターコンソールボックス P.353

カップホルダー／ボトルホルダー P.354

その他の室内装備

先進事故自動通報システム P.357

ステアリングヒーター★ P.363

ヒーターシート★ P.364

電源ソケット P.365

USB電源ソケット P.367

フロアカーペット P.369

サンバイザー／バニティミラー（照明付き） P.371

チケットホルダー P.372

買い物フック P.373

トノボード P.374

マップランプの使いかた

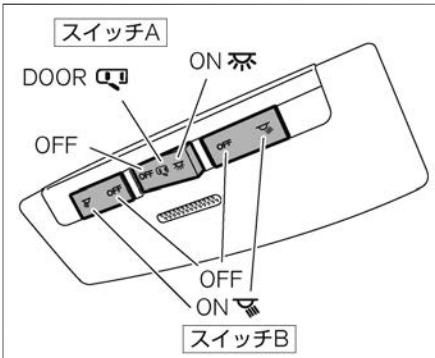
- マップランプは、前席シート天井部の中央にあります。
- 次のように点灯・消灯します。

スイッチA

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
DOOR (中立)	スイッチが中立位置にあるときにはドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	消灯

スイッチB

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
OFF (水平)	スイッチAが中立のとき、ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。



アドバイス

- e-POWERシステムが停止しているときは、長時間マップランプを点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。



知識

キー連動室内照明システム

- スイッチAがDOOR 位置にあると、次の条件で点灯します。
 - パワースイッチをOFFにしてから約15秒間
 - パワースイッチがOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を解錠してから約15秒間
 - パワースイッチがOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を閉めてから約15秒間
 - ドア（バックドアを除く）が開いているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内灯」を選択すると、キー連動室内照明システム機能のON・OFFを切り替えることができます。

 知識

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

- ① [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)
- ② [車両設定 \(P.98\)](#)

バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、マップランプは15分以上点灯し続けると消灯します。

次ページに続く

ルームランプの使いかた／ラゲッジルームランプについて

ルームランプの使いかた

- ルームランプは、天井部の中央にあります。
- 次のように点灯・消灯します。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯します。
DOOR（中立）	ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	常時消灯します。

ラゲッジルームランプについて

ラゲッジルームランプはラゲッジルームの右側にあります。

- バックドアを開けると自動で点灯し、バックドアを閉めると消灯します。



アドバイス

- パワースイッチがOFFのときは、ルームランプおよびラゲッジルームランプを長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。



知識

キー連動室内照明システム（ラゲッジルームランプを除く）

- ルームランプのスイッチがDOOR位置にあると、次の条件で点灯します。
 - パワースイッチをOFFにしてから約15秒間
 - パワースイッチがOFFのとき、ドアを解錠してから約15秒間
 - パワースイッチがOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を閉めてから約15秒間
 - ドア（バックドアを除く）が開いているとき
- アドバンスドドライバアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内

 知識

「灯」を選択すると、キー連動室内照明システム機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

☞ [画面の切り替えかた \(P.82\)](#)

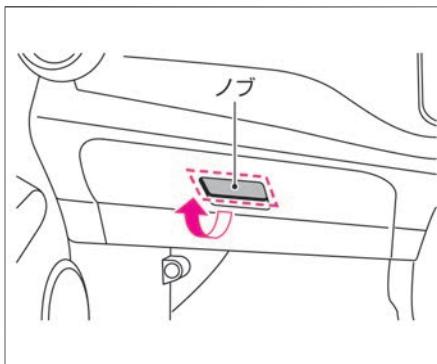
☞ [車両設定 \(P.98\)](#)

バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、ルームランプ、ラゲッジルームランプは15分以上点灯し続けると、消灯します。

■ グローブボックスの使いかた

- 開けるときは、ノブを手前に引きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。

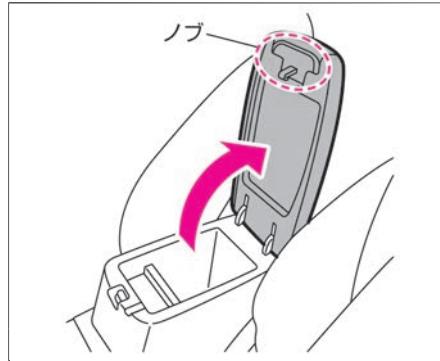


注意

- グローブボックスを開けたまま走行しない。
走行中に収納したものが飛び出したり、開いたふたが身体に当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

センターコンソールボックスの使いかた

- 開けるときは、ノブを引きながら、ふたを引き上げます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。

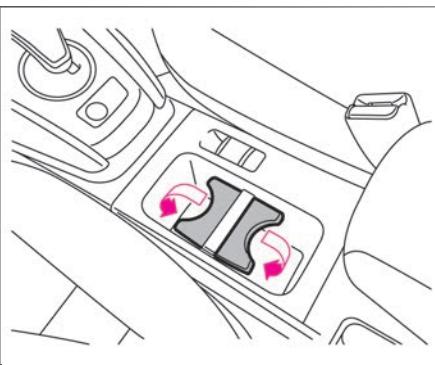


注意

- センターコンソールボックスを開けたままにしない。
開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

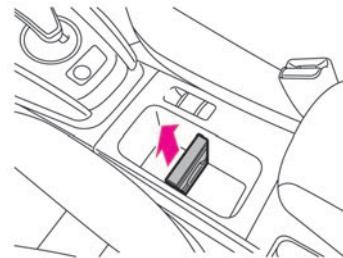
■ 前席シート用カップホルダーについて

- センターコンソールにあります。
- 仕切り板のフラップを折りたたむと、小物入れになります。



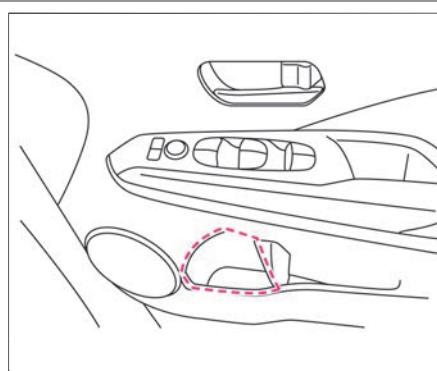
知識

- 仕切り板を外し、小物入れのスペースを大きくすることができます。



■ ボトルホルダーについて

- ボトルホルダーは、前席および後席のドアポケットにあります。



次ページに続く

カップホルダー／ボトルホルダー

カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項

⚠ 警告

- **走行中に飲物を出し入れしない。**

走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。

- **ビンなどの硬いものは入れない。**

側面衝突などの事故のとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **熱い飲物を置かない。**

熱い飲物をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、飛び散ったりして、乗員がやけどを負うおそれがあります。

- **飲物をこぼさないように注意する。**

飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。

- **車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。**

故障や火災のおそれがあります。



アドバイス

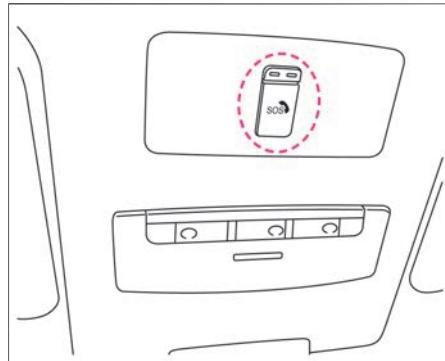
- 飲物や液体がいっぱいに満たされた容器をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、漏れ出したりして、車両の電子機器などに損傷を与えるおそれがあります。いっぱいに満たされた容器を置かないでください。

先進事故自動通報システム

SOSコールスイッチを押すことでSOSコールを開始できます。また、事故発生時（SRSエアバッグ、SRSサイドエアバッグ、SRSカーテンエアバッグ、SRSニーエアバッグ展開時）には自動でSOSコールを開始します。

■ 先進事故自動通報システムについて

- パワースイッチがONのとき、SOSコールスイッチを押すと、SOSコールを開始できます。
- 事故発生時（SRSエアバッグ、SRSサイドエアバッグ、SRSカーテンエアバッグ、SRSニーエアバッグ展開時）には自動でSOSコールを開始します。
- SOSコールスイッチは、マップランプ周辺にあります。



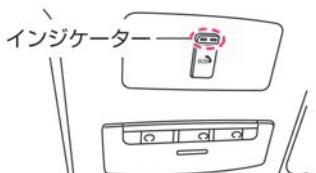
知識

- SOSコールとは、急病・犯罪・事故などの緊急時に警察・消防・医療機関への連絡を補助するサービスです。
- SOSコールのサービス提供は、（株）日本緊急通報サービスからのものです。
- 日産販売会社でサービスのお申し込みと、車両側での初期設定が完了していないと、SOSコールを利用することができません。

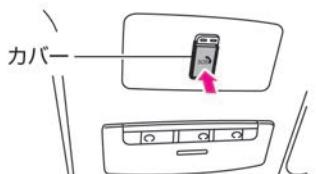
先進事故自動通報システム

先進事故自動通報システムの使いかた

1 パワースイッチをONにします。（システムがONになるまでは約30秒間かかります。）SOSコールスイッチのインジケーターが赤色・緑色ともに点灯し、約5秒後に緑色のみ点灯を続けます。



2 SOSコールスイッチのカバーを押して開けます。



3 SOSコールスイッチを約1秒間押します。緑色のインジケーターが点滅し、オペレーターに繋がります。



4 SOSコールサービスのオペレーターと通話します。状況に応じてオペレーターからの折り返し、もしくは公共機関（警察・消防・医療機関）からの通話着信があります。着信時は自動で音声接続します。通話が終了したら、カバーを戻し、ロックするまで押します。

警告

- SOSコールスイッチを押すときは、安全な場所に停車してから行う。走行中に運転者がスイッチを押そうとすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 以下の場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 - パワースイッチをONにしても、インジケーターが赤色・緑色共に点灯しないとき
 - インジケーターが赤色・緑色共に点灯してから約5秒後、赤色のインジケーターのみ点灯しているとき
- インジケーターが赤色・緑色共に消灯している場合は、電波環境のよい場所まで車を移動させてください。

知識

- SOSコールサービスのオペレーターや公共機関との通話中は、車両側から通話を終了させることはできません。

SOSコールスイッチのインジケーターについて

- SOSコールスイッチには、システムの状態を表すインジケーターがあります。

インジケーターの点灯パターン		システム状態	説明・対処方法
赤色	緑色		
		システムOFF サービスエリア外	<ul style="list-style-type: none"> システムがOFFの状態です。 パワースイッチをONにすると電源が入ります。パワースイッチをONにしても、インジケーターが赤色・緑色共に点灯状態にならないときは日産販売会社で点検を受けてください。 システムがONになるまでは約30秒間かかります。 電波環境が悪く、SOSコールを開始できない状態です。車を電波環境のよい場所へ移動させてください。
		システムON通知	<ul style="list-style-type: none"> システムがONになったことを知らせます。 システムがONになると、約5秒間点灯します。 初期設定が完了していないと点灯を続けます。
		SOSコール開始可能	<ul style="list-style-type: none"> SOSコールを開始できる状態です。
		SOSコール利用中	<ul style="list-style-type: none"> オペレーターと通話中の状態です。
		システム異常 SOSコールサービス契約なし	<ul style="list-style-type: none"> システム異常またはSOSコールサービス契約がなく、サービスを正常に提供できない状態です。すみやかにサービスの利用契約期限をご確認いただき、日産販売会社で点検を受けてください。

次ページに続く

先進事故自動通報システムに関する注意事項



警告

- **SOSコールスイッチを押すときは、安全な場所に停車してから行う。**
走行中に運転者がスイッチを押そうとすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **SOSコールは無線通信機能を利用しているため、心臓ペースメーカーやその他医療用電気機器を使用する場合は、当該の各医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響について必ず確認する。**

アドバイス

- SOSコールスイッチの赤色のインジケーターのみ点灯する場合は、システムに異常があるか、サービスの契約期限が切れています。契約期限をご確認いただき、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- 12Vバッテリーあがりにつながるため、SOSコール利用中は安全を確認したうえでe-POWERシステムを停止せずにご使用ください。
- SOSコールを開始するときはオーディオ★の音量を下げる、またはOFFにしてください。
- 通話中は、マップランプにあるマイクに向かって話してください。
- 先進事故自動通報システムは、携帯電話と同様のデータ網を使用しています。圏外エリア（トンネル内、地下駐車場など）や電波の届きにくい場所（山間部）では利用できない場合があります。
- 救急車両は車両位置／車種／車体色／登録ナンバーをもとに現場の通報車両を特定します。元の車体色がわからなくなるほど塗り替えをしてしまっていると、救急車両の到着が遅れる場合があります。
- システムを利用する前にNissanConnect サービスの契約が必要です。

先進事故自動通報システム



アドバイス

- システムを利用する前に車側で初期設定が必要です。サービス契約後は日産販売会社で初期設定を完了してください。
- 車の登録ナンバーを変更したときは、NissanConnect お客様センターへ必ずご連絡ください。SOSコール利用時、会員登録上の車のナンバーと実際の車のナンバーが一致しない場合、救急隊員の到着が遅れることがあります。
- SOSコールサービス契約中に車を手放す場合は、NissanConnect お客様センターに必ずご連絡いただき、オプションサービスの解約を行ってください。

NissanConnect お客様センター：

0120-981-523

受付時間 9:00～17:00（年末年始を除く）



知識

- 先進事故自動通報システムは、国内でのみ利用できます。
- 先進事故自動通報システムは、NissanConnect サービスのオプションのSOSコールサービスを申し込みいただくことで利用できます。
- SOSコールスイッチの赤色のインジケーターが点灯していても、SOSコールを開始することができます。ただし、発生している異常によっては、音声通話や救急車両の案内を正常に行えないことがあります。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- SOSコール開始後は通話のキャンセルはできません。いたずらや機能確認など、緊急の場合以外でSOSコールスイッチを押さないでください。
- SOSコールは車載された通信機を使用するため、お客様の携帯電話がなくても利用できます。
- 通話中の音声は、ボリュームを変更することができません。

先進事故自動通報システム

知識

- SOSコールサービスの契約期限後、継続利用を希望しない場合、日産販売会社にて退会手続きを行ってください。SOSコールスイッチのインジケーターの点灯をOFFにできます。
- 本システムは、オープンソースを使用したソフトウェアを実装しています。このソフトウェアのソースコードを入手したいお客様は、クラリオン株式会社のWebサイトから入手することができます。詳しくは、次のWebサイトを参照してください。
<http://www.clarion.com/DnfwuK>

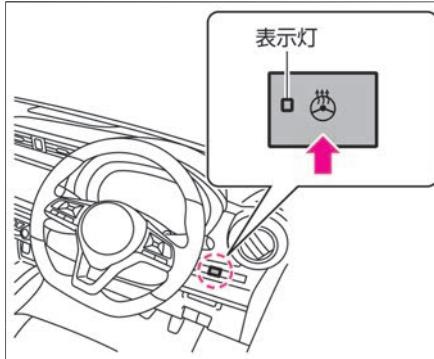
ステアリングヒーター★

ハンドルを温めます。

パワースイッチがONのときに使えます。

■ ステアリングヒーターの使いかた

- スイッチを押すと約30分間作動します。
(スイッチの表示灯が点灯)
- 作動中は、ハンドルの表面温度が約20°Cを超える温度を保ちます。
- 作動中にスイッチを押すと作動が停止します。
(スイッチの表示灯が消灯)



知識

- ハンドルの温度が約20°C以上のときは、スイッチを押してもステアリングヒーターは作動しません。

ヒーターシート★

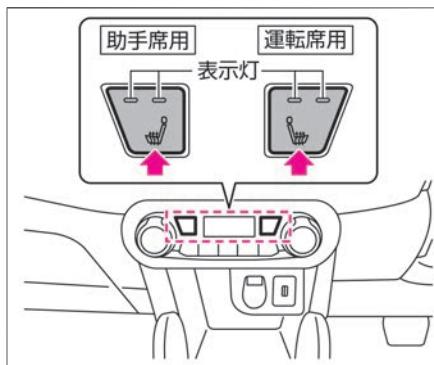
前席シートを温めます。
パワースイッチがONのときに使えます。

ヒーターシートの使いかた

- スイッチを押すと作動します。
(スイッチの表示灯が点灯)

モード	表示灯	働き
Hi	2つ点灯	早く温めたいとき
Lo	1つ点灯	保温したいとき
OFF	消灯	OFF

- スイッチを押すごとにHi→Lo→OFF→Hiの順に切り替わります。



注意

- 長時間の連続使用はしない。
低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- 硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。



アドバイス

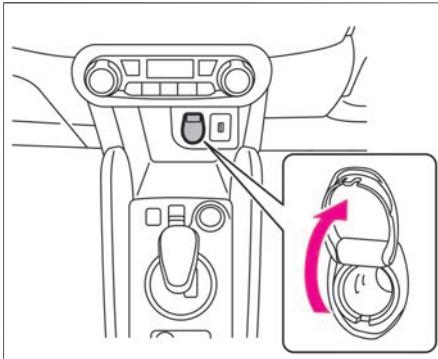
- 過熱するおそれがあるため、シートに毛皮や座布団を載せたり、シートカバーを使用しないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。
- 12Vバッテリーあがりを防止するため、走行可能表示灯 が点灯しているときに使用してください。

その他の室内装備 電源ソケット

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。パワースイッチがONまたはOFF（ACC状態）のとき使えます。
ACC状態については、オートACC機能（☞P.181）をお読みください。

電源ソケットの使いかた

- 電源ソケットはインストルメントパネルにあります。
- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、パワースイッチをOFFにするか、使用機器側の電源をOFFにしてください。



警告

- 電源ソケットを使うときは、次のことを守る。
電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。
 - 2マタソケットなどでタコ足配線をしない
 - 消費電力120W以下のものを使用する
 - 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入する
 - 使用中や使用後はソケットやプラグに注意する
 - シガーライターをソケットに差し込まない
 - ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない

室内装備

アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、e-POWERシステムを始動した状態で使用してください。また、長時間使

次ページに続く

 アドバイス

用したり、エアコン、ヘッドライト、
リヤウインドーデフオッガーなどを同
時に使用したりしないでください。

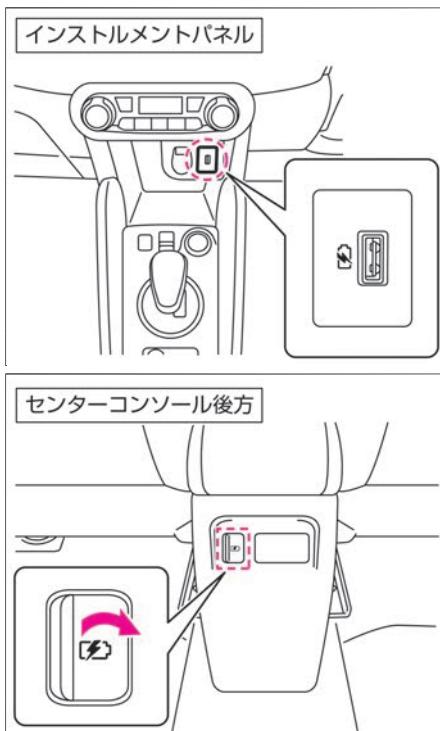
USB電源ソケット

USB電源ソケットはモバイル機器などの充電専用です。パワースイッチがONまたはOFF（ACC状態）のとき使えます。ACC状態については、オートACC機能（P.181）をお読みください。

USB電源ソケットの使いかた

モバイル機器を充電するのに便利なUSB電源ソケットが用意されています。

- USB電源ソケットは以下の場所にあります。
 - インストルメントパネル
 - センターコンソール後側
- センターコンソール後側にあるUSB電源ソケットは、ふたを開けて使います。使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は1か所につき、5V（ボルト）、2.4A（アンペア）、12W（ワット）です。



警告

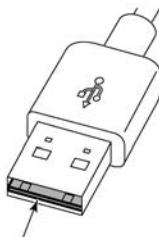
- **SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。**
SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **USB電源ソケットを使用するときは、次のことを守る。**
USB電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
 - 複数のUSB電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんのモバイル機器を充電しない
 - 消費電力12W以下のものを使用する
 - ケーブルはしっかり奥まで挿入する
 - ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
 - ソケットの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない

⚠ 注意

- モバイル機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定する。
運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 両面挿し（リバーシブル）対応のUSBケーブルは、USB電源ソケットの内部端子を破損するおそれがあるので使用しないでください。



リバーシブルタイプUSBコネクター
(接点基板が中央にある)

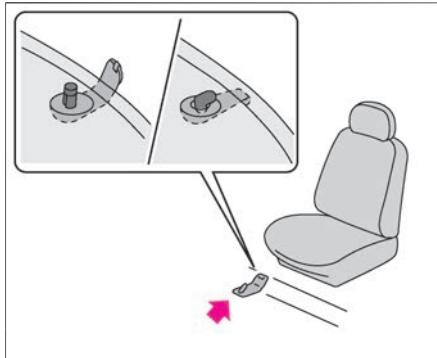
- 12Vバッテリーあがりを防止するため、e-POWERシステムを始動した状態で使用してください。

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

固定のしかた

- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。



警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用する。
フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬ速度が出たり、ブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。
 - 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない
 - フロアカーペットでペダルを覆わない
 - フロアカーペットを重ねて敷かない
 - 運転席専用のフロアカーペットを使用する
 - フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返して使用しない
- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- 運転に支障がないことを確認する。
運転する前、パワースイッチがOFF

次ページに続く

フロアカーペット

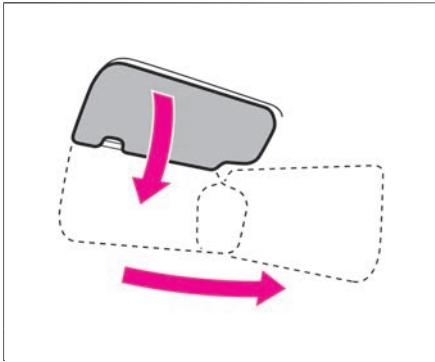
⚠ 警告

の状態でシフトポジションが **P** のとき、各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

- タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。
火災につながるおそれがあります。

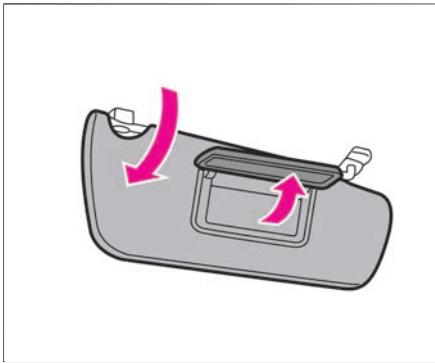
■ サンバイザーの使いかた

- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使えます。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げて、フックから外し、横にして使えます。



■ バニティミラー（照明付き）の使いかた

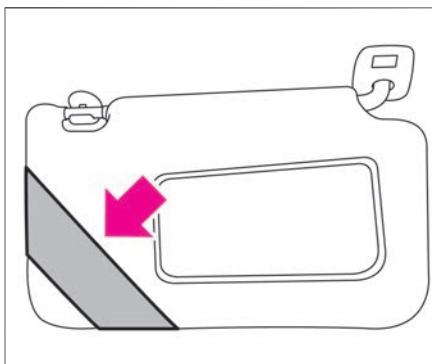
- サンバイザー裏側に照明付きのバニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げて、カバーを開けて使えます。



その他の室内装備
チケットホルダー

チケットホルダーの使いかた

- 運転席側のサンバイザーにチケットホルダーが付いています。
- カードをスライドさせ、差し込みます。

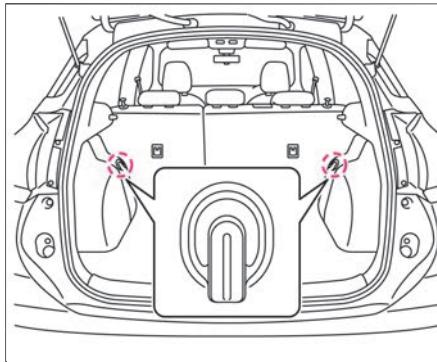


アドバイス

- 炎天下での駐車は車室内が大変高温になりますので、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

買い物フックの使いかた

- 買い物袋などを引っ掛けるときに使います。



アドバイス

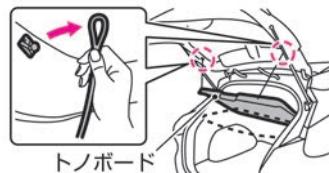
- フックには大きな力がかかるないようにしてください。フックが破損するおそれがあります。
- 3kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

トノボード

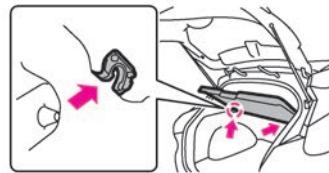
トノボードは、ラゲッジルームの荷物を車外から見えないようにするために使います。

■ トノボードの取り外しかた

- 1 ストラップをバックドアのフックから取り外します。



- 2 トノボードを引き上げ、トノボードホルダーを受け軸から取り外し、トノボードを後方へ引き、取り外します。



⚠️ 警告

- i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、トノボードとテザーベルトが干渉していないことを必ず確認する。
干渉するときは、トノボードを取り外してください。衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠️ 注意

- トノボードの上に重い物を載せない。
急ブレーキ時に思わぬケガをしたり、トノボードが破損するおそれがあります。

トラブルがおきたときは

まずははじめに

故障したときは	P.376
発炎筒	P.377
けん引について	P.378

緊急時の対処方法

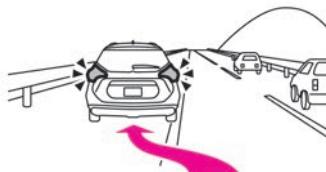
パンクしたときは	P.383
ドアが開かないときは	P.393
キー（インテリジェントキー）で始動できないときは	P.395
12Vバッテリーがあがったときは	P.396
出力制限表示灯が点灯したときは	P.401
警告灯がついたときは	P.402
表示灯がついたときは	P.412
警告メッセージが表示されたときは	P.414
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.430
窓ガラスがくもったときは	P.431
オーバーヒートしたときは	P.433
雪道やぬかるみにはまつたときは	P.435
水没したときは	P.436
ヒューズ	P.438
電球（バルブ）交換	P.443

まずははじめに 故障したときは

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

故障したときの対処のしかた

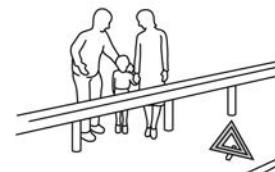
- 1 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。
路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。



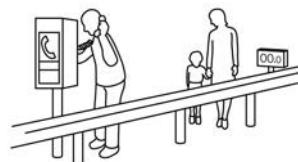
- 2 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。
➡ 発炎筒 (P.377)



- 3 運転者もガードレールの外側などに避難します。
避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないよう注意してください。



- 4 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



⚠ 警告

- 発炎筒はトンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

⚠ 注意

- 走行中、e-POWERシステムが停止してしまったときは慎重に運転する。

故障によりe-POWERシステムが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなるので慎重に運転してください。



アドバイス

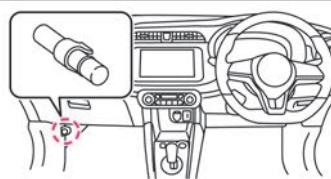
- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

まずはじめに 発炎筒

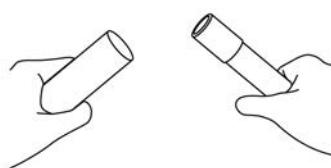
高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。
発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

- 1 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



- 2 本体をひねりながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。



- 3 先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。



警告

- お子さまには触らせない。
いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使用しない。
引火するおそれがあります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。
やけどをするおそれがあります。
- トンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

アドバイス

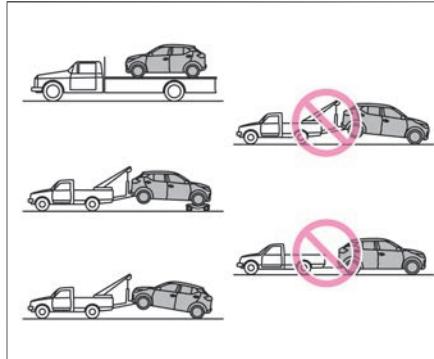
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

まずははじめに けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。
やむをえずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

けん引時の注意事項

- 車両が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、シフトポジションを **N** に入れて行ってください。
- この車両は、オートP機能 (☞P.184) により、パワースイッチがOFFのときはシフトポジションを **P** から **N** に切り替えることができません。そのため、12VバッテリーあがりなどでパワースイッチがOFFから切り替えられないときは、4輪接地の状態でけん引できません。
- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

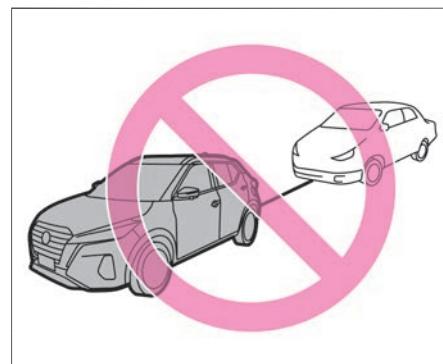


注意

- 前輪を持ち上げてけん引するときは、パワースイッチをOFFにする。VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

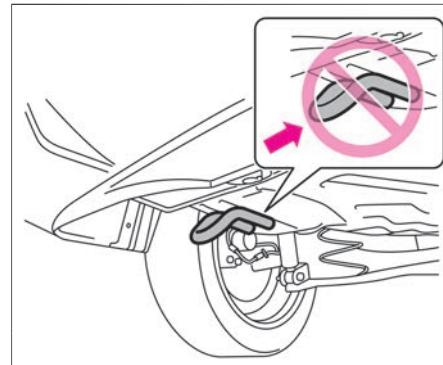
リヤフックについて

この車両で他車をけん引することはできません。後ろ側についているフック（リヤフック）は船舶またはトレーラー輸送時の固定専用です。
けん引時などの固定には絶対使用しないでください。



アドバイス

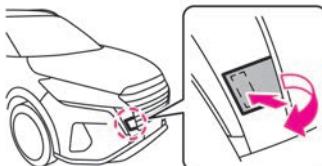
- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。



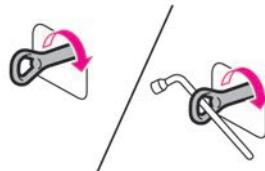
次ページに続く

やむをえず4輪接地でけん引されるときは

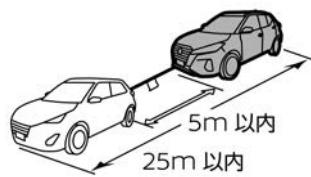
- 1 フロントバンパーのカバーの左側を押して、右側から取り外します。



- 2 ホイールナットレンチを使用して、けん引フックを取り付けます。
☞工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.449)



- 3 自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に30cm×30cm 以上の白い布を取り付けます。
ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。



⚠️ 警告

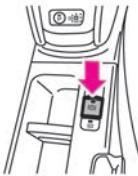
- 4輪接地でけん引されるときは、パワースイッチをOFFにしない。
この車両はオートP機能 (☞ P.184)により、パワースイッチがOFFのときはシフトポジションをPからNに切り替えることができません。また、けん引中はパワースイッチをOFFにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

🚗 アドバイス

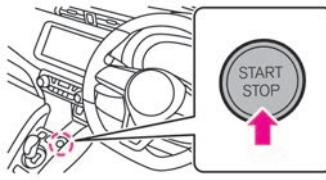
- 4輪接地の状態でけん引されるときは、e-POWERシステムを始動するかパワースイッチをONにしてシフトポジションをNにした状態で行ってください。パワースイッチがOFFのときは、オートP機能によりシフトポジションをNに切り替えられないので、けん引することができません。
オートP機能 (☞ P.184)

まずははじめに けん引について

- 4 e-POWERシステムを始動しシフトポジションを**N**に入れ、パーキングブレーキを解除します。



- 5 e-POWERシステムを始動できないときはパワースイッチをONにし、シフトポジションを**N**に入れてください。



⚠ 注意

- e-POWERシステムが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなるので注意する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。
ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。



アドバイス

- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

まずははじめに けん引について



知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両にはスペアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。
タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

- 応急修理を行うときは、次の準備をしてください。
 - 地面が固く平らな場所に車両を移動する
 - パーキングブレーキをかける
 - シフトポジションを **P** にする
 - パワースイッチをOFFにする
 - 非常点滅表示灯を点滅させる
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理ができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。
 - 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - タイヤサイド部が損傷を受けたとき
 - ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
 - タイヤがホイールから外れているとき
 - ホイールが破損しているとき
 - タイヤが2本以上パンクしているとき
 - 修理剤の有効期限が切れているとき



アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。



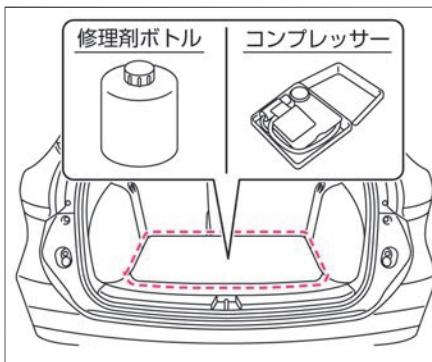
知識

- タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

パンクしたときは

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
☞ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.449)
- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。



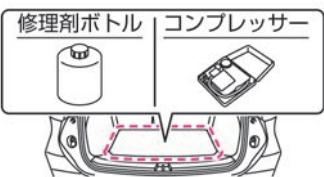
※：車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

緊急時の対処方法 パンクしたときは

応急修理のしかた

■ コンプレッサーの準備

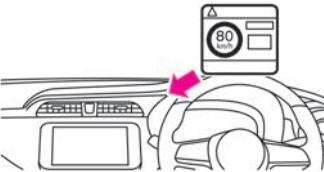
- 1 ラゲッジルームからタイヤ応急修理キットを取り出します。



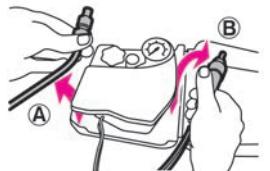
注意

- フロアパネルに触れない。
高温になるため、やけどをするおそれがあります。

- 2 コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者の良く見えるところに貼ります。



- 3 コンプレッサーからホースⒶと電源プラグⒷを取り出します。



トラブルがおきたときは

パンクしたときは

4

コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



5

修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。
(ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。)



△ 注意

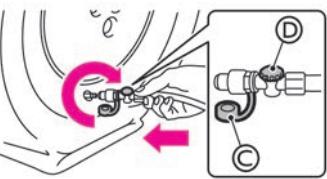
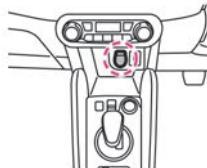
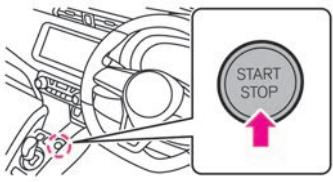
- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

□ 知識

- 車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

緊急時の対処方法 パンクしたときは

■ エアの注入

- 1** パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。
- 2** ホース先端の保護キャップ①を外し、ホースをパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。このとき、排気バルブ②が閉まっていることを確認してください。
- 3** コンプレッサーのスイッチがOFFの状態で、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。
- 4** パワースイッチをONにします。

注意

- ホースとタイヤのバルブの接続をしっかりと行う。
接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れる。
- タイヤに亀裂や変形が生じている場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし、修理を中止する。
タイヤのバルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。
- 空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあるため、やけどしないように注意する。

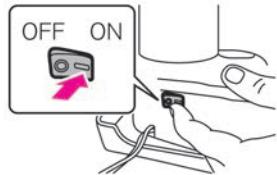
トラブルがおきたときは

パンクしたときは

5

コンプレッサーのスイッチをON（「一」の位置）にし、タイヤを指定空気圧または180kPa以上になるまで空気を充てんします。この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して空気圧計で測定してください。

※：タイヤの指定空気圧は、運転席ドア開口部に表示されています。



6

指定空気圧または180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFF（「〇」の位置）にし電源プラグを電源ソケットから抜きます。

7

ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

 アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。
- 修理剤ボトルは、コンプレッサーのボトルホールダーから取り外さないでください。取り外すとボトル内に残った液剤がこぼれるおそれがあります。

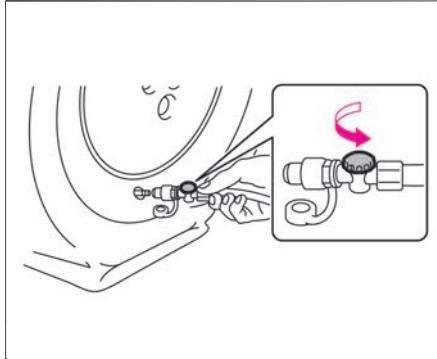
緊急時の対処方法 パンクしたときは

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理をすることはできません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき

排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。



次ページに続く

パンクしたときは

■ 点検走行

1 ただちに走行を始め、10分間または3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

2 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）であることを確認します。コンプレッサーからのホースをタイヤのバルブに取り付け、タイヤ空気圧を確認してください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

コンプレッサーのスイッチをON（「一」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

JAFの営業所一覧…別冊のメンテナンスノートをお読みください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

注意

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。



アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理会社で点検を受けてください。

タイヤ応急修理キットの注意事項



注意

タイヤ応急修理キット

- タイヤ応急修理キットは、搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しない。
- タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。
故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

- 修理剤を口に入れない。
修理剤を飲みこむと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合は、水でよく洗い流す。
それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

次ページに続く

パンクしたときは



アドバイス

タイヤ応急修理キット

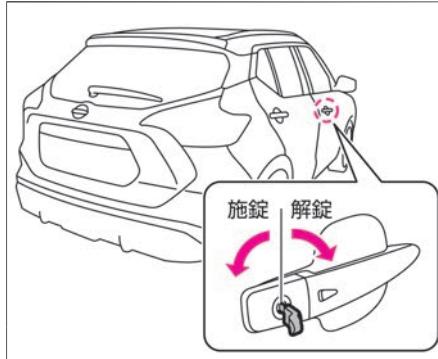
- タイヤ応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

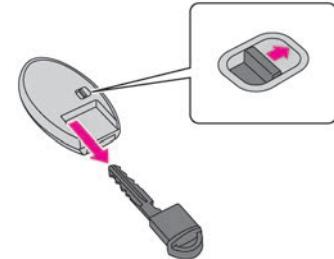
内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた

運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両前方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両後方に内蔵キーを回します。



知識

- 内蔵キーはインテリジェントキーに内蔵されています。

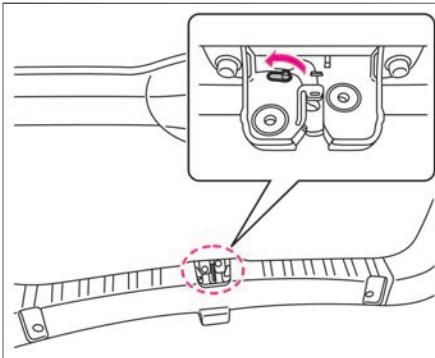


ドアが開かないときは

■ 緊急時のバックドアの開けかた

12Vバッテリー上がりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- バックドアの車室内側にあるロック機構のレバーを矢印の方向に動かし、解錠し、バックドアを持ち上げます。



アドバイス

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- バックドアオープナースイッチなどの故障につながるおそれがあるため、この操作をしたときは日産販売会社で点検を受けてください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

キー（インテリジェントキー）で始動できないときは

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でe-POWERシステムを始動してください。

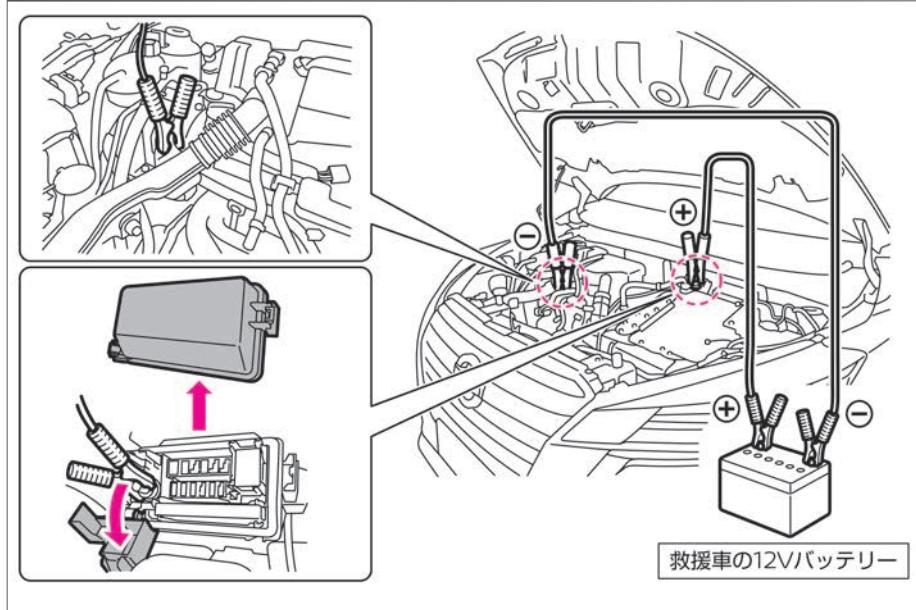
e-POWERシステムの始動のしかた

1	<p>ブレーキペダルを踏み、キーのロゴマークの裏面をパワースイッチに接触させます。 (ブザーが“ピピッ”と鳴ります。)</p>		<p>アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> 左記の手順でe-POWERシステムを始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。
2	<p>ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルⒶをしっかりと踏み込みながら、パワースイッチⒷを押します。</p>		<p>知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 停止操作は通常と同じ手順です。 ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（P.393）をご使用ください。 キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。 <p>☞ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.471)</p>

12Vバッテリーがあがったときは

12Vバッテリーがあがり、パワースイッチをONにできなくなったときは、救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。

➡ エンジルーム内の配置図 (P.456)



⚠ 警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車12Vバッテリーの \ominus 端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの \oplus 端子と \ominus 端子を接触させない。火花が発生し、12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- 12Vバッテリーの \oplus 側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12V

12Vバッテリーがあがったときは

⚠ 警告

バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

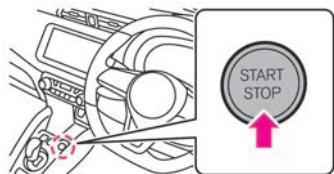
- 12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。
しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

次ページに続く

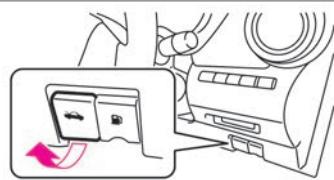
12Vバッテリーがあがったときは

ジャンプスタートのしかた

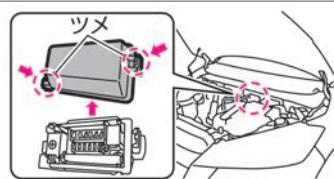
- 1 自車と救援車のパワースイッチをOFFにします。
 ➡ パワースイッチでのモードの切り替えかた (P.179)



- 2 自車の運転席の右下にあるボンネットオープナーを引いて、ボンネットを開けます。
 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.457)



- 3 自車のヒューズボックスのカバーをツメを押しながら外します。



⚠ 警告

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、エンジンやモーターに絶対に接続しない。

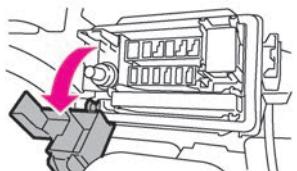
⚠ 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意する。
- ブースターケーブルは、確実に接続する。
 エンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。
- 冷却ファンやベルトに注意する。
 ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

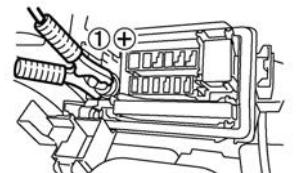
12Vバッテリーがあがったときは

4

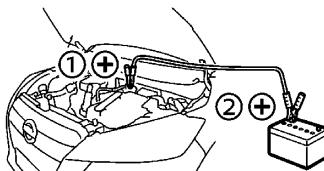
自車のヒューズボックス内のカバーをツメを押しながら開けます。

**5**

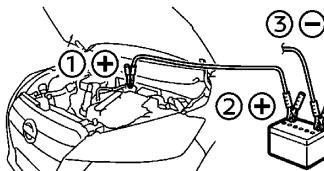
ブースターケーブル①を自車のヒューズボックスの \oplus 端子に接続します。

**6**

手順5で接続したケーブルの反対側②を救援車の12Vバッテリーの \oplus 端子に接続します。

**7**

もう1本のブースターケーブル③を救援車の12Vバッテリーの \ominus 端子に接続します。



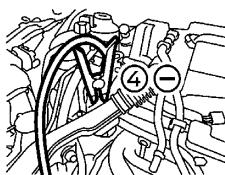
アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- この車両を救援車として使用しないでください。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- e-POWERシステムが始動できない場合には、一旦パワースイッチをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。
- 12Vバッテリーがあがると、パワースイッチのON・OFFができなくなります。すみやかに12Vバッテリーを充電してください。

12Vバッテリーがあがったときは

8

手順7で接続したケーブルの反対側④を右記のような自車の車体（手順5で接続した位置から離れた未塗装の金属部）に接続します。



9

救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。

10

自車のe-POWERシステムを始動します。

[e-POWERシステムの始動のしかた \(P.176\)](#)

e-POWERシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。



アドバイス

- e-POWERシステムを始動するときは、ヘッドライトやエアコンなどはOFFにしてください。
- e-POWERシステムが始動しても、しばらくエアコンやオーディオ★を使用しないでください。

緊急時の対処方法

出力制限表示灯が点灯したときは

出力制限表示灯  が点灯したときは、次の対処方法に従ってください。

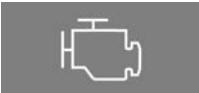
点灯したときの状況	対処方法	注意事項
走行中に出力制限表示灯  が点灯したとき	<p>高速道路を走行しているとき 80km/h以下で走行してください。次のパーキングエリアまたはサービスエリアで車両を止め、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。</p> <p>一般道を走行しているとき 安全な場所に停車し、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。</p>	他の警告灯が点灯しているときは、そちらの警告灯に対する処置を優先して行ってください。出力制限表示灯  のみが点灯した場合は、左記の対処方法に従ってください。
停車中に警報音（ブザー）と共に出力制限表示灯  が点灯したとき	アクセルペダルから足を離してください。	点灯した状態でシフトポジションを  に入れると、走行用モーターの出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んで速度が上がりにくくなります。

警告灯がついたときは

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。

警告灯が点灯・点滅したときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	油圧警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 e-POWERシステムが作動しているとき、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 <p>△ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 油圧警告灯が点灯したまま走行しない。エンジンを破損するおそれがあります。
	故障警告灯 (MIL)	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 e-POWERシステムが作動しているとき、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯または点滅したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	12V系充電警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 e-POWERシステムが作動しているとき、12Vバッテリーの充電系統に異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡ください。 <p>△ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 12V系充電警告灯が点灯したまま走行しない。12Vバッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ABS警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 パワースイッチがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。
	電動パーキングブレーキ警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチがONのとき、電動パーキングブレーキがかかっていると点灯し、電動パーキングブレーキを解除すると消灯します。 パワースイッチがONのとき電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチがONで警告灯が点滅しているときに、電動パーキングブレーキを解除しても点滅が続くときは、すみやかに車両を安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 <p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行（約3km/h以上）すると、ブザーが鳴ります。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ブレーキ警告灯 (赤色表示)	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 パワースイッチがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 <ul style="list-style-type: none"> ブレーキ液が不足しているとき ブレーキシステムに異常があるとき 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中にブレーキ警告灯（赤色表示）が点灯した場合は、車両を停止し、以下の確認を行ってください。（ブレーキシステム警告灯と同時にVDC警告灯も点灯します。）日産販売会社で点検を受けてください。 <ul style="list-style-type: none"> ブレーキ液の量が規定通りに入っていることを確認してください。ブレーキ液が不足している場合は、ブレーキ液を補充し日産販売会社で点検を受けてください。 ブレーキ液の量が適正のときは、他に原因があることが考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。
	ブレーキシステム警告灯 (黄色表示)	<ul style="list-style-type: none"> 走行中にブレーキシステム警告灯（黄色表示）が点灯し続けたときは、電動パーキングブレーキ機能が故障しているおそれがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中にブレーキシステム警告灯（黄色表示）が点灯した場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
	SRSエアバッグ警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。 パワースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯を続けます。 	<p>⚠️ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> パワースイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、放置したまま走行しない。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	前席シートベルト警告灯	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチがONのとき、運転席および助手席の乗員がシートベルトを着用していないと点灯します。 シートベルトを装着していない状態で走行すると（約15km/h以上）、警告灯が点滅します。 <p>前席シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転席および助手席の乗員がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約95秒間ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> シートベルトを着用してください。 <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行中は全員がシートベルトを着用する。 着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 <p>📖 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 助手席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警告灯が点灯することがあります。

次ページに続く

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	後席シートベルト警告灯	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチがONのとき、後席の乗員がシートベルトを着用していないとメーター内の後席シートベルト警告灯が赤色に点灯し、センターコンソール後ろ側の後席シートベルト警告灯が点灯します。 メーター内の後席シートベルト警告灯は、後席に乗員がないとき、または後席の乗員全員がシートベルトを着用しているときは表示されません。 パワースイッチがONのとき、後席の乗員がシートベルトを着用していると、メーター内の後席シートベルト警告灯が緑色に点灯します。（シートベルトを着用している席以外のシートのセンサーが重量を検知しているとき） メーター内の後席シートベルト警告灯は、空席があるときは □ が表示されます。 シートベルトを装着していない状態で走行すると（約15km/h以上）、メーター内の後席シートベルト警告灯が赤色に点滅し、センターコンソール後ろ側の後席シートベルト警告灯が点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> シートベルトを着用してください。 <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行中は全員がシートベルトを着用する。 着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 <p>📖 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 後席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、メーター内の後席シートベルト警告灯、センターコンソール後ろ側の後席シートベルト警告灯が点灯することがあります。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
		<ul style="list-style-type: none"> 約15km/h以上で走行中、後席の乗員が着用しているシートベルトを外すとメーター内の後席シートベルト警告灯が赤色に点滅し、センターコンソール後ろ側の後席シートベルト警告灯が点滅します。 <p><u>後席シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 後席の乗員がシートベルトを着用していないとき、または着用しているシートベルトを外して走行すると（約15km/h以上）、約95秒間ブザーが鳴ります。 	
	VDC警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 パワースイッチがONのとき、VDCが作動すると点滅します。 e-POWERシステムが作動しているとき、VDC、ヒルスタートアシストの電子制御システムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときはVDC、ヒルスタートアシストの作動は停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p>☞ <u>VDC（ビークルダイナミクスコントロール）(P.22)</u> ☞ <u>ヒルスタートアシスト (P.233)</u></p>
	e-POWERシステム警告灯	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 パワースイッチがONのとき、e-POWERシステムに異常が発生すると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	出力制限表示灯	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 パワースイッチがONのとき、次の場合に点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下しているとき 真冬の屋外などで、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低いとき 上り坂の連続走行などで、走行用モーターやりチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に高いとき 発電出力が制限されているとき シフトポジションが N で停車中、アクセルペダルを踏み込んだとき 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯中は走行用モーターまたは発電用モーターの出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んで速度が上がりにくくなります。 アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に「走行制限中」というメッセージが表示されます。 出力制限表示灯が点灯したときは <u>(P.401)</u>
	電制シフト警告灯	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 パワースイッチがONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 アドバンスドドライブアシストディスプレイ内にメッセージが表示されたときは、表示されたメッセージに従ってください。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェント エマージェンシー [☆] ブレーキ／踏み間 違い衝突防止アシ スト警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 ● 次の場合は点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> – インテリジェント エマージェンシーブ レーキまたは踏み間違い衝突防止アシ ストのシステムに異常が発生している とき – 周辺の電波源の影響を受けているとき – レーダーセンサーの汚れなどで、イン テリジェント エマージェンシーブレー キが一時的に作動できない状態になっ ているとき ● 次の場合は点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> – 踏み間違い衝突防止アシストが作動し たとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● e-POWERシステム再始動後も警告灯が点 灯し続けるときは、システムの異常が考 えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてく ださい。

次ページに続く

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
		<ul style="list-style-type: none"> ● 次の場合はゆっくり点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> - フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき - 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき - 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき - フロントガラスの結露や曇りなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ➡ <u>マルチセンシングフロントカメラの取り扱い</u> (P.480) ● フロントガラスに結露や曇りなどがある場合は結露や曇りを除去し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ➡ <u>フロントガラスのくもりの取りかた</u> (P.431) ● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると作動を復帰します。 各システムについて、インテリジェントエマージェンシーブレーキ(➡ P.278)および踏み間違い衝突防止アシスト(➡ P.289)をお読みください。

警告灯がついたときは

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、e-POWERシステムが始動すると消灯します。 e-POWERシステムが作動しているとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。 <p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたら停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくることがあります。異常ではありません。
	車両接近通報システム警告灯	<ul style="list-style-type: none"> 車両接近通報装置に異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
	マスター オーナー インジケーター	<ul style="list-style-type: none"> アバンシードドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同時に表示した警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。 <p> 警告メッセージ (P.414)</p>

表示灯がついたときは

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。

点灯している理由は、次の説明をお読みください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	<ul style="list-style-type: none"> 非常点滅表示灯スイッチを押すと左右同時に点滅します。 パワースイッチがONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滅が速くなった場合は、日産販売会社で点検を受けてください。 ⇒ 方向指示器の使いかた (P.210)
	ヘッドライト上向き表示灯	● ヘッドライトのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。	⇒ ハイビーム（上向き）への切り替えかた (P.209)
	テールランプ表示灯	● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	⇒ ライトスイッチの使いかた (P.201)
	フォグランプ表示灯	● フォグランプを点灯させると点灯します。	⇒ フォグランプの使いかた (P.214)
	ハイビームアシスト表示灯	● ハイビームアシストをONにすると点灯します。	⇒ ハイビームアシスト (P.206)
	VDC OFF表示灯	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 パワースイッチがONのとき、VDCをOFFにしていると点灯します。 	⇒ VDC（ピークルダイナミクスコントローラー）(P.227)
	セキュリティーアンジケーター	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチがON以外のときに点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

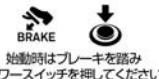
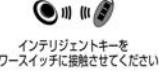
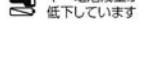
表示灯がついたときは

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	オートブレーキホールド表示灯 (白色)	<ul style="list-style-type: none"> ● オートブレーキホールドが待機状態のとき白色に点灯します。 	 オートブレーキホールド (P.190)
	オートブレーキホールド表示灯 (緑色)	<ul style="list-style-type: none"> ● オートブレーキホールドが作動しているとき緑色に点灯します。 	 オートブレーキホールド (P.190)
	走行可能表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 走行できる状態になると点灯します。 (走行中も点灯し続けます。) ● e-POWERシステム始動時、走行可能な状態になるまで点滅します。 	—
	インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストOFF表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストをOFFにすると点灯します。 ● VDCをOFFにすると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。  インテリジェントエマージェンシーブレーキ (P.278)  踏み間違い衝突防止アシスト (P.289) ● VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。  VDCの停止のしかた (P.229)

警告メッセージが表示されたときは

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告メッセージ

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 始動時はブレーキを踏み パワースイッチを押してください	e-POWERシステム始動操作表示	<ul style="list-style-type: none"> キー（インテリジェントキー）を持って車室内に入ると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押してください。e-POWERシステムが始動します。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> e-POWERシステムを始動したとき 約15秒経過したとき リモコン機能、またはドアハンドルのスイッチでドアを施錠したとき シフトポジションを P 以外に入れたとき
 インテリジェントキーを パワースイッチに接触させてください	インテリジェントキー非動作時e-POWERシステム始動表示	<ul style="list-style-type: none"> キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境により、キーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキペダルを踏みながら、キーロゴマークの裏面をパワースイッチに接触させてください。  キー（インテリジェントキー）で始動できないときは (P.395)
 キー電池残量が 低下しています	インテリジェントキー電池切れ表示	<ul style="list-style-type: none"> キー（インテリジェントキー）の電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池に交換してください。  キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.471) <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> 表示から約30秒経過したとき パワースイッチをON以外にしたとき

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  キーが見つかりません	インテリジェントキー持ち出し警告	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチがONのとき、キー（インテリジェントキー）が車外に持ち出されると表示します。 次のときにパワースイッチを切り替えようすると表示します。 <ul style="list-style-type: none"> キー（インテリジェントキー）を携帯していないとき 携帯しているキーの電池が切れているとき 登録されていないキーを携帯しているとき 	<ul style="list-style-type: none"> キーが車外に持ち出されていないか確認してください。 キーを携帯してください。 新しい電池に交換してください。 → キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.471) 自車のキーであることを確認してください。
 警告 	ドア開き警告	<ul style="list-style-type: none"> ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ドアを確実に閉めてください。
 警告  キーシステム故障 取扱説明書を見てください	キーシステム警告	<ul style="list-style-type: none"> キーシステムに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 日産販売会社にご連絡ください。e-POWERシステムが始動できないことやパワースイッチが切り替わらないことがあります。
 警告  Pレンジに入れてください	P戻し忘れ警告	<ul style="list-style-type: none"> シフトポジションがP以外で、運転席ドアを開けたときに点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> シフトポジションをPに切り替えてください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
△警告 パーキングブレーキを解除してください	電動パーキングブレーキ戻し忘れ警告	<ul style="list-style-type: none"> 電動パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると（約3km/h以上）表示し、ブザーが鳴ります。 電動パーキングブレーキをかけ、運転席シートベルトを着用せずにアクセルペダルを踏み、発進すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに電動パーキングブレーキを解除してください。 ➡ 電動パーキングブレーキ (P.185) 運転するときは、必ずシートベルトを着用してください。
△警告 停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	電動パーキングブレーキ警告	<ul style="list-style-type: none"> 急な坂道などで電動パーキングブレーキがかかった状態で車両が動くと表示し、ブザーが鳴ります。 電動パーキングブレーキがかかった状態で、ブレーキペダルを踏まずに電動パーキングブレーキスイッチを押した場合に表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 解除する場合は、ブレーキペダルを踏んでから電動パーキングブレーキスイッチを押し下げてください。 ➡ 電動パーキングブレーキ (P.185)
	オートブレーキホールド警告	<ul style="list-style-type: none"> オートブレーキホールドが作動中に車が動いたときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキペダルを踏んで車を停止させてください。
AUTO HOLD  急坂路に停車しています 車が動くことがあります	オートブレーキホールド急坂路注意表示	<ul style="list-style-type: none"> 急な坂道などでオートブレーキホールドが作動したときに表示し、ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 急な坂道や滑りやすい路面でオートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。 ➡ オートブレーキホールド (P.190)

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 急坂路ではブレーキを踏んでください 車が動くことがあります	オートブレーキホールド急坂路操作表示	● 急な坂道などでオートブレーキホールドが作動してから約3分間経過し、ブレーキが踏まれていなかった場合に表示し、ブザーが鳴ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 ● 急な坂道などでオートブレーキホールドが作動してから約3分間経過し、電動パーキングブレーキがかかることで車両が動き出すおそれがあります。  オートブレーキホールド (P.190)
 ブレーキを踏みスイッチを操作すれば解除できます	オートブレーキホールドスイッチ解除操作表示	● オートブレーキホールド作動中、ブレーキペダルを踏まずにオートブレーキホールドスイッチを押したときに表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーキペダルを踏んでからオートブレーキホールドスイッチを押してください。  オートブレーキホールド (P.190)
 給油してください	燃料残量警告	● 燃料が少なくなると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに指定の燃料を補給してください。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 燃料の残量が約5 l 以下で表示します。 ● 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わることがあります。
 オーバーヒート警告 安全な場所に車を停め取扱説明書を見てください	オーバーヒート警告	● エンジン冷却水の温度が異常に高くなると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。  オーバーヒートしたときは (P.433) <p> 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示したまま走行をしない。 そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。
 シャシー制御システム故障 取扱説明書を見てください	シャシー制御表示	● シャシー制御のシステムに異常があると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

次ページに続く

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  踏み間違い衝突防止アシストが作動しました	踏み間違い衝突防止アシスト作動時表示	● 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。 ⇒ 踏み間違い衝突防止アシスト (P.289)
 警告 ヘッドランプ異常取扱説明書を見てください	ヘッドランプ警告	● LEDヘッドランプに異常があると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
システムが故障しているため使用できません	システム故障警告	● プロパイロット、LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）が故障すると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ⇒ プロパイロット (P.239) ⇒ LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム） (P.311)
 システム故障取扱説明書を見てください	インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストシステム故障警告	● インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストが故障すると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ⇒ インテリジェントエマージェンシーブレーキ (P.278) ⇒ 踏み間違い衝突防止アシスト (P.289)

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  システム故障	インテリジェント DA (ふらつき警報) システム異常警告	● インテリジェント DA (ふらつき警報) に異常があると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ⇒ インテリジェント DA (ふらつき警報) (P.319)
 警告 ソナー故障 取扱説明書を見てください	ソナーシステム異常警告	● ソナーが故障したときに表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ⇒ ソナー機能 (P.109)
 休憩しませんか?	インテリジェント DA (ふらつき警報) 表示	● 運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示・非表示の設定ができます。 ⇒ インテリジェント DA (ふらつき警報) (P.319)
バッテリーあがりを防ぐため電源をOFFします	自動電源OFF表示A	● e-POWERシステムが停止している状態で、パワースイッチをONにしたまましばらくすると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● そのままパワースイッチを切り替えないと、省エネのためパワースイッチがOFFになります。
バッテリーあがりを防ぐため電源をOFFしました	自動電源OFF表示B	● e-POWERシステムが停止している状態で、パワースイッチをONにしたまま時間が経過し、パワースイッチが自動でOFFになったときに表示します。	

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 ライト消灯してください	ライト消し忘れ警告	<ul style="list-style-type: none"> パワースイッチがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、次の場合にブザーが鳴ります。 <ul style="list-style-type: none"> ライトスイッチが  の位置にあるとき ライトスイッチを  /OFFの位置に回して、メーター内のテールランプ表示灯  が点灯しているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ライトスイッチをAUTOの位置にする、または  /OFFの位置に回して、メーター内のテールランプ表示灯  を消灯してください。 <p> ライトスイッチ (P.201)</p>
 メンテナンス オイル/オイルフィルター交換してください	オイル/オイルフィルター交換表示	<ul style="list-style-type: none"> 設定したオイル/オイルフィルター交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> オイル/オイルフィルター交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 設定  P.100)
 メンテナンス タイヤ	タイヤ交換表示	<ul style="list-style-type: none"> 設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> タイヤ交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 設定  P.100)
 メンテナンス ユーザー	メンテナンス距離表示	<ul style="list-style-type: none"> オイル/オイルフィルター、タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができます。項目の点検／交換距離は設定したり、リセットしたりできます。 設定  P.100)
 0°C	凍結注意アラーム表示	<ul style="list-style-type: none"> 外気温が3°C以下になったことを知らせます。 	<ul style="list-style-type: none"> 表示・非表示の設定ができます。 設定  P.95)
 休憩してください	走行時間アラーム表示	<ul style="list-style-type: none"> 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。 	<ul style="list-style-type: none"> 表示・非表示の設定ができます。 設定  P.95)

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 △警告 駐車時は必ず パーキングブレーキを かけてください	電制シフト警 告A	● 電制シフトに異常が発生したときに表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけてください。パーキングブレーキをかけていないと、パワースイッチをOFFにできないことがあります。 ● パワースイッチをOFFにできないときは、次の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> - ①停車してパーキングブレーキをかけます。 - ②ブレーキペダルを踏み込みながらパワースイッチを押して、パワースイッチをONに切り替えます。 - ③セレクトレバーの下側にある④スイッチを押して P に切り替えます。 - ④パワースイッチを押して、OFFに切り替えます。
 △警告 トランスマッ션 システム異常 販売店で点検してください	電制シフト警 告B	● 電制シフトに異常が発生したときに表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、目的のシフトポジションの位置でセレクトレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。 ● オートP機能 (P.184) が作動しないことがあるため、駐車するときはセレクトレバーの下側にある④スイッチを押し、 P に切り替わったことを確認してください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
△警告 シフトレバーの位置を確認してください	シフトポジション警告	● セレクトレバーが中央の位置以外で保持され続けたときに表示します。	● セレクトレバーが中央の位置にあるか確認してください。 ● セレクトレバーが中央の位置にあるときに表示された場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
△警告 ❶ 走行制限中	出力制限警告	● 出力制限表示灯  が点灯すると同時に表示します。	● 出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。 ● リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下して点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
暖機中のため現在マナーモードは使用できません	マナーモード警告A	● システムが暖機を必要と判断した場合に表示します。	● システムが暖機を必要と判断しているため、マナーモードを使用できません。 ● 暖機終了後にEVモードスイッチを引いてください。  マナーモード (P.224)
バッテリ残量が少ないため現在マナーモードは使用できません	マナーモード警告B	● リチウムイオンバッテリーの残量が少ない場合に表示します。	● リチウムイオンバッテリー残量低下によりマナーモード走行はできません。 ● チャージモードで走行するなど、リチウムイオンバッテリー残量を増やしてからEVモードスイッチを引いてください。  マナーモード (P.224)
SまたはECOモードが選択されていないためマナーモードは使用できません	マナーモード警告C	● S (Smart) モード、またはECOモードが選択されていない場合に表示します。	● ドライブモードがNORMALのためマナーモードを使用できません。 ドライブモードをS (Smart) モード、またはECOモードに切り替えてからEVモードスイッチを引いてください。  マナーモード (P.224)

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
作動条件外のため マナーモードは使用できません	マナーモード 警告D	● マナーモードの作動条件から外れていると表示します。	● システムの判断によりマナーモードを使用できません。 (外気温が極端に低いときなど) ● 作動条件を満たすと表示が消えるので、そのときにEVモードスイッチを引いてください。 ⇒マナーモード (P.224)
フロントデフロスタが 作動しているため マナーモードは使用できません	マナーモード 警告E	● デフロスター スイッチをONにしたときに表示します。	● デフロスター スイッチを押すと、暖機のためにエンジンが始動し、マナーモードを使用できません。 ● 暖機終了後にEVモードスイッチを引いてください。 ⇒マナーモード (P.224)
作動条件外のため チャージモードは使用できません	チャージモード 警告A	● チャージモードの作動条件から外れていると表示します。	● システムの判断によりチャージモードを使用できません。 (外気温が極端に低いときなど) ● 作動条件を満たすと表示が消えるので、そのときにEVモードスイッチを引き続けてください。 ⇒チャージモード (P.222)
SまたはECOモードが 選択されていないため チャージモードは使用できません	チャージモード 警告B	● S (Smart) モード、またはECOモードが選択されていない場合に表示します。	● ドライブモードがNORMALのためチャージモードを使用できません。 ドライブモードをS (Smart) モード、またはECOモードに切り替えてからEVモードスイッチを引き続けてください。 ⇒チャージモード (P.222)
△警告 ⇒ e-POWERシステム停止 販売店で点検してください	e-POWERシステム 警告A	● 停車中、e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
△警告 e-POWERシステム故障 次回始動できません 販売店で点検してください	e-POWERシステム警告B	● e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが再始動できないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム故障 走行制限中 販売店で点検してください	e-POWERシステム警告C	● 停車中、e-POWERシステムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム停止 安全に停車してください	e-POWERシステム警告D	● 走行中、e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム停止 パーキングブレーキをかけてください	e-POWERシステム警告E	● 停車中、e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかにパーキングブレーキをかけ、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム故障 安全に停車してください	e-POWERシステム警告F	● 走行中、e-POWERシステムに異常が発生し、出力が停止しているときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム故障 走行制限中 安全に停車してください	e-POWERシステム警告G	● 走行中、e-POWERシステムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 e-POWERシステム故障 販売店で点検してください	e-POWERシステム警告H	● 停車中、e-POWERシステムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止せず、出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
△警告 12V充電システム故障 e-POWERシステム停止 販売店で点検してください	12V充電系警告A	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
△警告 12V充電システム故障 販売店で点検してください	12V充電系警告B	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、e-POWERシステムに異常がなく出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
△警告 12V充電システム故障 e-POWERシステム停止 安全に停車してください	12V充電系警告C	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、e-POWERシステムが停止されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 12V充電システム故障 安全に停車してください	12V充電系警告D	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、e-POWERシステムに異常がなく出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 12V充電システム故障 走行制限中 安全に停車してください	12V充電系警告E	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 12V充電システム故障 パークングブレーキを かけてください	12V充電系警告F	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生していると表示します。	● すみやかにパーキングブレーキをかけ、日産販売会社にご連絡ください。
△警告 12V充電システム故障 走行制限中 販売店で点検してください	12V充電系警告G	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
フロントレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください	フロントレーダーシステム 停止警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 <ul style="list-style-type: none"> –  プロパイロット (P.239) –  インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.278) ● 次のような道路形状、または建造物がある場合は、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できず、作動が停止します。 <ul style="list-style-type: none"> – 長い橋を走行しているとき – 砂地や雪原を走行しているとき – 長い壁の近くを走行しているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度e-POWERシステムを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、e-POWERシステムを再始動してください。 ● 停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。（再開するまでに時間がかかることがあります。）
作動範囲外のため 現在使用できません	作動範囲外警 告	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> –  プロパイロット (P.239) – インテリジェント LK (車線逸脱防止支援システム) ( P.311) ● VDCをOFFにしたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。

警告メッセージが表示されたときは

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
カメラが高温のため 現在使用できません	カメラ高温警 告	<ul style="list-style-type: none"> ● 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になり、次のシステムが停止すると表示します。 <ul style="list-style-type: none"> –  プロパイロット (P.239) –  インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.278) –  LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム） (P.311) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止したシステムを再び作動させる場合は、マルチセンシングフロントカメラ周辺の温度が下がってから、再びONにしてください。

次ページに続く

警告メッセージが表示されたときは

■ プロパイロット（インテリジェント クルーズコントロール）警告メッセージ

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 作動範囲外のため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● VDC/TCSが作動したとき ● タイヤの空転を検出したとき ● VDCをOFFにしたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● VDC/TCSが作動する、または、タイヤが空転するような状況ではインテリジェント クルーズコントロールは使用できません。 ● VDCがOFFの場合はインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 パーキングブレーキが 作動しているため 使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パーキングブレーキが作動したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パーキングブレーキが作動しているときはインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 シートベルトが 解除されているため 使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転席のシートベルトを解除したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転席のシートベルトが解除されている場合はインテリジェント クルーズコントロールは使用することができません。
 警告  システム故障 取扱説明書を見てください	<ul style="list-style-type: none"> ● システム故障 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント クルーズコントロールにより車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 速やかにブレーキを踏んでください。

警告メッセージが表示されたときは

プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 ハンドル支援は一時的に作動できません	<ul style="list-style-type: none"> 両側の車線を検出しなくなったとき 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき 	<ul style="list-style-type: none"> 作動条件を再度満たすとハンドル支援機能は再開されます。
	<ul style="list-style-type: none"> ハンドルを持っていない、またはハンドル操作がないとき 	<ul style="list-style-type: none"> 速やかにハンドルを持って操作してください。運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、ハンドル支援機能が復帰します。
 レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	<ul style="list-style-type: none"> 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど） 	<ul style="list-style-type: none"> 再びハンドル支援機能を使用したいときは、レーンマーカーがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを解除し、再度セットしてください。
 悪天候のため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ワイパーを高速で作動させたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ワイパーの高速作動を解除して再度セットしてください。
 カメラが認識できないため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき 前方から強い光を受けたとき 	<ul style="list-style-type: none"> 状況が改善すると、プロパイロットを使用することができます。 警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車して、e-POWERシステムを一旦停止してカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。
 カメラが高温のため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき 	<ul style="list-style-type: none"> 室内の温度が下がるとプロパイロットを使用することができます。

警報音（ブザー）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

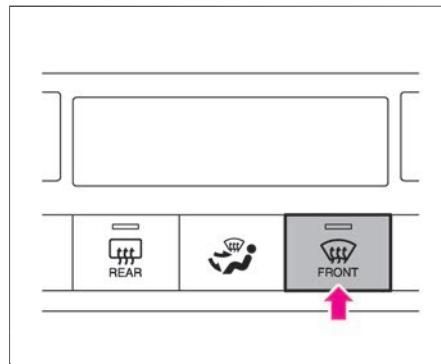
どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…（数秒間）	ドアハンドルのスイッチを押したとき	パワースイッチはOFFになっているか キーを車室内またはラゲッジルーム内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キーのドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを押していないか
	ピッピッピッ（3回）	ドアを閉めたとき	パワースイッチがONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
車室内	ピー（継続）	ドアを閉めたとき	電制シフトに異常が発生している状態で、パーキングブレーキをかけずにキーが車外に持ち出されていないか 電制シフト警告（→P.421）
	ピピッピッピッ（3回）	ドアを閉めたとき	パワースイッチがONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
	ピピッピッ…（繰り返し）	運転席ドアを開けたとき	パワースイッチがONのままになっていないか

窓ガラスがくもったときは

パワースイッチがONのとき使えます。

フロントガラスのくもりの取りかた

- デフロスタースイッチを押すとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。
(スイッチの表示灯が点灯)
- もう一度スイッチを押すと止まります。
(スイッチの表示灯が消灯)



注意

- デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を高くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

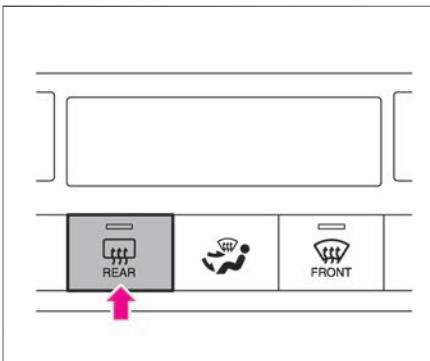
知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも自動的に作動します。

窓ガラスがくもったときは

リヤガラスのくもりの取りかた

- リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。
(リヤウインドーデフォッガースイッチの表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(リヤウインドーデフォッガースイッチの表示灯が消灯)



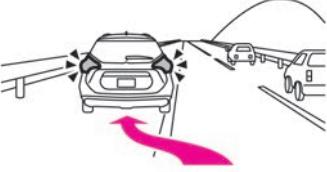
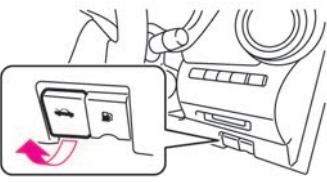
知識

- リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーター★も同時に作動します。

オーバーヒートしたときは

アドバンスドドライブアシストディスプレイにオーバーヒート警告（ P.417）が表示されたときや、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしています。次の方法で処置してください。

処置のしかた

1	<p>ただちに安全な場所に停車します。  故障したときの対処のしかた (P.376)</p>	
2	<p>e-POWERシステムを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。 万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにe-POWERシステムを停止し、自然冷却してください。</p>	
3	<p>アドバンスドドライブアシストディスプレイのオーバーヒート警告が消えたら、e-POWERシステムを停止させしばらく待ちます。 エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。</p>	<p> 警告  オーバーヒート 安全な場所に車を停め 取扱説明書を見てください</p>
4	<p>冷却水が不足しているときは、エンジン冷却用のリザーバータンクに冷却水を補充してください。  エンジンルーム内の配置図 (P.456) 補充後は、しっかりキャップを閉めてください。</p>	

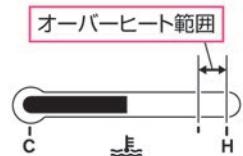
警告

- ボンネットを開けるときは十分に注意する。
エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- 蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。
やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
e-POWERシステムを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さない。
蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。
そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

オーバーヒートしたときは

5

走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、手順1～手順4の作業を繰り返し行ってください。

**6**

早めに日産販売会社で点検を受けてください。



アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

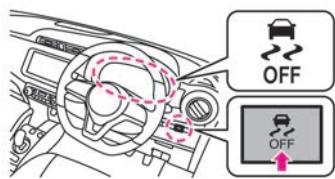
雪道やぬかるみにはまったときは

雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

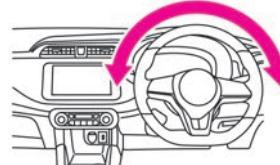
- 1** VDC OFFスイッチを押して、VDCをOFFにします。

➡ VDCの停止のしかた (P.229)



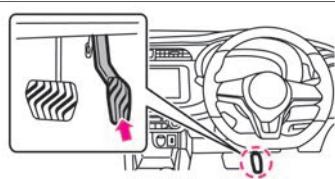
- 2** 車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。

必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。



- 3** ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。

周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。



⚠️ 警告

- 周囲の安全を必ず確認する。

周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。

- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。

急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠️ 注意

- 脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。

タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品の異常過熱により思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

水没したときは

■ 水没したときの対処のしかた

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、パワーウィンドーのスイッチを押し窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- パワーウィンドースイッチを押しても窓ガラスが開かない場合、以下の方法で脱してください。
 - 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
 - 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらいまで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。
(車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます。)

⚠ 警告

- 水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車内に入り、ケガをするおそれがあります。

緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

- フロントウインドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。前席ドアガラス、後席ドアガラス、バックドアガラスを割って脱出してください。

※ドアガラスについては、車両の仕様変更により合わせガラスの場合があります。

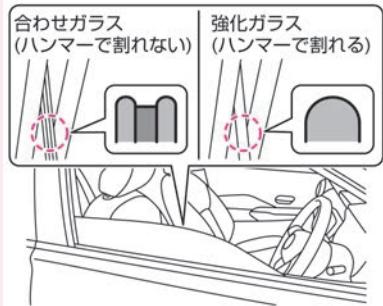
合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしくは刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

緊急時の対処方法 水没したときは

⚠ 警告

ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2枚のガラスが貼り合はせられている場合は合わせガラスとなります。



ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。

⚠ 警告

Eマーク



- 合わせガラス : XI、V-XI
- 強化ガラス : 無印、V

JISマーク



- 合わせガラス : L
- 強化ガラス : T

※車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない場合があります。

ヒューズ

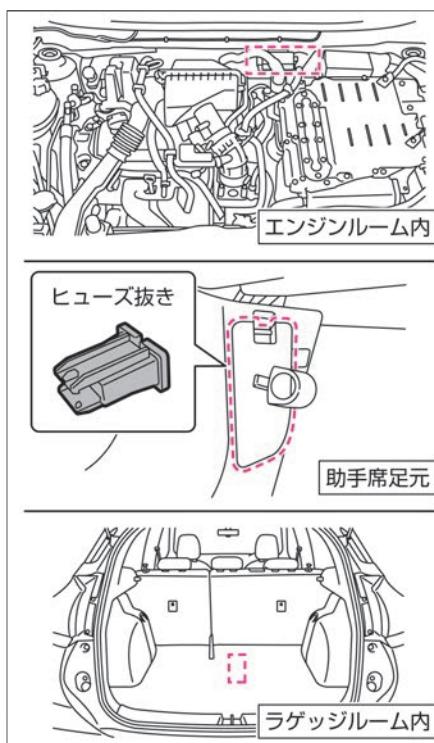
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

ヒューズボックスの位置

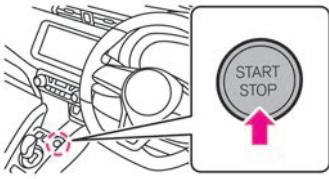
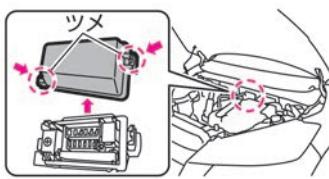
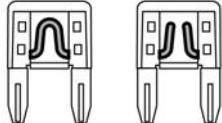
- ヒューズボックスは、次の位置にあります。
 - エンジンルーム内
 - 助手席足元
 - ラゲッジルーム内
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側またはヒューズボックス付近に表示してあります。

ヒューズ抜きについて

- 助手席足元のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。



ヒューズの点検・交換のしかた（エンジンルーム内）

1	パワースイッチをOFFにし、ボンネットを開けます。 ➡ボンネットの開けかた、閉めかた (P.457)	
2	ヒューズボックスのふたを外します。	
3	ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。 ヒューズ抜き (➡P.438)	
4	ヒューズが切れていないか点検します。 切れているときは新しいヒューズと交換します。	ヒューズの参考画像 

⚠ 警告

- 高電圧部位、サービスプラグ、高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターに触れたり、取り外し、分解などは絶対に行わない。
重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

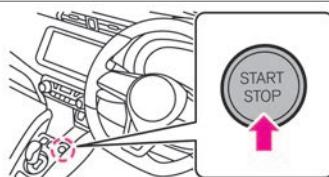
知識

- エンジンルーム内のヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

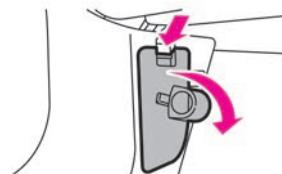
次ページに続く

ヒューズの点検・交換のしかた（助手席足元）

1 パワースイッチをOFFにします。



2 助手席足元のヒューズボックスカバーを外します。

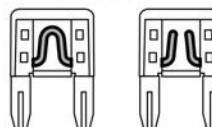


3 ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
ヒューズ抜き (☞P.438)



4 ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像



警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

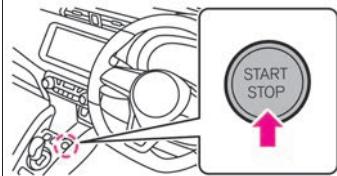


アドバイス

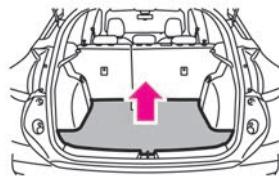
- お手持ちの工具を布などで覆い、傷をつけないように注意してください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ヒューズの点検・交換のしかた（ラゲッジルーム内）

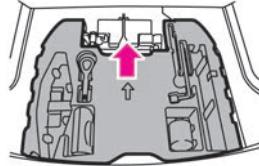
1 パワースイッチをOFFにします。



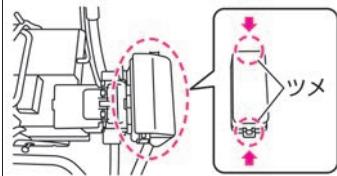
2 バックドアを開け、ラゲッジルームのフロアカバーを取り外します。



3 工具が収納されているボードを取り外します。



4 ヒューズボックスのふたを外します。



警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

緊急時の対処方法
ヒューズ

5

ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。

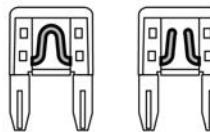
ヒューズ抜き (☞ P.438)



6

ヒューズが切れていないか点検します。
切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像



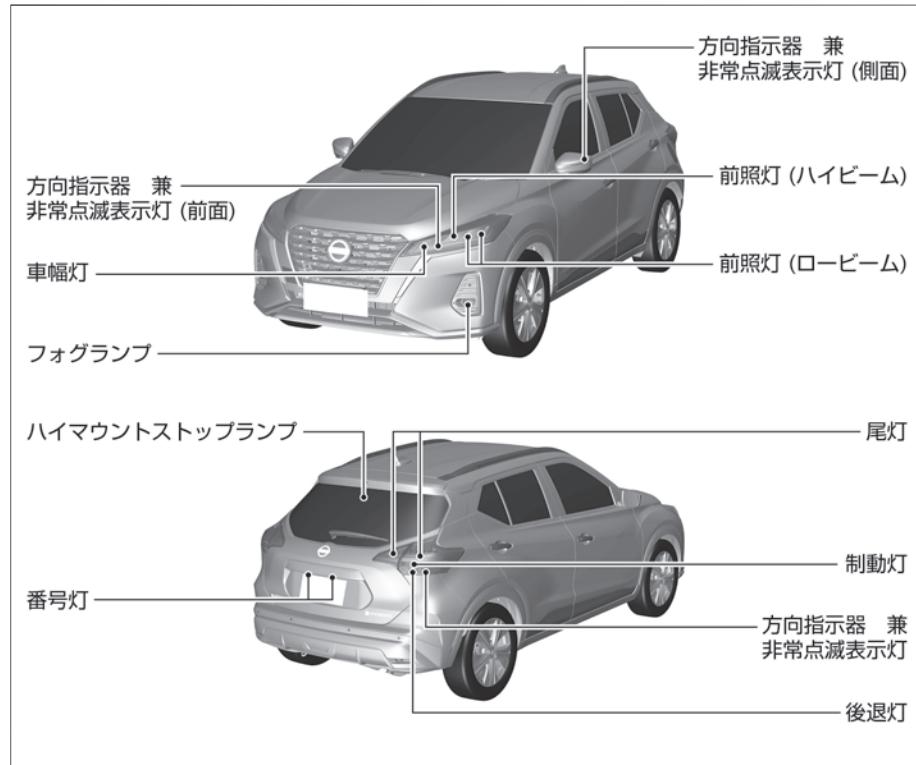
緊急時の対処方法

電球（バルブ）交換

外装ランプが点灯しないときは、電球の球切れが考えられます。

電球の交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

各電球（バルブ）の位置



注意

- 電球交換は、ボンネットや電球が冷えた状態で行う。やけどをするおそれがあります。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように注意する。
- 電球は確実に取り付ける。電球は点灯中、表面が高温になります。電球が正しく取り付けられていないと、走行中に電球が外れて周辺の部品に接触するなどし、発熱、発火につながるおそれがあります。

アドバイス

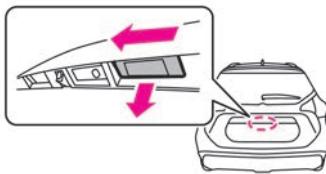
- 電球交換するときは、軍手などを着用してください。
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- 電球に油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。電球の寿命が短くなったり電球が破損するおそれがあります。

 知識

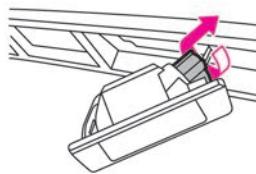
- ヘッドライト、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。また、ヘッドライト内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがあります。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

番号灯

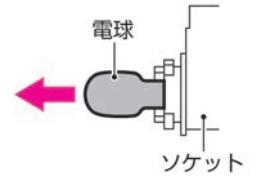
- 1** 番号灯を左側に押しながら下に抜き取って外します。



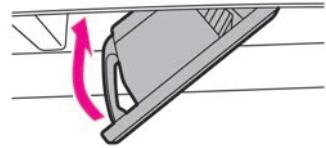
- 2** ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



- 3** 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



- 4** 取り付けるときは、右側を入れてから左側を取り付けます。



アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

知識

- 番号灯 : 12V-5W

■ その他の電球

次の電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

- ロービーム（LED）
- ハイビーム（LED）
- フォグランプ（LED）
- 車幅灯（LED）
- 制動灯（LED）
- ハイマウントストップランプ（LED）
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（LED）
- 尾灯（LED）
- 後退灯（LED）

メンテナンス

メンテナンスの前に

点検整備について	P.448
----------	-------

工具・ジャッキ

工具・ジャッキ★について	P.449
--------------	-------

点検と整備

エンジンルーム	P.456
---------	-------

ウォッシャー液の補給	P.459
------------	-------

寒冷時の取り扱い	P.460
----------	-------

タイヤ	P.463
-----	-------

冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.468
---------------	-------

ワイパー	P.469
------	-------

キー（インテリジェントキー）の電池交換	P.471
---------------------	-------

12Vバッテリー	P.472
----------	-------

エンジンオイル	P.473
---------	-------

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.474
---------	-------

内装のお手入れ	P.484
---------	-------

サービスデータ

点検値／交換油脂類	P.488
-----------	-------

車両仕様	P.491
------	-------

イベントデータレコーダ（EDR）	P.493
------------------	-------

車両状態記録機能	P.495
----------	-------

メンテナンスの前に 点検整備について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

● 日常点検

走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、
におい、水もれ、油もれなど）

● 定期点検

1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。

● その他の点検

新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

知識

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

車検、点検整備のとき

- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。

■ 検査標章（ステッカー）の貼り付け位置について

- フロントガラスにあるマルチセンシングフロントカメラを避け、車室内から貼り付けます。車外から見やすい位置に貼り付けてください。
マルチセンシングフロントカメラ (☞P.480)

工具・ジャッキ★について

この車両には、スペアタイヤ、ジャッキ、ジャッキハンドルバーが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

工具、タイヤ応急修理キットの格納場所

- 工具・タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルーム内に格納されています。

⇒ 応急修理する前に (P.383)

⇒ タイヤ応急修理キットについて
(P.384)



注意

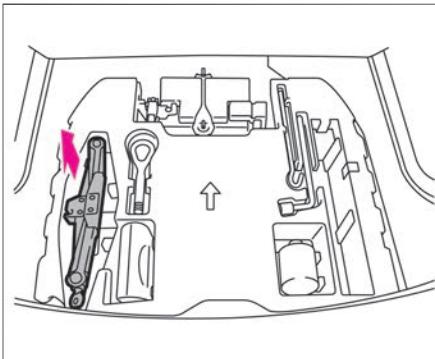
- 工具・タイヤ応急修理キットを使つたあとは、元の場所に収納する。車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フロアパネルに触れない。高温になるため、やけどをするおそれがあります。

知識

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒 (⇒ P.377) などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

■ ジャッキの取り出しかた（ディーラーオプション）

- ラゲッジルームのフロアカバーを持ち上げて取り出します。



アドバイス

- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
- ジャッキとフロアカバーが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。

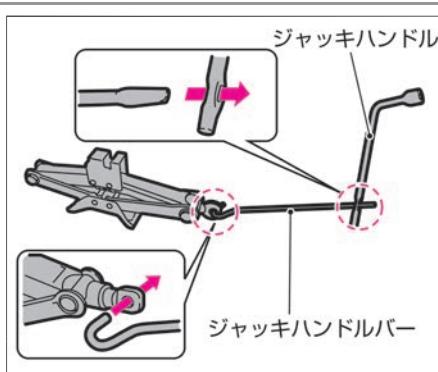


知識

- この車両には、ジャッキ、ジャッキハンドルバーが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

■ ジャッキの使いかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。



⚠ 警告

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。

⚠ 注意

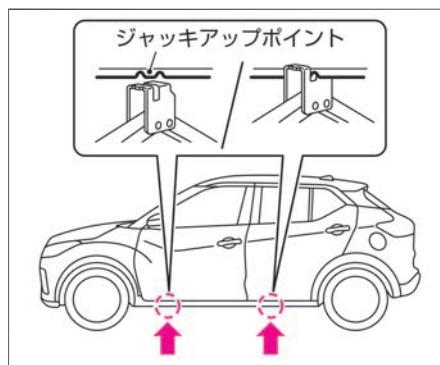
- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーをしっかりと握って回す。
ジャッキハンドルバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込む。
ジャッキハンドルバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキアップ中はe-POWERシステムを始動しない。

⚠ 注意

車が発進し、重大な傷害につながる
おそれがあります。

■ ジャッキアップポイント

- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。



⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守る。
 - ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。
 - 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - 使用前にパーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P にしてください。
 - 輪止めなどで車を固定してください。
 - ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

メンテナンス

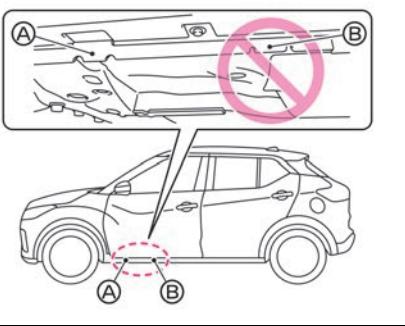
アドバイス

- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。

次ページに続く

 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。
- 車両前側のジャッキアップポイントはⒶの位置になります。
Ⓑの位置はジャッキアップポイントではありません。
Ⓑの位置にはジャッキをかけないでください。



ジャッキアップのしかた

1 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

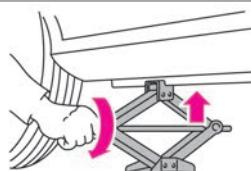
➡ 停車・駐車のしかた (P.199)

2 ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。

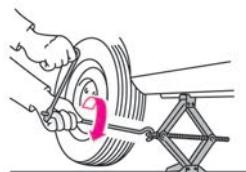


3 ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。

➡ ジャッキアップポイント (P.453)



4 ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



注意

- やわらかい地面の上ではジャッキアップしない。
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむをえず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。

アドバイス

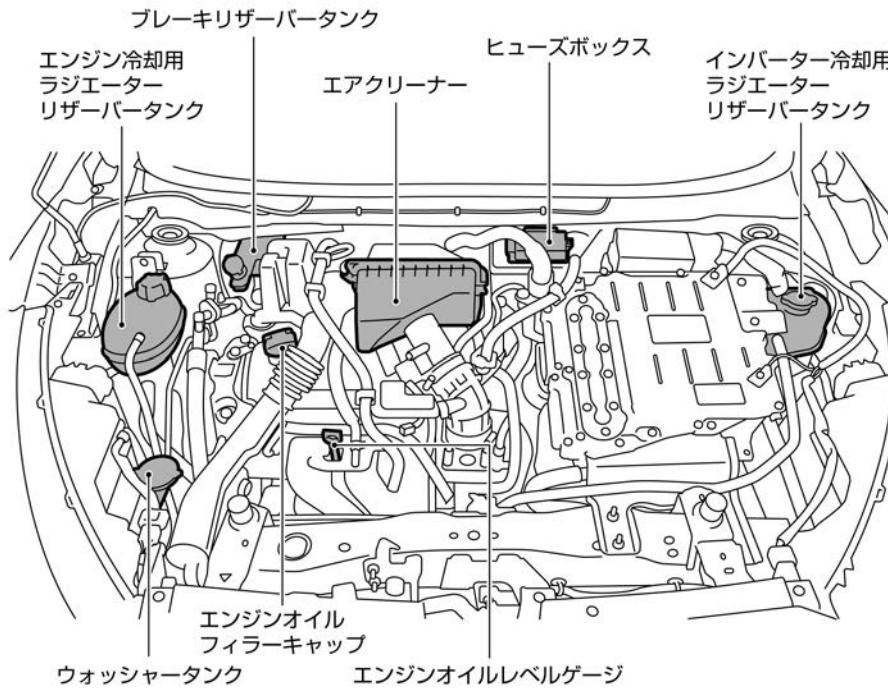
- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

■ エンジンルーム内の配置図



⚠ 警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。
故障や車両火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンルーム内の作業をするときは、パワースイッチをOFFにする。
e-POWERシステム作動中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

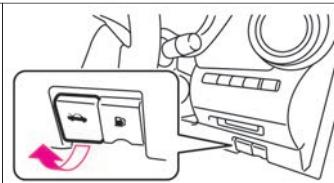


アドバイス

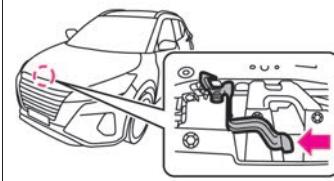
- ワイパーームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーを損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

ボンネットの開けかた、閉めかた

- 1** 運転席の右下にあるボンネットオープナーを引きます。
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2** ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



- 3** ボンネット裏側に付いているステーの操作部を持ってフックから外し、車体の穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。



!**警告**

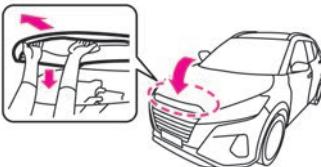
- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。
ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

!**注意**

- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。
- ステーを持つときは、必ず操作部を持つ。
e-POWERシステム停止直後はステーが高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。
- ラジエーターなどの高温部には触れない。
やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。

4

閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットを20cm～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落してください。ボンネットを上から押して閉めようとしないでください。



アドバイス

- ボンネットを30cm以上の高さから落とさないでください。破損するおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

- ウォッシャー液が減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。



注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。
出火するおそれがあります。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。
- 日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。
ウォッシャータンク容量 (☞P.489)

寒冷時の取り扱い

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
30%	約-15°C
50%	約-35°C

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパー長ライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。
サービスデータ（冷却水）（☞P.489）



アドバイス

- 寒冷地仕様車の冷却水は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ 12Vバッテリーの液量、比重の点検

- 別冊のメンテナンスノートの「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産正品をおすすめします。

■ ウオッシャー液の濃度点検

- ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釀割合（濃度）にしてください。

■ 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かしたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使用して、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品を破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。



警告

- ルーフに積もった雪は落とす。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- ルーフから雪を落とすときは、アンテナに強い力をかけないようにしてください。アンテナが破損したり、車体がへこんだりするおそれがあります。
- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

☞ 冬用タイヤ・タイヤチェーン (P.468)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- シフトポジションを **P**に入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

点検と整備

タイヤ

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。
日常的に点検を行ってください。

タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

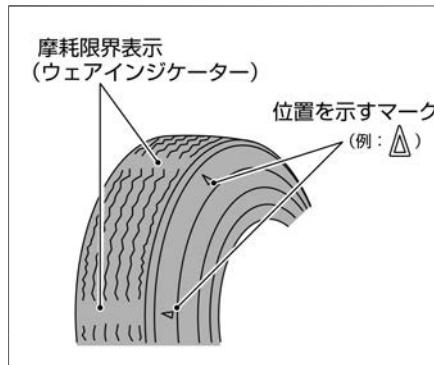
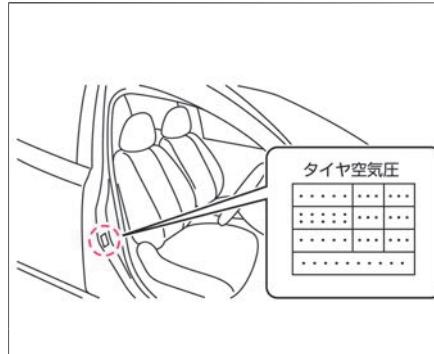
- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあります。

タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限界表示）が表れていないか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限界表示）が同じ高さになつたらタイヤを交換してください。



警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。
バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

- 使用開始後5~7年を目安に必ず点検する。
タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。



知識

- タイヤの空気は自然に少しづつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確

 知識

認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。

- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割程度上がることがあります。

■ タイヤ・ロードホイールを交換するときは

- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。
ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載しております。

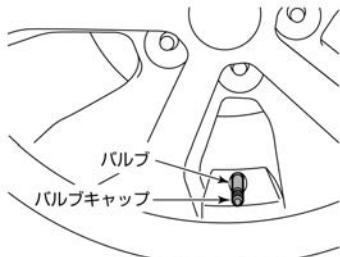
⚠ 注意

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けない。
不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付ける。
径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。回転差を吸収する機構に無理がかかり、過熱し火災につながるおそれがあります。
 - 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
 - サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着

次ページに続く

 アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。

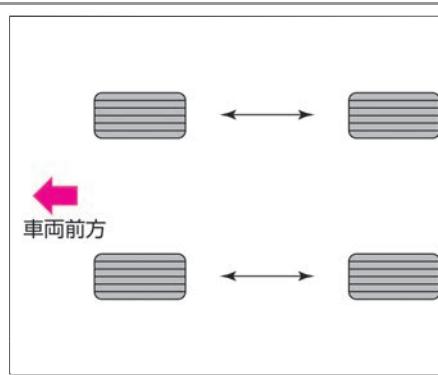


 アドバイス

- バルブキャップを工具などを使って締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、 $108\text{N}\cdot\text{m}$ ($11\text{kg}\cdot\text{m}$) です。

■ タイヤローテーションのしかた

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏磨耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000kmごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



⚠ 注意

- 著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。
車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

車 アドバイス

- タイヤの位置交換と一緒に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

注意

- タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。
ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、パワースイッチをOFFにして作業してください。
- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
- お客様のタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
- タイヤチェーンはお客様の車に適合した日産純正品をおすすめします。
- 適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

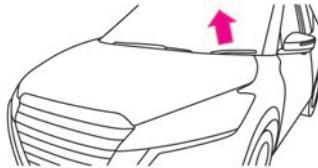
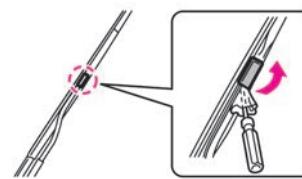
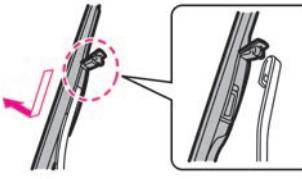


アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。
定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

■ ワイパープレードの交換のしかた

- | | | |
|---|--|--|
| 1 | ワイパー アームを起こします。 |  |
| 2 | 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、ストッパーを起こします。 |  |
| 3 | ワイパープレードを矢印の方向に動かして取り外します。 |  |
| 4 | 新しいワイパープレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパープレードが確実に固定されていることを確認します。 | |

アドバイス

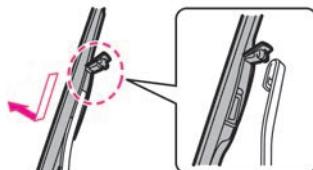
- 交換するときは、ワイパー アームおよびワイパープレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。
- ワイパープレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

知識

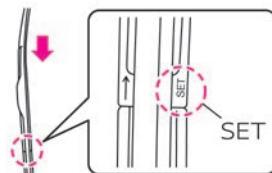
- リヤワイパープレードの点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。

ワイパーゴムの交換のしかた

1 ワイパー アームからワイパー ブレードを取り外します。

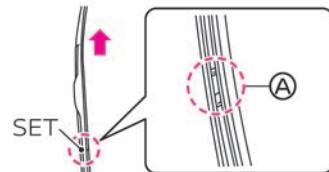


2 ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



3 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

- ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。
- ワイパーゴムのⒶ部をワイパー ブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。

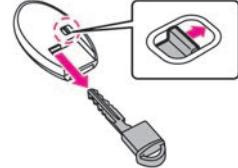
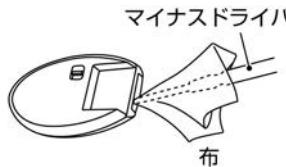
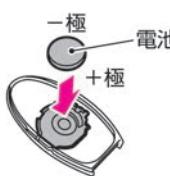
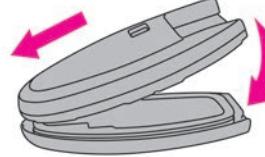


知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

キー（インテリジェントキー）の電池交換

キーのスイッチを押しても作動しないときや作動表示灯（ P.114）が点滅しないときは、電池の消耗が考えられます。次の手順に沿って、電池を交換してください。

1	キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。		警告 <ul style="list-style-type: none"> 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。
2	すき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。）		アドバイス <ul style="list-style-type: none"> 電池交換の際、無理にカバーを取り外そうとすると、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
3	消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。） 使用電池：CR2032		<ul style="list-style-type: none"> 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。
4	カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。		メンテナンス

12Vバッテリー

12Vバッテリーのメンテナンスについては、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーに関する注意事項

⚠ 警告

- **12Vバッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけない。**
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。**
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。
- **12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようしつかりと固定する。**
しつかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 注意

- **12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- **フロアパネルに触れない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。

エンジンオイル

エンジンオイルの交換時期は別冊のメンテナンスノートをお読みください。
また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータ（☞P.489）をお読みください。

■ エンジンオイルに関する注意事項



注意

- オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。
オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが吹き出し火災の原因になるおそれがあります。
- エンジンオイルフィラーキャップは確実に閉める。
走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。



アドバイス

- 適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 自動洗車機で洗車するときは、ドアミラーを格納してください。
② ドアミラーの格納のしかた (P.155)
- 高圧洗車機で洗車するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。
- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき
 - 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ほこり、汚れがひどいとき

注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。
- エンジンルーム内に水をかけない。
e-POWERシステムの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電気品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。



アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意



アドバイス

してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

次ページに続く

水洗いするときは

- ① 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ② 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③ はん点が残らないように水をふき取ります。



アドバイス

- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむことがあります。

洗車機を使うときは

- ドアミラーを格納してください。
- ② ドアミラーの格納のしかた (P.155)
- 高圧洗浄機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- 高圧洗車機を使用するときは、アンテナのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。シール部が変形、破損するおそれがあります。

■ ワックスをかけるときは

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われことがあります。
- カメラ★のレンズ部にワックスを付かないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

■ アルミホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
 - 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

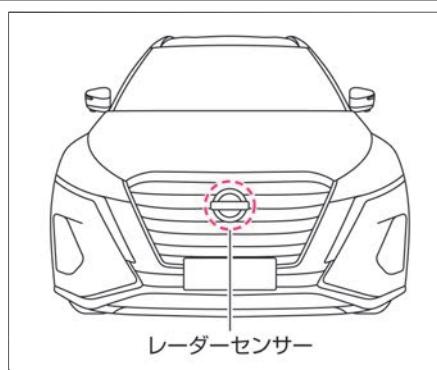
■ 軽い補修のしかた

- 塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

レーダーセンサーの取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

- レーダーセンサー周辺部はいつもきれいにしておいてください。
- 強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、レーダーセンサーから十分に離して使用してください。レーダーセンサーを損傷するおそれがあります。
- レーダーセンサー周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでレーダーセンサー周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- レーダーセンサー周辺にステッカー（透明な物を含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けたり、塗料を塗ったりしないでください。誤作動の原因になります。
- バンパーを改造、脱着したり、塗装しないでください。バンパーを改造したり塗装する場合は、日産販売会社にご相談ください。



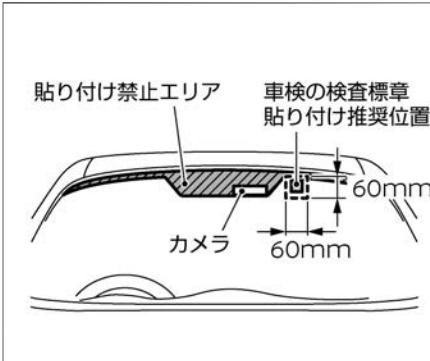
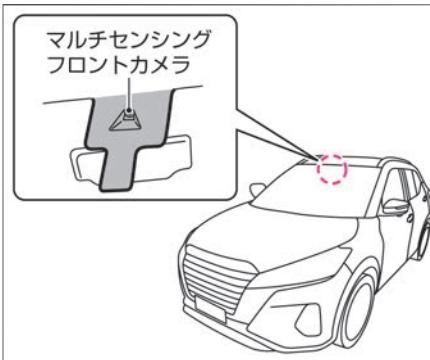
アドバイス

- レーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着している場合は、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。
フロントレーダーシステム停止警告 (☞P.426)
システム故障警告 (☞P.418)
- レーダーセンサー周辺の遮蔽物を取り除いて走行すると、システムの作動は再開します。再開しない場合は日産販売会社にご連絡ください。

マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

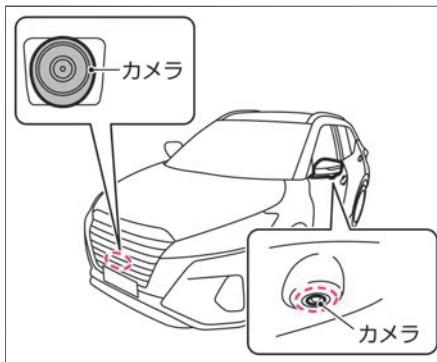
- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- フロントガラスに車検の検査標章（ステッカー）を貼り付ける場合は、貼り付け禁止エリアを避けて貼り付けてください。貼り付け推奨位置は、フロントガラスのプリント部上側コーナー部を起点とした範囲です。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。
事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。



■ フロントビュー／サイドビューカメラの取り扱い★

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- カメラ部に強い衝撃を与えない。 カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

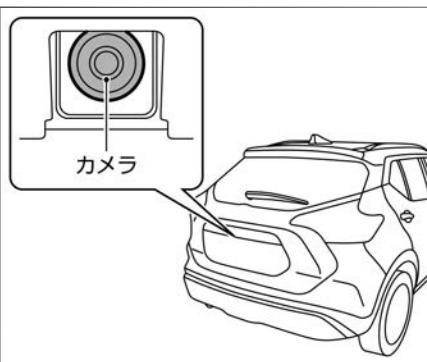
アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

リヤビューカメラの取り扱い★

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- 光が反射するため、ナンバープレートのアクセサリーを取り付けないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- カメラ部に強い衝撃を与えない。
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。



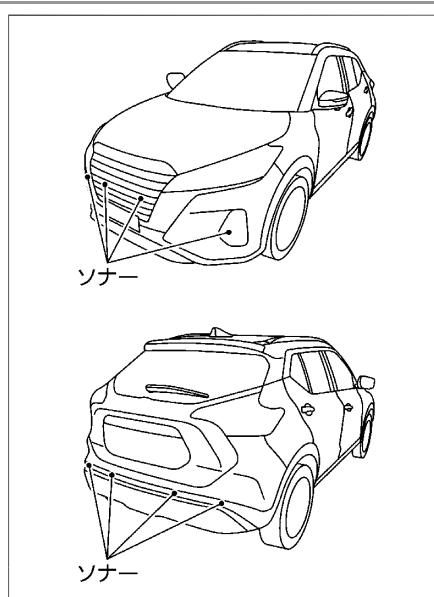
アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

ソナーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- 強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、ソナーから十分に離して使用してください。ソナーを損傷するおそれがあります。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。



内装のお手入れについて

アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。
- 塩素系（二酸化塩素や次亜塩素酸）の洗浄液を使用しないでください。塗装はがれや錆などの原因となるおそれがあります。やむをえず洗浄（除菌）する場合は、エタノール75%以下をご使用ください。エタノールを乾いた布に含ませ、内装部品をふいてください。エタノールがなくなるまでふき取ってください。ふき残しがあると塗装はがれや色落ちなどの原因となるおそれがあります。エタノールは、引火性ですので、火気に注意してください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

■ カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

☞ フロアカーペット (P.369)

■ 布、ビニールレザーの汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

■ IRカット&スーパーUVカット断熱グリーンガラスのお手入れ

前席ドアガラスの内側にはIRカット&UVカットコーティングがされています。

- 前席ドアガラスの内側を清掃するときは、水または温水を含ませた柔らかいきれいな布で早めに汚れをふき取ってください。

アドバイス

- IRカット&UVカットコーティングの傷つきや劣化を防ぐため、次のことをお守りください。
 - 前席ドアガラスの汚れがひどいときは、なるべく窓ガラスの開閉を行わない。
 - 清掃するときはコンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー、アルカリ性洗剤は使用しない。
 - 砂などが付着している布で清掃をしない。

次ページに続く

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。



アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではつかないでください。変色の原因になります。

ガラスの汚れ取り

- バックドアガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。

■ インテリジェント ルームミラーのお手入れ★

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっとふいてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部をぶかないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいときは、まず濡れた柔らかい布でふいてから乾いた柔らかい布でふいてください。
- カメラ前面のバックドアガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。
油膜が付いているときは、油膜取りを使用して清掃してください。
- カメラ前面のバックドアガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。 外観リヤ (P.3)

点検値

項目	点検値
遊び	2~9mm
ブレーキペダル※1 床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約490N（50kg）で踏んだとき	70mm以上

※1：ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの床板とのすき間の調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

■ 交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。

交換時期については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

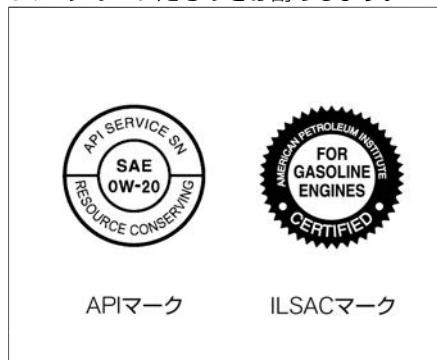
項目	適用	規定量 (℥) ※1	指定銘柄
エンジンオイル	HR12DE	オイルのみ交換	3.2
		オイルとオイルフィルター交換	3.4 日産純正SNストロングセーブ・X 0W-20 (API: SN、SAE: 0W-20)

※1： 規定量は目安です。

■ 指定銘柄以外のエンジンオイルについて

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。

グレード：API規格SNをお使いください。ILSACマークのついたものをお勧めします。



粘度：SAE規格0W-20をご使用ください。

次ページに続く

項目	適用	規定量 (℥) ※1	指定銘柄
エンジン冷却水	全車	6.4 ^{※2}	
インバーター冷却水	全車	3.56 ^{※3}	日産純正スーパーロングライフクーラント ^{※4}
ギヤボックスオイル	全車	1.94	日産純正マチックフルードS ^{※5}
ブレーキフルード	全車	-	日産純正ブレーキフルードNo.2500 (DOT3)
ウォッシャー液	全車	2.5	日産純正ウインドウォッシャー液 ^{※6}

※1： 規定量は目安です。

※2： リザーバータンクのMAXレベル容量 (0.77 ℥) を含みます。

※3： リザーバータンクのMAXレベル容量 (0.53 ℥) を含みます。

※4： 走行用モーターやインバーターなどが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水には、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

※5： 必ず日産純正マチックフルードSを使用してください。日産純正マチックフルードS以外のフルードを使用するとギヤボックスが損傷するおそれがあります。

※6： 外気温に応じて濃度を調節してください。

電球（バルブ）の容量

電球	容量 (v-w)	電球のタイプ
前照灯（ヘッドライト）	ロービーム	LED*
	ハイビーム	LED*
前部霧灯（フォグランプ）	—	LED*
車幅灯	—	LED*
番号灯	12-5	W5W
制動灯	—	LED*
尾灯	—	LED*
ハイマウントストップランプ	—	LED*
後退灯	—	LED*
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	—	LED*

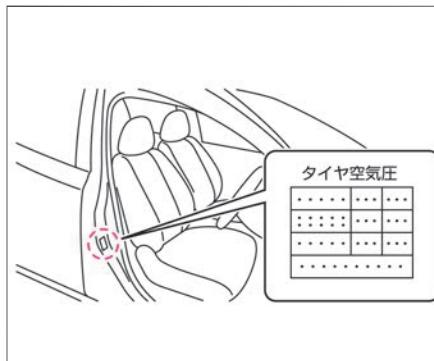
※： 電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

次ページに続く

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D	インセット
205/55R17 91V	17×6.5J	114.3mm (5穴)	45mm

タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



■ 車両データの記録・蓄積について

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。



知識

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報は記録しません。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報
- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速、エンジン回転数などの車両情報

■ プロパイロットシステム

プロパイロットシステムは下記車両データを記録・蓄積します。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 先行車やレーンマーカーなどの検知状況
- 車速などの車両情報
- プロパイロットの作動に関する情報
- プロパイロットの故障診断情報
- マルチセンシングフロントカメラの画像情報（SRSエアバッグ、インテリジェント エマージェンシーブレーキ作動時）

次ページに続く

■ データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態の記録・蓄積について

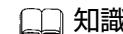
車両状態記録機能は、下記車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報

車両状態記録機能

車両状態記録機能は品質維持を目的として、車両の運行状態を記録・蓄積します。

車両状態記録機能から得られたデータを元に的確なサービスを提供することができます。



知識

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの取り扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、車両状態記録機能に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することができます。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

MEMO

メンテナンス

1

12Vバッテリー P.472

A

A/C (エアコン)

エアコンスイッチ P.163

エアコンを使うときに注意すること P.167

オートエアコン P.163

吹き出しが P.166

ABS

ABS P.226

ABS 警告灯 P.77

E

ECO モード

ECO モード P.219

ECO モードインジケーター P.75

e-POWERモードスイッチ P.220

エコドライブレポート P.110

EDR (イベントデータレコーダ) P.493

ELR (緊急固定) 付3点式シートベルト P.32

e-POWER Drive P.219

e-POWERシステム

e-POWERシステム警告灯 P.77

e-POWERシステム車が事故にあったときの注意事項 P.19

e-POWERシステムの取り扱いに関する注意事項 P.17

e-POWERシステムを始動できないときは P.395

燃費を良くするためのポイント P.21

e-POWERモードスイッチ P.220

EPS (電動パワーステアリング) 警告灯 P.77

I

i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX口ア

アンカレッジ P.65

L

LDW (車線逸脱警報)

LDW (車線逸脱警報) P.311

LDW (車線逸脱警報) 表示 P.107

O

ODO (オドメーター) P.73

S

s (Smart) モード

e-POWERモードスイッチ P.220

s (Smart) モード P.219

s (Smart) モードインジケーター P.74

SOSコール P.357

SRS エアバッグ P.37

SRS エアバッグ警告灯 P.77

T

TRIP (トリップメーター) P.73

U

USB電源ソケット P.367

V

VDC

VDC P.227

VDC OFF スイッチ P.229

VDC OFF表示灯 P.80

VDC警告灯 P.77

M 「メンテナンスノート」をお読みください。

S 「自動車検査証」をご参照ください。

W

W数（電球の容量） P.491

A

アウターミラー（ドアミラー） P.154

アドバンスドドライブアシストディスプレイ P.154

e-POWERグループ P.83

アドバンスドドライブアシストディスプレイ P.82

インフォメーショングループ P.89

エコグループ P.87

各種設定画面 P.93

警告メッセージ P.92

車両情報画面 P.83

ステアリングスイッチ P.82

アラーム（インテリジェントキー） P.430

アルミホイールのお手入れ P.478

アンサーバック機能 P.115

アンテナ P.172

I

移動物 検知機能 P.330

イベントデータレコーダー（EDR） P.493

イモビライザー（盗難防止装置） P.67

表示灯（セキュリティーインジケーター） P.80

イルミネーションコントロール P.111

インテリジェント DA（ふらつき警報） P.319

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム） P.311

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）表示 P.107

インテリジェント アラウンドビュー

モニター

移動物 検知機能 P.330

インテリジェント アラウンドビュー

モニター P.322

インテリジェント アラウンドビュー

モニターに関する注意事項 P.337

ソナー機能について P.332

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ P.278

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ／踏み間違い衝突防止

アシストOFFスイッチ P.281

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト

OFF表示灯 P.80

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト

警告灯 P.77

インテリジェント エマージェンシー

ブレーキ表示 P.106

インテリジェント オートライトシステム

（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付） P.203

インテリジェント クルーズコントロール

インテリジェント クルーズコントロー

ル P.246

インテリジェント クルーズコント

ロールの解除のしかた P.254

ステアリングスイッチ P.242

インテリジェント トレースコントロール

（コーナリング安定性向上システム） P.231

インテリジェント ルームミラー

インテリジェント ルームミラー P.142

インテリジェント ルームミラーの

お手入れ P.487

インテリジェントキー

機能 使いかた P.114

電池が切れたとき P.395

電池交換のしかた P.471

メカニカルキー	P.393
インナーミラー（ルームミラー）	P.141

ウ

ウインカー（方向指示器）	P.210
ウインドーガラス（パワーウィンドー）	P.157
ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）	P.115
ウォーニング（警告灯）	P.77
ウォッシュヤー	
ウォッシュヤー液（規定量）	P.489
ウォッシュヤー液の補給	P.459
ウォッシュヤースイッチ	P.217
ウォッシュヤーの噴霧状態点検	M
動きなくなったときは	P.376
運転するときに注意すること	P.26
運転前の準備	P.24

エ

エアコン	
エアコンスイッチ	P.163
エアコンを使うときに注意すること	P.167
オートエアコン	P.163
吹き出しき	P.166

M 「メンテナンスノート」をお読みください。
S 「自動車検査証」をご参照ください。

エアバッグシステム	
SRS エアバッグ	P.37
SRS エアバッグ警告灯	P.77
SRS エアバッグシステム（前席）	P.41
SRS カーテンエアバッグシステム	P.48
SRS サイドエアバッグシステム（前席）	P.46
SRS ニーエアバッグシステム	P.50

エネルギーモニター	P.83
-----------	------

エンジン	
エンジンオイル	P.473, P.489

エンジンオイル量の点検・補給	M
----------------	---

エンジンルーム	P.456
---------	-------

エンジンルームから蒸気が出ているとき	P.433
--------------------	-------

パワースイッチ	P.176
---------	-------

フード（ボンネット）	P.457
------------	-------

エンジン型式	S
--------	---

エンジンのかかり具合、異音点検	M
-----------------	---

オ

オイル	P.489
応急修理する前に	P.383
オーディオ	
アンテナ	P.172
オーディオ	P.171
ステアリングスイッチ	P.173

オートACC機能	P.181
----------	-------

オートエアコン	P.163
---------	-------

オートブレーキホールド	
-------------	--

オートブレーキホールド	P.190
-------------	-------

オートブレーキホールド表示灯	P.80
----------------	------

オートロック機能	P.115, P.121, P.123
----------	---------------------

オーバーヒート	P.433
---------	-------

オーバーヒート警告が表示されたとき	P.433
-------------------	-------

お子さまを乗せるときに注意すること	P.52
-------------------	------

オドメーター（積算距離計）	P.73
---------------	------

力

外気温度計	P.76
-------	------

回生ブレーキ	P.13
--------	------

外装のお手入れ	P.474
---------	-------

買い物フック	P.373
--------	-------

カギ	P.114
----	-------

各種設定画面	P.93
--------	------

ガソリン	P.160
------	-------

カップホルダー	P.354
---------	-------

カメラ	
-----	--

サイドビューカメラ	P.481
-----------	-------

フロントビューカメラ	P.481
------------	-------

マルチセンシングフロントカメラ	P.480
-----------------	-------

リヤビューカメラ	P.482
----------	-------

索引 カ~シ

カメラシステム	P.322
寒冷時の取り扱い	P.460

ヰ

キー	
インテリジェントキー	P.114
キー（インテリジェントキー）の電池 交換	P.471
メカニカルキー	P.393
キー連動室内照明	P.348, P.350

ヰ

空気圧（タイヤ）	P.463, P.492
くもり取り	
デフロースタースイッチ	P.431
リヤウインドーデフォッガースイッチ	P.432
チ	P.432
クラクション（ホーン）	P.140
クリアランスランプ（車幅灯）	
スイッチ	P.201
電球（バルブ）交換	P.443
電球（バルブ）容量	P.491
車のお手入れ	P.474
グローブボックスの使いかた	P.352

ケ

警告灯	P.77
警告灯がついたときは	P.402
警告メッセージ	P.92
警告メッセージが表示されたときは	P.414
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.430
けん引について	P.378
検査標章	P.448

ヰ

工具	P.449
後席シート	P.136
航続可能距離表示	P.71
後退灯	
電球（バルブ）交換	P.443
電球（バルブ）容量	P.491
高電圧部品について	P.16
故障警告灯（MIL）	P.77
故障したときは	P.376
コンソールボックス	P.353

ヰ

サービスデータ（車両仕様）	P.491
サイドミラー（ドアミラー）	P.154
サンバイザー	P.371

シ

シート	
お手入れ	P.485
後席シート	P.136
前席シート	P.133
チャイルドシート	P.55
ヒーターシート	P.364
シートベルト	
後席シートベルト警告灯	P.77
シートベルトの着用のしかた	P.34
シートベルトの注意事項	P.35
前席シートベルト警告灯	P.77
事故がおきたときは	P.19
室内灯	P.348
始動しない	P.395
始動のしかた	P.176
車載工具	P.449
シャシー制御	P.231
車線逸脱警報(LDW)	P.311
車線逸脱防止支援システム(インテリ ジェント LI)	P.311
ジャッキ	
収納場所	P.449
車幅灯	
スイッチ	P.201
電球（バルブ）交換	P.443
電球（バルブ）容量	P.491

車両型式	S
車両重量	S
車両仕様	P.491
車両状態記録機能	P.495
車両情報画面	P.83
車両寸法	S
車両接近通報装置	P.235
ジャンプスタートのしかた	P.398
充電警告灯	P.77
出力制限表示灯	P.77
乗車定員	S

ス

水温計	P.89
スイッチの操作	
e-POWERモードスイッチ	P.220
EVモードスイッチ	P.222, P.224
VDC OFF スイッチ	P.229
イルミネーションコントロールスイッチ	P.111
インテリジェント エマージェンシー	
ブレーキ／踏み間違い衝突防止	
アシストOFFスイッチ	P.281, P.300
エアコンスイッチ	P.163
オートブレーキホールドスイッチ	P.190

M 「メンテナンスノート」をお読みください。
 S 「自動車検査証」をご参照ください。

ステアリングスイッチ (アドバンスド ドライブアシストディスプレイ)	P.82
ステアリングスイッチ (オーディ オ)	P.173
ステアリングスイッチ (プロパイロッ ト)	P.242
ステアリングヒータースイッチ	P.363
デフロスタースイッチ	P.431
ドアスイッチ	P.121
ドアミラースイッチ	P.154
ドアロックスイッチ	P.124
トリップ切り替えスイッチ	P.73
バックドアオープナースイッチ	P.128
パワーウィンドースイッチ	P.157
パワースイッチ	P.176
ヒーターシートスイッチ	P.364
非常点滅表示灯スイッチ (ハザード スイッチ)	P.6
フォグラランプスイッチ	P.214
ヘッドラランプレバイザースイッチ	P.212
方向指示器スイッチ	P.210
ライトスイッチ	P.201
リヤウインドーデフォッガースイッ チ	P.432
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.215
水没したときは	P.436
ステアリング (ハンドル)	P.140
ステアリングスイッチ	
アドバンスドドライブアシストディス プレイ	P.82
オーディオ	P.173
プロパイロット	P.242
ステアリングヒーター	P.363
スピードメーター (速度計)	P.71
スマートランプ (車幅灯)	
スイッチ	P.201
電球 (バルブ) 交換	P.443
電球 (バルブ) 容量	P.491
セーフティ・シールド	P.89
セキュリティーインジケーター	P.80
設定 (メーター)	P.93
セレクトレバー	P.182
洗車のしかた	P.474
前照灯 (ヘッドラランプ)	
スイッチ	P.201
電球 (バルブ) 交換	P.443
電球 (バルブ) 容量	P.491

先進事故自動通報システム	
先進事故自動通報システム	P.357
前席シート	P.133
センターコンソールボックス	P.353
前部霧灯（フォグランプ）	
スイッチ	P.214
電球（バルブ）交換	P.443
電球（バルブ）容量	P.491
ソ	
走行可能表示灯	P.80
走行距離（車両情報）	P.89
走行支援機能画面	P.105
走行時間（車両情報）	P.89
走行時間アラーム	P.93
走行のしかた	P.197
走行用モーター	P.13
速度計（スピードメーター）	P.71
ソナー	
ソナー	P.109
ソナー設定	P.93
ソナーの取り扱い	P.483
タ	
タイヤ	
アルミホイールのお手入れ	P.478
応急修理のしかた	P.385
タイヤ・ホイールを交換するとき	P.465
タイヤ・ロードホイールサイズ	P.492
タイヤ応急修理キット	P.384
タイヤチェーン	P.468
タイヤの位置交換（ローテーション）	P.467
タイヤの空気圧	P.463, P.492
タイヤの点検項目	P.463
パンク	P.383
冬用タイヤ	P.468
正しい運転姿勢について	P.24
チ	
チケットホルダー	P.372
チャージモード	
EVモードスイッチ	P.222
チャージモード	P.222
チャイルドシート	P.55
チャイルドシート適合表	P.59
チャイルドセーフティドアロック	P.126
駐車のしかた	P.199
チルト・テレスコピックステアリング	P.140
定期点検	
停止のしかた	P.178
停車のしかた	P.199
低速加速抑制機能	P.290
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.290
定速制御機能（インテリジェントクルーズコントロール）	P.272
テールランプ（尾灯）	
スイッチ	P.201
テールランプ表示灯	P.80
電球（バルブ）交換	P.443
電球（バルブ）容量	P.491
デフロスタースイッチ	P.431
電球（バルブ）交換	P.443
電球（バルブ）容量	P.491
点検整備について	P.448
電源ソケット	P.365
点検値／交換油脂類	P.488
電制シフト警告灯	P.77
電池交換のしかた	P.471
電動格納式ドアミラー	P.154
電動パーキングブレーキ	
電動パーキングブレーキ	P.185
電動パーキングブレーキ警告灯	P.77
電動パーキングブレーキ注意事項	P.188
電動パワーステアリング警告灯	P.77
テンプメーター（水温計）	P.89

ト

ドア

- ドア P.121
 ドアが開かないときは P.393
 ドアスイッチ P.121
 ドアロックスイッチ P.124
 ドアを室内から開けられないとき
 (チャイルドセーフティドアロック) P.126
 バックドア P.128
 ドアミラー P.154
 ドアミラーヒーター P.156
 ドアロック連動自動格納機能 P.156
 灯火装置（ランプ）の点灯、点滅具合、
 汚れ、損傷点検 M
 盗難防止装置（イモビライザー） P.67
 時計 P.75
 トノボード P.374
 ドライブコンピュータ P.89
 トラブルがおきたときは
 12Vバッテリーがあがったときは P.396
 インテリジェントキーで始動できない
 ときは P.395
 オーバーヒートしたときは P.433
 警告灯がついたときは P.402
 警告メッセージが表示されたときは P.414
 警報音（ブザー）が鳴ったときは P.430

M 「メンテナンスノート」をお読みください。
S 「自動車検査証」をご参照ください。

出力制限表示灯が点灯したときは P.401

水没したときは P.436

ドアが開かないときは P.393

パンクしたときは P.383

表示灯がついたときは P.412

窓ガラスがくもったときは P.431

雪道やぬかるみにはまつたときは P.435

トリップメーター（区間距離計） P.73

ナ

内装のお手入れ P.484

ナンバー灯（番号灯）

スイッチ P.201

電球（バルブ）交換 P.443

電球（バルブ）容量 P.491

ニ

日常点検 M

日産e-POWERと上手に付き合うために P.21

ネ

燃費情報表示 P.87

燃費を良くするためのポイント P.21

燃料

燃料計 P.71

燃料タンク容量 P.160

燃料補給口 P.161

ハ

パーキングブレーキ（電動パーキング

ブレーキ） P.185

排気量 S

ハイビームアシスト P.206

ハイビームアシスト表示灯 P.80

ハイマウントストップランプ

電球（バルブ）交換 P.443

電球（バルブ）容量 P.491

ハザードスイッチ（非常点滅表示灯スイッチ） P.6

挟み込み防止機構

パワーウィンドー P.159

発炎筒 P.377

バックドア

開かない P.394

バックドア P.128

バックドアオープナースイッチ P.128

バックミラー（ルームミラー） P.141

発進 P.195

バッテリー

12Vバッテリーがあがったときは P.396

バッテリー液量の点検・補給 M

リチウムイオンバッテリー P.13

バッテリーセーバー	
ヘッドランプ	P.201
マップランプ	P.348
ラゲッジルームランプ	P.350
ルームランプ	P.350
発電用モーター	P.13
バニティミラー	P.371
バルブ（電球）交換	P.443
バルブ（電球）容量	P.491
パワーウィンドー	
挿み込み防止機構	P.159
パワーウィンドー	P.157
パワーウィンドーが正常に作動しないとき	P.159
パワースイッチ	P.176
パワーメーター	P.83
パンクしたときは	P.383
番号灯	
スイッチ	P.201
電球（バルブ）交換	P.443
電球（バルブ）容量	P.491
ハンドル	P.140

ヒ

ヒーターシート	P.364
ヒーター付ドアミラー	P.156

非常停止のしかた P.180

非常点滅表示灯

 スイッチ P.6

 電球（バルブ）交換 P.443

 電球（バルブ）容量 P.491

尾灯

 スイッチ P.201

 電球（バルブ）交換 P.443

 電球（バルブ）容量 P.491

ヒューズ P.438

表示灯 P.80

表示灯がついたときは P.412

ヒルスタートアシスト P.233

フ

ブースターケーブルのつなぎかた P.396

フード（ボンネット） P.457

フォグランプ

 スイッチ P.214

 電球（バルブ）交換 P.443

 電球（バルブ）容量 P.491

 フォグランプ表示灯 P.80

吹き出し口 P.166

踏み間違い衝突防止アシスト

 インテリジェント エマージェンシー

 ブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト

 OFFスイッチ P.300

低速加速抑制機能 P.290

低速衝突軽減ブレーキ機能 P.290

踏み間違い衝突防止アシスト P.289

フューエルフィラーリッド（燃料補給口）

 フューエルフィラーリッド（燃料補給口） P.160

 フューエルフィラーリッドオープナー P.161

フューエルメーター（燃料計） P.71

冬用タイヤ・タイヤチェーン P.468

ブレーキ（回生ブレーキ） P.13

ブレーキ液量の点検・補給 M

ブレーキ警告灯 P.77

ブレーキシステム警告灯 P.77

ブレーキの効き点検 M

ブレーキペダルの踏みしろ M

ブレーキランプ（制動灯）

 S（Smart）モード、ECOモード時の制動灯（ブレーキランプ）について P.221

 電球（バルブ）交換 P.443

 電球（バルブ）容量 P.491

フロアカーペット P.369

プロパイロット

 車両情報画面 P.89

 ステアリングスイッチ P.242

 プロパイロット P.239

 プロパイロット表示 P.108

フロントガラスのくもりの取りかた P.431

ヘ

平均車速（車両情報） P.89

平均燃費（車両情報） P.89

ヘッドライト

自動点灯ランプの消灯のしかた

(車両停車時) P.205

スイッチ P.201

電球（バルブ）交換 P.443

電球（バルブ）容量 P.491

ヘッドライト上向き表示灯 P.80

ヘッドライトプレベライザースイッチ P.212

ヘッドライトの点灯、点滅具合、汚れ、

損傷点検 M

ヘッドレスト

後席シート P.139

前席シート P.135

ホ

ホイールサイズ P.492

ホイールナットレンチ P.449

方向指示器

スイッチ P.210

電球（バルブ）交換 P.443

電球（バルブ）容量 P.491

M 「メンテナンスノート」をお読みください。

S 「自動車検査証」をご参照ください。

方向指示表示灯 P.80

方向指示器の点灯、点滅具合、汚れ、

損傷点検 M

防犯装置

イモビライザー（盗難防止装置） P.67

セキュリティーインジケーター P.80

ホーンの鳴らしかた P.140

ポジションインジケーター P.74

ポジションランプ（車幅灯）

スイッチ P.201

電球（バルブ）交換 P.443

電球（バルブ）容量 P.491

ボトルホルダー P.355

ボンネット（フード） P.457

マ

マスターウォーニング P.77

マップランプ P.348

窓ガラスがくもったときは P.431

マナーモード

EVモードスイッチ P.224

マナーモード P.224

マルチセンシングフロントカメラ P.480

ミ

ミラー

インテリジェントルームミラー P.142

ドアミラー P.154

バニティミラー P.371

ルームミラー P.141

メ

メーター

アドバンスドドライブアシストディスプレイ P.82

オドメーター（積算距離計） P.73

各種設定画面 P.93

警告灯 P.77

車両情報画面 P.83

表示灯 P.80

メーター P.70

メーターの明るさの調節のしかた P.111

リチウムイオンバッテリー残量計 P.72

メンテナンス設定 P.93

メンテナンスデータ（サービスデータ） P.488

モ

モーター P.13

□

- 油圧警告灯 P.77
 雪道の走行のしかた P.462
 雪道やぬかるみにはまつたときは P.435

ラ

- ライトスイッチ P.201
 ラゲッジルームランプ P.350
 ランプ（室内照明）
 マップランプ P.348
 ラゲッジルームランプ P.350
 ランプが点灯しないとき（バルブの交換） P.443

リ

- リチウムイオンバッテリー
 リチウムイオンバッテリー P.13
 リチウムイオンバッテリー残量計 P.72
 リモコンによる施錠・解錠 P.123
 リヤウインドーデフォッガースイッチ P.432
 リヤガラスのくもりの取りかた P.432
 リヤシート P.136
 リヤビューカメラ P.482
 リヤワイパースイッチ P.216

ル

- ルームミラー P.141
 ルームランプ
 マップランプ P.350
 ラゲッジルームランプ P.350

レ

- 冷却水
 寒冷時の取り扱い P.460
 規定量 P.489
 冷却水量の点検・補給 M
 レーダーセンサー P.479
 レバー（セレクトレバー） P.182

ロ

- ロードホイール
 お手入れ P.478
 交換 P.465
 サイズ P.492
 路上で故障したときは P.376
 ロックノブ P.124

ワ

- ワイパー
 ワイパー・ウォッシャースイッチ P.215

- ワイパーゴムの交換 P.470
 ワイパー刃の交換 P.469
 ワックスをかけるときは P.477

警告灯・表示灯・警告メッセージが表示されたときは

メーター内に警告灯や警告メッセージが表示されたときは、すみやかに適切に対処する必要があります。詳しくは、警告灯がついたときは（[P.402](#)）、警告メッセージが表示されたときは（[P.414](#)）をお読みください。表示灯については、表示灯がついたときは（[P.412](#)）をお読みください。



警告灯 例

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯したときは（[P.402](#)）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



警告メッセージ 例

警告メッセージが表示されたときは、（[P.414](#)）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



表示灯 例

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。点灯している理由は、（[P.412](#)）をお読みください。

MEMO